第Ⅱ部　調査結果

１　町民意識調査

１－１　回答者の属性

問１　あなたのことについて、お尋ねします。

性別、年代別、居住地区別、居住年数別、世帯構成別、同居家族別、職業別及び通勤･通学地別の回答者の割合は以下のとおりです。

図表 1-1-1　性別

区分	回答数(人)	割合(%)
男性	717	44.4%
女性	893	55.3%
無回答	6	0.4%
計	1,616	100.0%

図表 1-1-2　年代

区分	回答数(人)	割合(%)
１０歳代	76	4.7%
２０歳代	145	9.0%
３０歳代	160	9.9%
４０歳代	260	16.1%
５０歳代	236	14.6%
６０歳代	227	14.0%
７０歳代	343	21.2%
８０歳以上	152	9.4%
無回答	17	1.1%
計	1,616	100.0%

図表 1-1-3　居住地区

区分	回答数(人)	割合(%)
北山区	168	10.4%
中山区	77	4.8%
下門区	75	4.6%
馬場区	201	12.4%
市場区	35	2.2%
上ケ区	94	5.8%
小迎区	37	2.3%
玉東区	104	6.4%
玉西１区	111	6.9%
玉西２区	106	6.6%

区分	回答数(人)	割合(%)
原田区	13	0.8%
緑区	67	4.1%
大足区	151	9.3%
富貴区	135	8.4%
富貴市場区	58	3.6%
東大高区	100	6.2%
市原区	15	0.9%
新田区	12	0.7%
無回答	57	3.5%
計	1,616	100.0%

図表 1-1-4　居住年数

区分	回答数(人)	割合(%)
２年未満	48	3.0%
２年以上５年未満	59	3.7%
５年以上 10 年未満	104	6.4%
10 年以上 20 年未満	250	15.5%
20 年以上 30 年未満	234	14.5%
30 年以上	913	56.5%
無回答	8	0.5%
計	1,616	100.0%

図表 1-1-5　世帯構成

区分	回答数(人)	割合(%)
単身世帯（一人暮らし）	131	8.1%
夫婦のみ世帯	436	27.0%
親と子からなる世帯（２世代家族）	862	53.3%
親・子・孫（３世代家族）	151	9.3%
親・子・孫・ひ孫（４世代家族）	5	0.3%
その他	15	0.9%
無回答	16	1.0%
計	1,616	100.0%

図表 1-1-6　同居家族　-複数回答（該当するものすべて）-

区分	回答数(人)	割合(%)
６歳未満の子	142	8.8%
６歳以上１８歳未満の子	361	22.3%
６５歳以上の方	859	53.2%
介護を要する方	105	6.5%
無回答	371	23.0%
計	1,616	100.0%

図表 1-1-7　職業

区分	回答数(人)	割合(%)
農業	17	1.1%
会社員・団体職員	487	30.1%
自営業	57	3.5%
公務員	45	2.8%
学生	94	5.8%
パート・アルバイト	279	17.3%
主婦・主夫	196	12.1%
求職中	7	0.4%
無職	412	25.5%
その他	15	0.9%
無回答	7	0.4%
計	1,616	100.0%

図表 1-1-8　通勤･通学先

区分	回答数(人)	割合(%)
武豊町内	328	20.3%
名古屋市	107	6.6%
半田市	234	14.5%
常滑市	83	5.1%
武豊町・半田市・常滑市以外の知多地域	133	8.2%
その他愛知県内	85	5.3%
愛知県外	14	0.9%
通勤・通学していない	620	38.4%
無回答	12	0.7%
計	1,616	100.0%

１－２　武豊町の暮らしやすさ

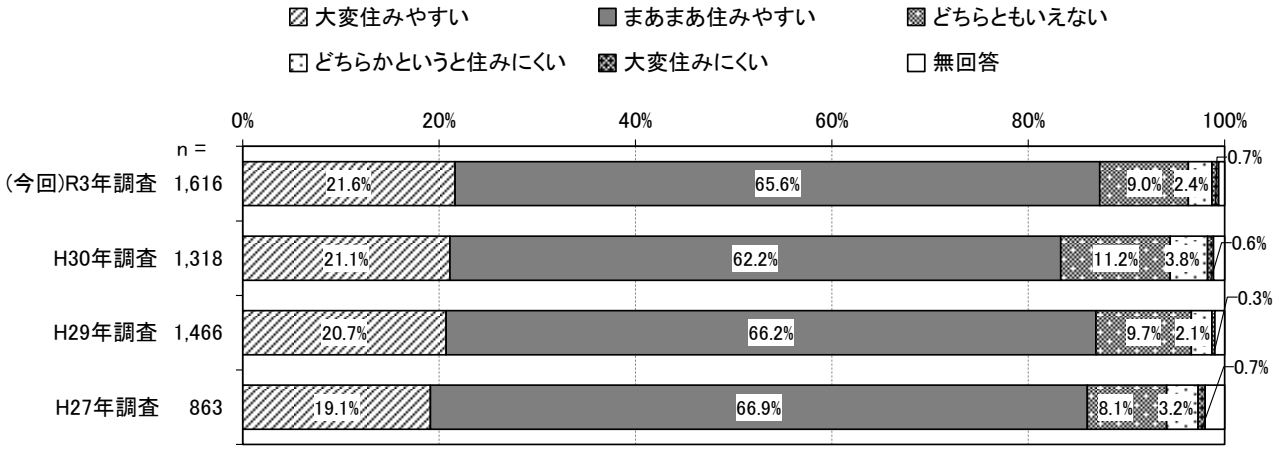
（１）住みごこち

問２　武豊町の住みごこちはどう思いますか。（１つに○印）

「大変住みやすい」が 21.6%、「まあまあ住みやすい」が 65.6%であり、両者をあわせると 87.2%となります。９割近くの方が武豊町は『住みやすい』と評価しています。一方、「大変住みにくい」は 0.7%、「どちらかというと住みにくい」は 2.4%と少数でした。

平成 30 年調査では、「大変住みやすい（21.1%）」と「まあまあ住みやすい（62.2%）」をあわせた割合は 83.3%でした。また平成 29 年調査では 86.9%、平成 27 年調査では 86.0%でした。『住みやすい』の割合は、過去の調査の中では今回が最も高くなっています。

図表 1-2-1　住みごこち（過去調査との比較）



以下、回答者の属性別に「大変住みやすい」と「まあまあ住みやすい」をあわせた割合で傾向をみていきます。

性別	○「大変住みやすい」と「まあまあ住みやすい」をあわせた割合は、男性で 85.3%、女性で 88.9%であり、わずかに女性の方が高くなっています。
年代	○最も高いのは 70 歳代の 87.8%、最も低いのは 30 歳代の 86.3%で、両者の差はわずかに 1.5 ポイントです。「大変住みやすい」と「まあまあ住みやすい」をあわせた『住みやすい』の割合は、年齢の違いによってもほとんど差がみられません。 ○ただし、「大変住みやすい」については、最高が 80 歳以上の 27.0%、最低が 60 歳代の 15.4%で、両者の間に 11.6 ポイントの開きがあります。
居住地区	○最も高いのは武豊小学校区の 90.2%です。唯一９割を上回っています。次いで高いのは緑丘小学校区で 88.2%です。 ○衣浦小学校区は 85.6%、富貴小学校区は 85.3%で、上記の２地区と比べるとやや低くなっています。
居住年数	○居住年数 20 年以上 30 年未満は 90.2%と最も高く、次いで居住年数 30 年以上が 87.5%となっています。また、居住年数 20 年以上 30 年未満は「大変住みやすい」が 26.5%と他と比べ高いことが特徴です。 ○一方、居住年数 10 年未満は 86.3%、居住年数 10 年以上 20 年未満は 85.6%で、若干低くなっています。
世帯構成	○３世代家族等が 90.4%と最も高く、次いで夫婦のみ世帯の 89.7%が高くなっています。 ○単身世帯は 84.7%とやや低く、２世代家族も 86.3%で全体の 87.2%をわずかに下回っています。
同居家族	○６歳未満の子がいる世帯は 92.9%で、他と比べ高い割合を示しています。
職業	○農業の 94.2%、パート・アルバイトの 92.8%、公務員の 88.8%が比較的高い割合を示しています。
通勤 通学地	○名古屋市に通勤通学する者は 91.6%、知多地域に通勤通学する者は 89.8%で、これらは比較的高い割合を示しています。

※居住地区に関しては、18 の区を以下の通り小学校区に分けて示しています。

緑丘小学校区……北山区、中山区、玉西１区、緑区

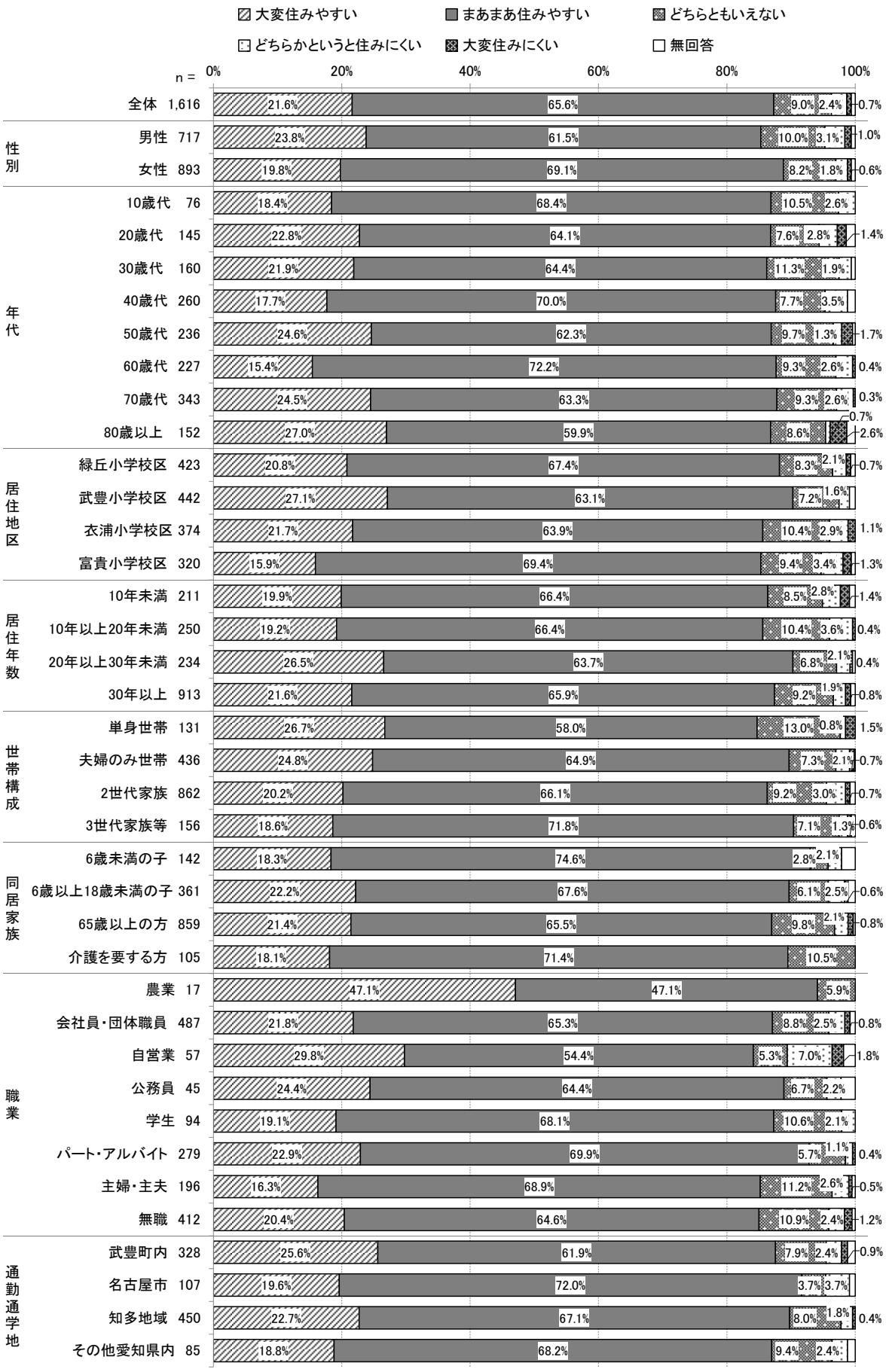
武豊小学校区……下門区、馬場区、市場区、上ケ区、小迎区

衣浦小学校区……玉東区、玉西２区、原田区、大足区

富貴小学校区……冨貴区、冨貴市場区、東大高区、市原区、新田区

※通勤通学地に関しては、「半田市」、「常滑市」、「武豊町・半田市・常滑市以外の知多地域」をまとめて「知多地域」としています。

図表 1-2-2　属性別、住みごこち



（２）今後の居住意向

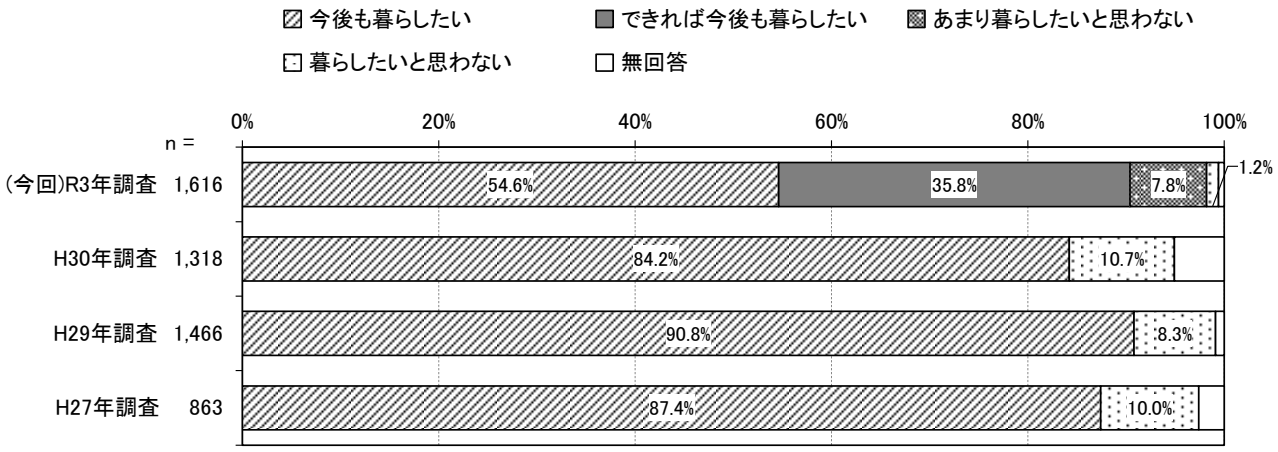
問３　今後も武豊町で暮らしたいと思いますか。（１つに○印）

「今後も暮らしたい」は 54.6%、「できれば今後も暮らしたい」は 35.8%で、両者をあわせた割合は 90.4%となっています。

過去調査では、「今後も暮らしたい」と「暮らしたいとは思わない」の２つの選択肢で今後の居住意向をたずねています。これをみると「今後も暮らしたい」は平成 27 年調査で 87.4%、平成 29 年調査で 90.8%、平成 30 年調査で 84.2%です。今後の居住意向は平成 30 年調査で一旦低下していましたが、今回調査では、「今後も暮らしたい」と「できれば今後も暮らしたい」の合計は 90.4%となり、平成 29 年調査の水準にまで戻っています。

なお、「暮らしたいと思わない」は 1.2%、「あまり暮らしたいと思わない」は 7.8%で、両者をあわせた割合は 9.0%でした。

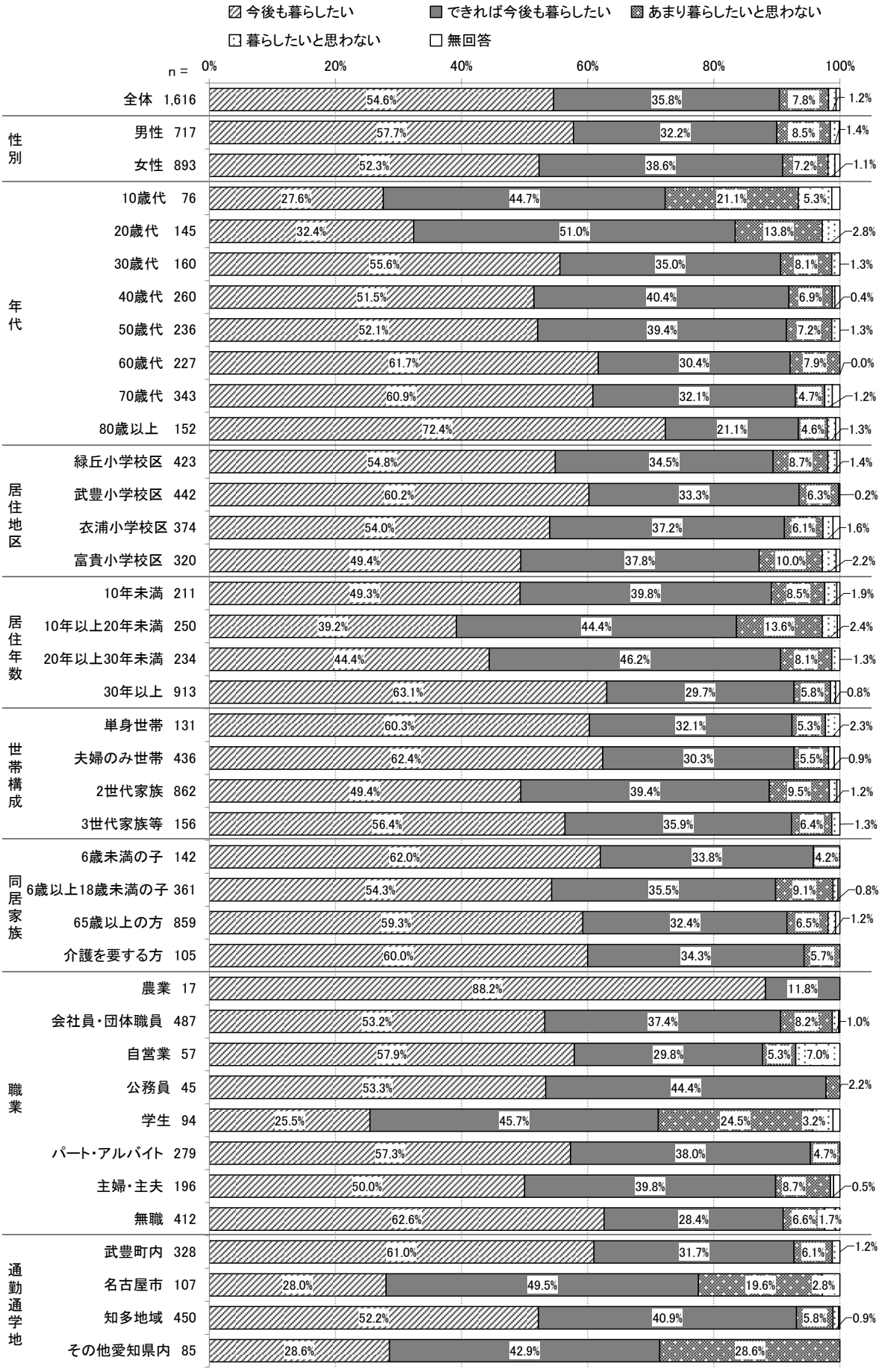
図表 1-2-3　今後の居住意向（過去調査との比較）



以下、回答者の属性別に「今後も暮らしたい」と「できれば今後も暮らしたい」をあわせた割合で傾向をみていきます。

性別	○男性で 89.9%、女性で 90.9%であり、大きな差はありません。 ○「今後も暮らしたい」は、男性 57.7%、女性 52.3%で、男性の方が 5.4 ポイント高くなっています。
年代	○10 歳代が 72.3%、20 歳代が 83.4%で、これら 10 歳代・20 歳代といった若い世代で相対的に低くなっています。この年代では「あまり暮らしたいと思わない」が、それぞれ 21.1%、13.8%で 10%以上の高い割合を占めています。
居住地区	○武豊小学校区が 93.5%で最も高く、次いで衣浦小学校区が 91.2%となっています。 ○一方、富貴小学校区は 87.2%、緑丘小学校区は 89.3%で相対的に低くなっています。
居住年数	○居住年数 30 年以上は 92.8%で最も高く、次いで 20 年以上 30 年未満が 90.6%となっています。居住年数 10 年未満は 89.1%、10 年以上 20 年未満は 83.6%で、やや低くなっています。
世帯構成	○２世代家族は 88.8%で、他と比べ低い割合を示しています。
同居家族	○６歳未満の子がいる世帯は 95.8%で、他と比べ高い割合を示しています。
職業	○母数が 17 と少ない影響もありますが、農業では 100.0%となっています。 ○農業を除くと、公務員の 97.7%、パート・アルバイトの 95.3%が高くなっています。 ○学生は 71.2%と特に低い割合となっています。「あまり暮らしたいと思わない」が 24.5%あり、４分の１はいずれ武豊町を出てもよいと考えています。
通勤 通学地	○その他の愛知県内に通勤通学する者が 71.5%、名古屋市に通勤通学する者が 77.5%となっており、知多地域に通勤通学する者の 93.1%、町内に通勤通学する者の 92.7%と比べ低い割合となっています。通勤通学地が遠い人の定住意向はやや低くなっています。

図表 1-2-4　属性別、今後の居住意向



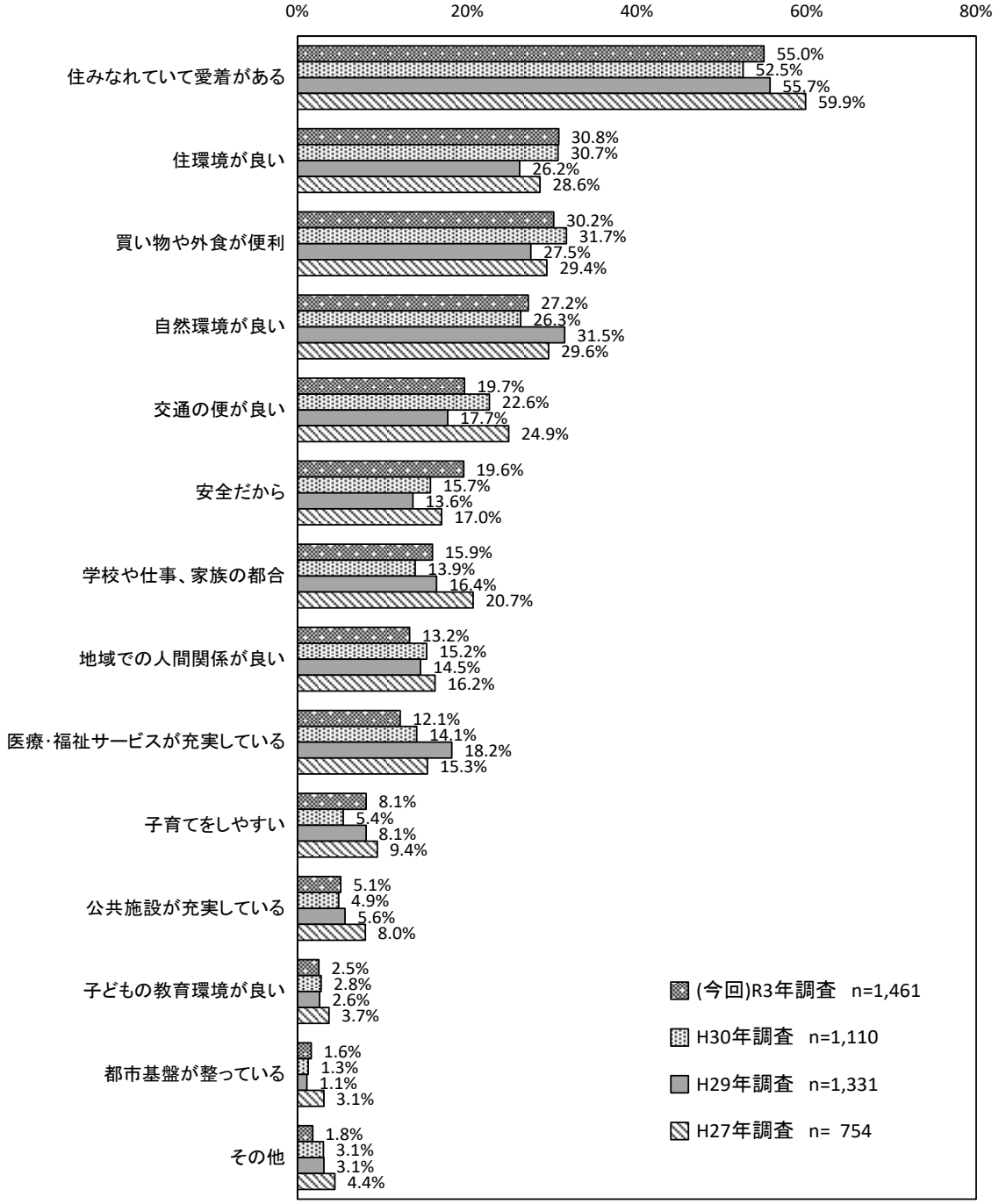
（3）武豊町で暮らしたい理由

問3-1　武豊町で暮らしたいと思う理由は何ですか。（3つまでに○印）

「今後も暮らしたい」または「できれば今後も暮らしたい」に回答した 1,461 人にその理由をたずねたところ、「住みなれていて愛着がある」が 55.0%と最も高く５割以上の回答を得ています。次いで「住環境が良い」が 30.8%、「買い物や外食が便利」が 30.2%、「自然環境が良い」が 27.2%で、この３つが３割前後の回答となっています。

過去調査では、「住みなれていて愛着がある」は、平成 27 年調査で 59.9%であったものが、平成 29 年調査で 55.7%、平成 30 年調査で 52.5%と低下する傾向がみられましたが、今回の調査ではやや回復したかたちとなっています。

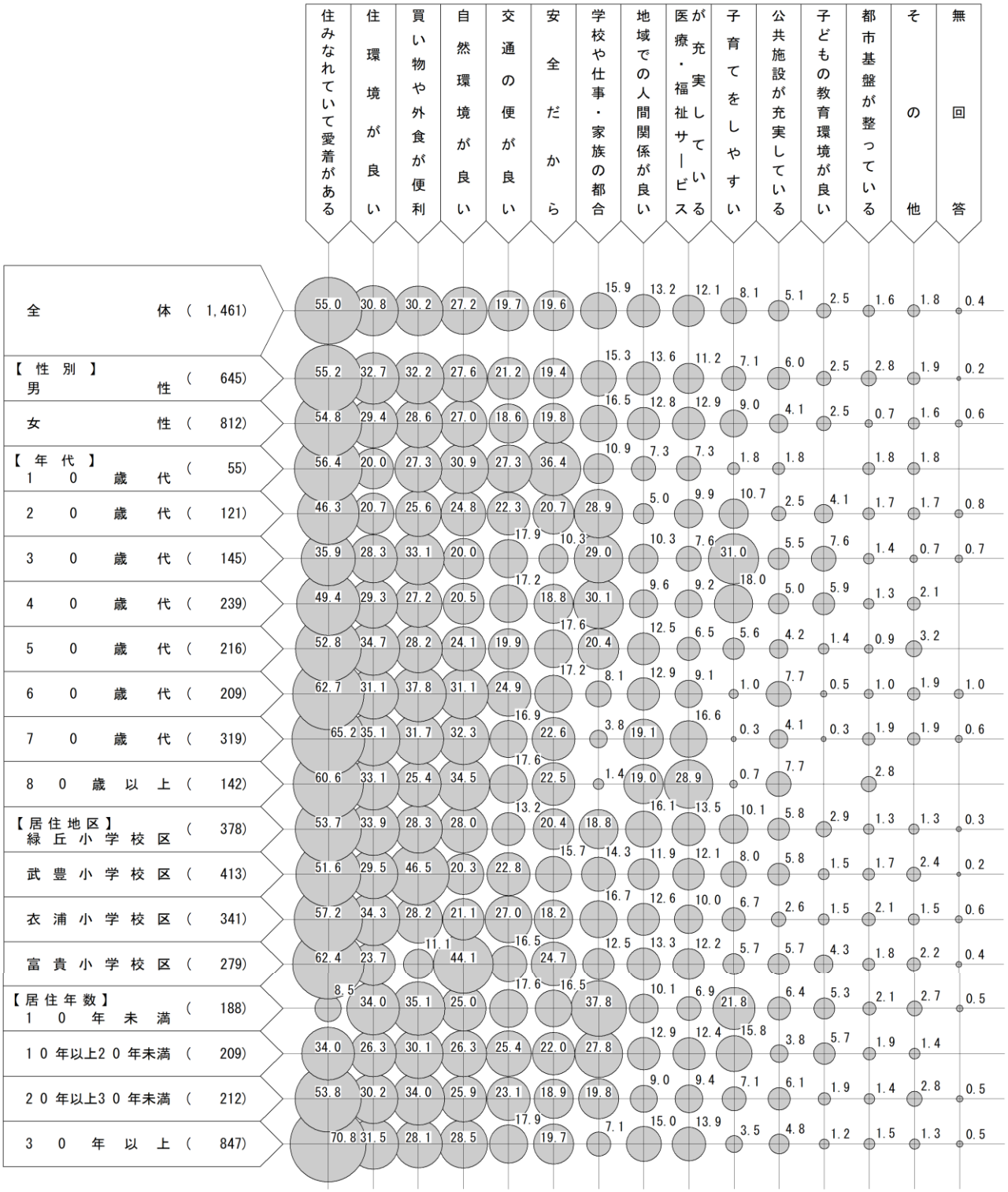
図表 1-2-5　武豊町で暮らしたい理由（過去調査との比較）　-複数回答（３つまで）-



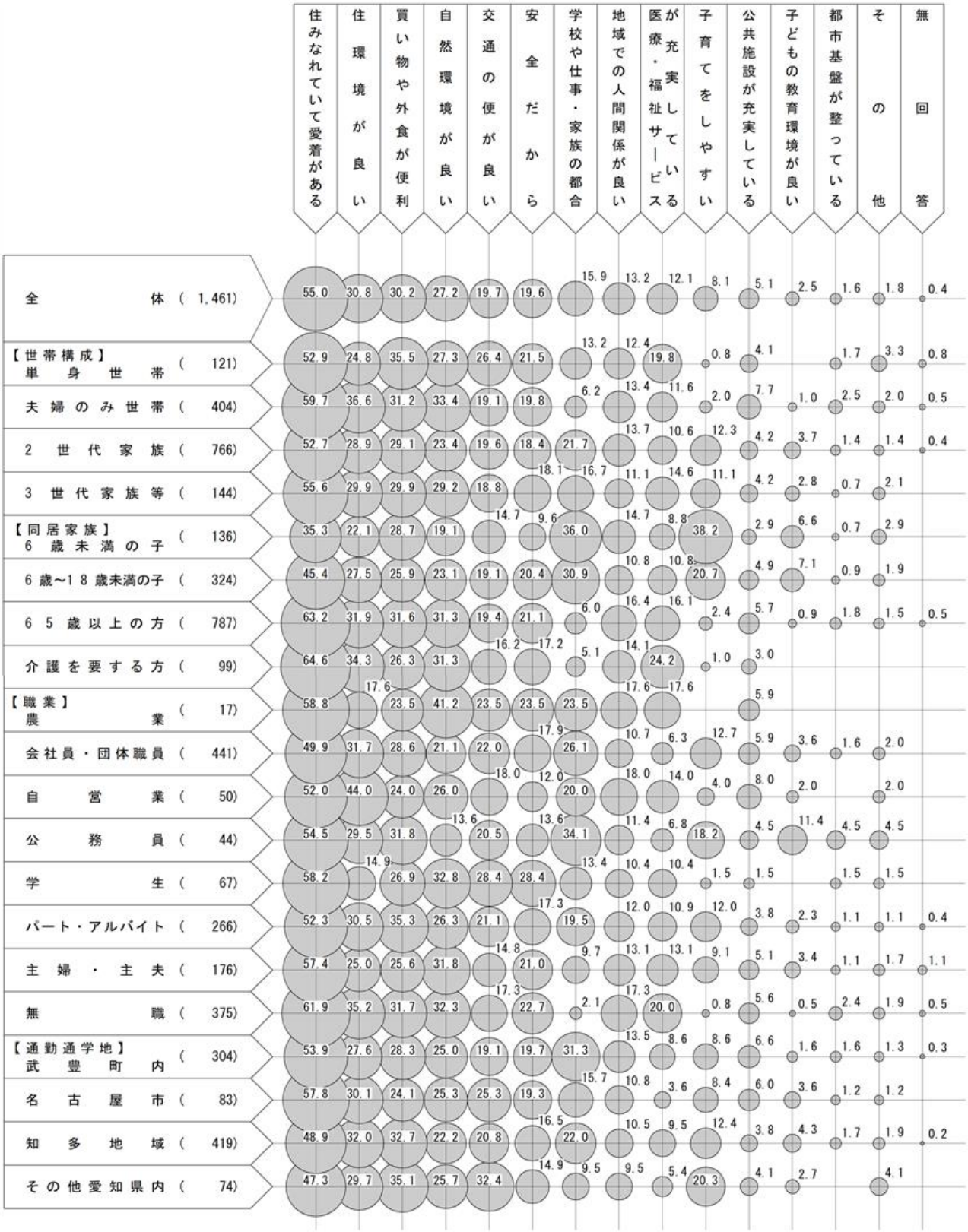
以下、回答者の属性別に「今後も暮らしたい」または「できれば今後も暮らしたい」理由の傾向をみていきます。

性別	○性別による顕著な差異はみられません。
年代	○「住みなれていて愛着がある」は 20 歳代 46.3%、30 歳代 35.9%、40 歳代 49.4%と相対的に低く、60 歳代以上になると 60%を超えるようになっています。年齢層が高くなると高くなる傾向がみられます。 ○10 歳代では、「安全だから」が 36.4%と高く、全体の 19.6%を 16.8 ポイントも上回っています。 ○20 歳代、30 歳代、40 歳代では、「学校や仕事・家族の都合」がいずれも 30%前後を示しており、相対的に高くなっています。 ○30 歳代では、「子育てをしやすい」が 31.0%で、全体の 8.1%を 22.9 ポイントも上回っています。また、80 歳以上では、「医療・福祉サービスが充実している」が 28.9%となっており、これも全体の 12.1%を 16.8 ポイント上回っています。
居住地区	○武豊小学校区では「買い物や外食が便利」が 46.5%で、全体の 30.2%を 16.3 ポイント上回っています。 ○富貴小学校区では、「自然環境が良い」が 44.1%と高く、全体の 27.2%を 16.9 ポイント上回っています。
居住年数	○「住みなれていて愛着がある」は居住年数が長くなるほど高くなる傾向が顕著で、30 年以上では 70.8%となっています。 ○「買い物や外食が便利」は、居住年数が短い 10 年未満が最も高くなっています。 ○10 年未満や 10 年以上 20 年未満では、「学校や仕事、家族の都合」がそれぞれ 37.8%、27.8%と全体の 15.9%を大きく上回っています。
世帯構成	○単身世帯では、「医療・福祉サービスが充実している」19.8%で、全体の 12.1%を 7.7 ポイント上回っています。
同居家族	○６歳未満の子のいる世帯では、「子育てをしやすい」が 38.2%で最も高くなっており、２番目は「学校や仕事・家庭の都合」の 36.0%です。いずれも全体を大きく上回っており特徴的です。６歳以上 18 歳未満の子がいる世帯でも、「子育てをしやすい」と「学校や仕事・家庭の都合」はやや高くなっています。 ○介護を要する方がいる世帯では、「医療・福祉サービスが充実している」が 24.2%で、全体より 12.1 ポイント高くなっています。
職業	○農業では、「自然環境が良い」が 41.2%で、特に高くなっています。 ○公務員、会社員・団体職員では、「学校や仕事、家族の都合」がそれぞれ 34.1%、26.1%で、相対的に高くなっています。
通勤 通学地	○その他愛知県内、名古屋市に通勤通学する者は、「交通の便が良い」はそれぞれ 32.4%、25.3%で、相対的に高い評価となっています。 ○町内に通勤通学する者は「学校や仕事、家族の都合」が 31.3%となっており、他と比べやや高くなっています。

図表 1-2-6　属性別、武豊町で暮らしたい理由　（１／２）　-複数回答（３つまで）-



図表 1-2-6　属性別、武豊町で暮らしたい理由　（2／2）　-複数回答（3つまで）-



（4）武豊町で暮らしたいと思わない理由

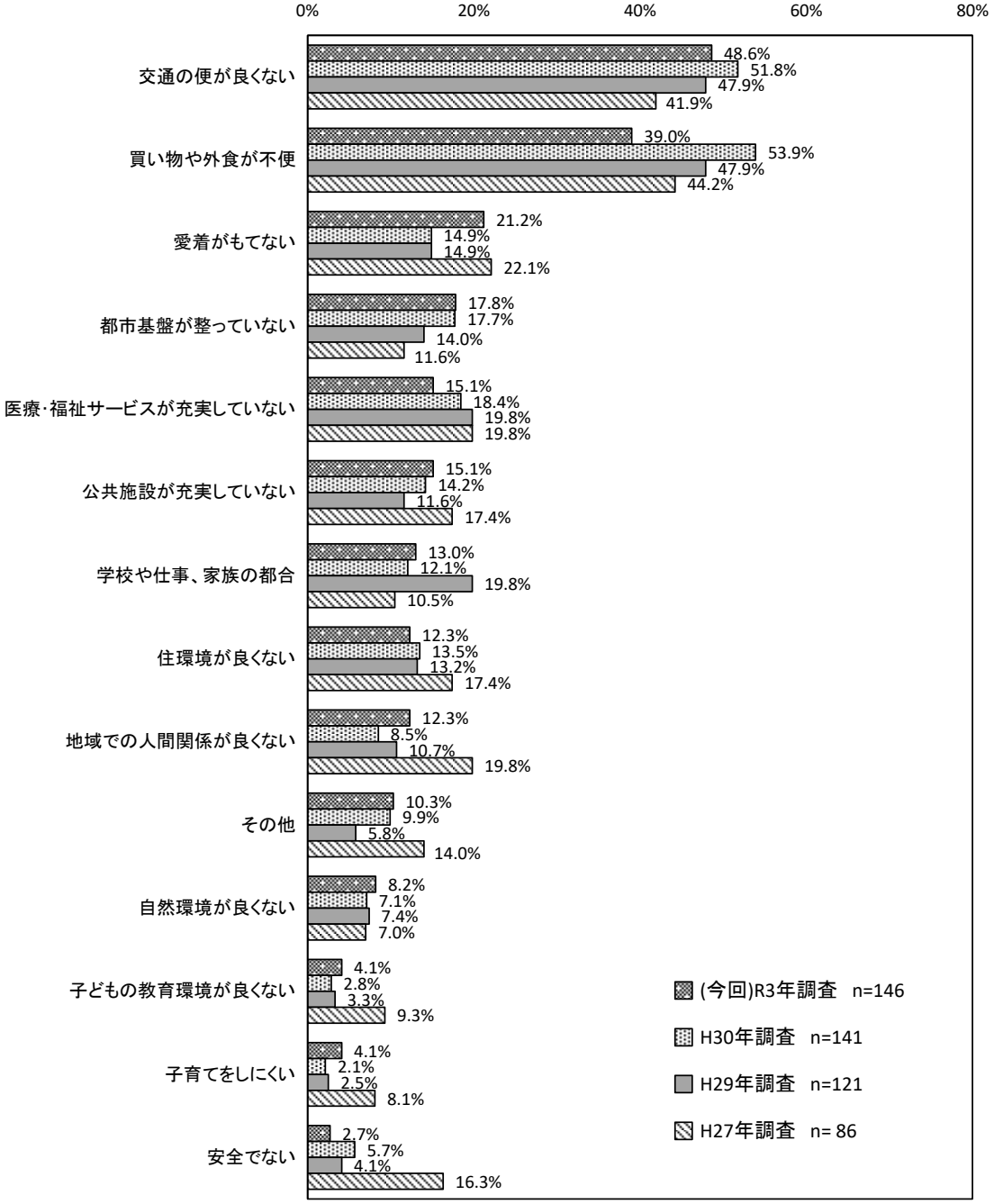
問3-2　武豊町で暮らしたいとは思わない理由は何ですか。（3つまでに○印）

「暮らしたいと思わない」または「あまり暮らしたいと思わない」に回答した 146 人にその理由をたずねたところ、「交通の便が良くない」が最も高く 48.6%、次いで「買い物や外食が不便」の 39.0%でした。この両者が特に大きな理由となっています。

過去調査と比較すると、「交通の便が良くない」は平成 27 年調査の 41.9%から、平成 29 年調査では 47.9%、平成 30 年調査では 51.8%と増加傾向にありましたが、今回は 3.2 ポイント減少しました。「買い物や外食が不便」も同様で順に 44.2%、47.9%、53.9%と順に増加していましたが、今回調査では 39.0%となり、平成 30 年調査との比較で 14.9 ポイント減少しています。

図表 1-2-7　武豊町で暮らしたいと思わない理由（過去調査との比較）

-複数回答（3つまで）-

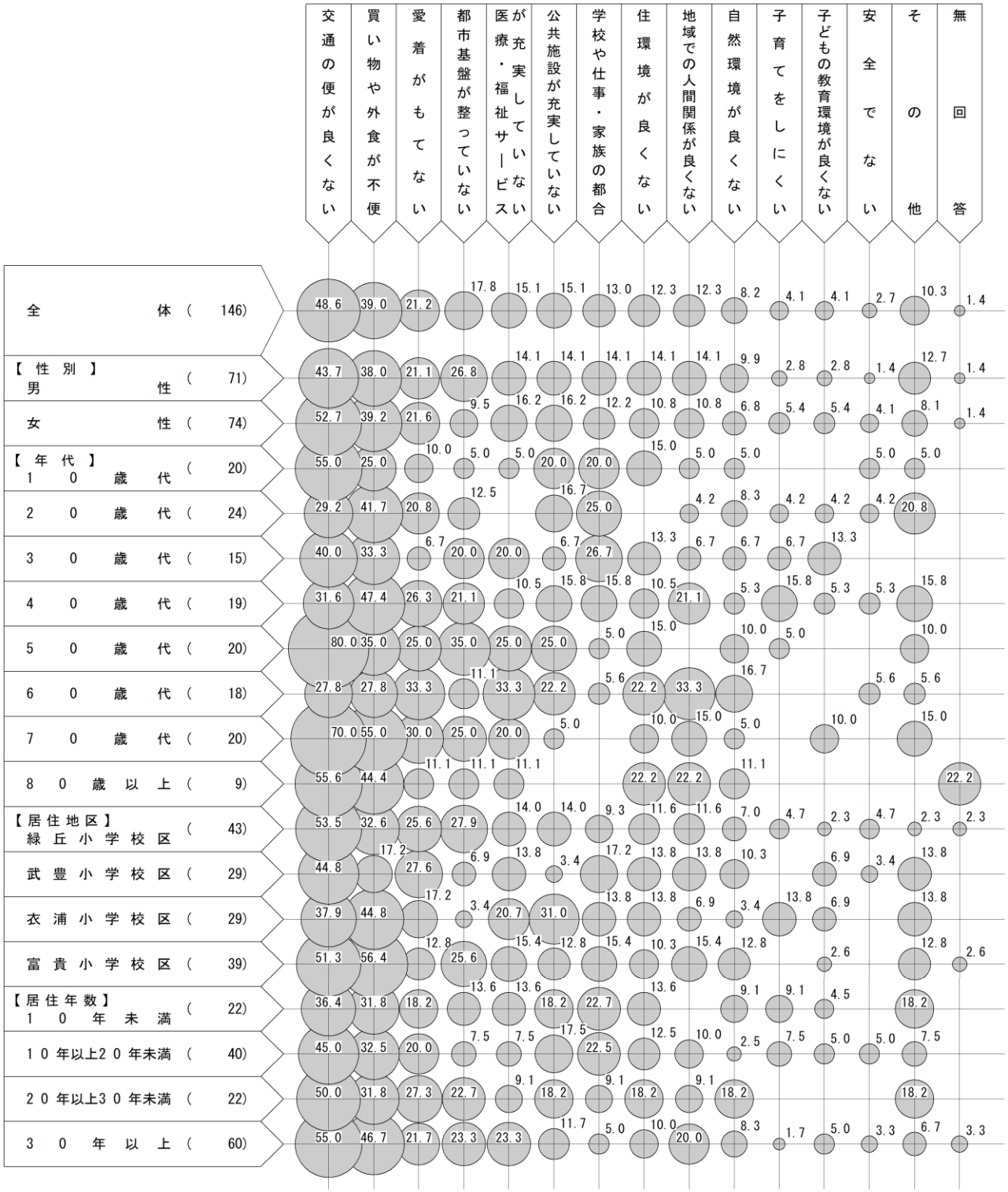


以下、回答者の属性別に「暮らしたいと思わない」または「あまり暮らしたいと思わない」の理由をみていきます。

性別	○男性、女性ともに「交通の便が良くない」と「買い物や外食が不便」が上位２つの理由となっていることは全体と同様です。 ○男性では、「都市基盤が整っていない」が 26.8%となっており、女性の 9.5%を 17.3 ポイント上回っています。
年代	○「愛着がもてない」、「都市基盤が整っていない」「医療・福祉サービスが充実していない」は、40 歳代以上で回答が多く、「学校や仕事・家族の都合」は 10 歳代～30 歳代での回答が比較的多くみられます。
居住地区	○富貴小学校区と衣浦小学校区では、「買い物や外食が不便」がそれぞれ 56.4%、44.8%で最も高く、緑丘小学校区と武豊小学校区では、「交通の便が良くない」がそれぞれ 53.5%、44.8%で最も高くなっています。 ○衣浦小学校区では、「公共施設が充実していない」が 31.0%となっており、全体の 15.1%を 15.9 ポイントも上回っています。
居住年数	○居住年数が長いほど、「交通の便が良くない」の割合が高くなっています。 ○10 年未満、10 年以上 20 年未満では、「学校や仕事・家族の都合」が 20%台を示しており、相対的に高くなっています。
世帯構成	○３世代家族等と夫婦のみ世帯で、「交通の便が良くない」の割合が６割を超えています。
同居家族	○６歳以上 18 歳未満の子がいる世帯では、「学校や仕事・家族の都合」が 22.2%と相対的に高くなっています。 ○６歳未満の子がいる世帯、介護を要する方がいる世帯については、母数が少ないため比較分析するには十分ではありません。
職業	○主婦・主夫では、「交通の便が良くない」が 72.2%と高くなっています。 ○農業、自営業、公務員については、母数が少ないため比較分析するには十分ではありません。
通勤 通学地	○知多地域に通勤通学する者は「買い物や外食が不便」が 53.3%で最も高くなっています。全体の 39.0%を 14.3 ポイント上回っています。

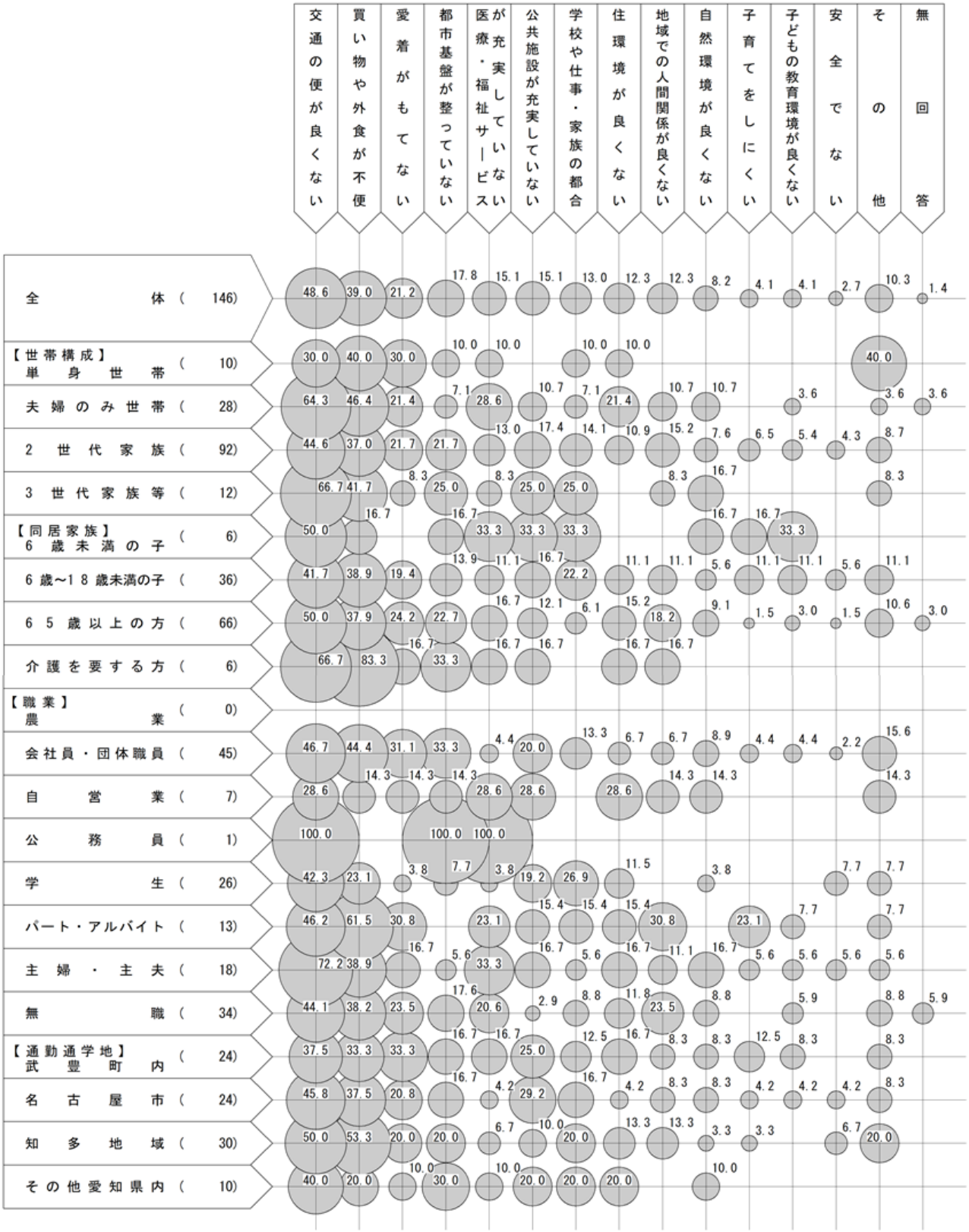
図表 1-2-8　属性別、武豊町で暮らしたいと思わない理由　（１／２）

-複数回答（３つまで）-



図表 1-2-8　属性別、武豊町で暮らしたいと思わない理由　（2／2）

-複数回答（3つまで）-



１－３　日常生活におけるあなたの行動・意識

（１）日常生活における行動・意識

問４　第６次総合計画では、将来像「心つなぎ みんなでつくる スマイルタウン」の実現を目指して、９つのまちづくり目標に基づき取組を進めています。
以下の項目について、あなたの日常生活における行動や意識として、『はい』の場合は１、『いいえ』の場合は２に、それぞれ○印をつけてください。

日常生活における意識について、第６次総合計画の９つのまちづくり目標に沿って、34 項目の「日常生活における行動や意識」について、『はい』、『いいえ』で回答を求めました。

日常生活における行動・意識について、『はい』と回答した割合が高いものを順にみていくと、「ごみの分別をきちんとしていますか」が 95.6%で最も高く、次いで「ご家族との関係は良好ですか」の 91.9%となっています。この２項目は９割を超えています。

続いて、「食生活に満足していますか」の 87.7%、「省エネルギーやリサイクルに心がけていますか」の 86.1%、「普段から健康に心がけていますか」の 82.0%が高く、この３項目は８割を超えています。

逆に、『はい』と回答した割合が低いものは、「過去１年間に近所の子どもたちと関わる機会（行事等）はありましたか」の 14.5%、「過去 1 年間にボランティア活動をしましたか」の 15.1%で、この２項目は２割以下となっています。

続いて、「他の世代の人や外国人と交流したり、ふれあうことはありますか」の 22.5%、「町外の人に紹介したいと思う武豊町の観光資源がありますか」の 23.4%、「芸術や文化に触れていますか」の 25.6%となっています。

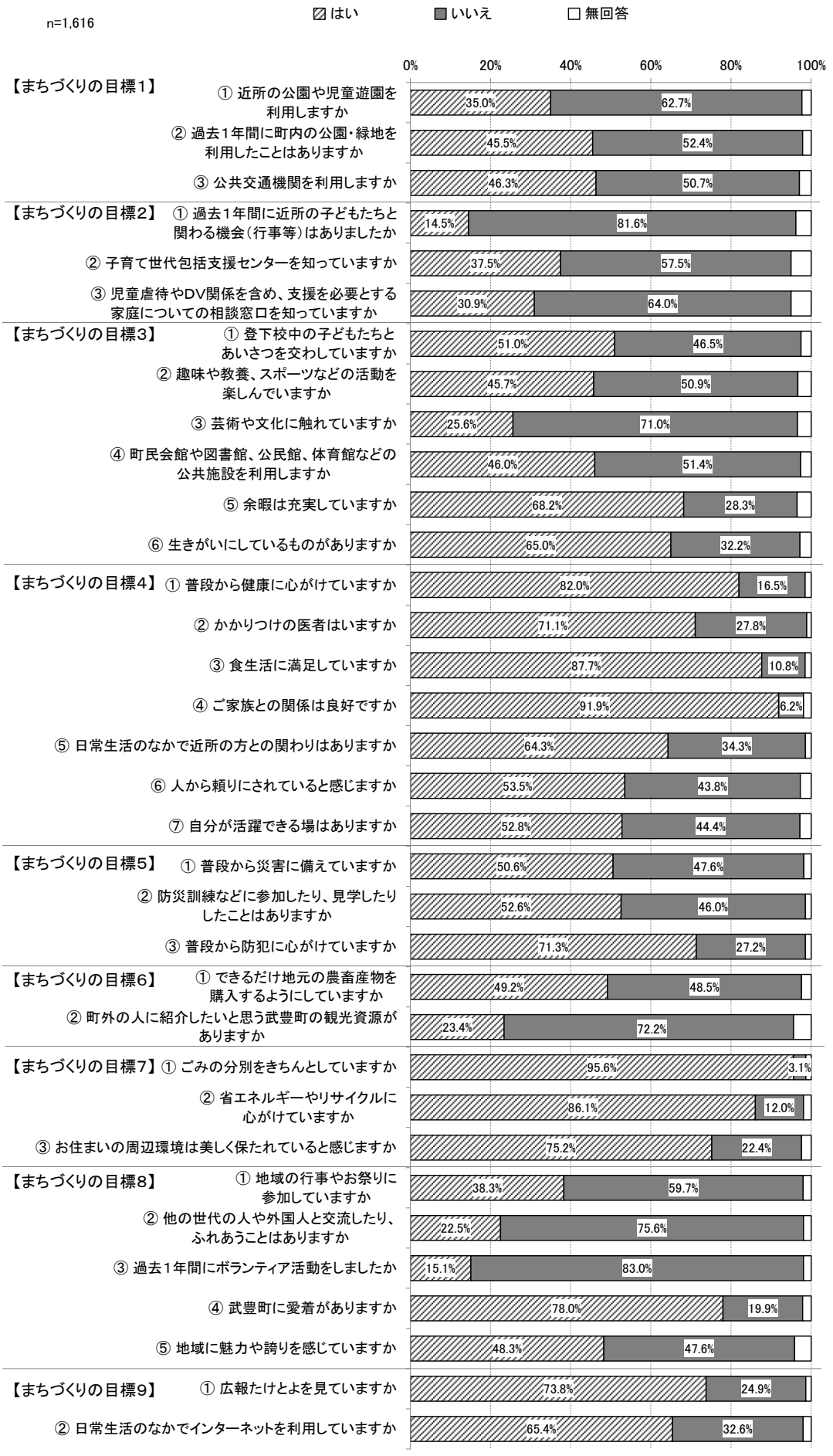
平成 27 年調査からの過去調査と比較すると、「日常生活の中でインターネットを利用していますか」では、『はい』が 56.2%から 59.5%、60.6%、65.4%と着実に増加していることがわかります。平成 27 年調査からは 9.2 ポイント増加しています。継続して増加の傾向を示しているのはこの項目のみです。

逆に、平成 27 年調査から継続して減少傾向を示しているものをみると、「地域に魅力や誇りを感じていますか」は 15.3 ポイントの減少（63.6%→48.3%）、「武豊町に愛着がありますか」は 7.2 ポイントの減少（85.2%→78.0%）、「生きがいにしているものはありますか」は 6.0 ポイントの減少（71.0%→65.0%）、「普段から健康に心掛けていますか」は 5.0 ポイントの減少（87.0%→82.0%）となっています。

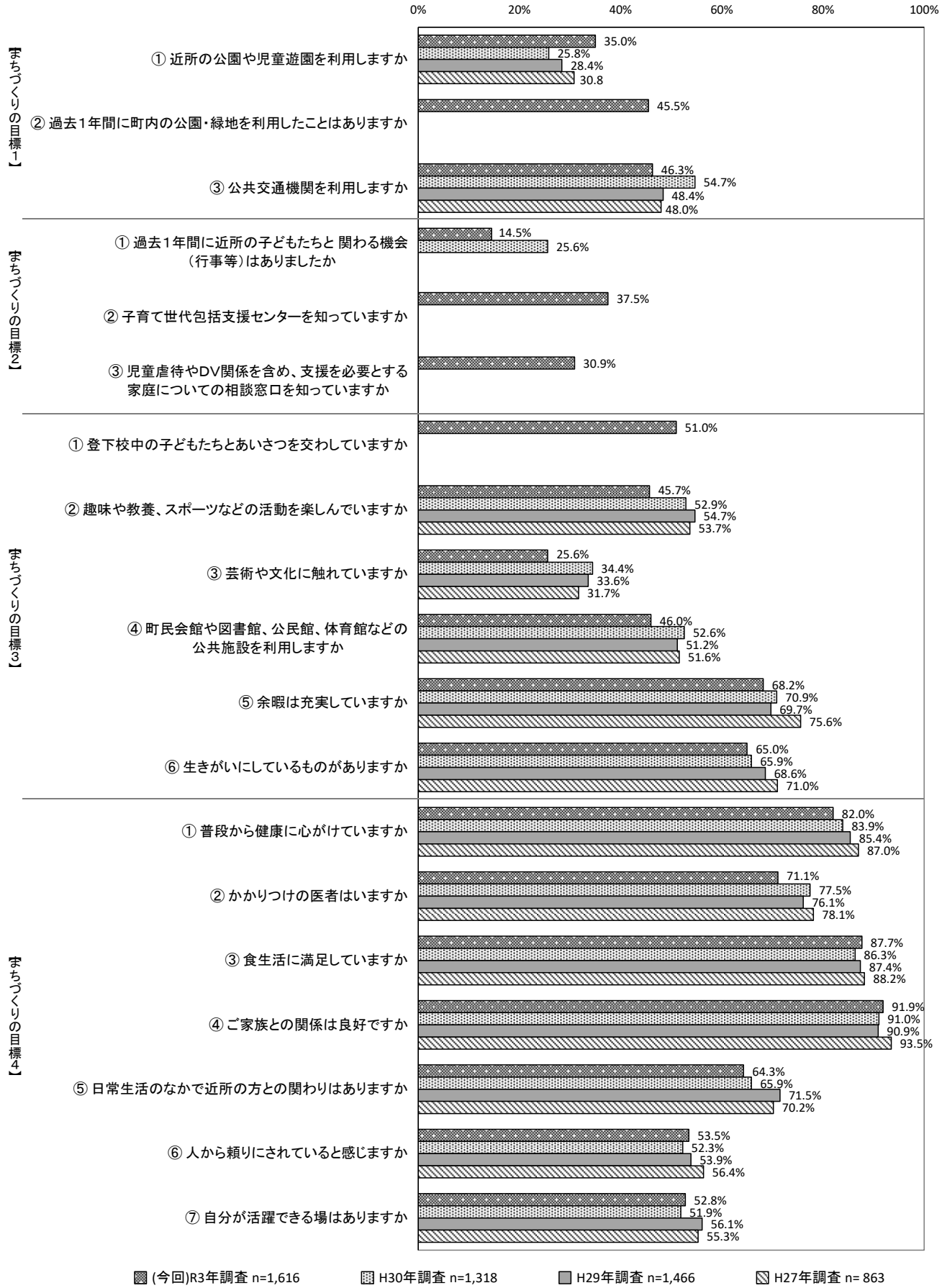
このほか、平成 30 年調査との比較で 10 ポイント以上減少しているものをみると、「他の世代の人や外国人と交流したりふれあうことはありますか」は 16.0 ポイントの減少、「過去１年間に近所の子どもたちと関わる機会（行事等）はありましたか」は 11.1 ポイントの減少となっています。この２項目に加え、5.0 ポイント以上減少している項目は、「ボランティア活動をしましたか」や「芸術や文化に触れていますか」など 12 項目を数え、新型コロナウイルス感染症拡大の影響も反映されていると思われます。

図表 1-3-3～36 に属性別、日常生活における意識・行動の結果をグラフに示します。

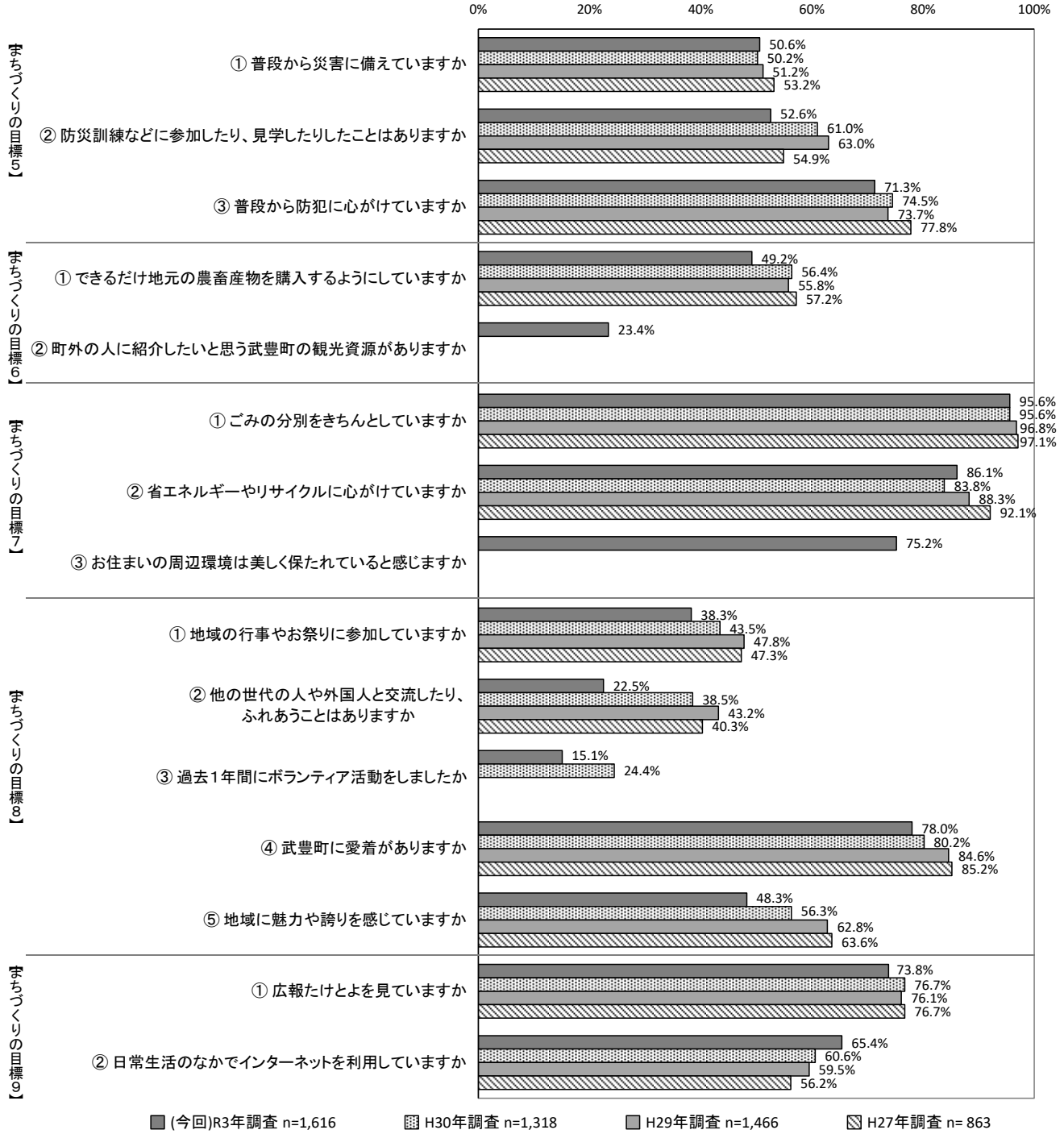
図表 1-3-1　日常生活における行動・意識



図表 1-3-2　日常生活における行動・意識（過去調査との比較）（１／２）



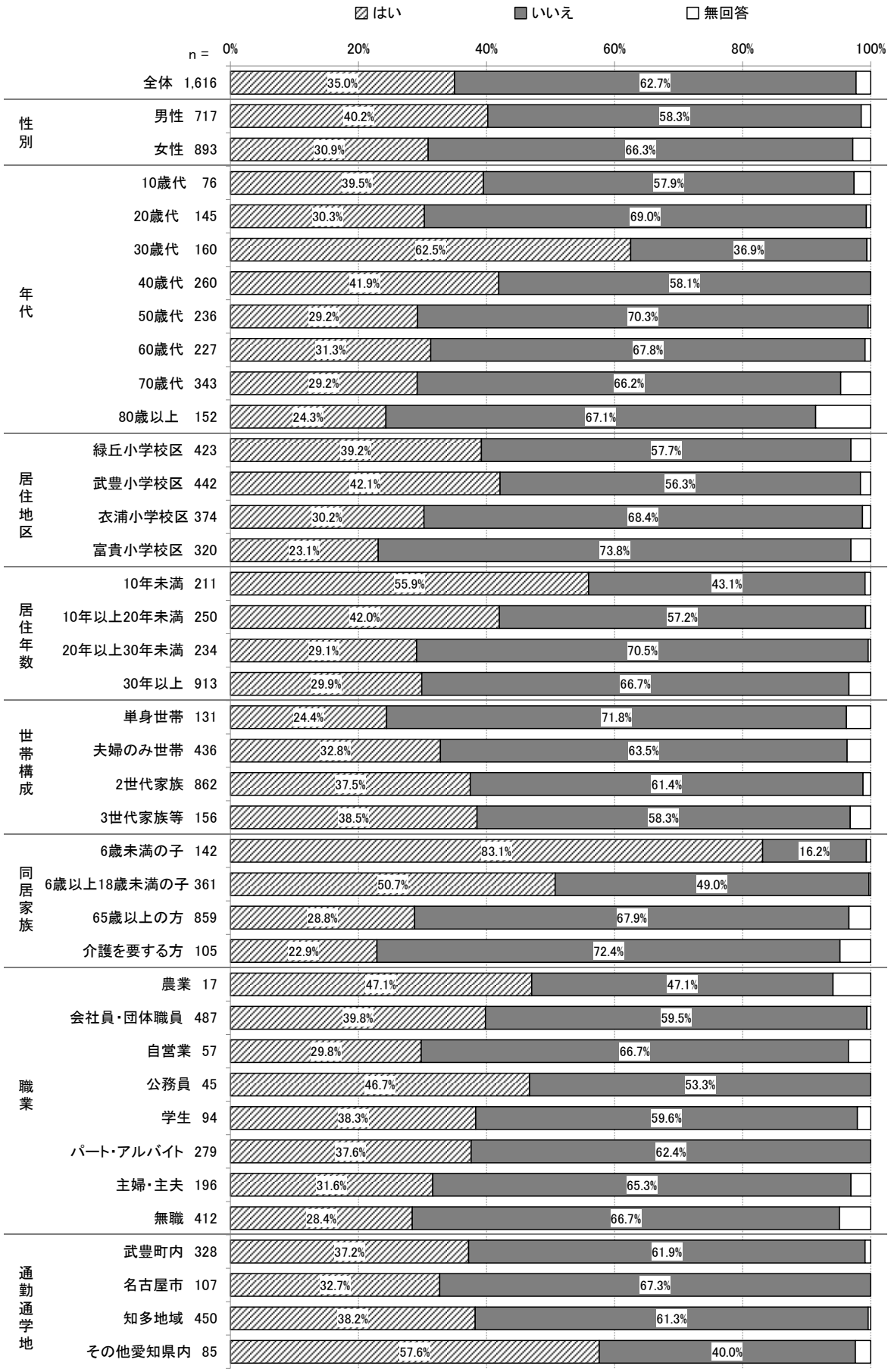
図表 1-3-2　日常生活における行動・意識（過去調査との比較）（２／２）



図表 1-3-3　属性別、日常生活における行動・意識

まちづくりの目標１　定住先として選択されるまち［都市環境］

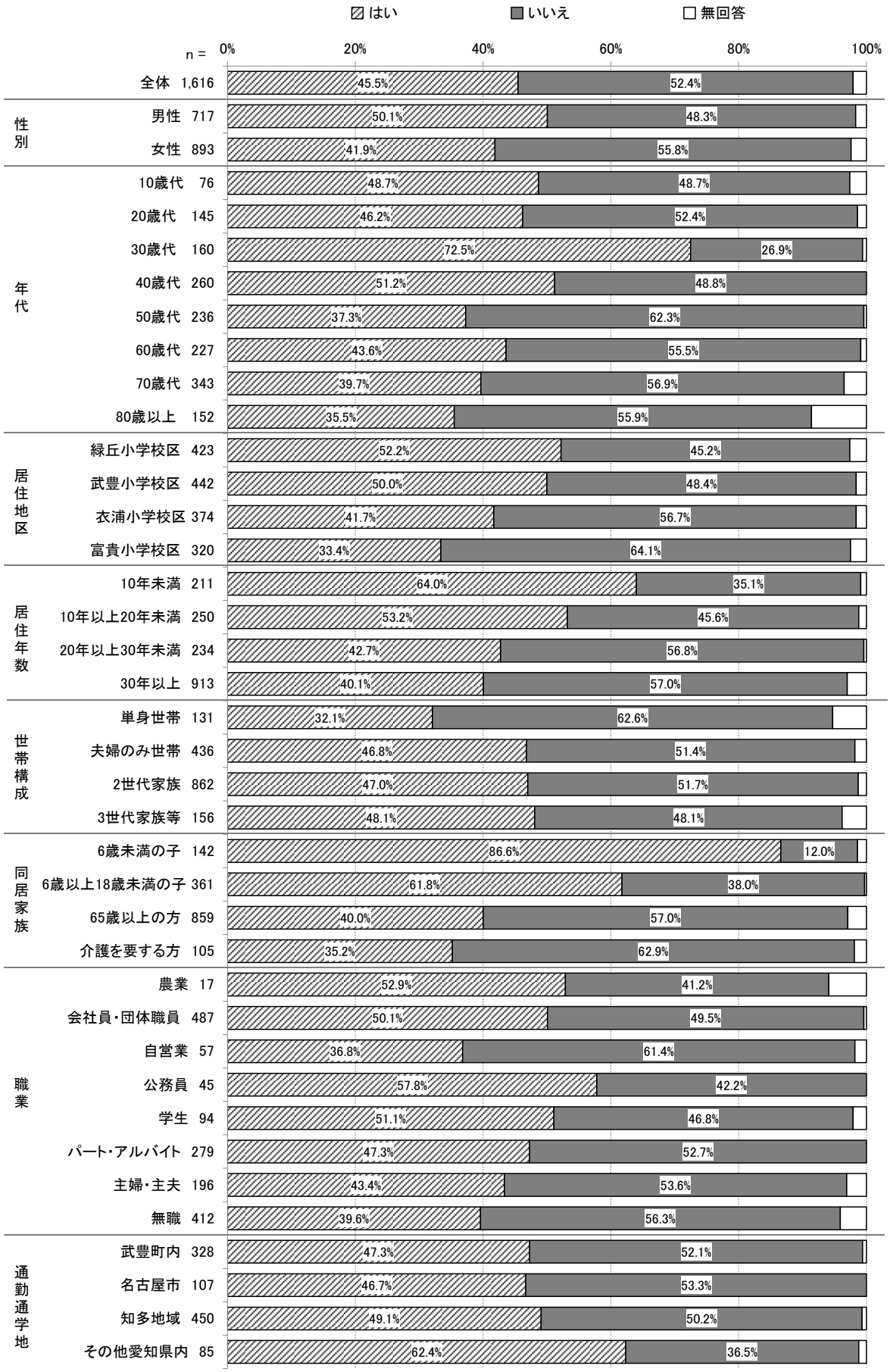
①近所の公園や児童遊園を利用しますか？



図表 1-3-4　属性別、日常生活における行動・意識

まちづくりの目標１　定住先として選択されるまち［都市環境］

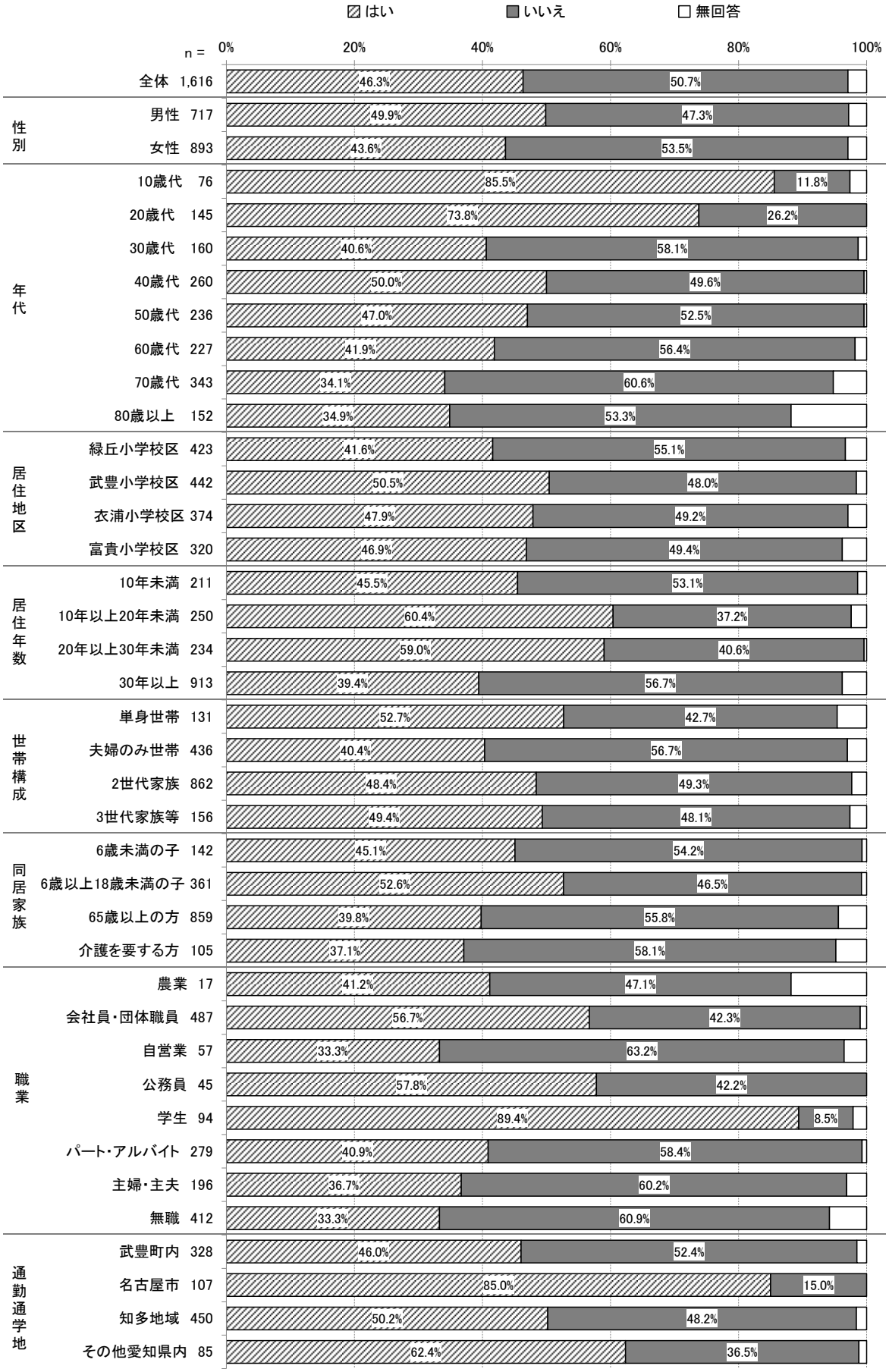
②過去１年間に町内の公園・緑地を利用したことはありますか？



図表 1-3-5　属性別、日常生活における行動・意識

まちづくりの目標１　定住先として選択されるまち［都市環境］

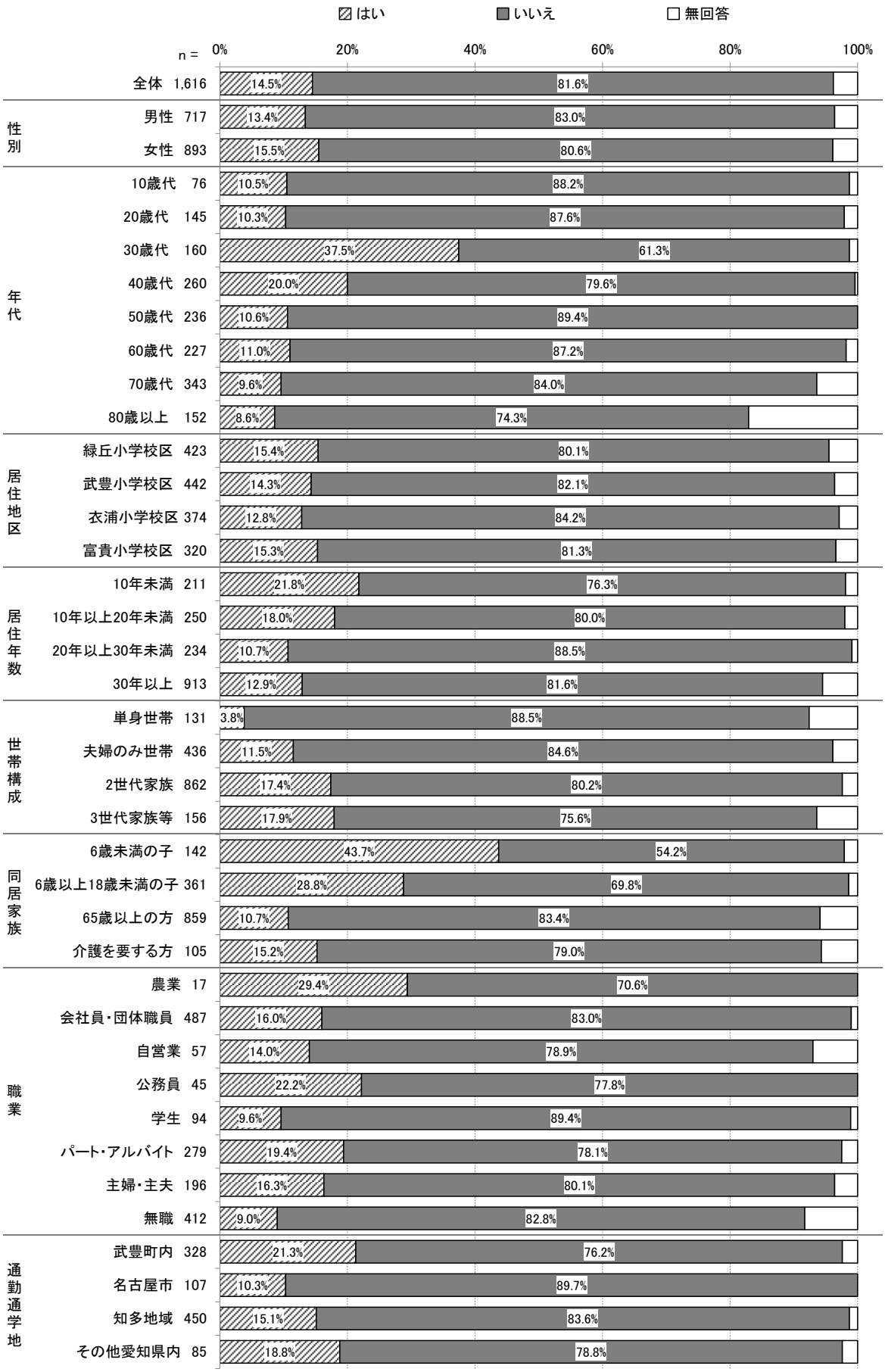
③公共交通機関を利用しますか？



図表 1-3-6　属性別、日常生活における行動・意識

まちづくりの目標２　安全して子どもを産み育てることができるまち［子ども］

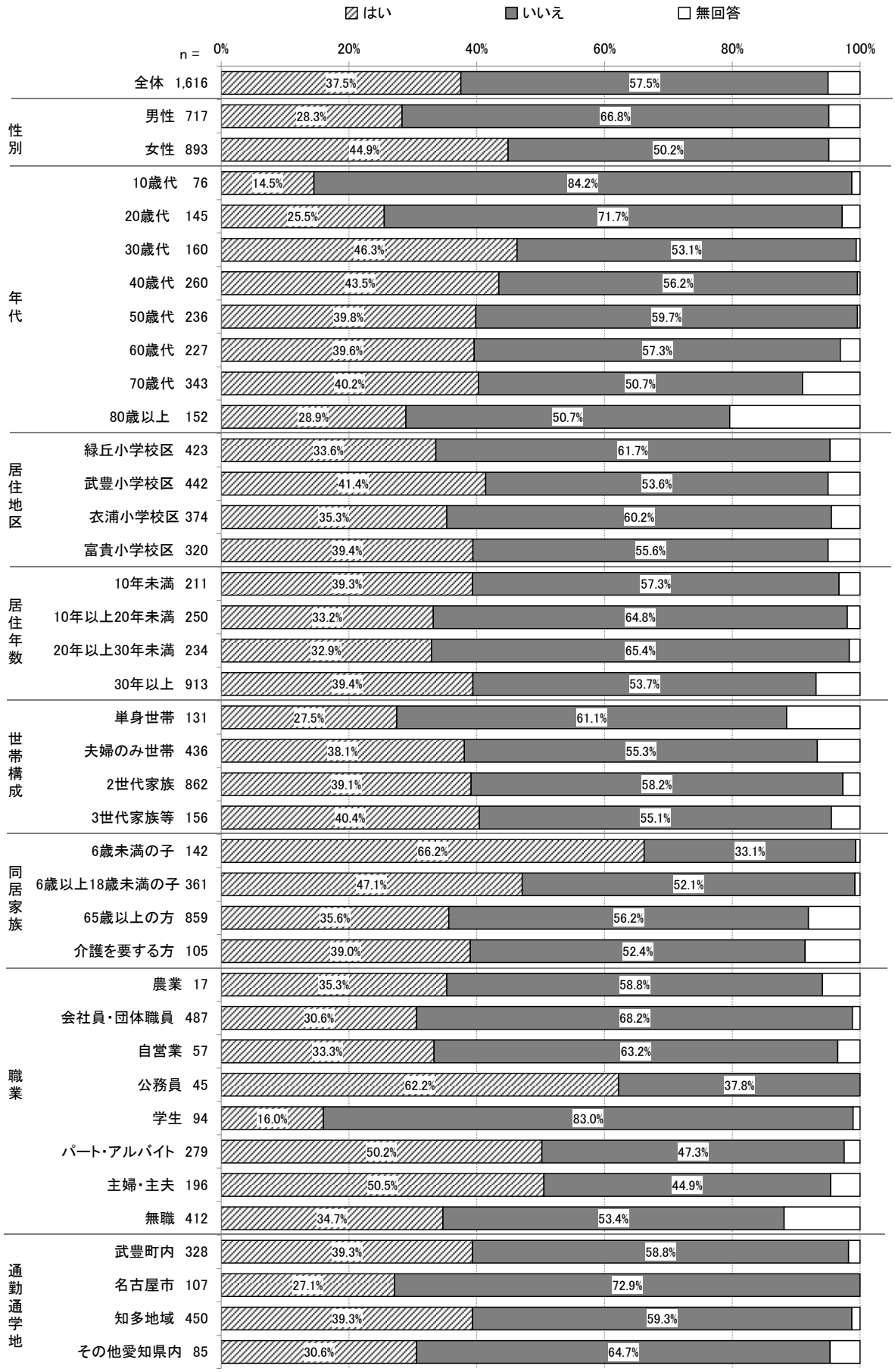
①過去１年間に近所の子どもたちと関わる機会（行事等）はありましたか？



図表 1-3-7　属性別、日常生活における行動・意識

まちづくりの目標２　安全して子どもを産み育てることができるまち［子ども］

②子育て世代包括支援センター※1を知っていますか？

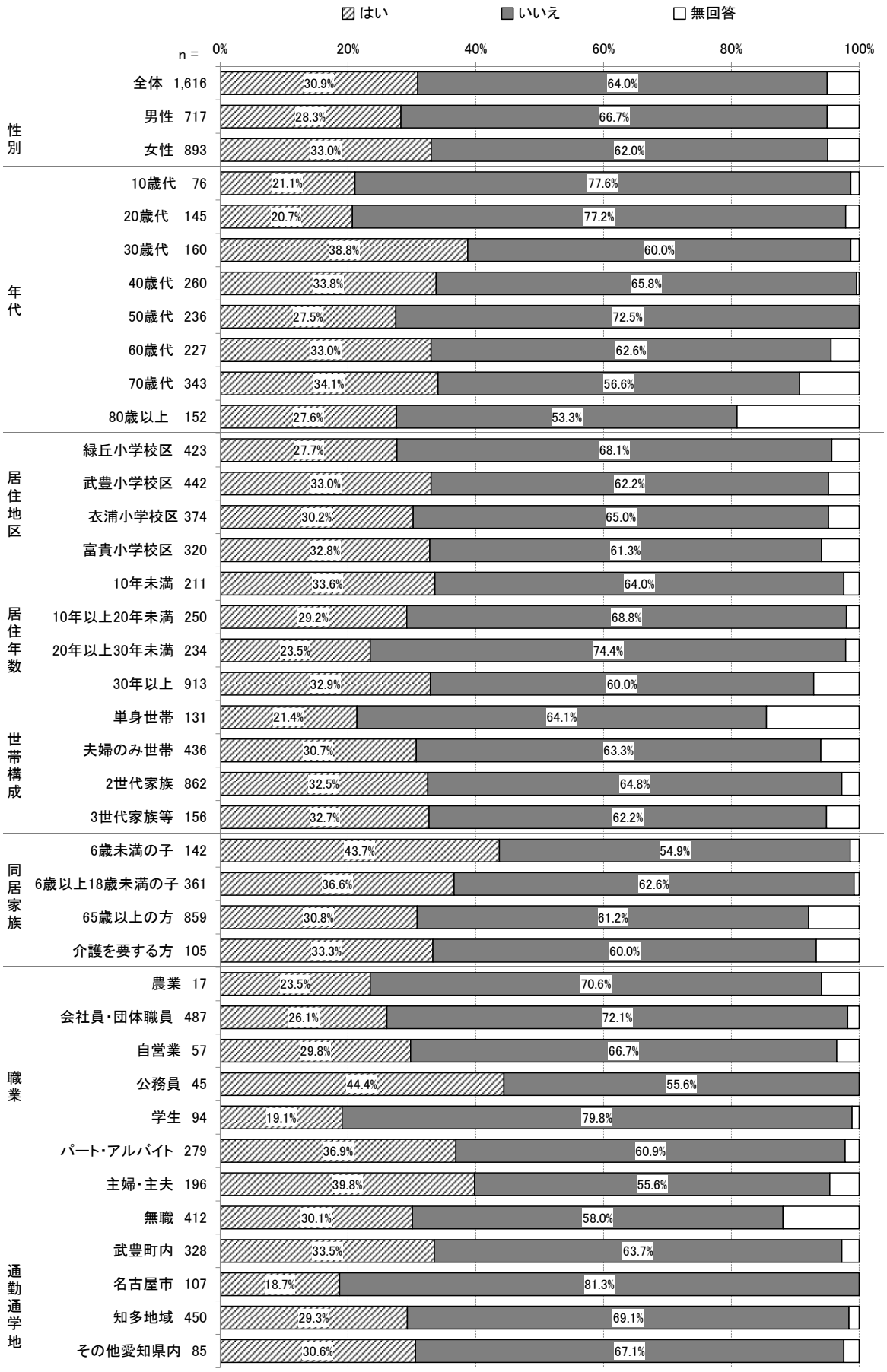


※１：妊娠・出産・子育てに関する各相談に応じ、母子保健施策と子育て施策との包括的な支援を行うことにより、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を提供するものです。

図表 1-3-8　属性別、日常生活における行動・意識

まちづくりの目標２　安全して子どもを産み育てることができるまち［子ども］

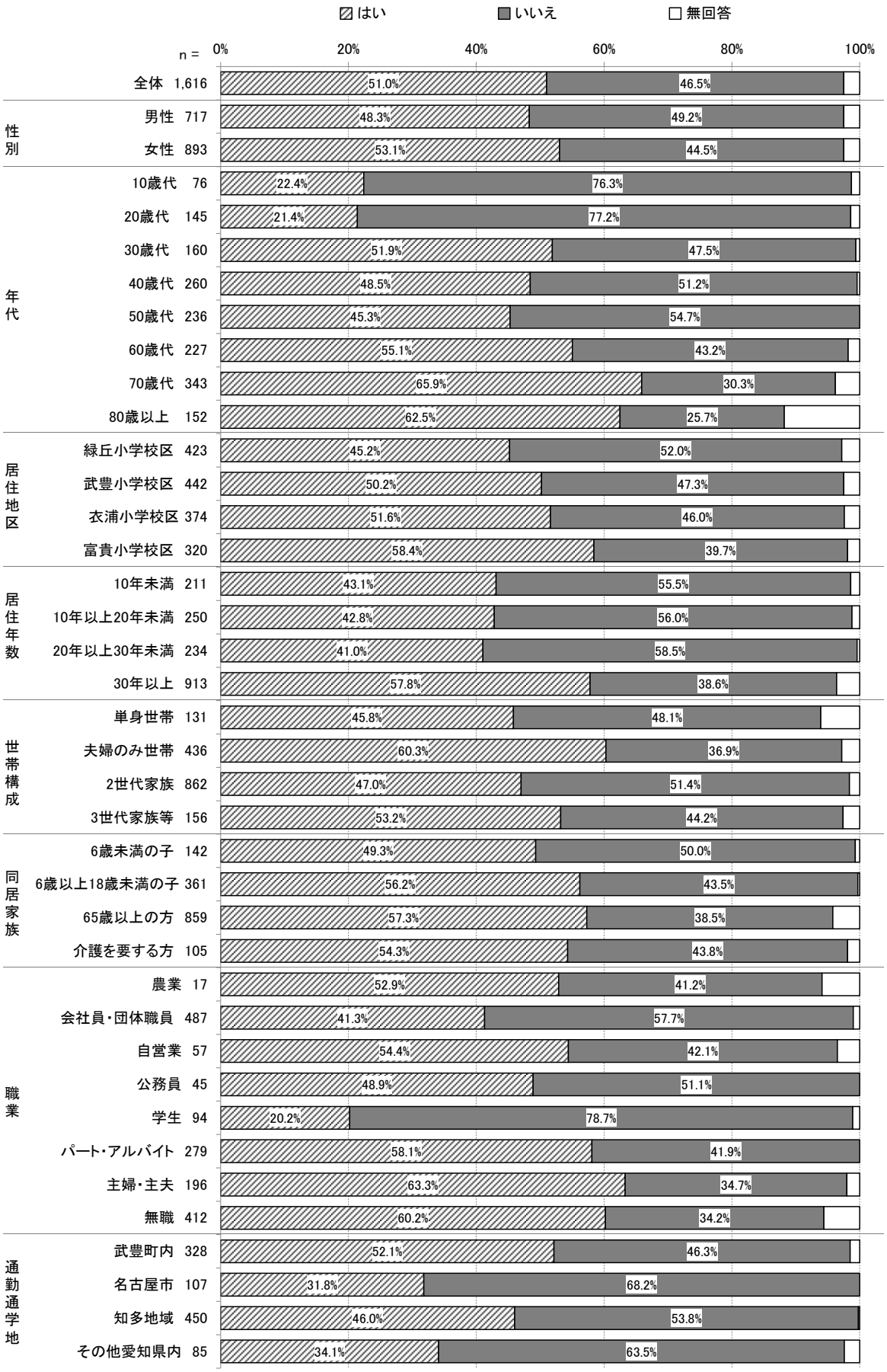
③児童虐待やＤＶ関係を含め、支援を必要とする家庭についての相談窓口を知っていますか？



図表 1-3-9　属性別、日常生活における行動・意識

まちづくりの目標３　楽しく学び、いきいきとした生活ができるまち［学び］

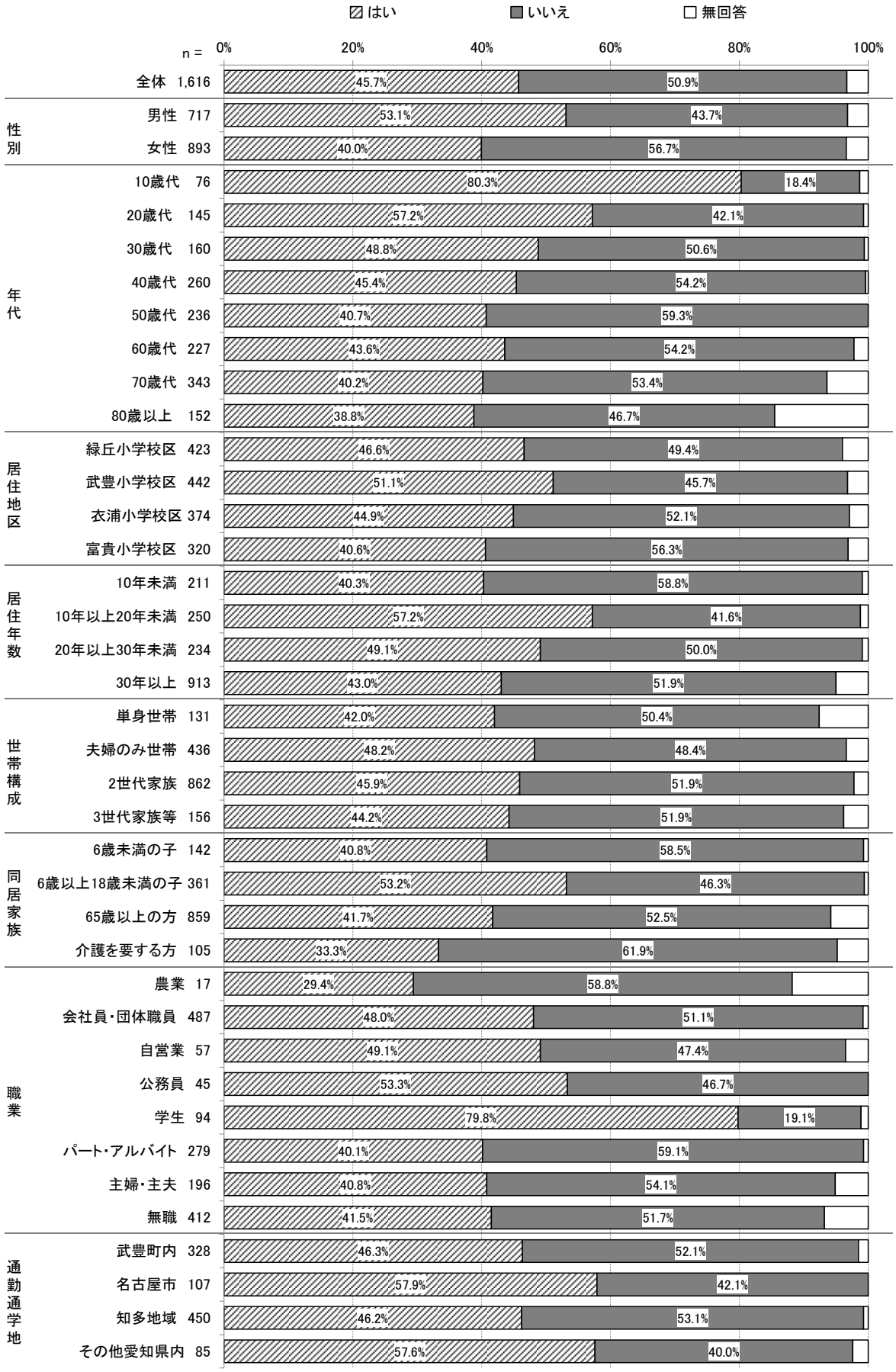
①登下校中の子どもたちとあいさつを交わしていますか？



図表 1-3-10　属性別、日常生活における行動・意識

まちづくりの目標３　楽しく学び、いきいきとした生活ができるまち［学び］

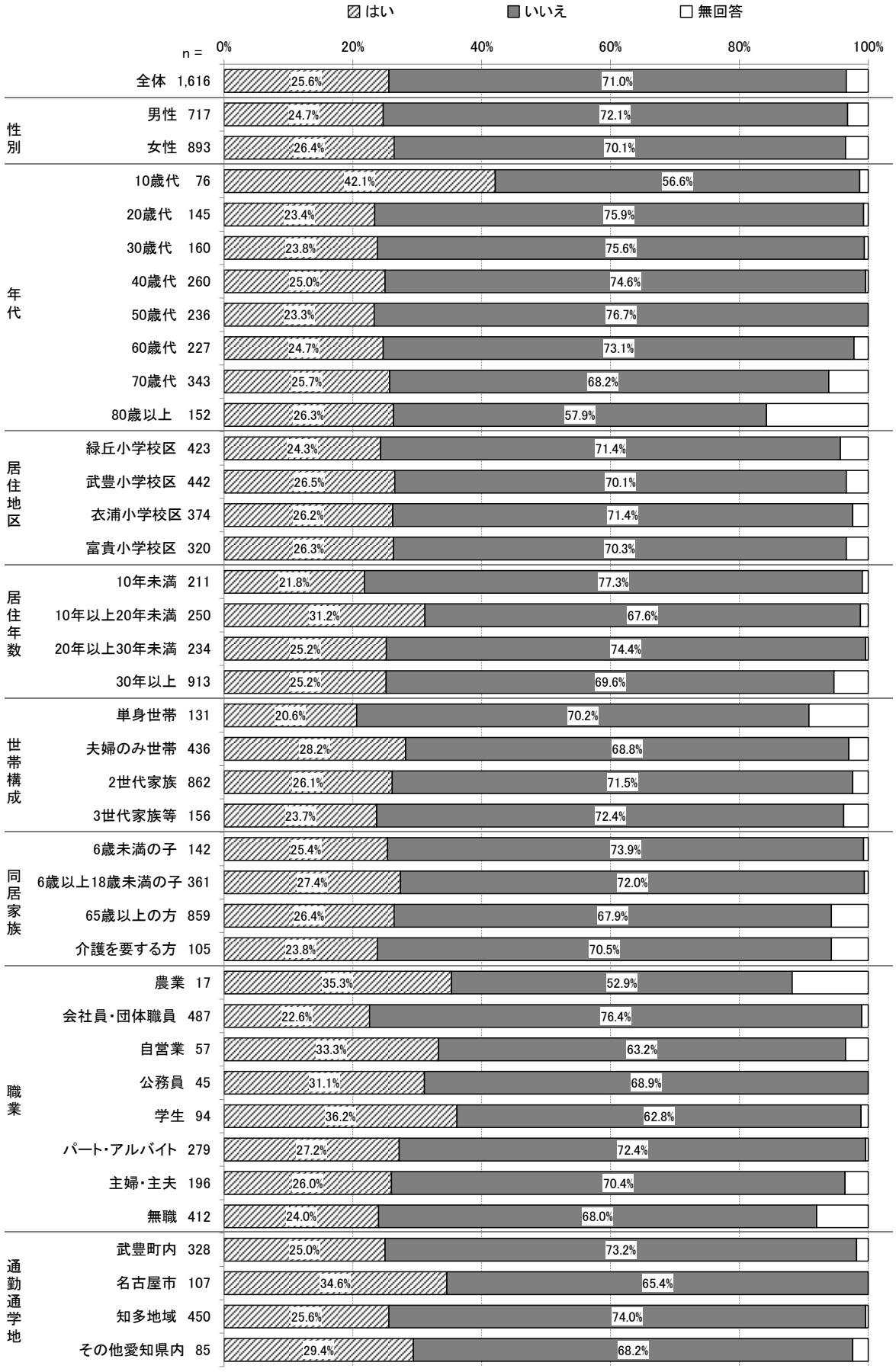
②趣味や教養、スポーツなどの活動を楽しんでいますか？



図表 1-3-11　属性別、日常生活における行動・意識

まちづくりの目標３　楽しく学び、いきいきとした生活ができるまち［学び］

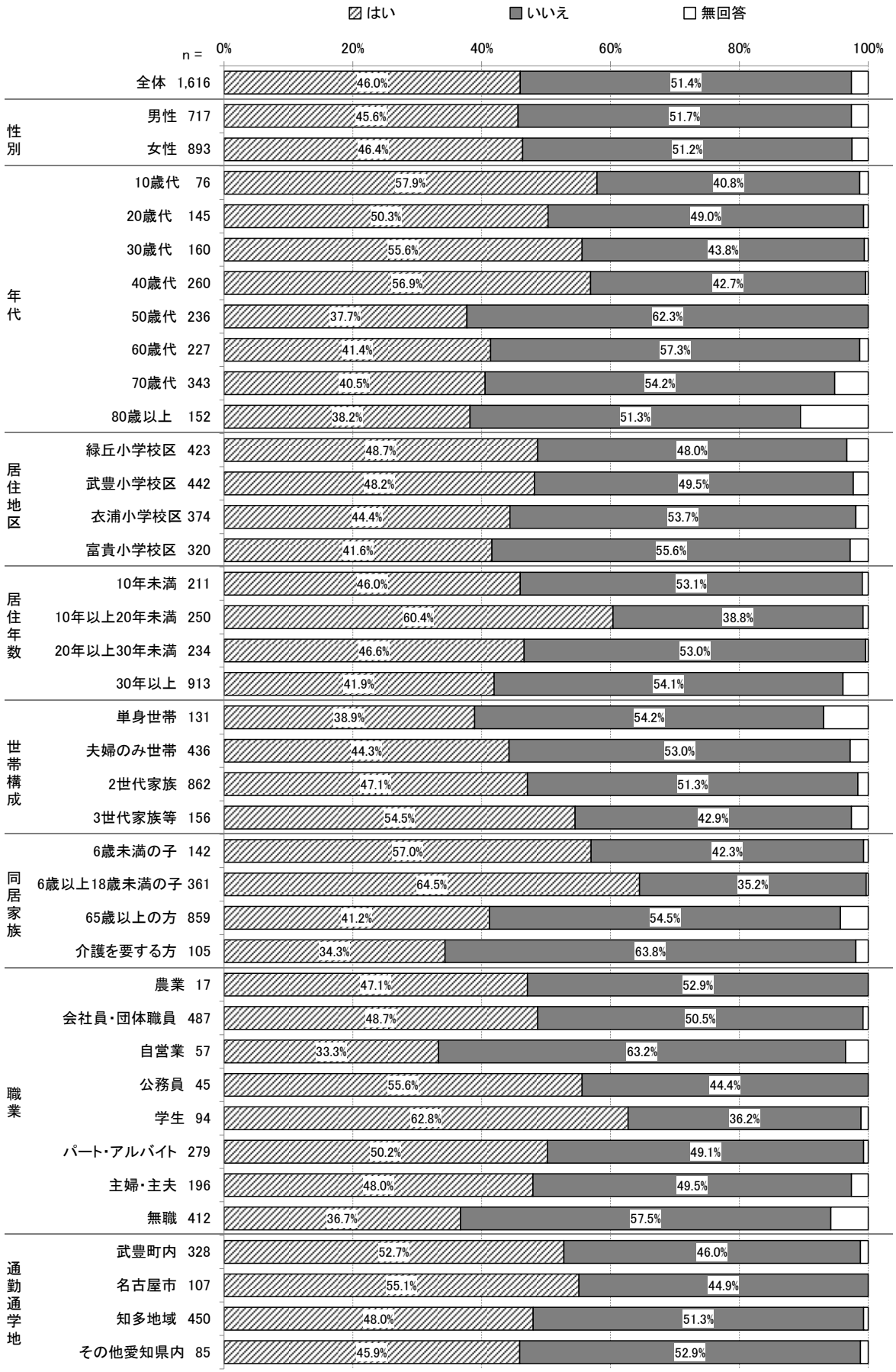
③芸術や文化に触れていますか？



図表 1-3-12　属性別、日常生活における行動・意識

まちづくりの目標３　楽しく学び、いきいきとした生活ができるまち［学び］

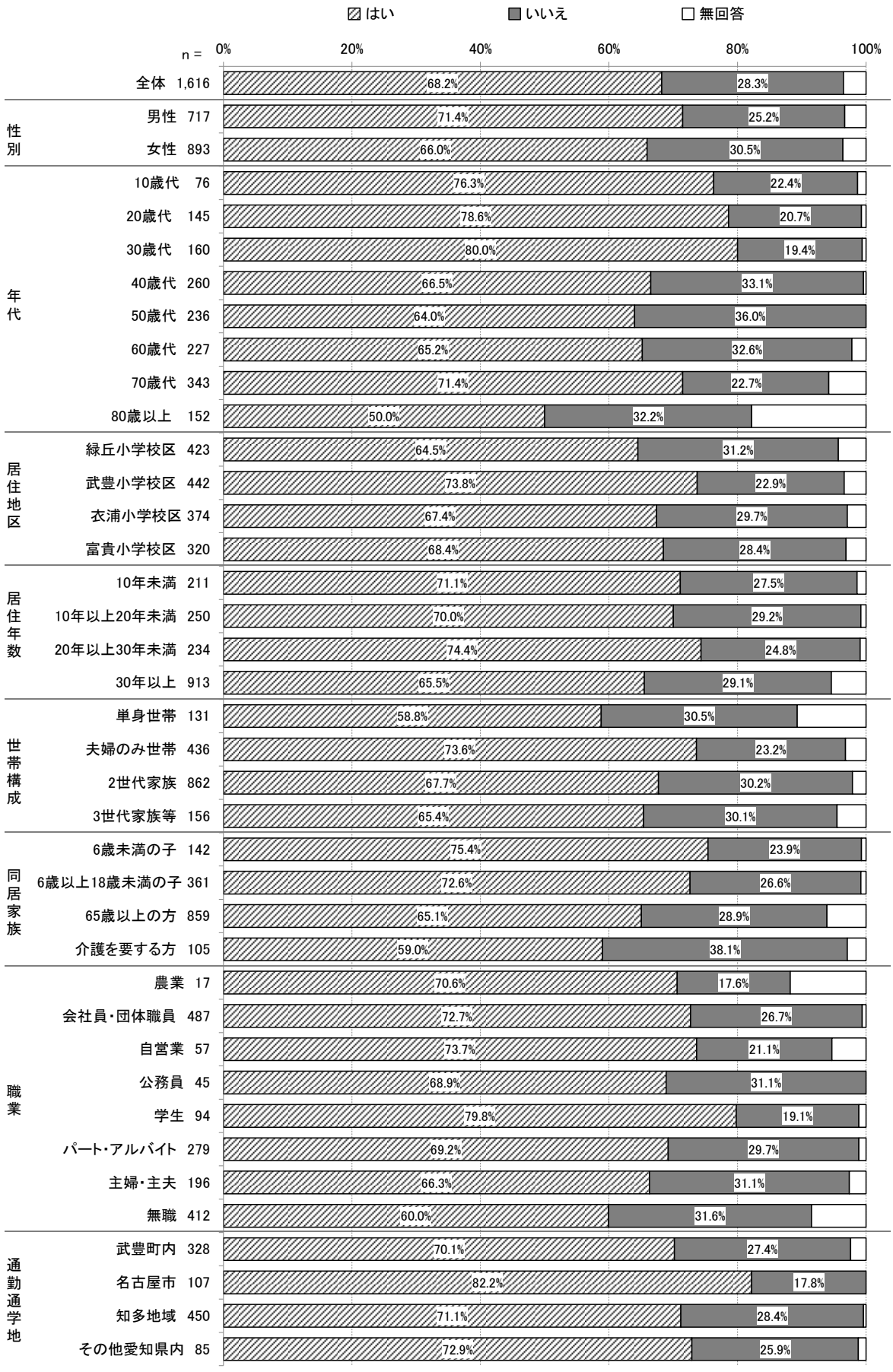
④町民会館や図書館、公民館、体育館などの公共施設を利用しますか？



図表 1-3-13　属性別、日常生活における行動・意識

まちづくりの目標３　楽しく学び、いきいきとした生活ができるまち［学び］

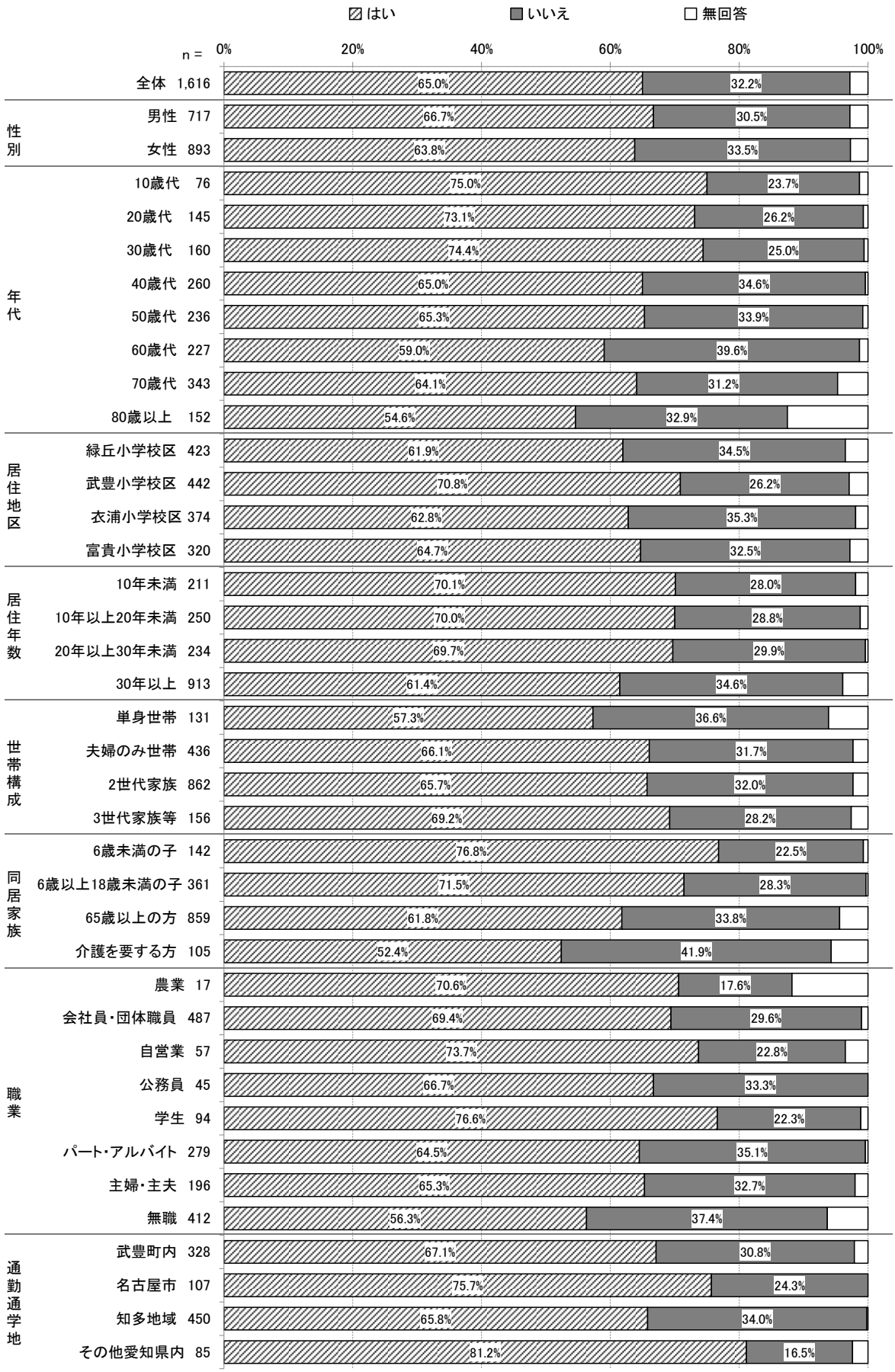
⑤余暇は充実していますか？



図表 1-3-14　属性別、日常生活における行動・意識

まちづくりの目標３　楽しく学び、いきいきとした生活ができるまち［学び］

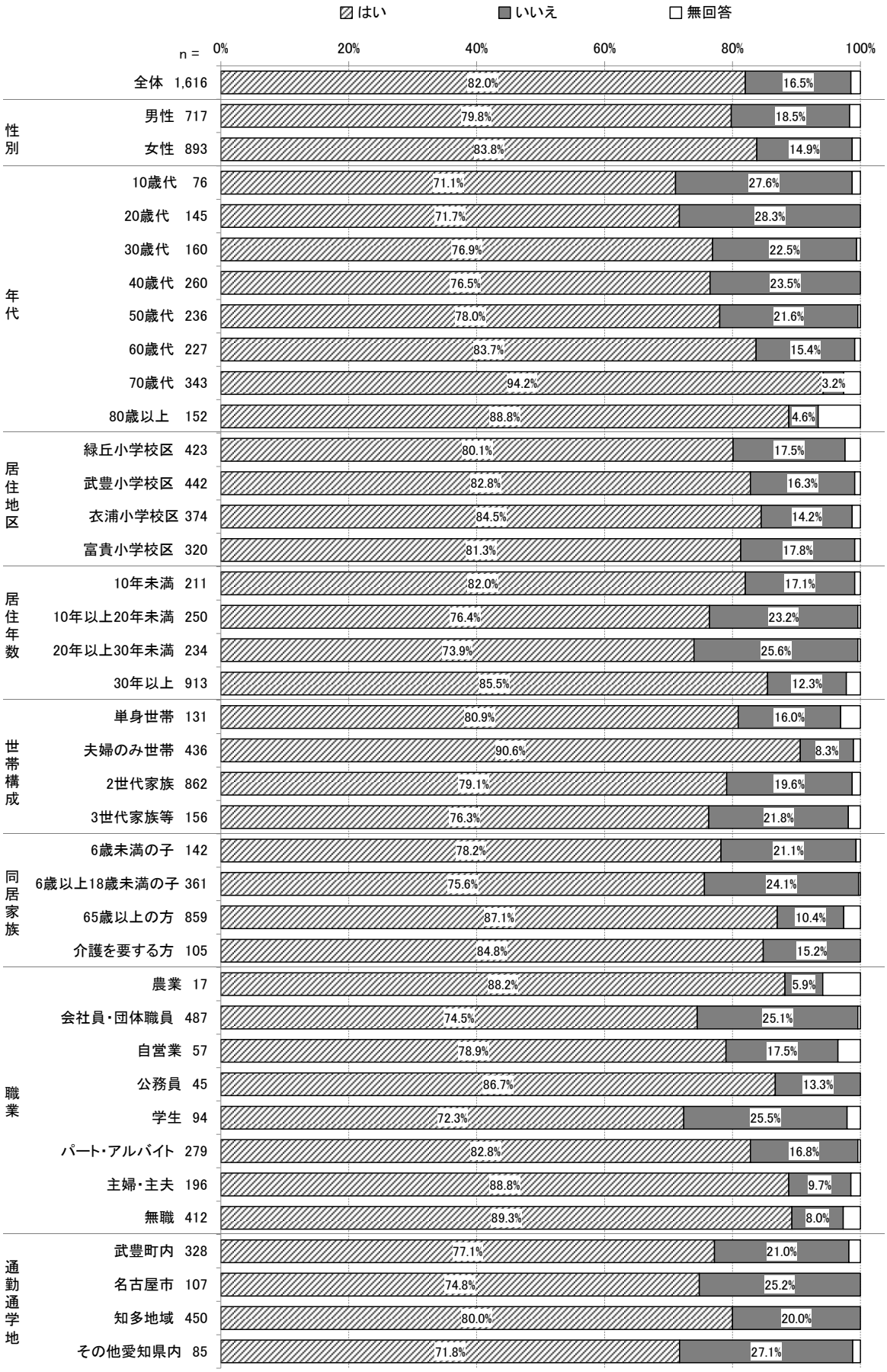
⑥生きがいにしているものはありますか？



図表 1-3-15　属性別、日常生活における行動・意識

まちづくりの目標４　人と人がつながり、互いに支え合い　健康で安心して暮らせるまち［健康・福祉］

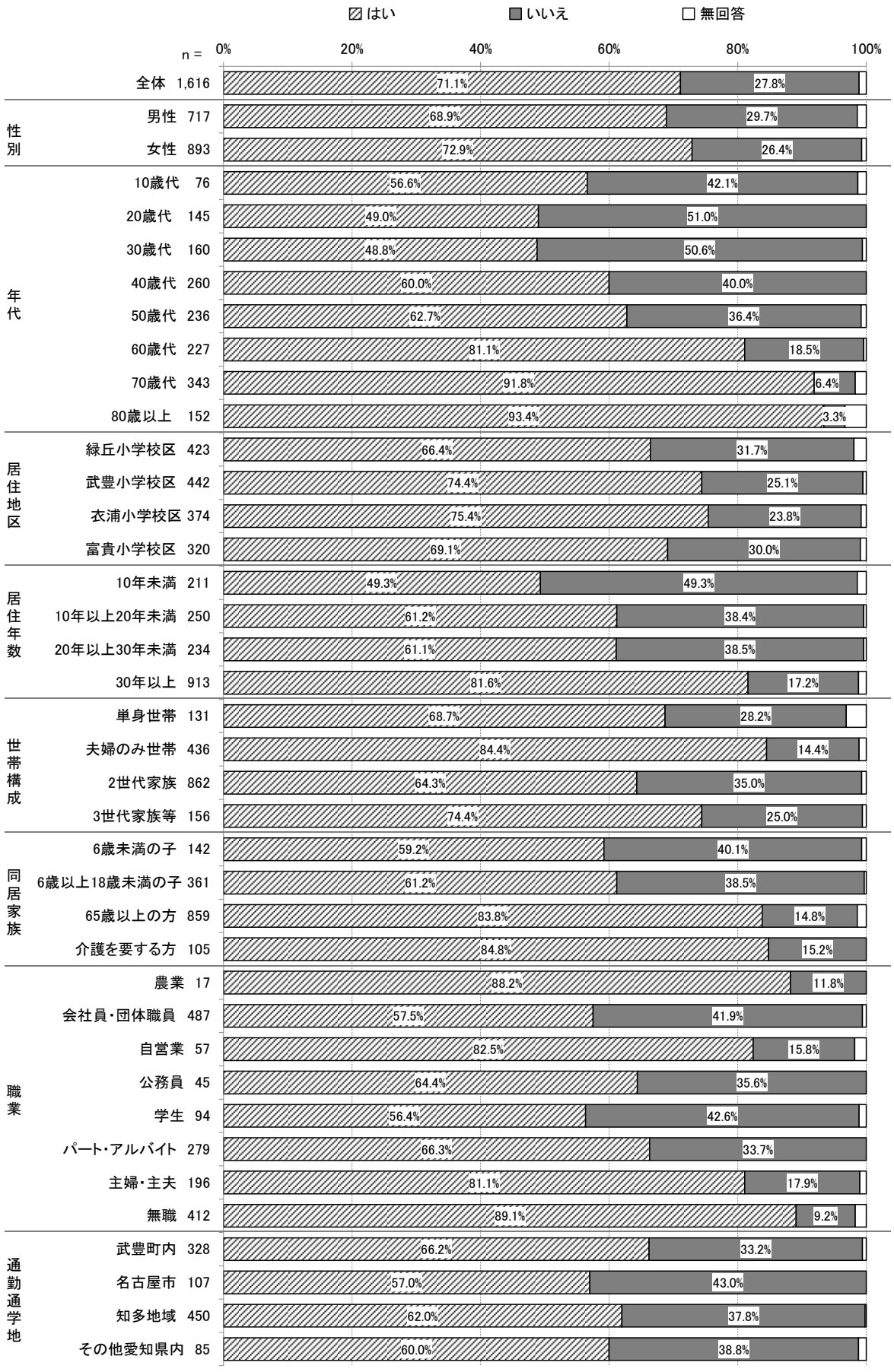
①普段から健康に心がけていますか？



図表 1-3-16　属性別、日常生活における行動・意識

まちづくりの目標４　人と人がつながり、互いに支え合い　健康で安心して暮らせるまち［健康・福祉］

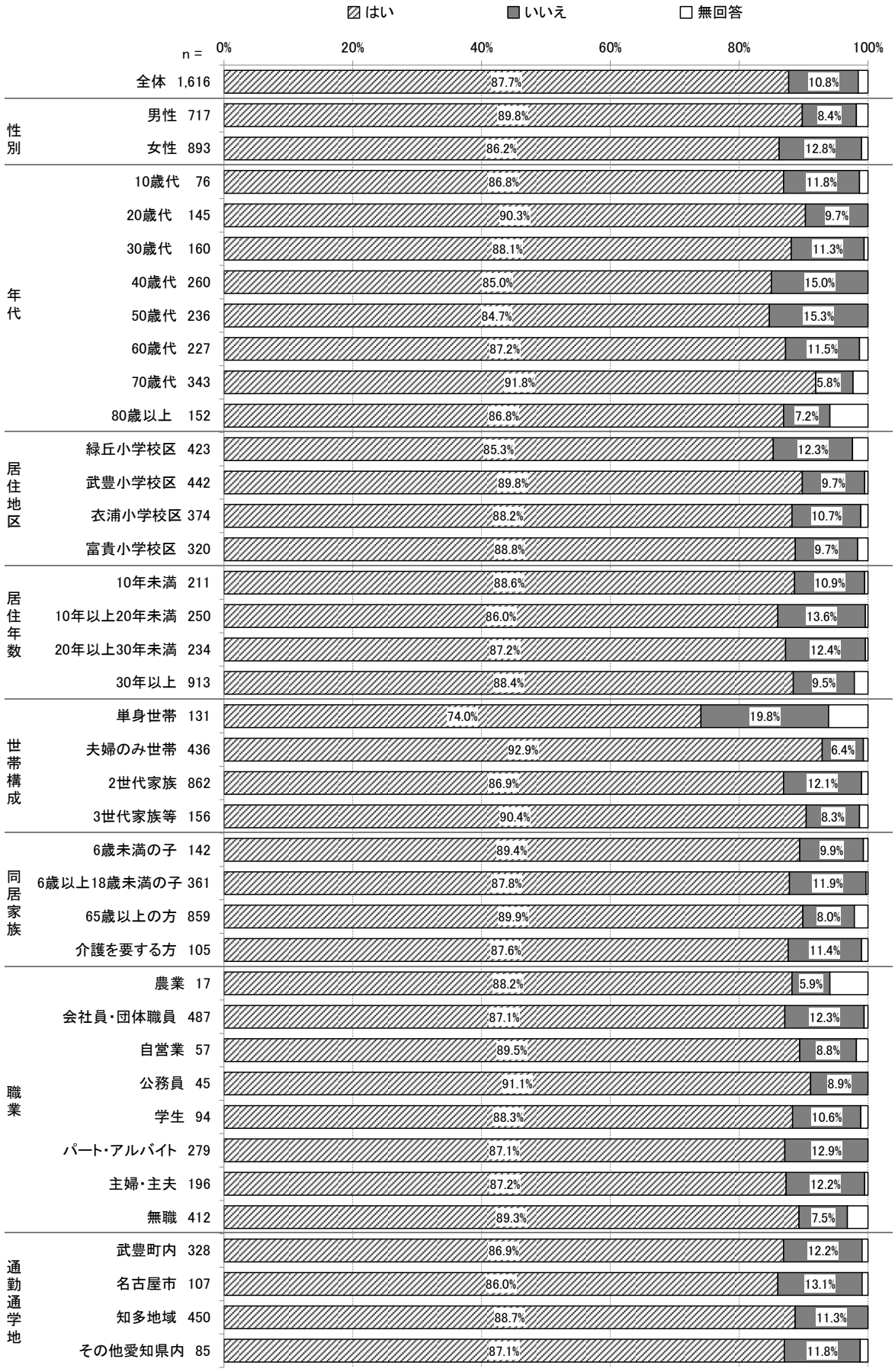
②かかりつけの医者はいますか？



図表 1-3-17　属性別、日常生活における行動・意識

まちづくりの目標４　人と人がつながり、互いに支え合い　健康で安心して暮らせるまち［健康・福祉］

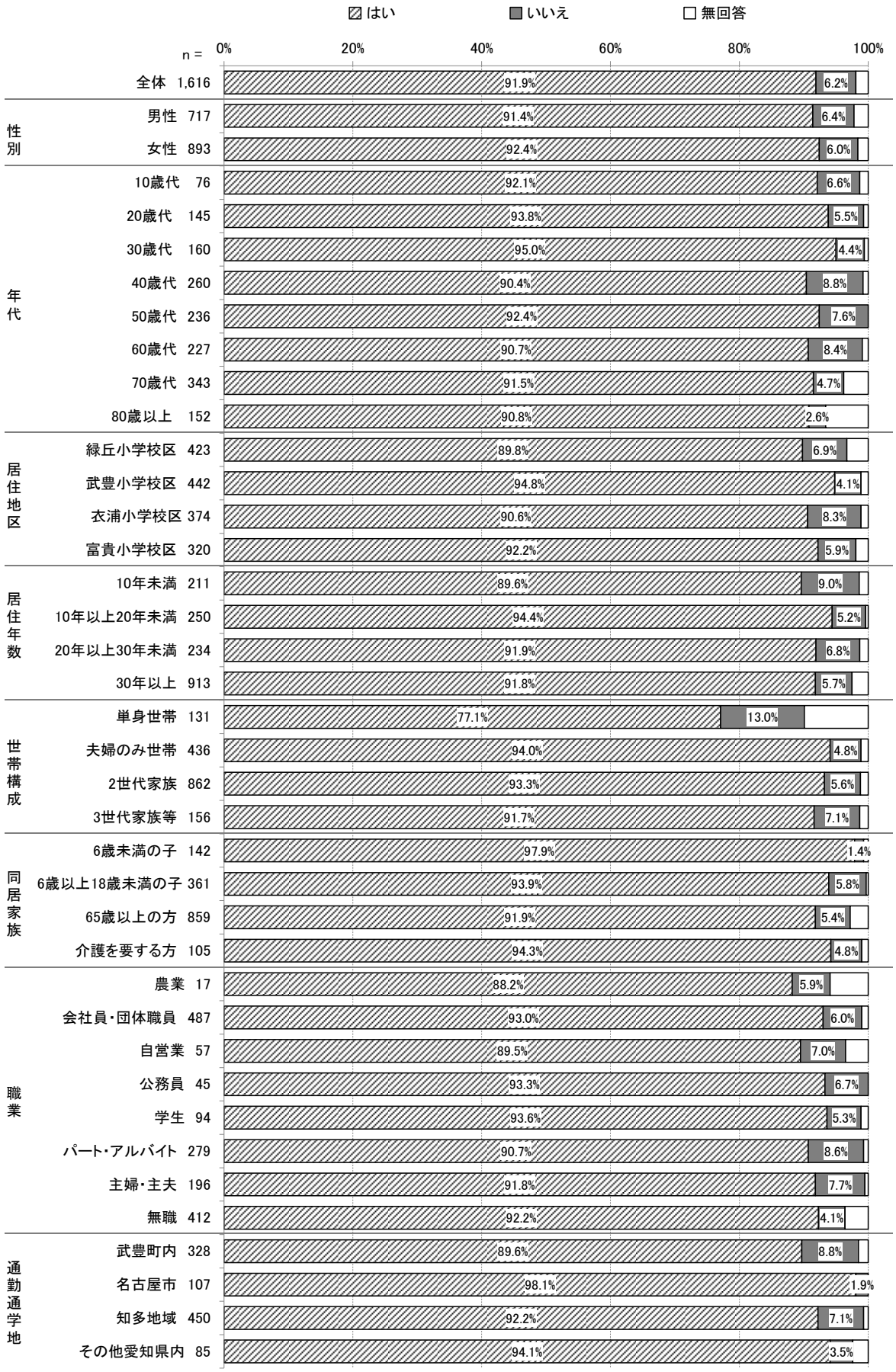
③食生活に満足していますか？



図表 1-3-18　属性別、日常生活における行動・意識

まちづくりの目標４　人と人がつながり、互いに支え合い　健康で安心して暮らせるまち［健康・福祉］

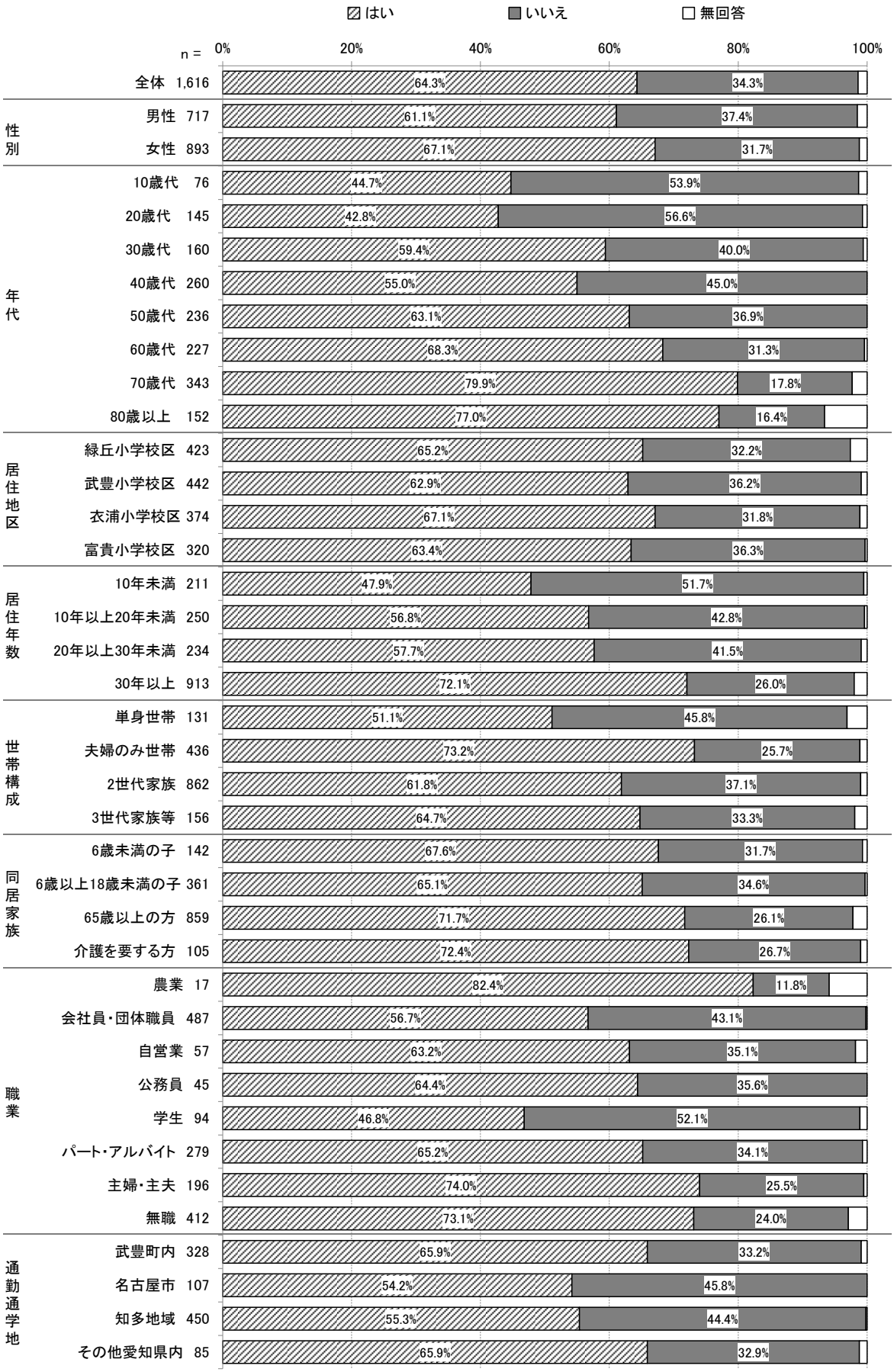
④ご家族との関係は良好ですか？



図表 1-3-19　属性別、日常生活における行動・意識

まちづくりの目標４　人と人がつながり、互いに支え合い　健康で安心して暮らせるまち［健康・福祉］

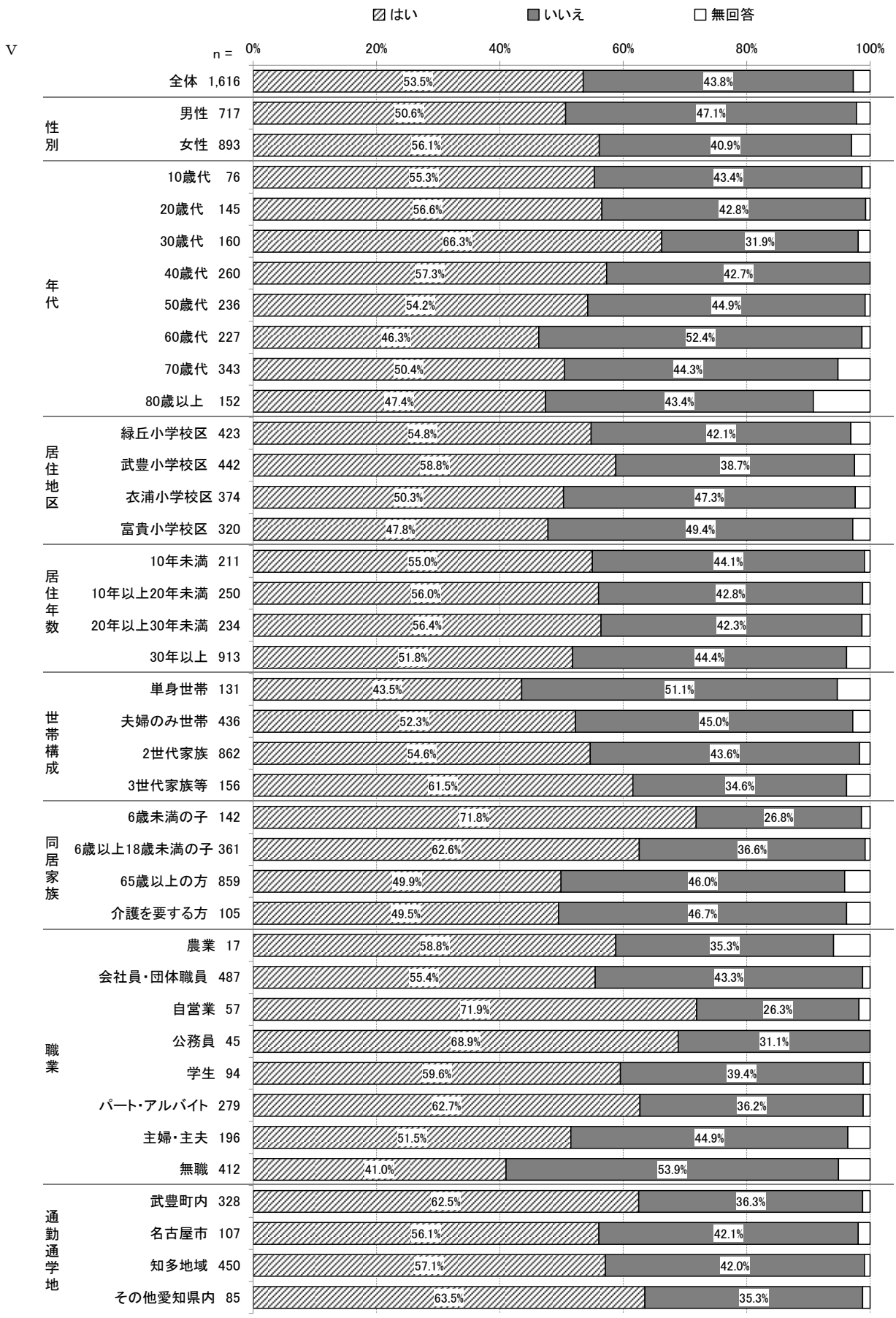
⑤日常生活のなかで近所の方との関わりはありますか？



図表 1-3-20　属性別、日常生活における行動・意識

まちづくりの目標４　人と人がつながり、互いに支え合い　健康で安心して暮らせるまち［健康・福祉］

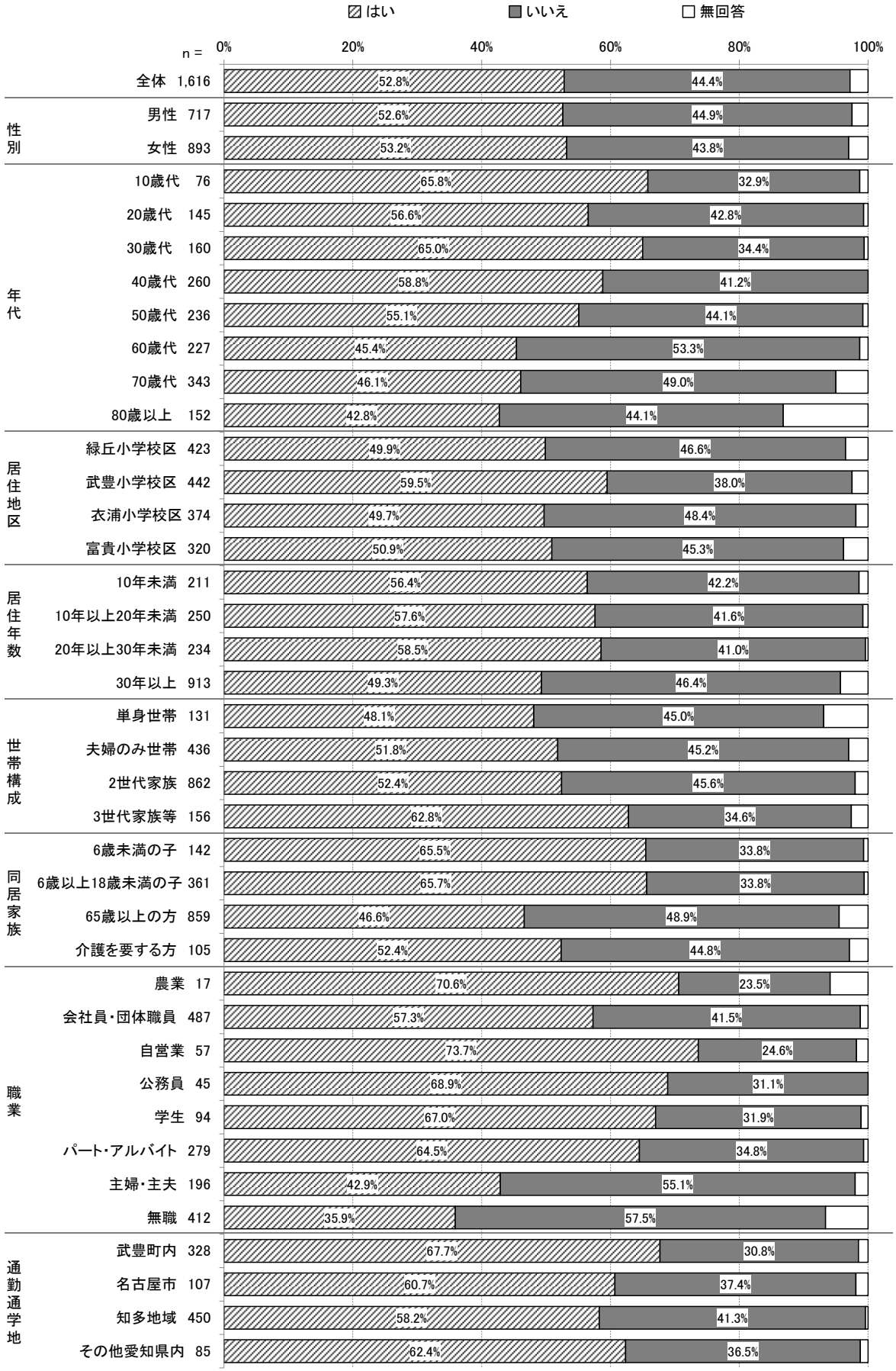
⑥人から頼りにされていると感じますか



図表 1-3-21　属性別、日常生活における行動・意識

まちづくりの目標４　人と人がつながり、互いに支え合い　健康で安心して暮らせるまち［健康・福祉］

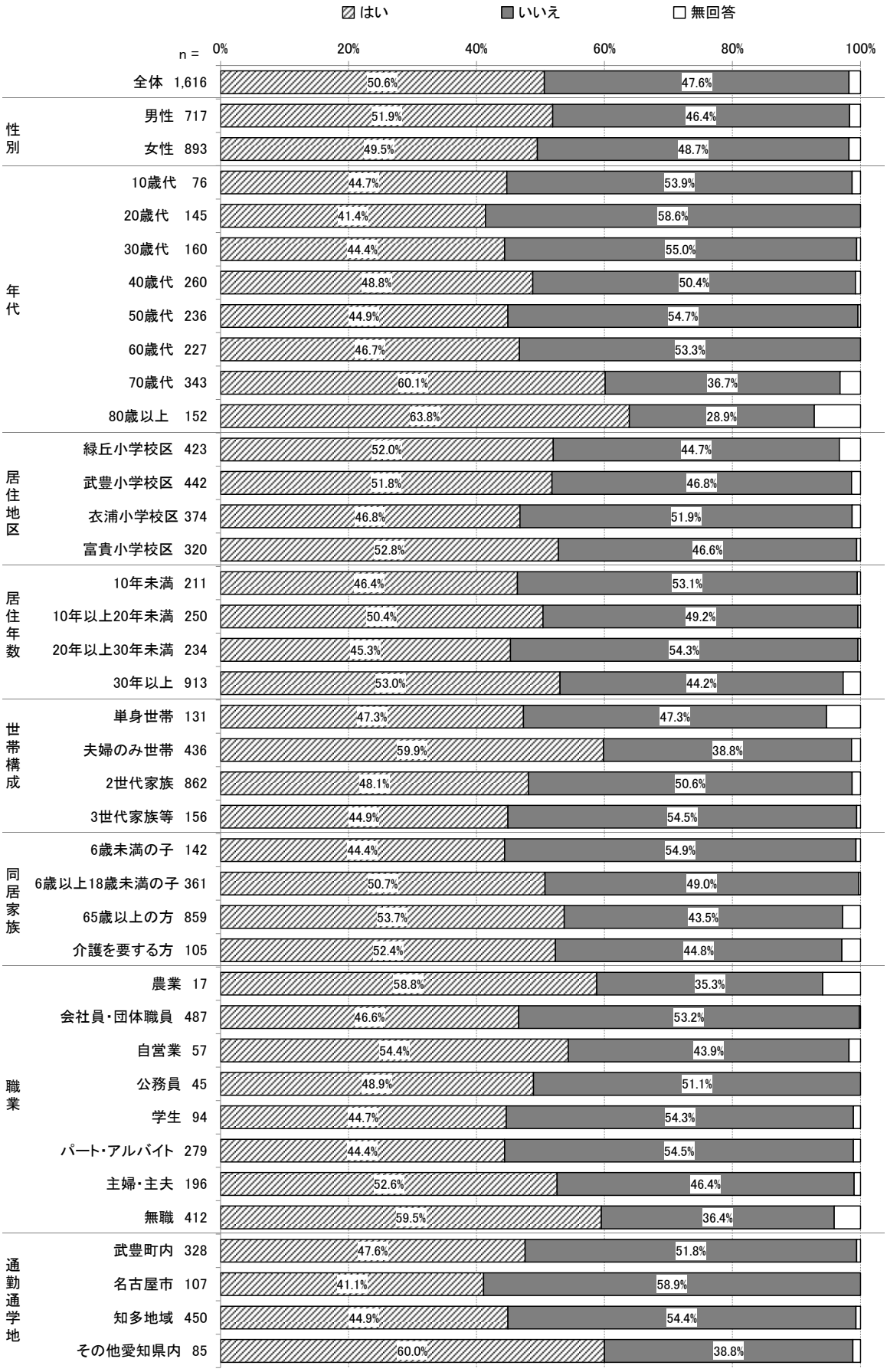
⑦自分が活躍できる場はありますか？



図表 1-3-22　属性別、日常生活における行動・意識

まちづくりの目標５　災害に強く、安全・安心に暮らせるまち［安全・安心］

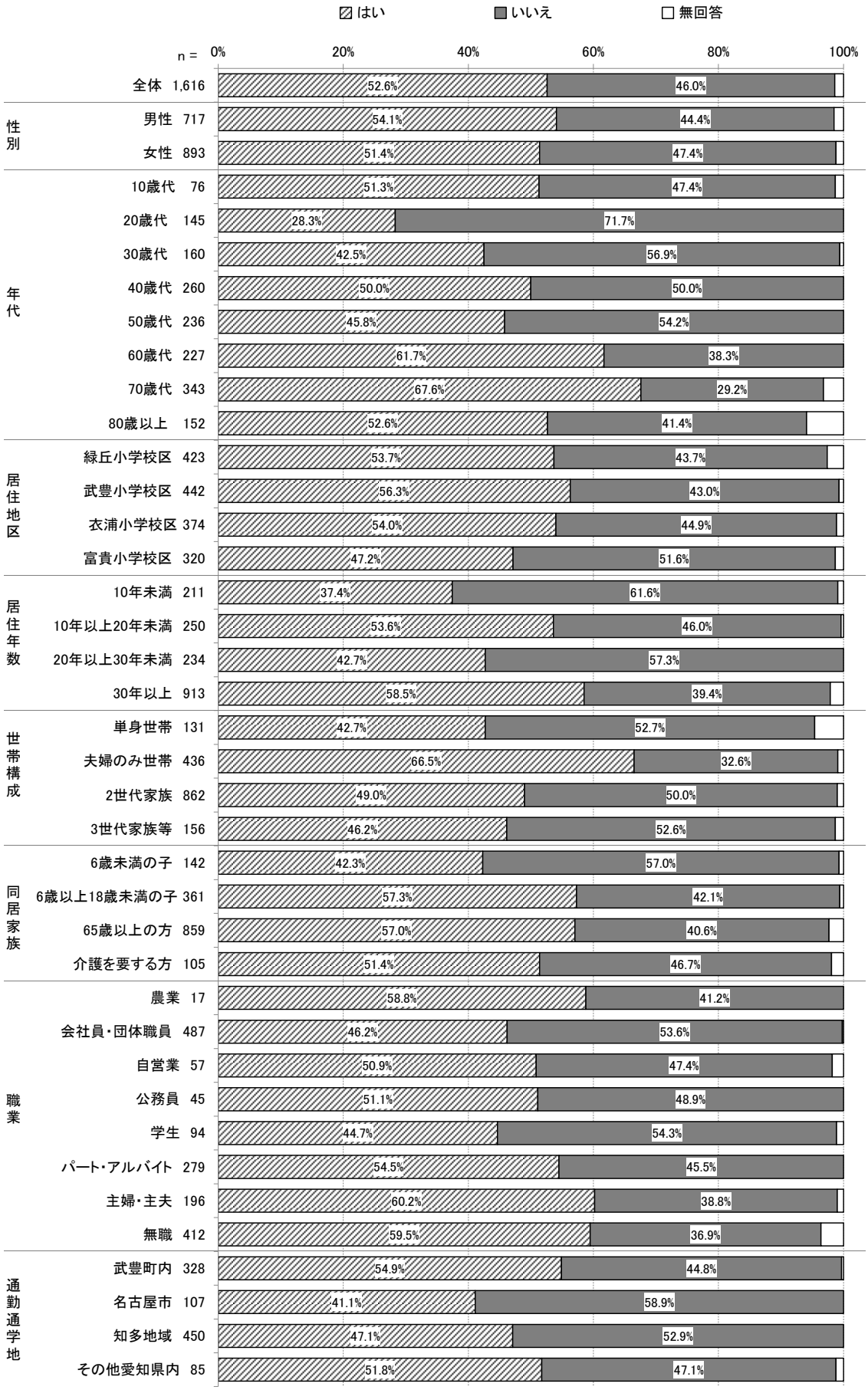
①普段から災害に備えていますか？



図表 1-3-23　属性別、日常生活における行動・意識

まちづくりの目標５　災害に強く、安全・安心に暮らせるまち［安全・安心］

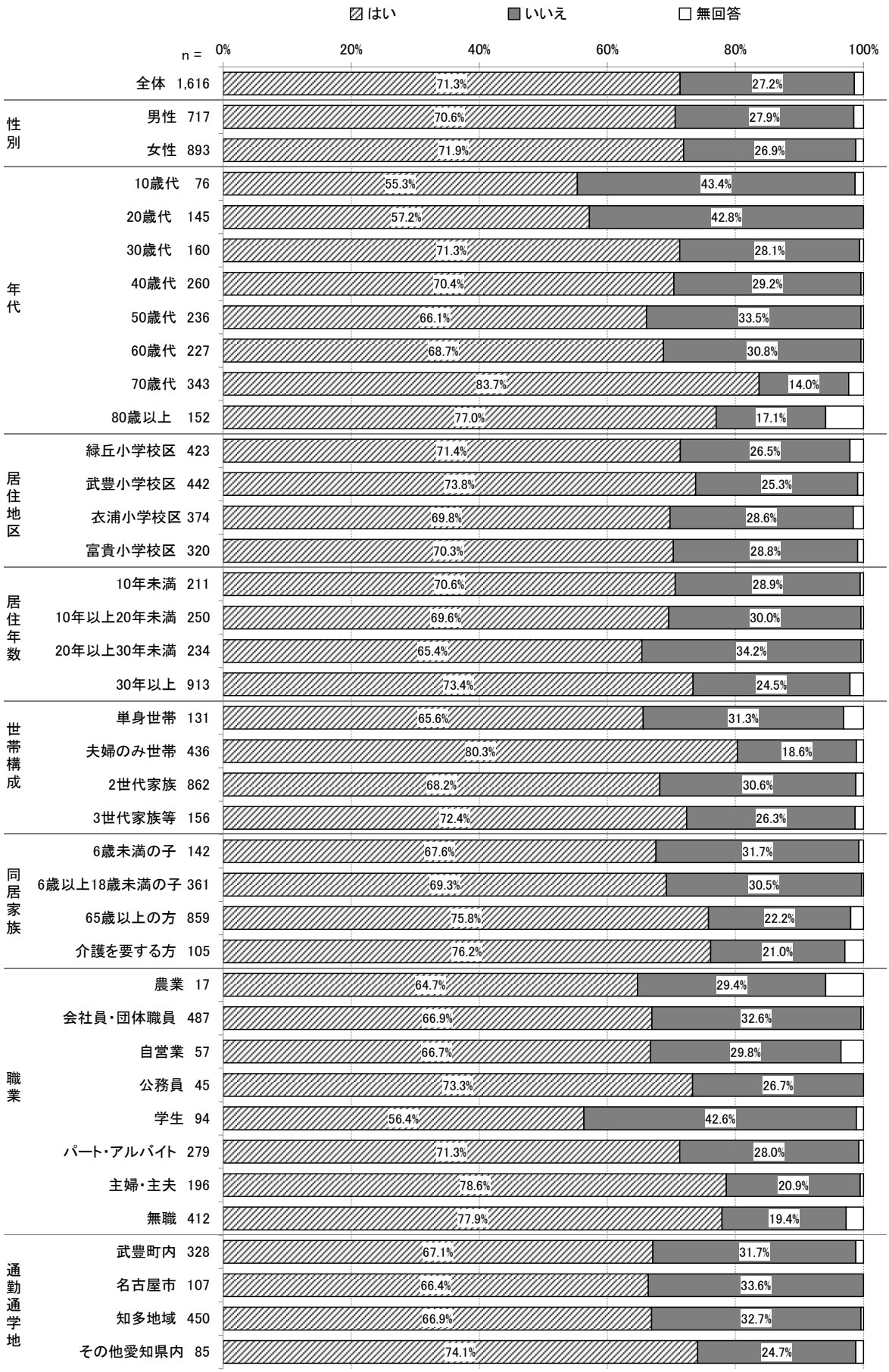
②防災訓練などに参加したり、見学したりしたことはありますか？



図表 1-3-24　属性別、日常生活における行動・意識

まちづくりの目標５　災害に強く、安全・安心に暮らせるまち［安全・安心］

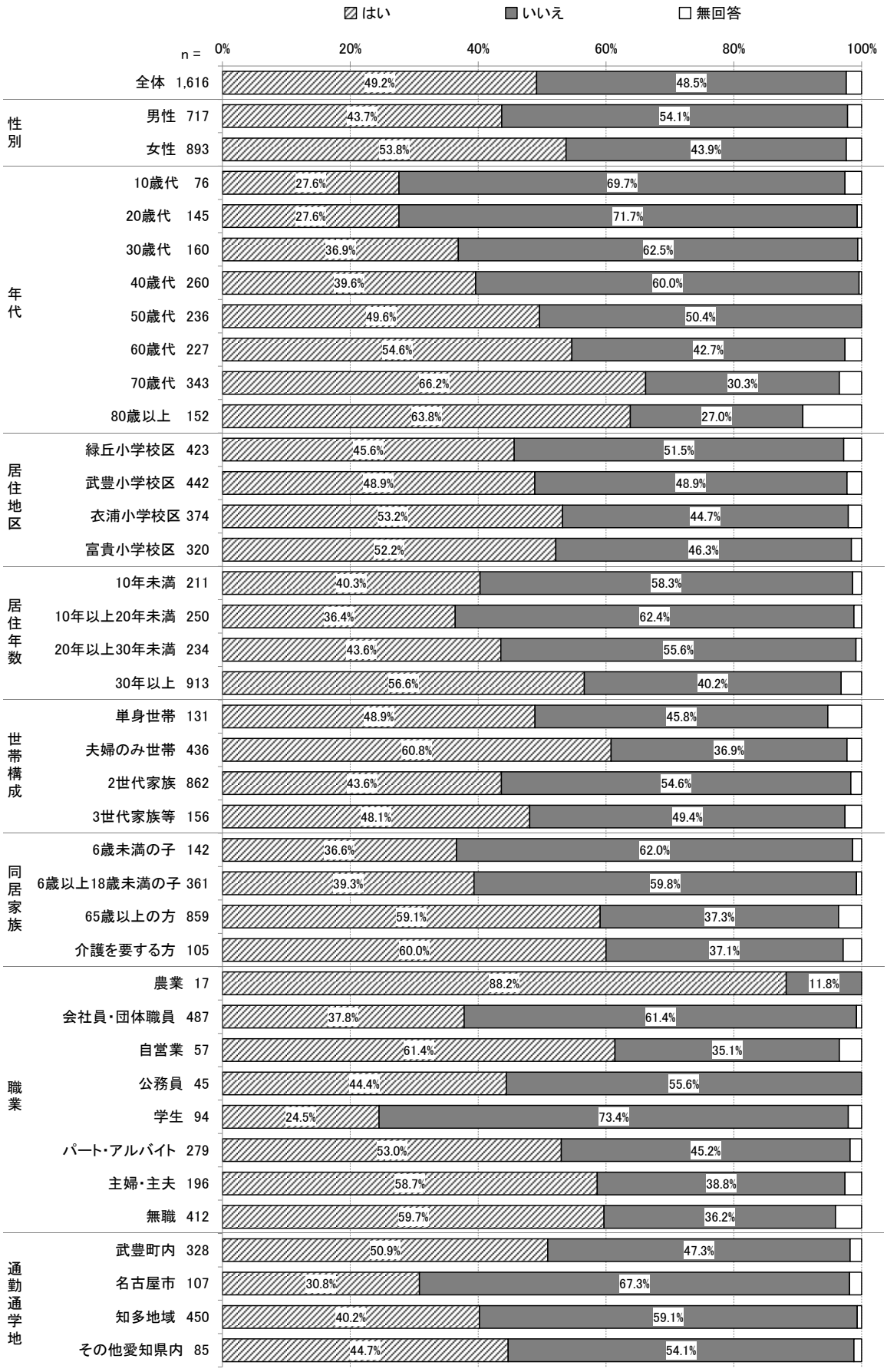
③普段から防犯に心がけていますか？



図表 1-3-25　属性別、日常生活における行動・意識

まちづくりの目標６　産業が持続・発展する活力のあるまち［産業・交流］

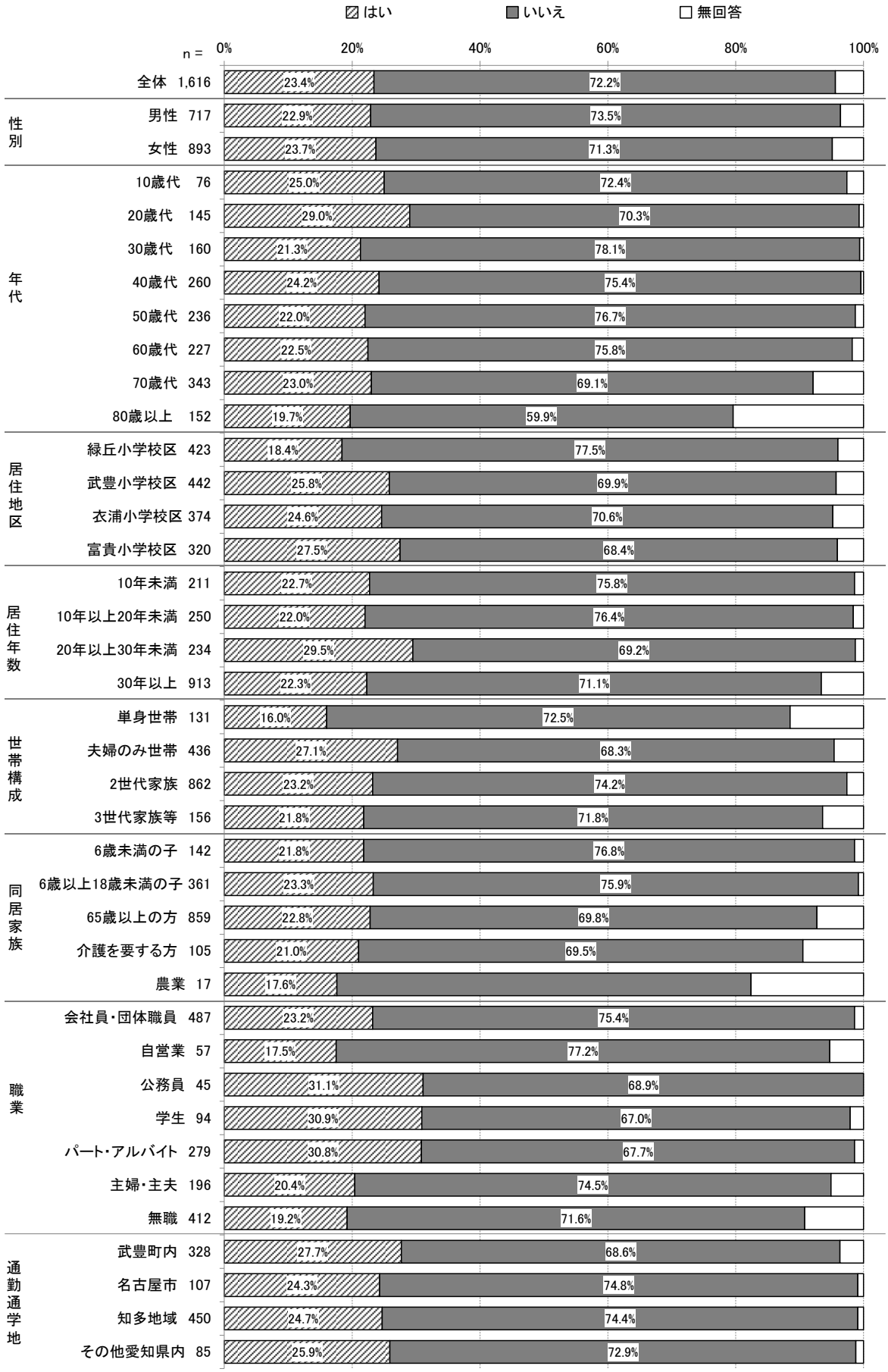
①できるだけ地元の農畜産物を購入するようにしていますか？



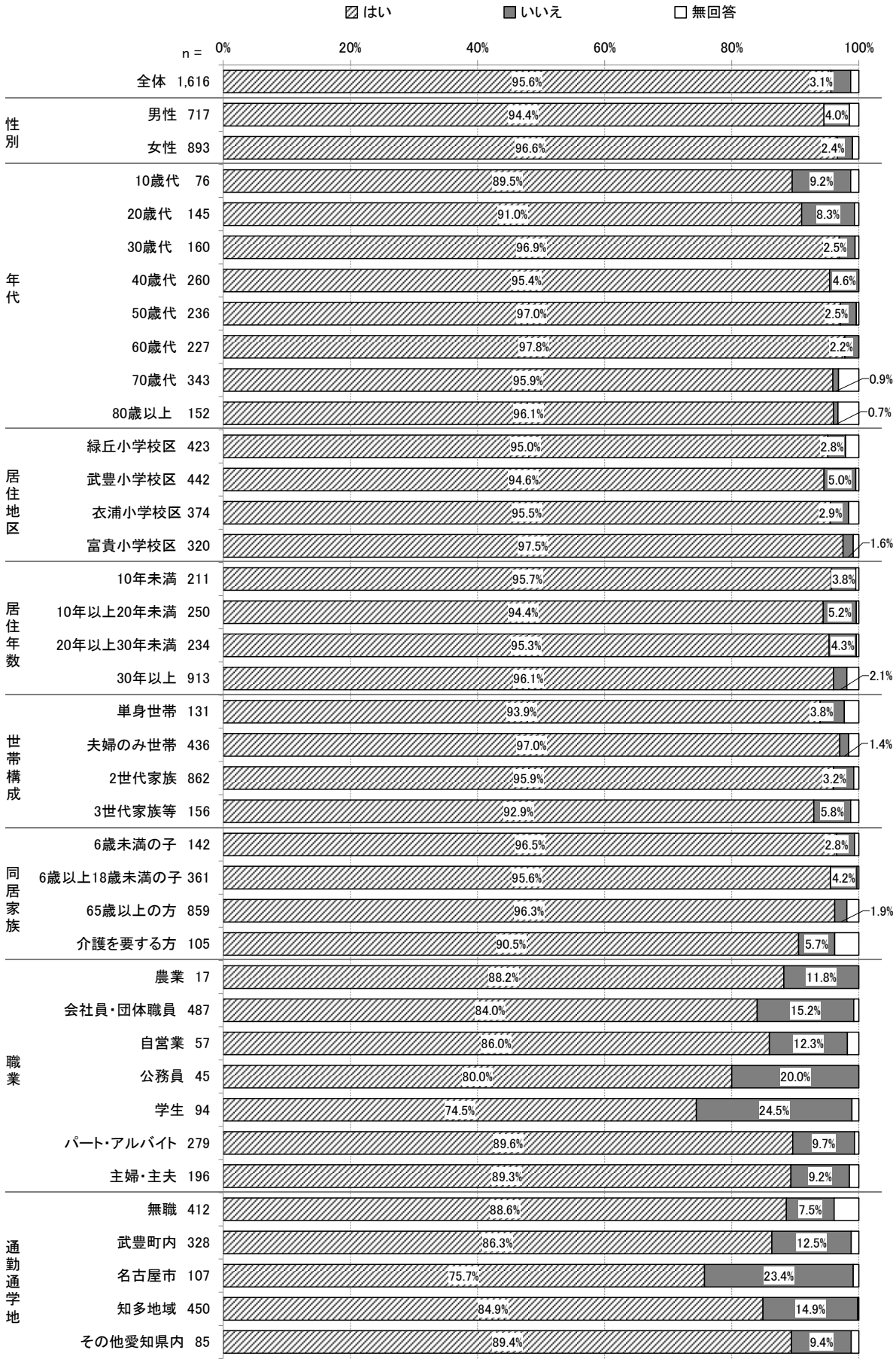
図表 1-3-26　属性別、日常生活における行動・意識

まちづくりの目標６　産業が持続・発展する活力のあるまち［産業・交流］

②町外の人に紹介したいと思う武豊町の観光資源がありますか？



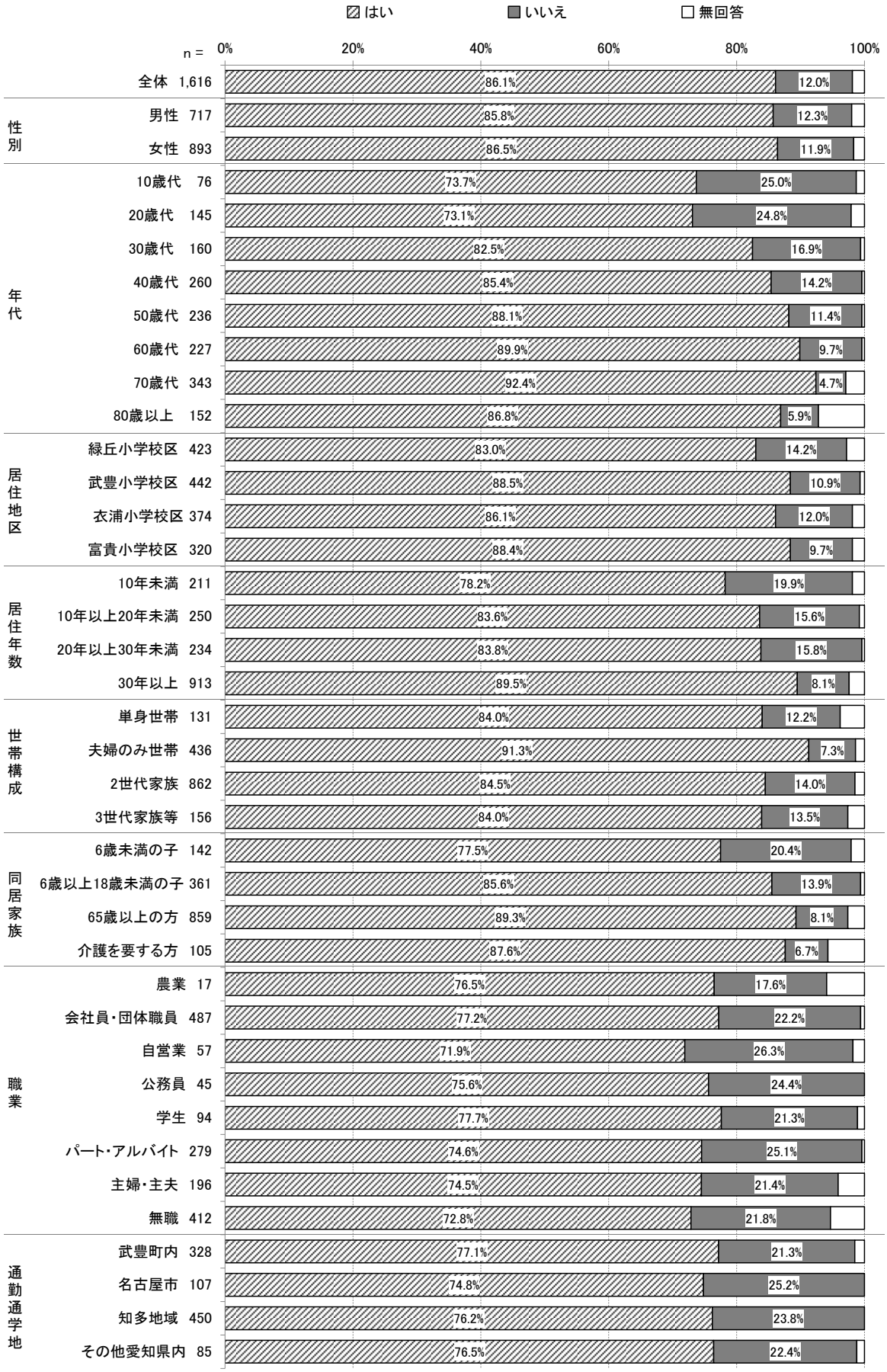
図表 1-3-27　属性別、日常生活における行動・意識
まちづくりの目標７　環境にやさしいまち［環境］
①ごみの分別をきちんとしていますか？



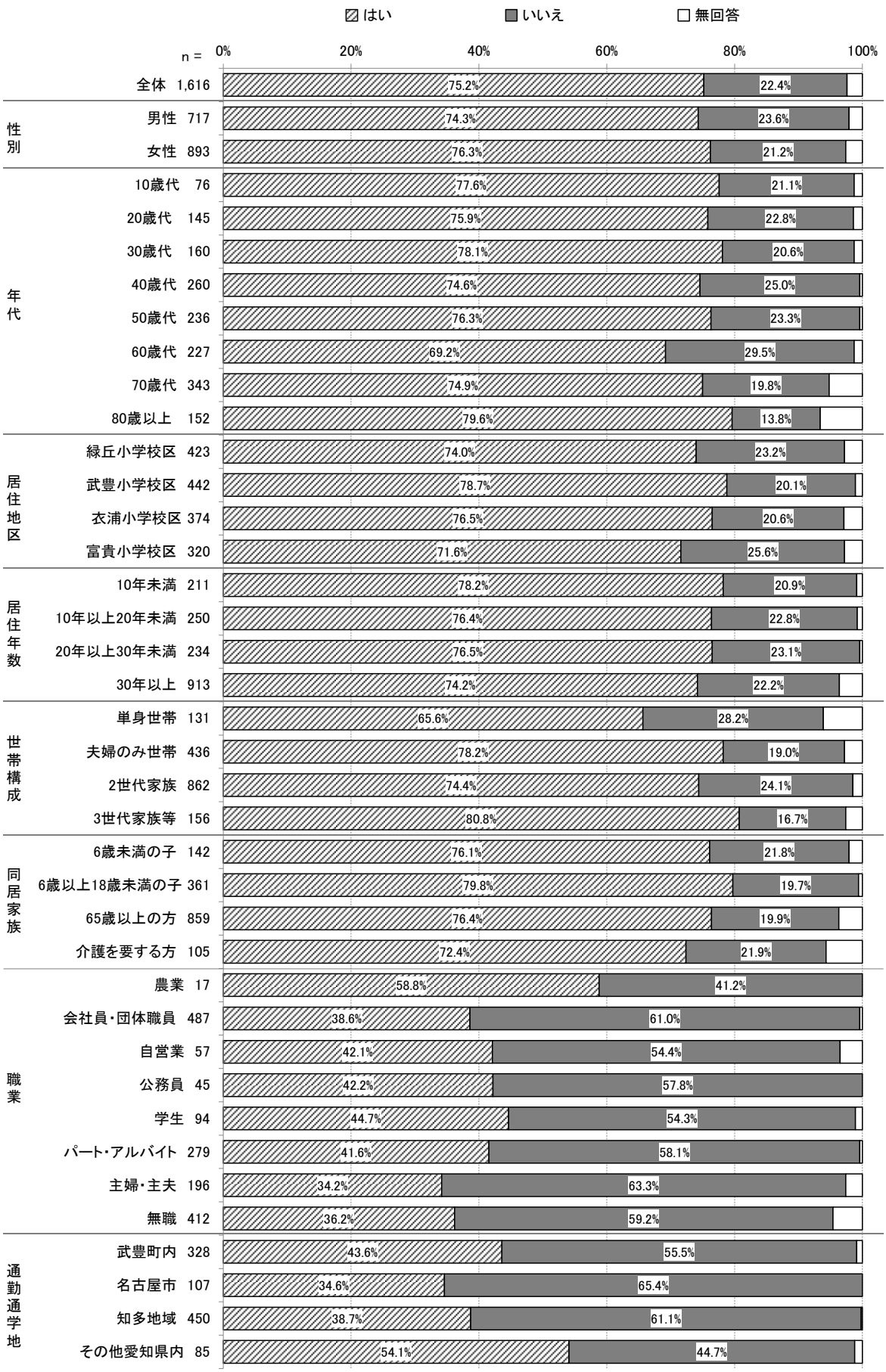
図表 1-3-28　属性別、日常生活における行動・意識

まちづくりの目標７　環境にやさしいまち［環境］

②省エネルギーやリサイクルに心がけていますか？



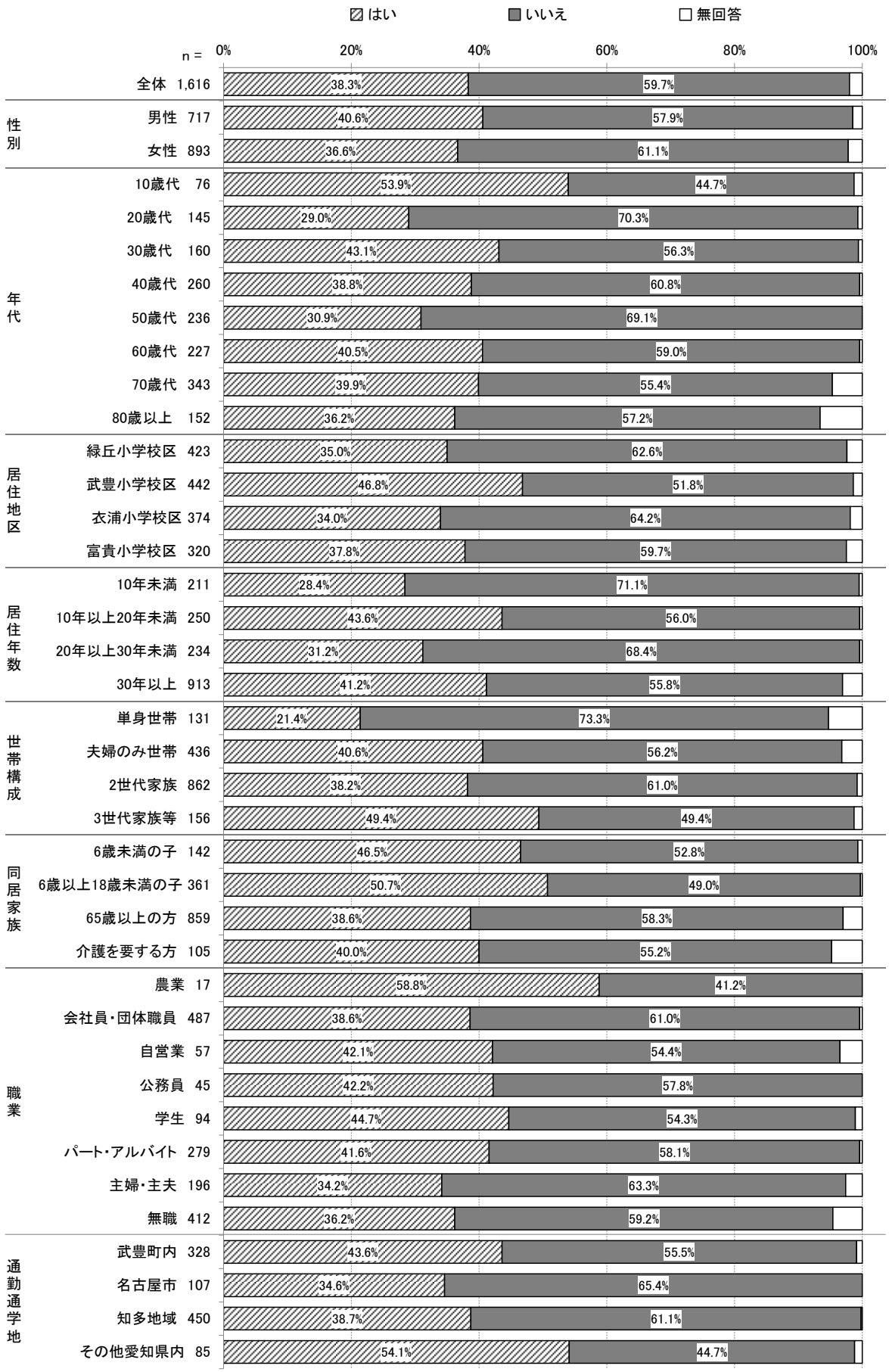
図表 1-3-29　属性別、日常生活における行動・意識
まちづくりの目標７　環境にやさしいまち［環境］
③お住まいの周辺環境は美しく保たれていると感じますか？



図表 1-3-30　属性別、日常生活における行動・意識

まちづくりの目標８　多様な主体が連携・協働するまち［まちづくり・地域経営］

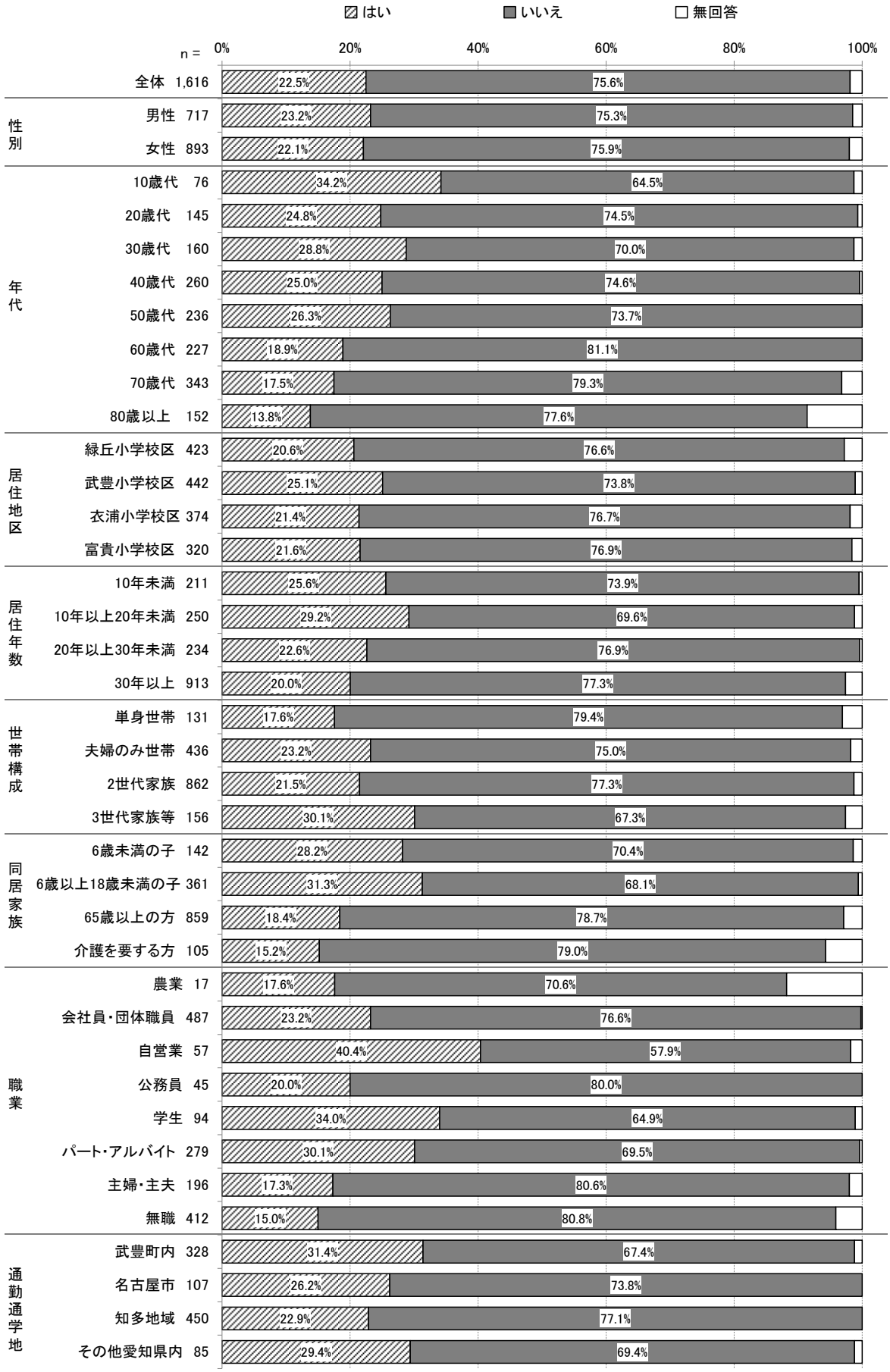
①地域の行事やお祭りに参加していますか？



図表 1-3-31　属性別、日常生活における行動・意識

まちづくりの目標８　多様な主体が連携・協働するまち［まちづくり・地域経営］

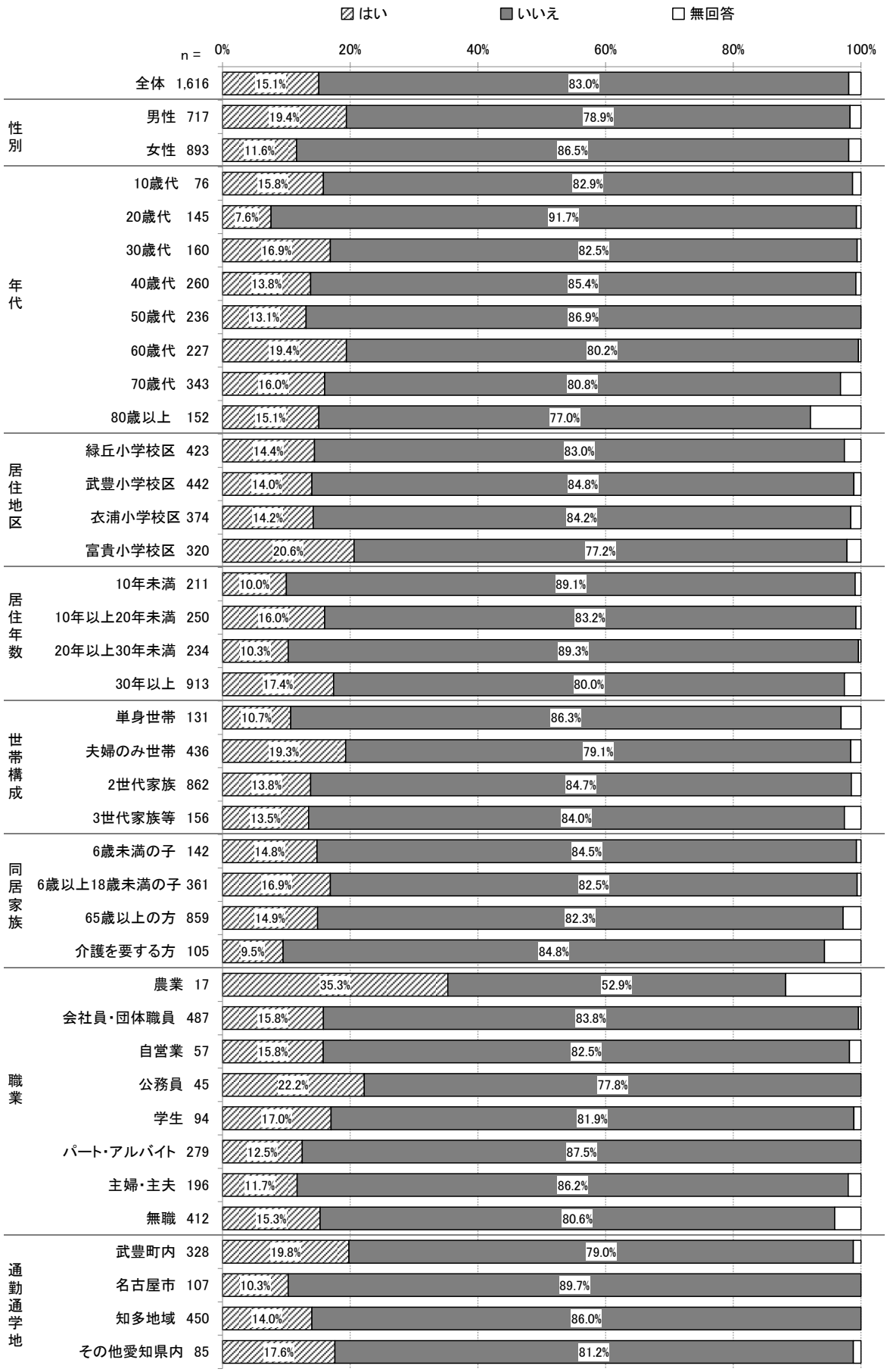
②他の世代の人や外国人と交流したり、ふれあうことはありますか？



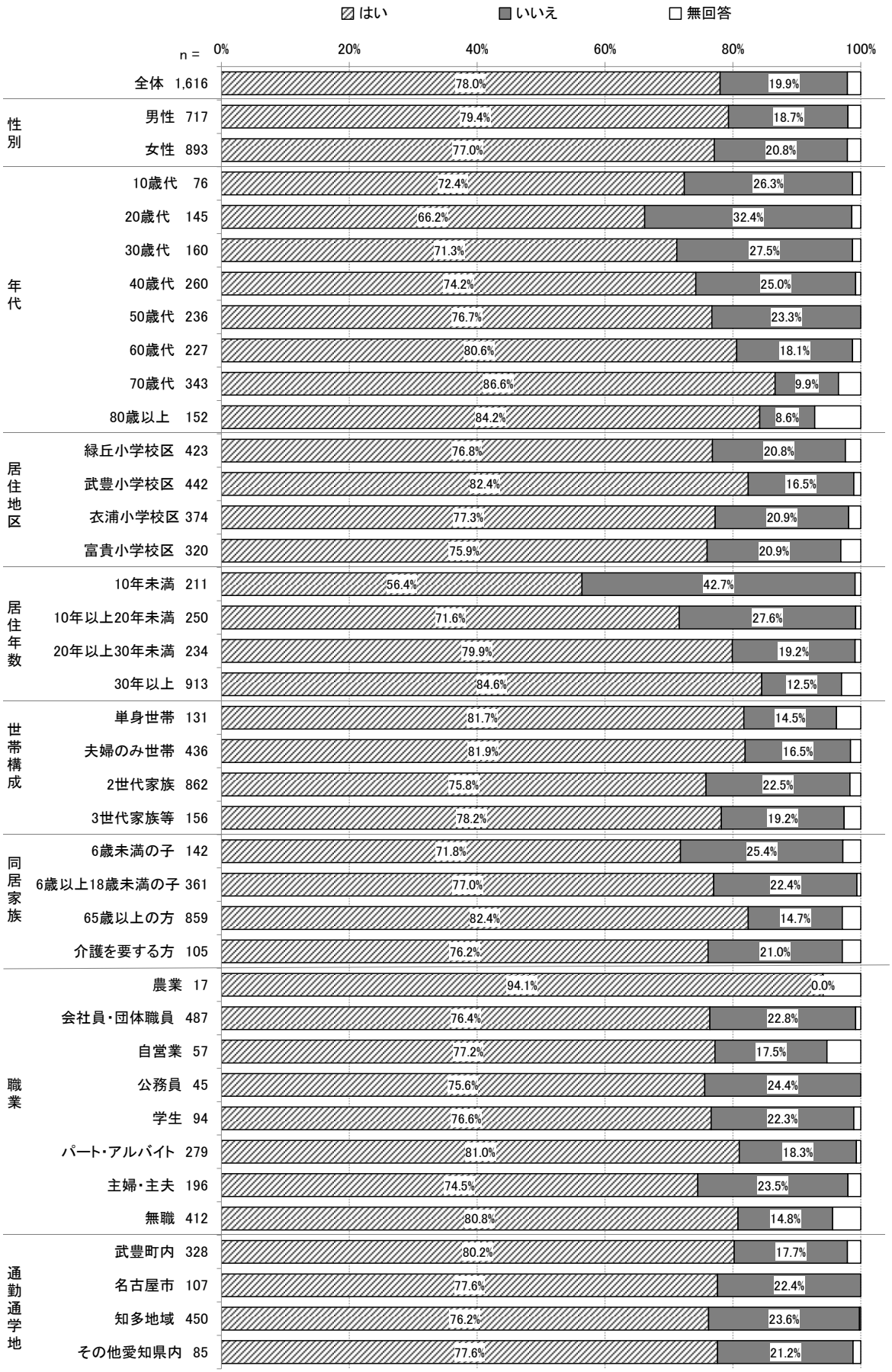
図表 1-3-32　属性別、日常生活における行動・意識

まちづくりの目標８　多様な主体が連携・協働するまち［まちづくり・地域経営］

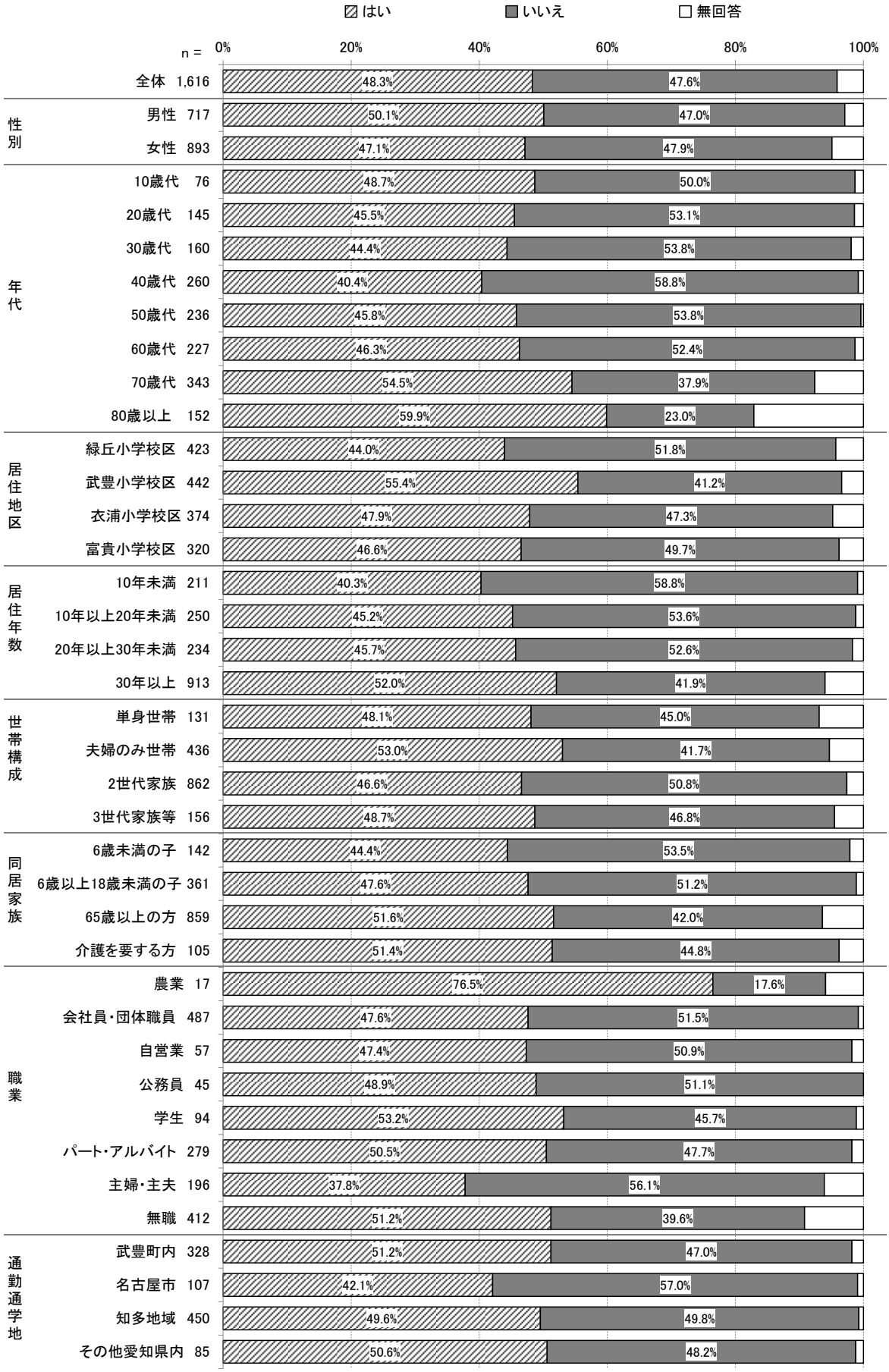
③過去１年間にボランティア活動（分野は問いません）をしましたか？



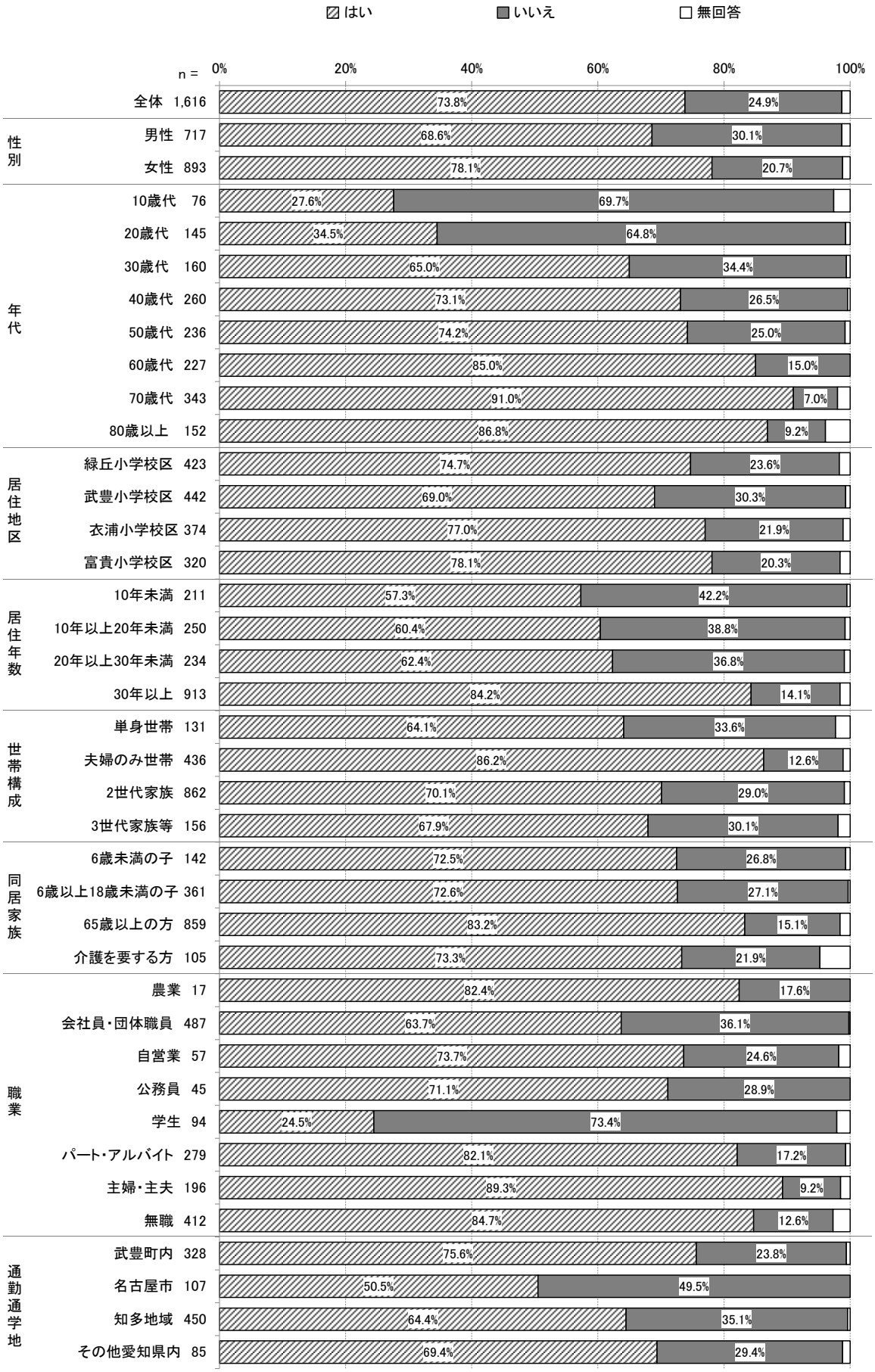
図表 1-3-33　属性別、日常生活における行動・意識
まちづくりの目標８　多様な主体が連携・協働するまち［まちづくり・地域経営］
④武豊町に愛着がありますか？



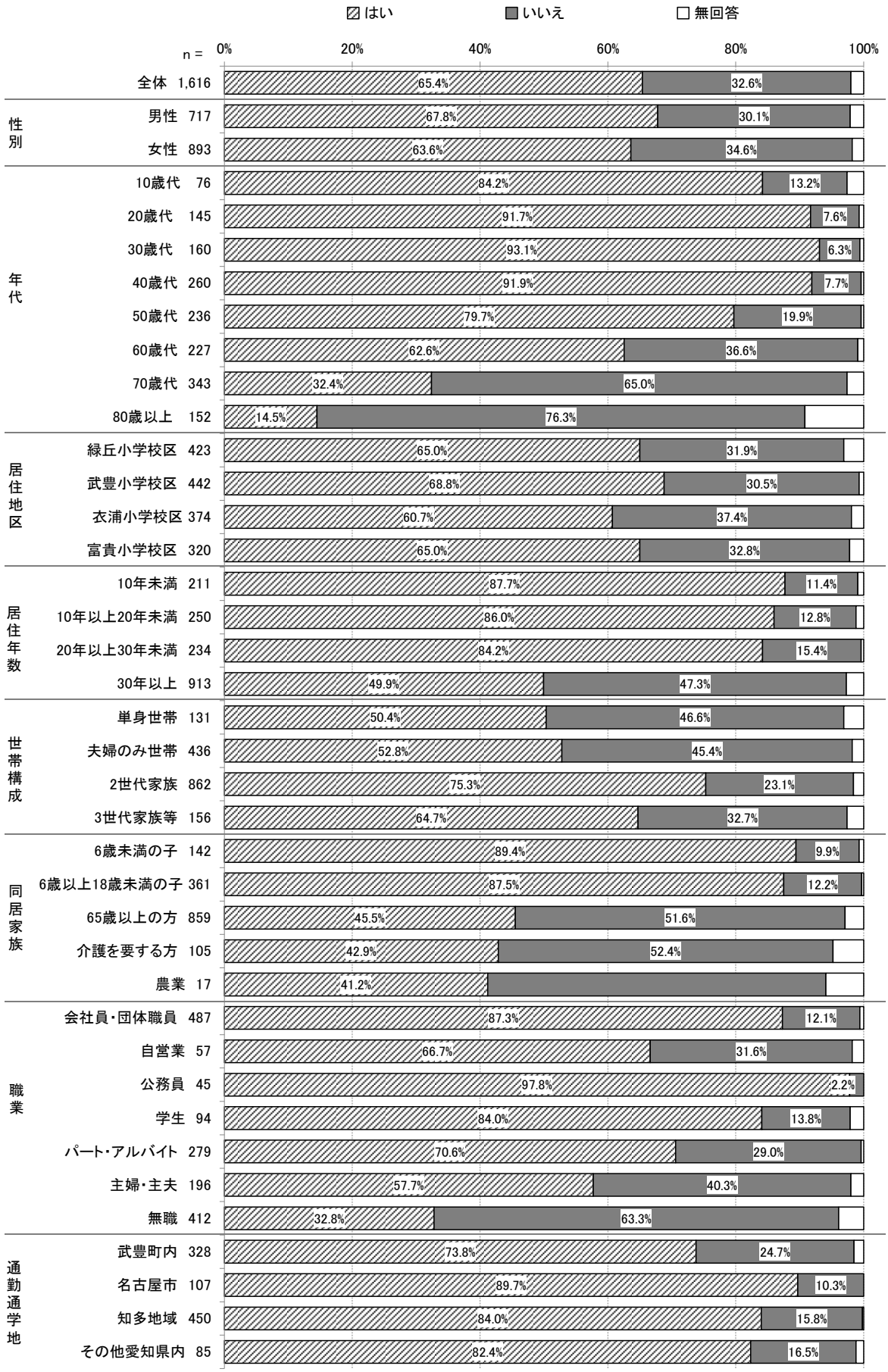
図表 1-3-34　属性別、日常生活における行動・意識
まちづくりの目標８　多様な主体が連携・協働するまち［まちづくり・地域経営］
⑤地域に魅力や誇りを感じていますか？



図表 1-3-35　属性別、日常生活における行動・意識
まちづくりの目標９　効率的で効果的な行政運営のまち［行財政］
①“広報たけとよ”を見ていますか？



図表 1-3-36　属性別、日常生活における行動・意識
まちづくりの目標９　効率的で効果的な行政運営のまち［行財政］
②日常生活のなかでインターネットを利用していますか？



１－４　幸福度

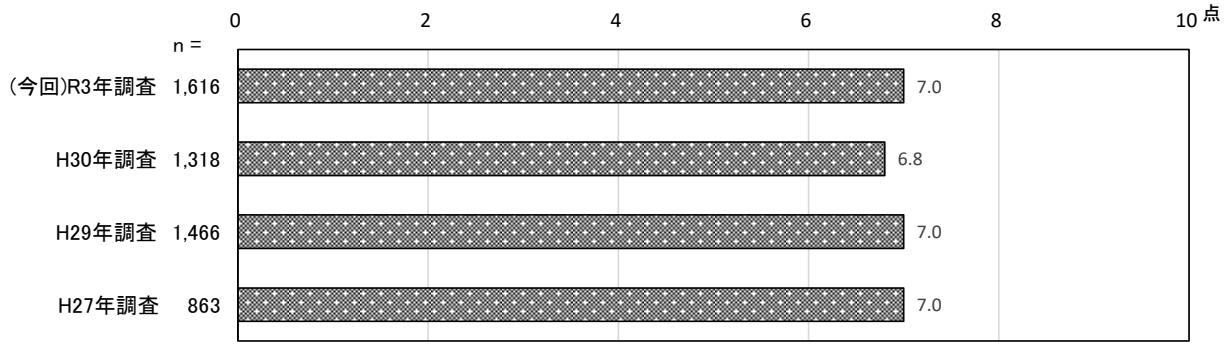
（１）現在の幸福度

問５　現在あなたは、どの程度幸せですか。「とても幸せ」を 10 点、「とても不幸」を０点とすると、何点くらいになると思いますか。（あてはまる数字１つに○印）。

10 点を満点として幸福度をたずねたところ、「８点」が 22.6%と最も高く、次いで「７点」の 18.8%、「５点」の 17.0%となりました。

平均点は 7.0 点で、平成 27 年調査、平成 29 年調査と同水準となりました。平成 30 年調査は 6.8 点であったので、前回からは 0.2 ポイントの上昇となっています。

図表 1-4-1　現在の幸福度（過去調査との比較）

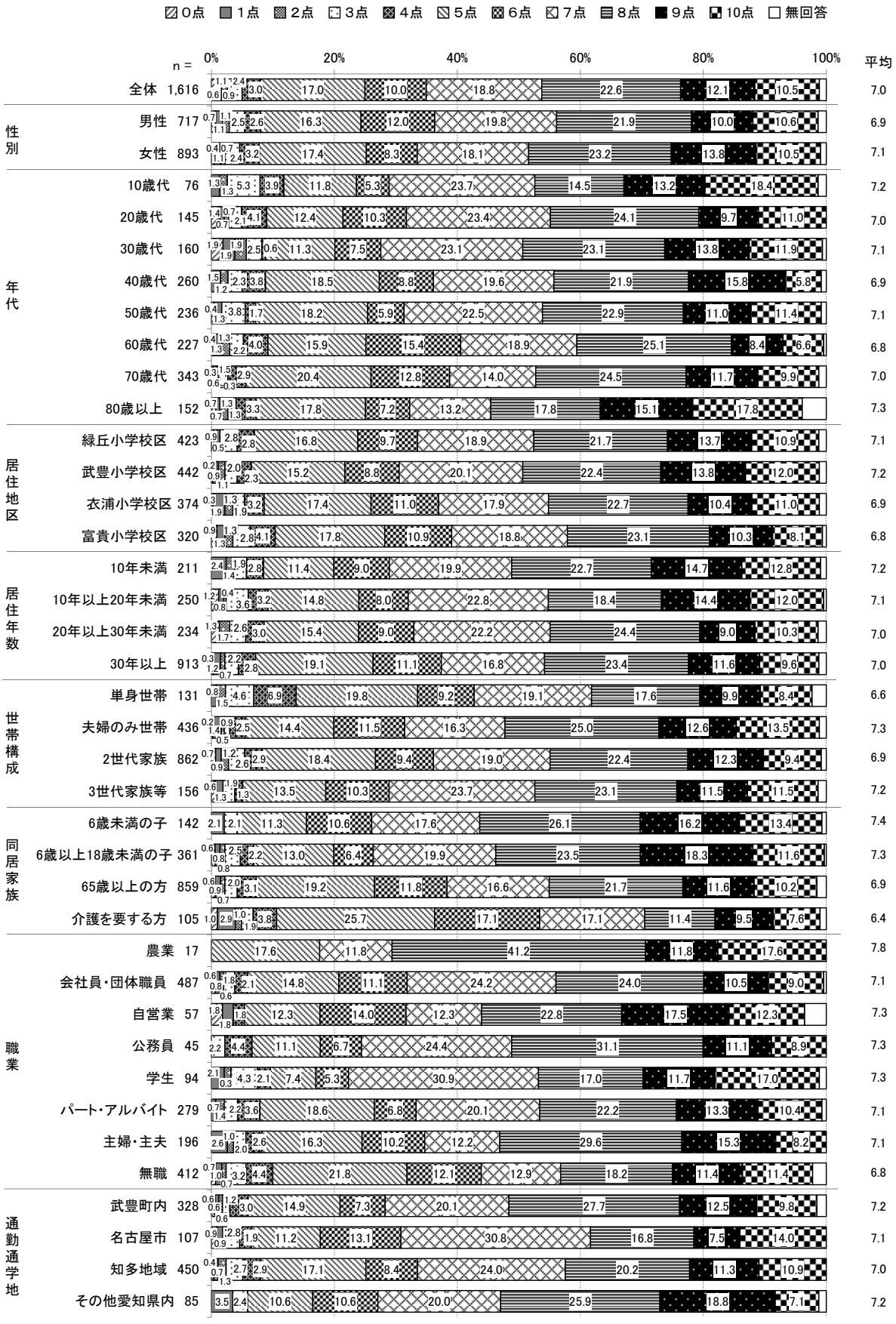


No.	幸福度（評点）	令和３年		平成 30 年	平成 29 年
		n	%	%	%
1	０点	9	0.6%	0.4%	0.4%
2	１点	18	1.1%	0.4%	0.4%
3	２点	14	0.9%	1.3%	0.7%
4	３点	39	2.4%	3.3%	2.8%
5	４点	48	3.0%	4.8%	3.5%
6	５点	274	17.0%	20.7%	19.2%
7	６点	161	10.0%	9.7%	9.5%
8	７点	304	18.8%	18.3%	18.5%
9	８点	366	22.6%	20.8%	22.6%
10	９点	195	12.1%	9.4%	10.2%
11	10 点	170	10.5%	9.1%	10.4%
無回答		18	1.10%	1.9%	1.8%
平均点		－	7.0 点	6.8 点	7.0 点
全体		1,616	100.0%	100.0%	100.0%

以下、回答者の属性別に傾向をみていきます。

性別	○男性・女性ともに「８点」が最も多く、次いで、「７点」「５点」が多くなっています。女性では「９点」が 13.8%で、男性の 10.0%を 3.8 ポイント上回っています。 ○平均点でみると男性は 6.9 点、女性は 7.1 点で、わずかに女性が高くなっています。
年代	○10 歳代では「７点」が 23.7%で最も多く、２番目は「10 点」が 18.4%と高いことが特徴的です。 ○80 歳以上は、「５点」「８点」「10 点」が同数で 17.8%となっています。 ○平均点でみると、80 歳以上の 7.3 点、10 歳代の 7.2 点が高く、60 歳代の 6.8 点、40 歳代の 6.9 点が低くなっています。
居住地区	○いずれの地区も、「８点」が最も多く、次いで「７点」が多くなっています。。 ○平均点でみると、武豊小学校区の 7.2 点、緑丘小学校区の 7.1 点、衣浦小学校区の 6.9 点、富貴小学校区の 6.8 点といった順になっています。
居住年数	○居住年数 10 年未満では、相対的に「９点」、「10 点」がやや高く、平均点も 7.2 点と最も高くなっています。 ○居住年数 10 年以上 20 年未満は平均点が 7.1 点、20 年以上 30 年未満と 30 年以上はともに 7.0 点です。平均点は居住年数が長くなるにつれてわずかに下がっています。
世帯構成	○単身世帯では、「５点」が 19.8%で最も高く、「４点」や「３点」といった低い点数も相対的に高くなっています。平均点でみても 6.6 点と特に低くなっています。 ○平均点でみると、夫婦のみ世帯の 7.3 点、３世代家族等の 7.2 点が高く、２世代家族の 6.9 点、単身世帯の 6.6 点が低くなっています。
同居家族	○子どものいる世帯では、相対的に高い点数を回答した割合が多くなっています。 ○平均点でみると、６歳未満の子がいる世帯は 7.4 点、６歳以上 18 歳未満の子がいる世帯では 7.3 点で、ともに高い点数となっています。子どもの存在が幸福度を高めている様子がうかがえます。 ○介護を要する方がいる世帯では、「５点」の 25.7%が最も多く、次いで「６点」「７点」の 17.1%となっています。平均点は 6.4 点で特に低い点数となっています。
職業	○農業は「８点」が 41.2%ととりわけ高く、平均点も 7.8 点と突出しています。 ○公務員は、「８点」が 31.1%、「７点」が 24.4%を占め、平均点でも 7.3 点と高い値となっています。同様に、自営業や学生も比較的高い点数の回答が多く、平均点はともに 7.3 点となっています。 ○職業別でもっとも低いのは無職の 6.8 点です。
通勤 通学地	○武豊町内に通勤通学する者は「８点」が 27.7%と特に高いことが特徴的です。 ○名古屋市、知多地域に通勤通学する者は、ともに「７点」が最も多くなっています。 ○平均点でみると、武豊町内、その他愛知県内に通勤通学する者がともに 7.2 点、名古屋市に通勤通学する者が 7.1 点、知多地域に通勤通学する者が 7.0 点です。

図表 1-4-2　属性別、現在の幸福度



（２）５年前と比べた幸福感の変化

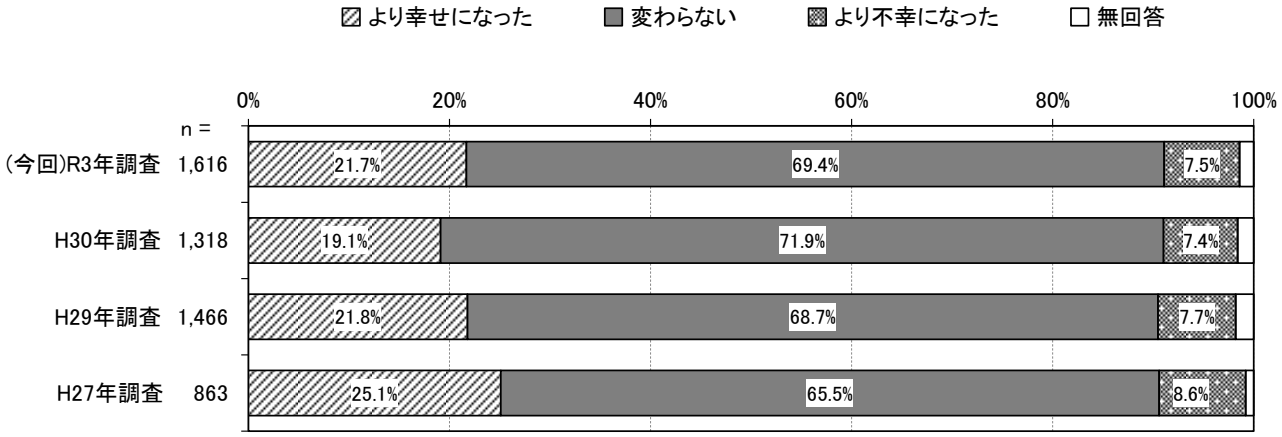
問６　５年前と比べて、あなたの幸福感に変化はありますか。（１つに○印）

「変わらない」が 69.4%で約７割を占めています。「より幸せになった」は 21.7%、「より不幸になった」は 7.5%となっています。

過去調査と比較すると、平成 27 年調査以降「変わらない」はやや増加する傾向にありましたが、今回は 2.5 ポイントの減少となりました。また、「より幸せになった」は同様に経年的に減少する傾向をみせていましたが、今回は 2.6 ポイントの増加となっています。

「より不幸になった」は前回調査とほとんど差はありません。

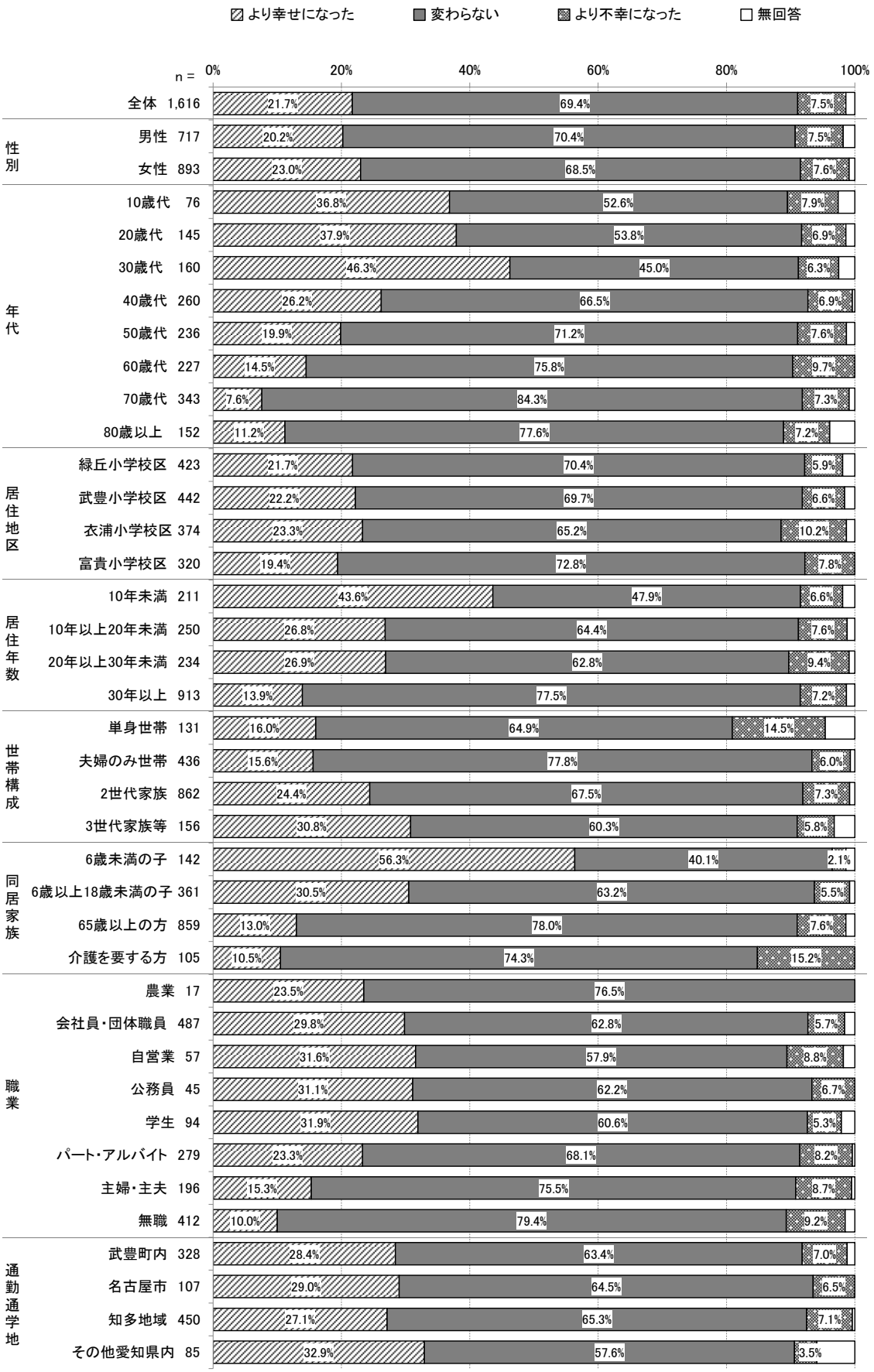
図表 1-4-3　５年前と比べた幸福感の変化（過去調査との比較）



以下、回答者の属性別に傾向をみていきます。

性別	○「より幸せになった」は男性の 20.2%に対して女性は 23.0%で、わずかですが 2.8 ポイント女性の方が高くなっています。
年代	○「より幸せになった」の割合が高いのは 30 歳代で 46.3%を占めています。次いで、20 歳代の 37.9%、10 歳代の 36.8%が高く、40 歳代でも 26.2%となっており、40 歳代以下はすべての年齢層で 20%以上の方が「より幸せになった」と感じています。 ○50 歳代、60 歳代、70 歳代になるにつれて「より幸せになった」は低くなり、代わって「変わらない」が高くなっています。
居住地区	○「より幸せになった」の割合は、衣浦小学校区 23.3%、武豊小学校区で 22.2%、緑丘小学校区で 21.7%、富貴小学校区で 19.4%です。わずかに富貴小学校区が低くなっていますが、居住地区別での顕著な差異はみられません。
居住年数	○居住年数が短くなるほど「より幸せになった」が高くなる傾向がみられます。居住年数の短い方は年齢層が若い方が多くなることが一つの要因と考えられます。
世帯構成	○世帯構成では、単身世帯よりも夫婦のみ世帯の方が、夫婦のみ世帯よりも２世代家族の方が、また２世代家族よりも３世代家族等の方が「より幸せになった」の割合が高くなる傾向がみられます。
同居家族	○６歳未満の子がいる世帯では、「より幸せになった」が 56.3%と非常に高い割合を示しています。このことからも、幼い子どもの存在が幸福感を大きく変化させる要因となっている様子がうかがえます。 ○６歳以上 18 歳未満の子がいる世帯でも、「より幸せになった」は 30.5%で、全体よりも 8.8 ポイント高くなっています。
職業	○会社員・団体職員、自営業、公務員、学生では、「より幸せになった」はおおむね３割前後となっており、他と比べて高い値となっています。 ○「より幸せになった」が全体よりも低いのは、無職の 10.0%、主婦・主夫の 15.3%です。
通勤通学地	○「より幸福になった」の割合は、その他愛知県内に通勤通学する者が 32.9%で最も高くなっています。

図表 1-4-4　属性別、５年前と比べた幸福感の変化

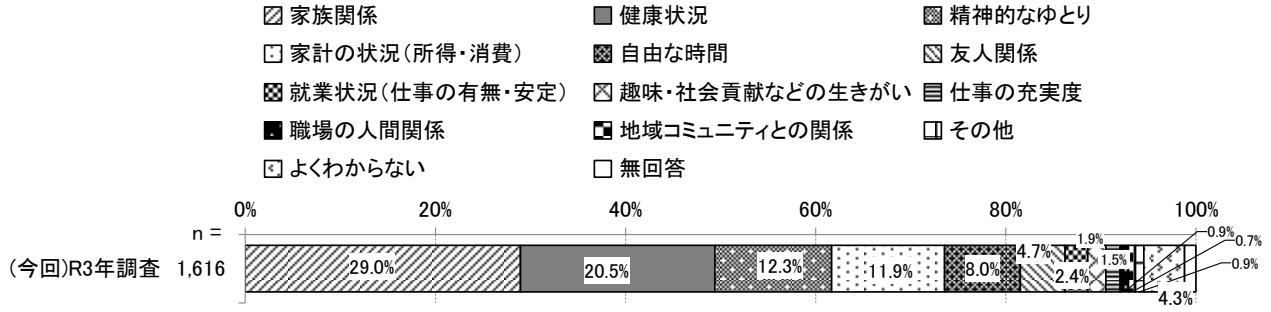


（3）幸福感を判断する際に重視した事項

問７　問５・６で、幸福感を判断する際に最も重視した事項は何ですか。（１つに○印）

幸福感を判断する際に重視した事項としては、「家族関係」が最も多く 29.0%で、次いで、「健康状況」の 20.5%、「精神的なゆとり」の 12.3%と続いています。「家計の状況（所得・消費）」も 11.9%と多く、これら上位４つが幸福感を判断する際に重視した主な事項としてあげられます。

図表 1-4-5　幸福感を判断する際に重視した事項



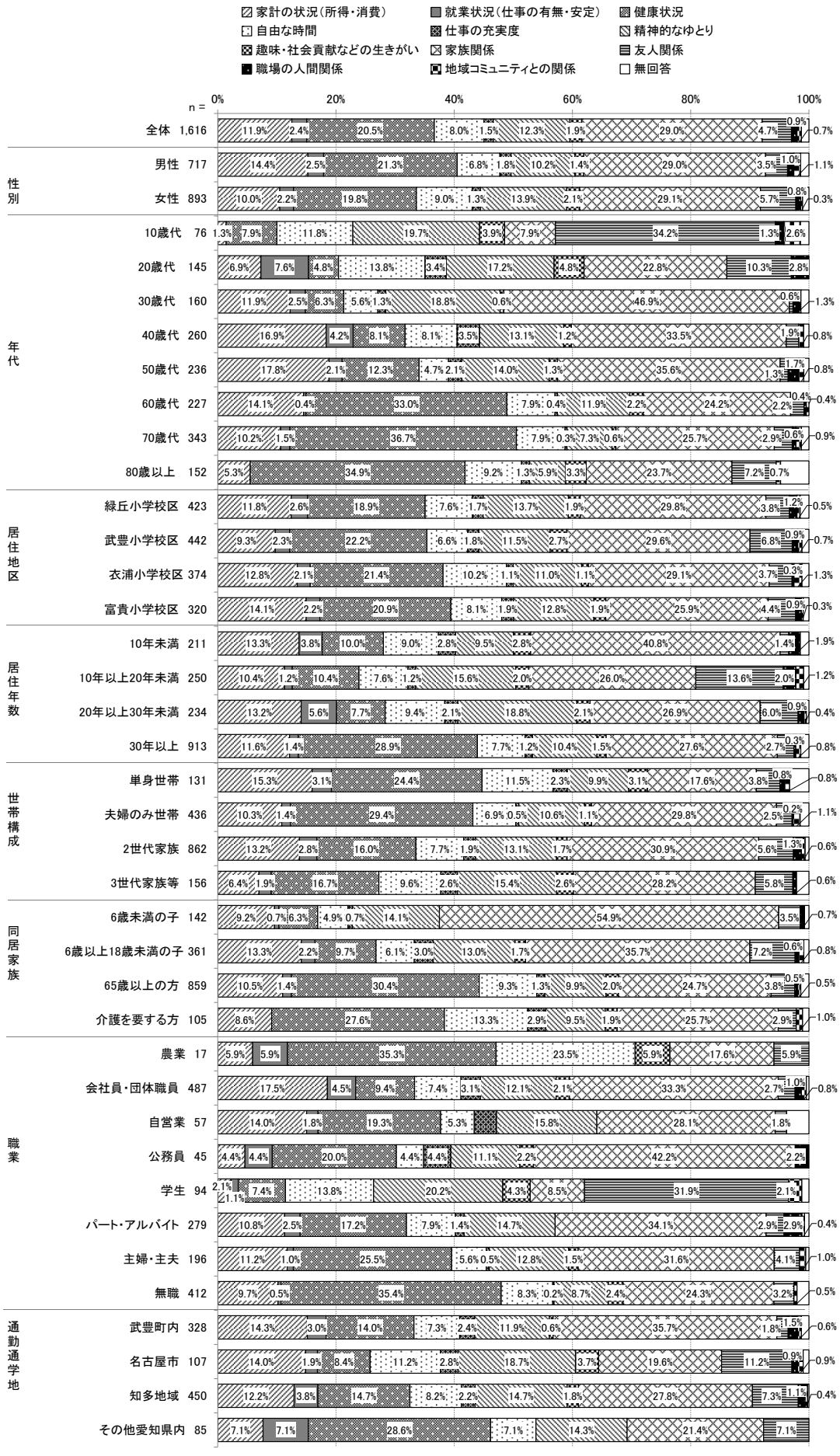
※過去調査は複数回答であったため過去調査との比較はなし

以下、回答者の属性別に傾向をみていきます。

性別	○男性、女性とも「家族関係」が１番目に、「健康状況」が２番目に高くなっています。 ○男性では「家計の状況（所得・消費）」が３番目に多く 14.4%です。女性の 10.0%を 4.4 ポイント上回っています。 ○女性では、「精神的なゆとり」が３番目に多く 13.9%です。男性の 10.2%を 3.7 ポイント上回っています。
年代	○10 歳代では「友人関係」が 34.2%で、とりわけ大きな割合を占めています。 ○20 歳代では「家族関係」が 22.8%で最も高く、次いで２番目が「精神的なゆとり」で 17.2%、３番目は「自由な時間」で 13.8%、４番目は「友人関係」で 10.3%となっています。 ○30 歳代では「家族関係」が 46.9%と半数近くを占めています。 ○40 歳代と 50 歳代では、「家族関係」がそれぞれ 33.5%、35.6%と最も高いものの、２番目に高いのは「家計の状況（所得・消費）」となっており、それぞれ 16.9%、17.8%を占めています。 ○60 歳代以上になると、「健康状況」が最も高くなり、いずれも 30%以上を占めています。

居住地区	○居住地区による顕著な差異はみられません。いずれの居住地区でも「家族関係」が１番目に、「健康状況」が２番目に高くなっています。 ○緑丘小学校区と武豊小学校区では３番目に多いのは「精神的なゆとり」で、衣浦小学校区と富貴小学校区では３番目は「家計の状況（所得・消費）」となっています。
居住年数	○居住年数 10 年未満では、「家族関係」が 40.8%と４割を占めています。居住年数 30 年以上では、「健康状況」が最も多く 28.9%となっています。居住年数の長さにより、年齢構成が異なることで、こうした結果を示しているものと考えられます。
世帯構成	○単身世帯では、「健康状況」が最も多く 24.4%となっています。 ○夫婦のみ世帯、２世代家族、３世代家族等では「家族関係」が最も多くなっています。 ○夫婦のみ世帯、２世代家族、３世代家族等の順に、「健康状況」は少なくなる傾向がみられ、逆に「精神的なゆとり」は徐々に大きくなる傾向がみられます。
同居家族	○６歳未満の子がいる世帯では、「家族関係」が 54.9%と半数以上の非常に高い割合を占めています。６歳以上 18 歳未満の子がいる世帯でも「家族関係」は 35.7%と高い割合となっています。 ○65 歳以上の方がいる世帯、介護を要する方がいる世帯では、「健康状況」が最も高く、それぞれ 30.4%、27.6%となっています。
職業	○公務員では「家族関係」が 42.2%で、全体の 29.0%より 13.2 ポイントも高くなっています。また、学生では「友人関係」が 31.9%で最も多く、これも全体の 4.7%を 27.2 ポイント上回っています。 ○無職では、「健康状況」が 35.4%で、全体の 20.5%を 14.9 ポイント上回っています。なお、農業でも「健康状況」が 35.3%と高くなっています。
通勤 通学地	○武豊町内に通勤通学する者は「家族関係」が 35.7%と高くなっています。 ○その他愛知県内に通勤通学する者は、「健康状況」が最も高く 28.6%となっています。

図表 1-4-6　属性別、幸福感を判断する際に重視した事項



１－５　武豊町のまちづくりに関する評価

（１）満足度

問８　第６次総合計画で進めている下記の取組について、あなたはどの程度満足していますか。また、どの程度重要であるとお考えですか。回答例にならって、お考えに最も近い番号を１つずつ選んで○印をつけてください。

第６次総合計画で進めている 34 項目の取組について、「満足」、「やや満足」、「どちらともいえない」、「やや不満」、「不満」「わからない」の６区分で満足度の評価について回答を求めました。

ここでは、「満足」または「やや満足」に回答した割合を『満足度』としています。その評価が高い項目を順にみていくと、「安全で安定した上下水道が利用できる」の 67.7%、「水や緑などの自然を身近に感じられる」の 55.3%、「幹線道路が整備され車で移動しやすい」の 52.4%、「きれいで衛生的な環境が保たれている」の 51.2%などが上位になりました。

逆に、評価の低い項目をみていくと、「中心市街地がにぎやかに活気づいている」の 12.4%、「住民がまちづくりに参画しやすい」の 12.9%、「行政に町民の意向が反映されている」の 14.0%、「地域資源が活かされ町が活気づいている」の 14.9%などとなっています。

図表 1-5-1　満足度　（「満足」＋「やや満足」の割合）

（2）重要度

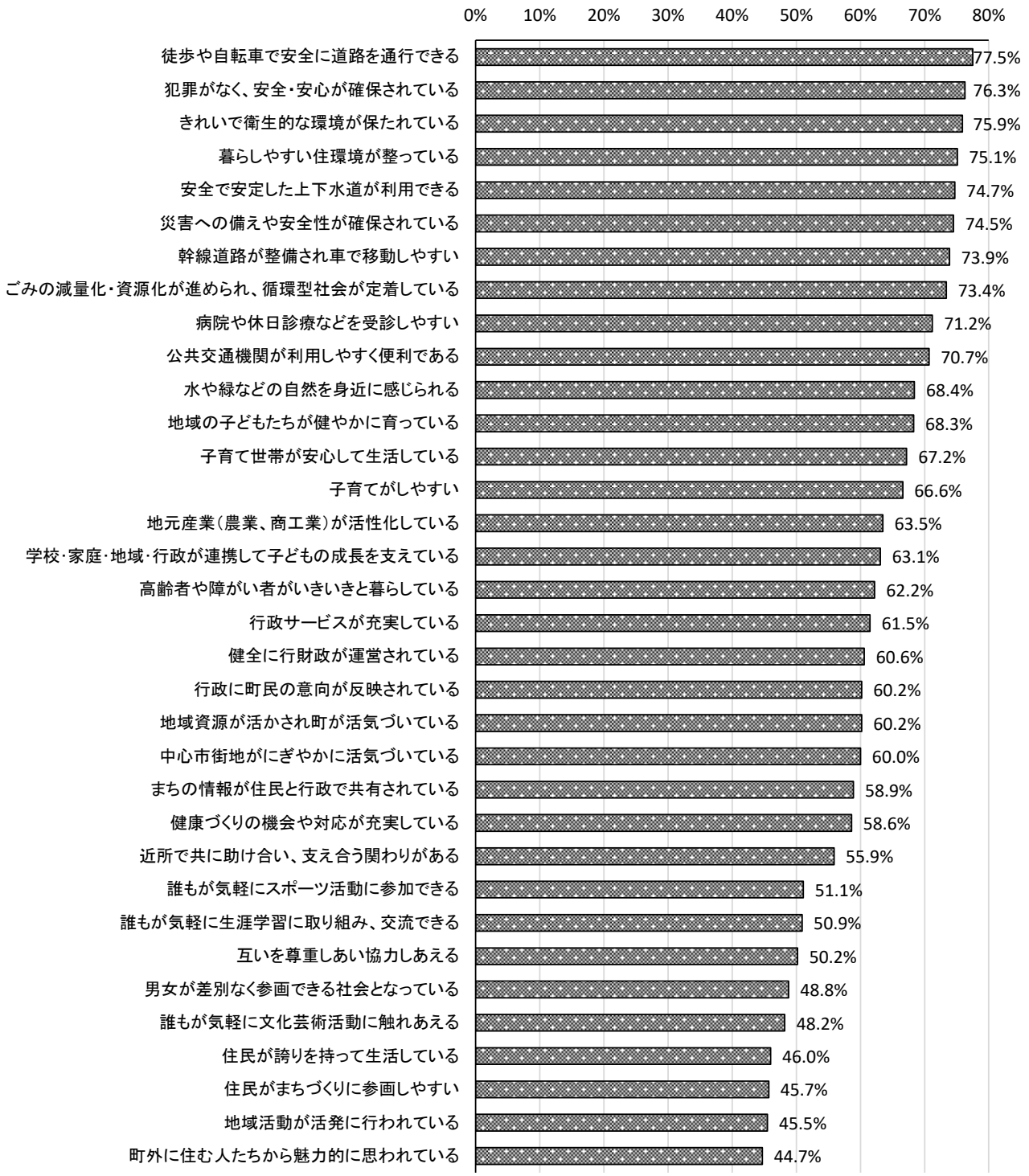
問８　第６次総合計画で進めている下記の取組について、あなたはどの程度満足していますか。また、どの程度重要であるとお考えですか。回答例にならって、お考えに最も近い番号を１つずつ選んで○印をつけてください。

第６次総合計画で進めている 34 項目の取組について、「重要と思う」、「どちらかといえば重要と思う」、「どちらともいえない」、「どちらかと言えば重要とは思わない」、「重要とは思わない」「わからない」の６区分で重要度の評価を求めました。

ここでは、「重要と思う」または「どちらかといえば重要と思う」に回答した割合を『重要度』としています。その評価が高い項目を順にみていくと、「徒歩や自転車で安全に道路を通行できる」の 77.5%、「犯罪がなく、安全・安心が確保されている」の 76.3%、「きれいで衛生的な環境が保たれている」の 75.9%、「暮らしやすい住環境が整っている」の 75.1%などが上位になりました。

逆に、評価の低い項目をみていくと、「町外に住む人たちから魅力的に思われている」の 44.7%、「地域活動が活発に行われている」の 45.5%、「住民がまちづくりに参画しやすい」の 45.7%、「住民が誇りを持って生活している」の 46.0%などとなっています。

図表 1-5-2　重要度　（「重要と思う」＋「どちらかといえば重要と思う」の割合）



（3）満足度指数と重要度指数

問８　第６次総合計画で進めている下記の取組について、あなたはどの程度満足していますか。また、どの程度重要であるとお考えですか。回答例にならって、お考えに最も近い番号を１つずつ選んで○印をつけてください。

満足度と重要度の関係をみるために、次の表に示した算出式により施策項目ごとの回答者の評価を「満足度指数」及び「重要度指数」として設定しました。

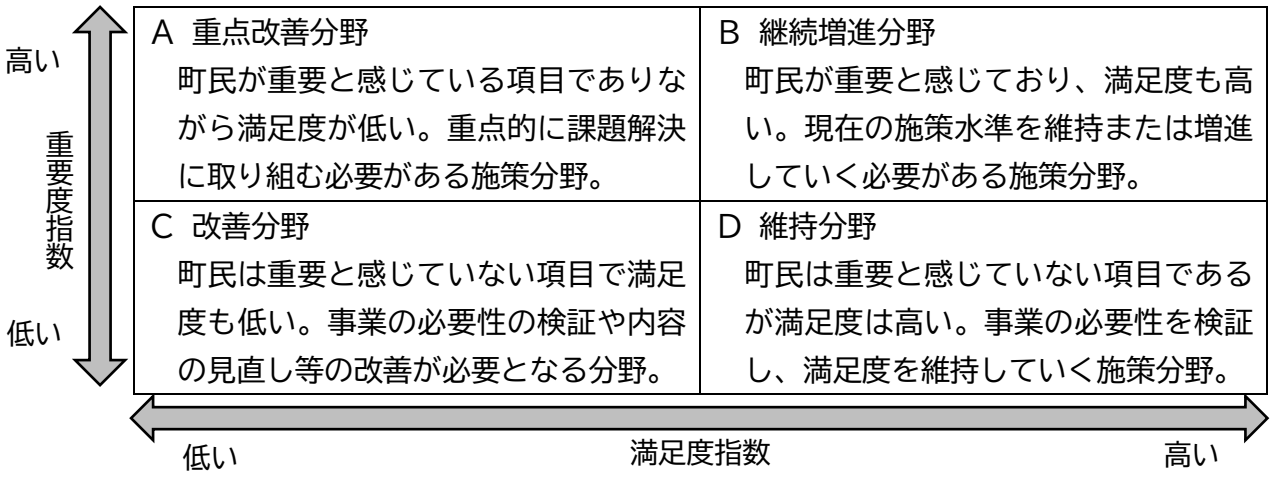
図表 1-5-3　満足度指数と重要度指数の算出方法

評価区分		点数	算出式
満足度	重要度		
満足	重要と思う	+100	$M_i=(A_{i5}\times100+A_{i4}\times50-A_{i2}\times50-A_{i1}\times100)/A_i$ M_i：施策ｉの満足度指数または重要度指数 A_i：施策ｉの回答者数（「わからない」「無回答」除く） A_{i5}：施策ｉを「満足」または「重要と思う」と評価した回答者数 A_{i4}：施策ｉを「やや満足」または「どちらかといえば重要と思う」と評価した回答者数 A_{i2}：施策ｉを「やや不満」または「どちらかといえば重要とは思わない」と評価した回答者数 A_{i1}：施策ｉを「不満」または「重要とは思わない」と評価した回答者数
やや満足	どちらかといえば重要と思う	+50	
どちらともいえない	どちらともいえない	0	
やや不満	どちらかといえば重要とは思わない	−50	
不満	重要とは思わない	−100	

※ある施策の満足度・重要度評価に対して、
・全員が「満足」または「重要と思う」と回答した場合、満足度指数・重要度指数は 100 となります。
・半分が「やや満足」、半分が「やや不満」と回答した場合、また、半数が「どちらかといえば重要と思う」、半分が「どちらかといえば重要とは思わない」と回答した場合、満足度指数・達成度指数は 0 となります。
・満足度指数は、施策に対する満足度が最大のとき 100 となり、最小のとき-100 となります。また、満足と不満の評価が等しいときに 0 となります。重要度も同様です。

満足度指数を横軸、重要度指数を縦軸とするグラフ上に施策項目ごとの指数をプロットしたものが次頁の散布図です。全施策項目の満足度指数の平均値は 13.42、重要度指数の平均値は 54.13 となります。この平均値を基準に区分される４つの領域のどこに位置しているかで各々の施策項目は次のように評価されます。

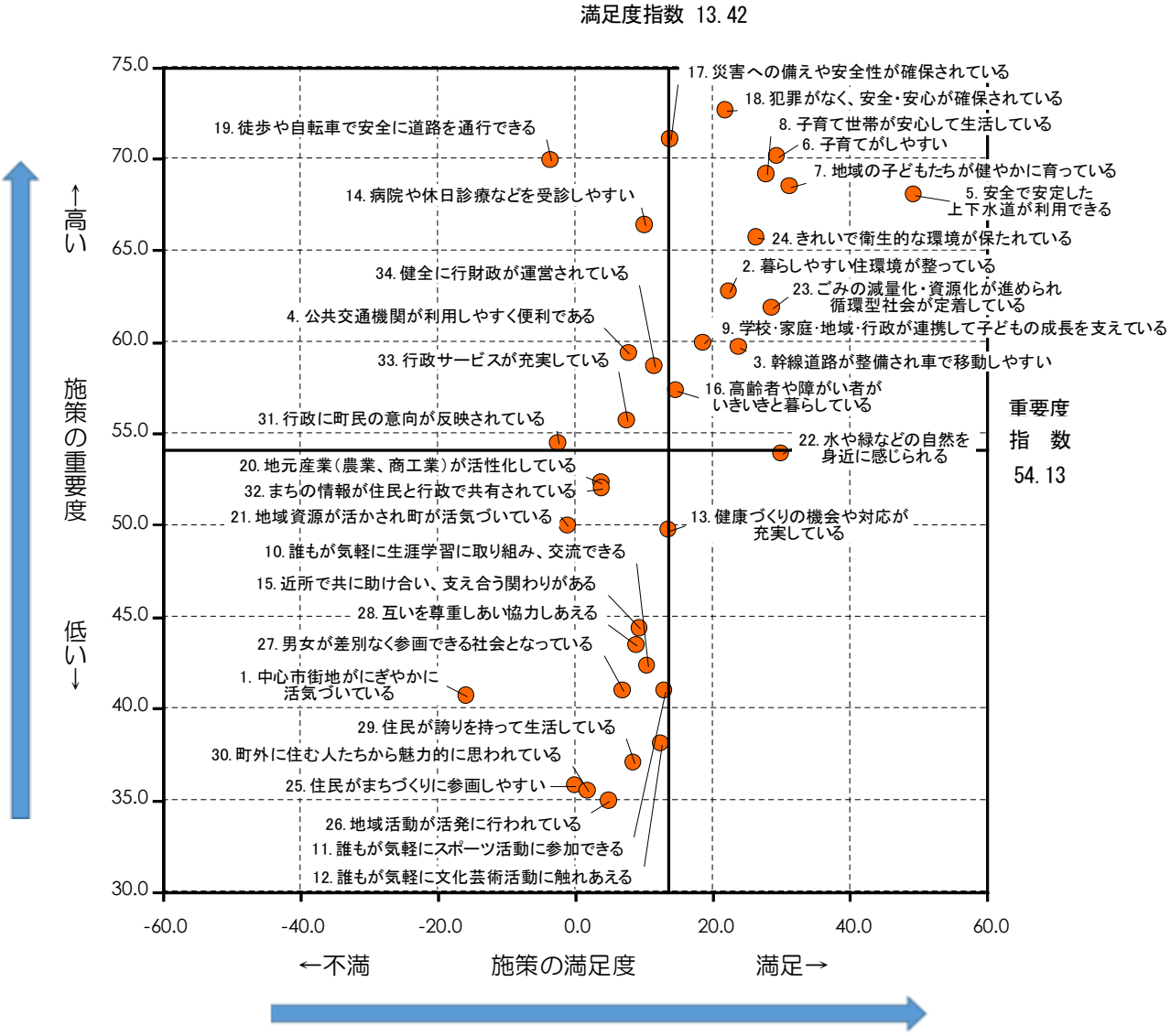
図表 1-5-4　満足度指数と重要度指数からみた施策評価の考え方



重要度指数が高いにもかかわらず満足度指数が低い「重点改善分野」に該当する施策項目としては、以下の６つの施策が該当しています。

・公共交通機関が利用しやすく便利である
・病院や休日診療などを受診しやすい
・徒歩や自転車で安全に道路を通行できる
・行政に町民の意向が反映されている
・行政サービスが充実している
・健全に行財政が運営されている

図表 1-5-5　満足度指数と重要度指数　散布図



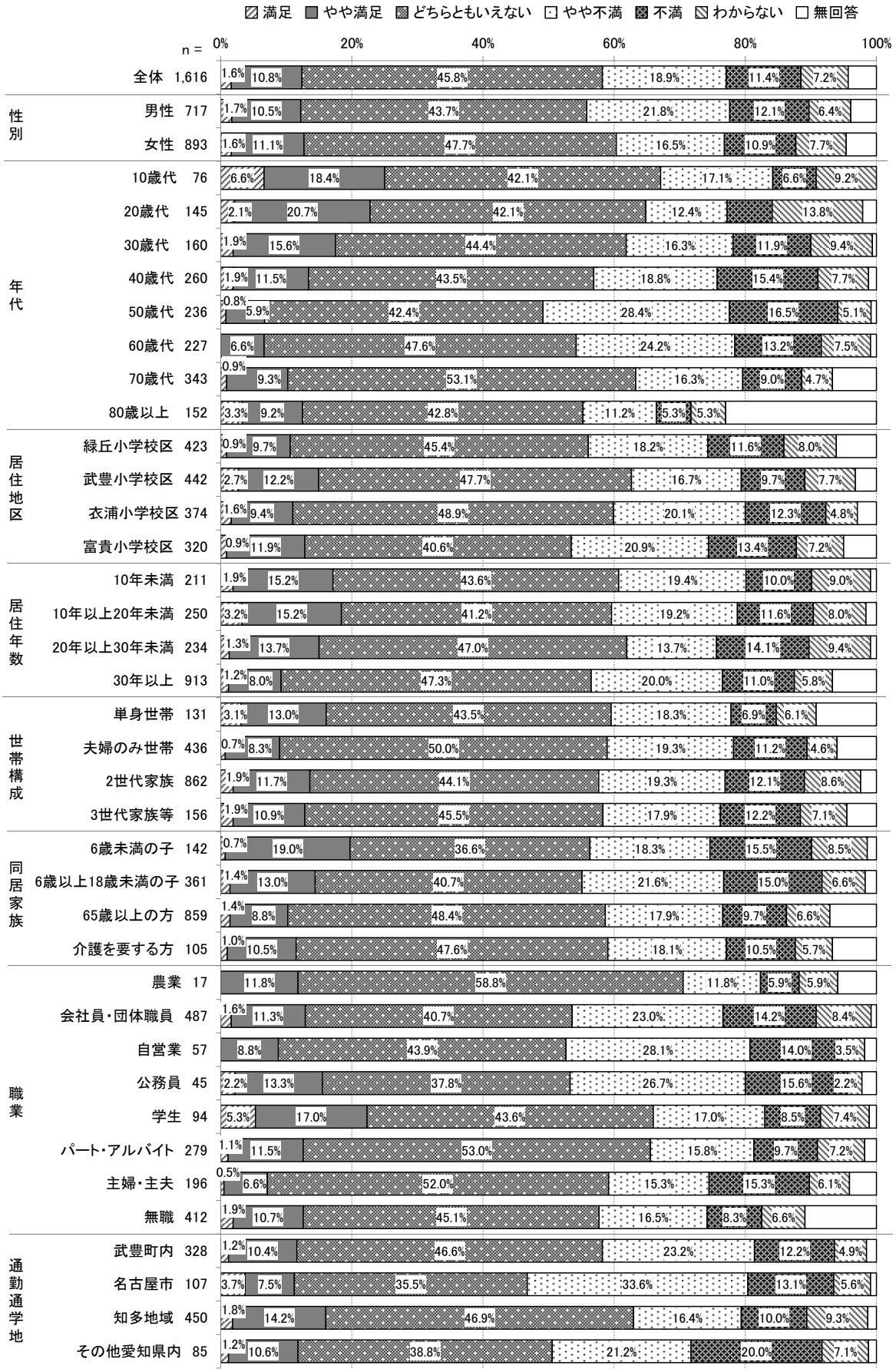
基本目標	No	施策項目	満足度指数	重要度指数
分野１ 都市環境	1	中心市街地がにぎやかに活気づいている	-15.59	40.61
	2	暮らしやすい住環境が整っている	22.60	62.67
	3	幹線道路が整備され車で移動しやすい	24.04	59.64
	4	公共交通機関が利用しやすく便利である	7.97	59.29
	5	安全で安定した上下水道が利用できる	49.50	67.94
分野２ 子ども	6	子育てがしやすい	29.61	70.06
	7	地域の子どもたちが健やかに育っている	31.39	68.39
	8	子育て世帯が安心して生活している	27.97	69.07
分野３ 学び	9	学校･家庭･地域･行政が連携して子どもの成長を支えている	18.82	59.84
	10	誰もが気軽に生涯学習に取り組み、交流できる	10.68	42.21
	11	誰もが気軽にスポーツ活動に参加できる	13.20	40.87
	12	誰もが気軽に文化芸術活動に触れあえる	12.73	37.98
分野４ 健康・福祉	13	健康づくりの機会や対応が充実している	13.81	49.66
	14	病院や休日診療などを受診しやすい	10.27	66.31
	15	近所で共に助け合い、支え合う関わりがある	9.59	44.29
	16	高齢者や障がい者がいきいきと暮らしている	14.93	57.28
分野５ 安全・安心	17	災害への備えや安全性が確保されている	13.98	70.98
	18	犯罪がなく、安全・安心が確保されている	22.10	72.56
	19	徒歩や自転車で安全に道路を通行できる	-3.43	69.82
分野６ 産業・交流	20	地元産業（農業、商工業）が活性化している	3.96	52.22
	21	地域資源が活かされ町が活気づいている	-0.90	49.89
分野７ 環境	22	水や緑などの自然を身近に感じられる	30.18	53.82
	23	ごみの減量化･資源化が進められ、循環型社会が定着している	28.79	61.77
	24	きれいで衛生的な環境が保たれている	26.64	65.61
分野８ まちづくり ・地域経営	25	住民がまちづくりに参画しやすい	0.17	35.69
	26	地域活動が活発に行われている	5.13	34.86
	27	男女が差別なく参画できる社会となっている	7.06	40.87
	28	互いを尊重しあい協力しあえる	9.08	43.35
	29	住民が誇りを持って生活している	8.74	36.93
	30	町外に住む人たちから魅力的に思われている	2.01	35.41
分野９ 行財政	31	行政に町民の意向が反映されている	-2.27	54.36
	32	まちの情報が住民と行政で共有されている	4.10	51.92
	33	行政サービスが充実している	7.67	55.63
	34	健全に行財政が運営されている	11.72	58.56
平均値			13.42	54.13

図表 1-5-6～39 に属性別満足度の結果を、図表 1-5-40～73 属性別重要度の結果をグラフに示します。

【満足度】

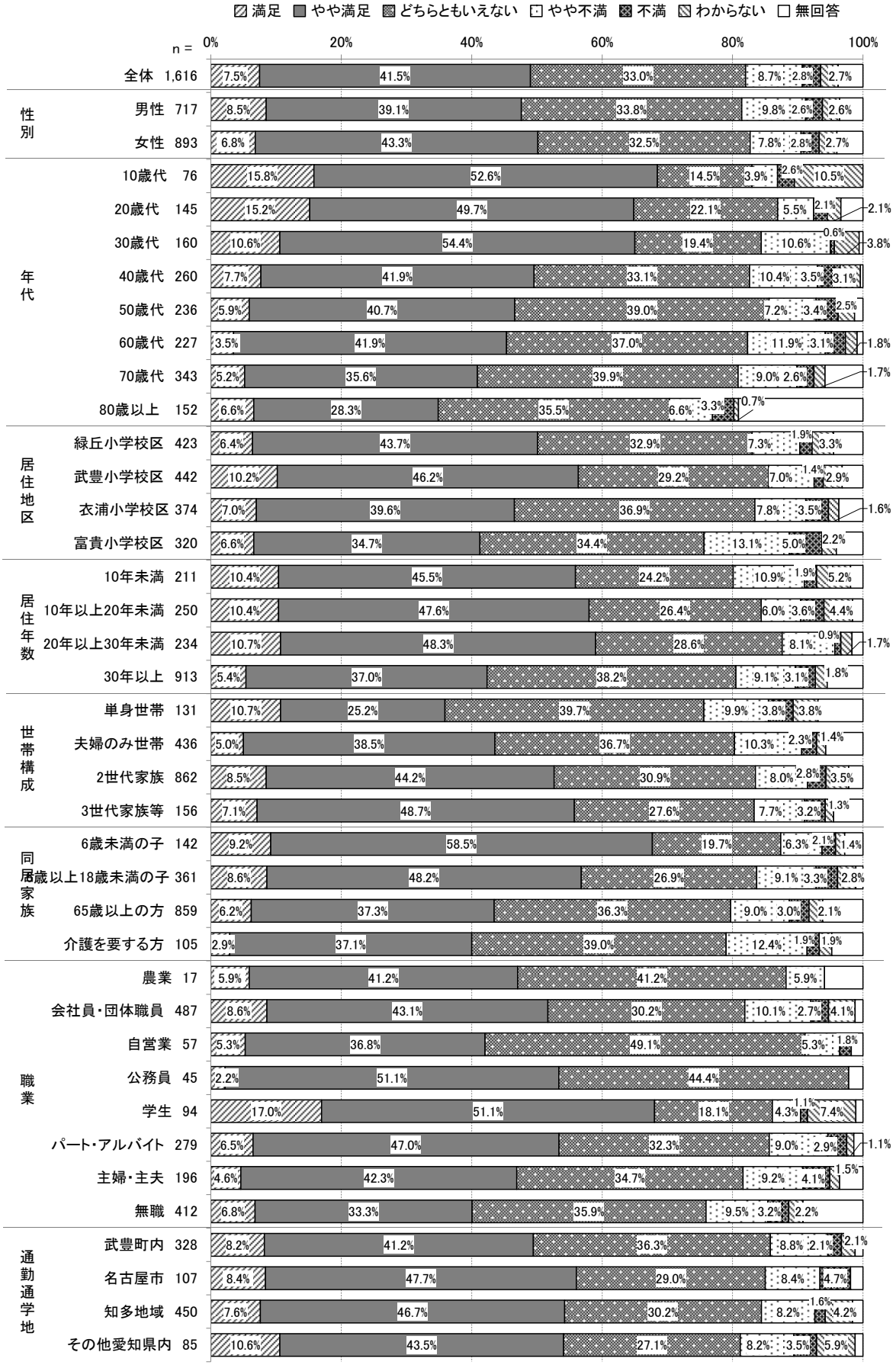
図表 1-5-6　属性別、満足度

分野１　都市環境　　1.中心市街地がにぎやかに活気づいている



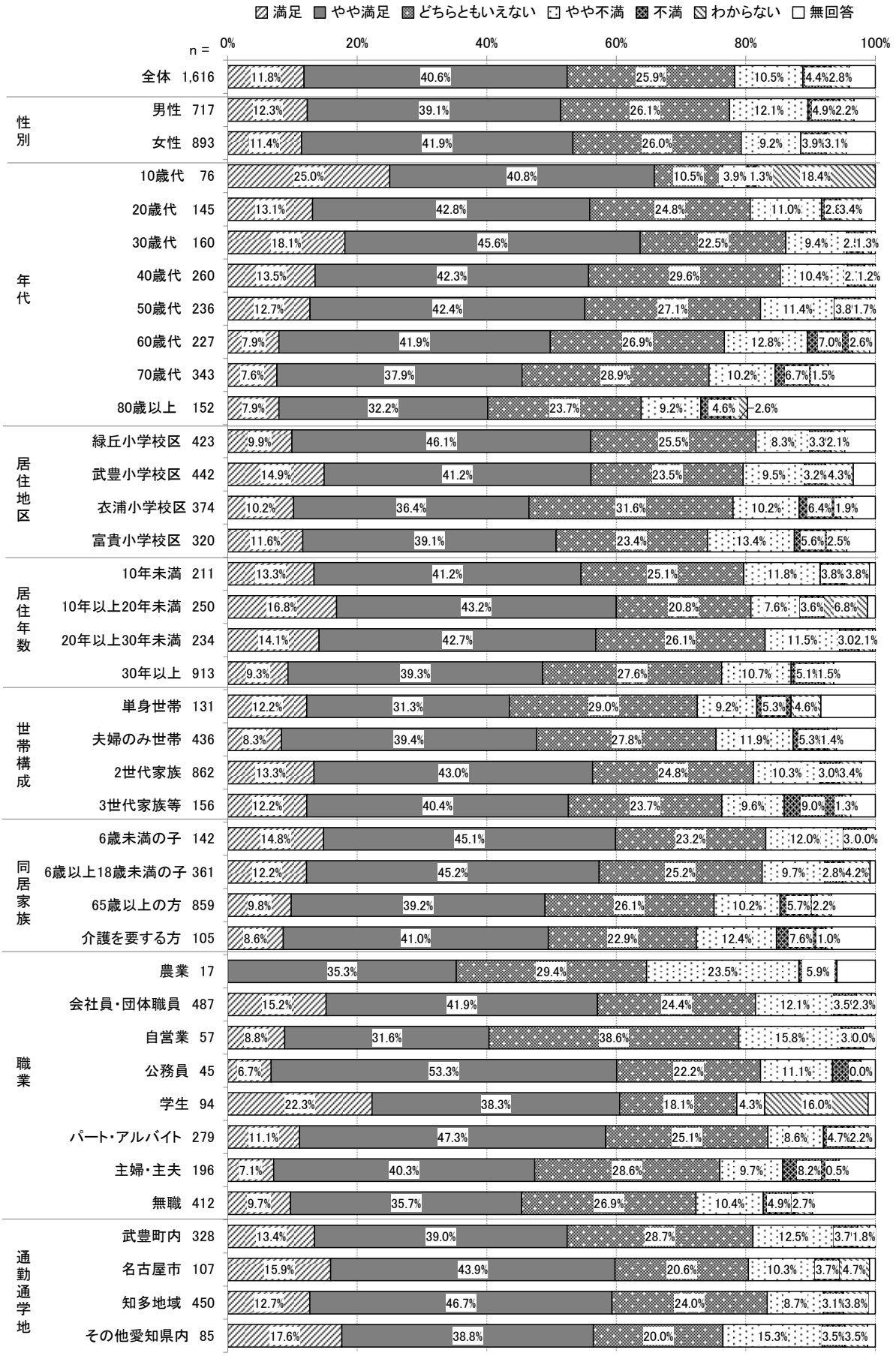
図表 1-5-7　属性別、満足度

分野１　都市環境　　2.暮らしやすい住環境が整っている



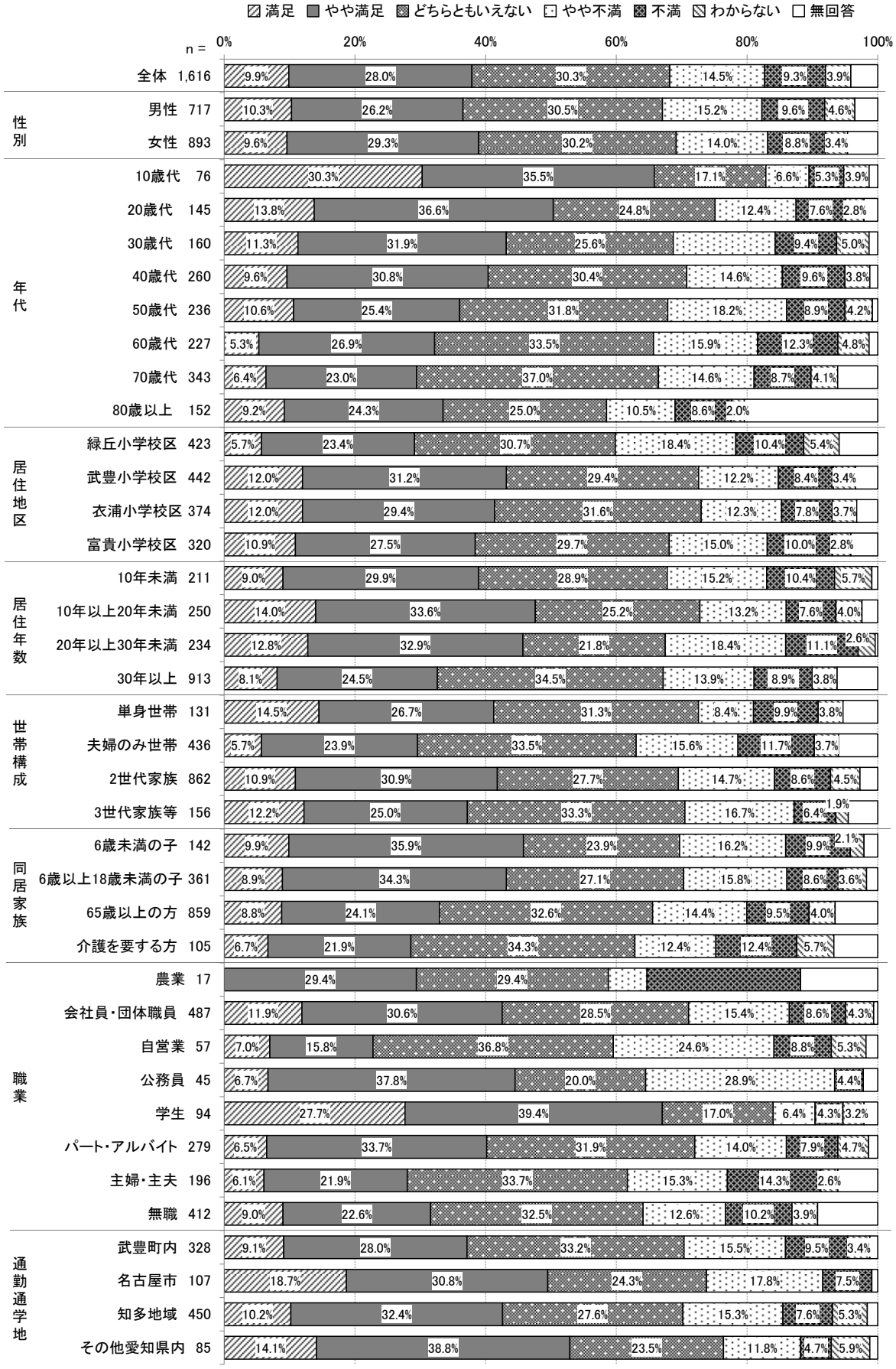
図表 1-5-8　属性別、満足度

分野１　都市環境　　3.幹線道路が整備され車で移動しやすい



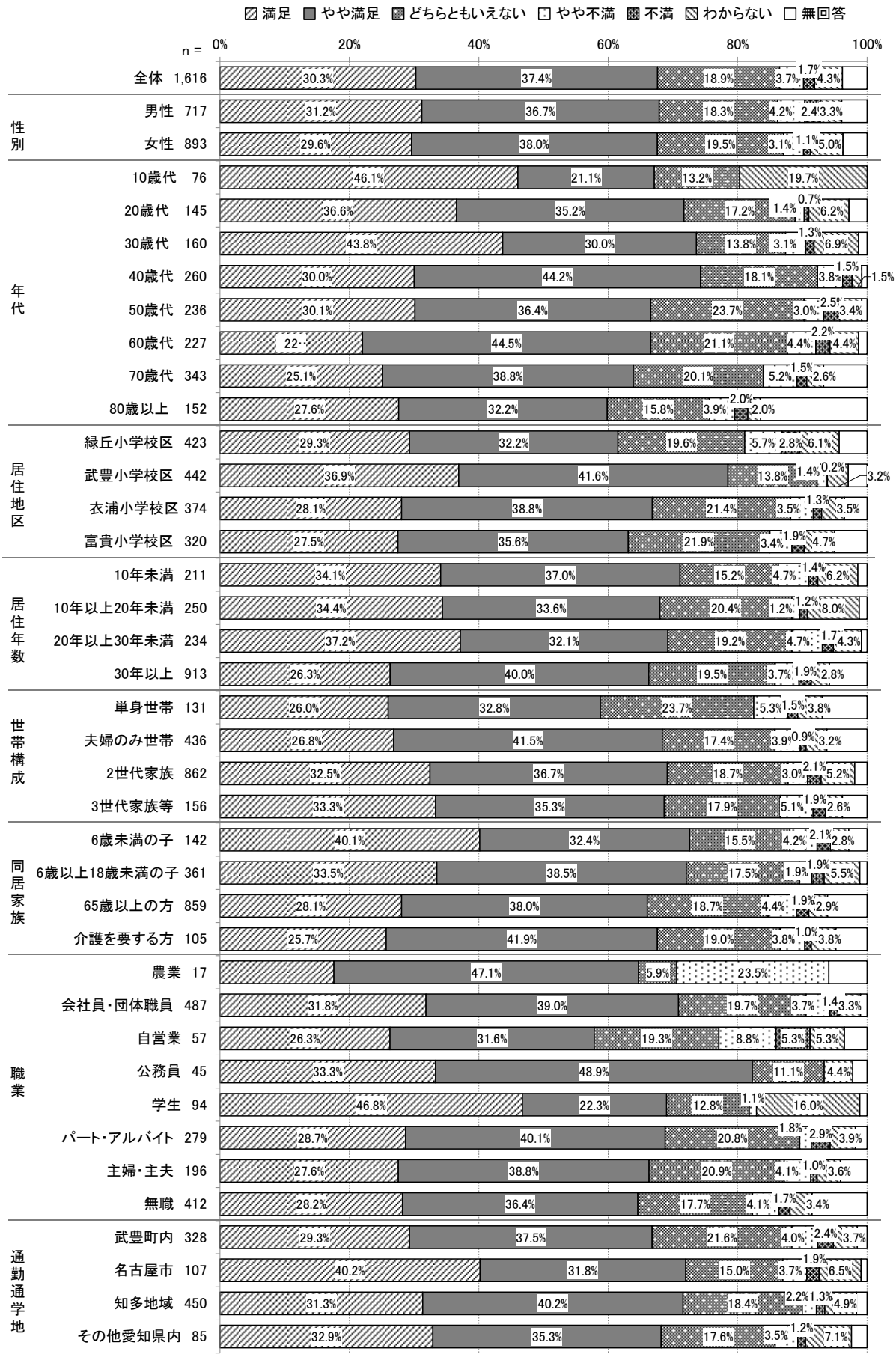
図表 1-5-9　属性別、満足度

分野１　都市環境　　4.公共交通機関が利用しやすく便利である

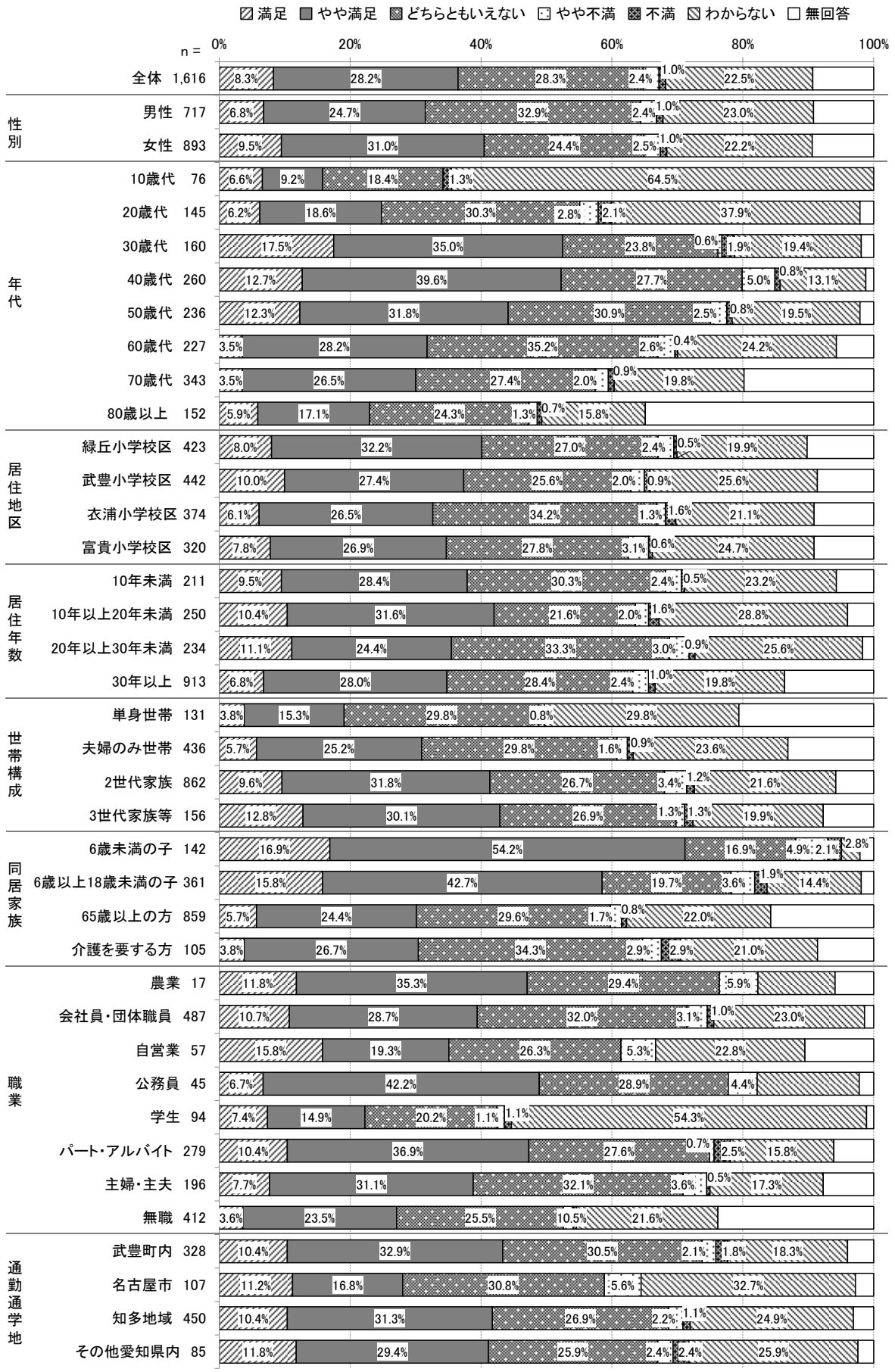


図表 1-5-10　属性別、満足度

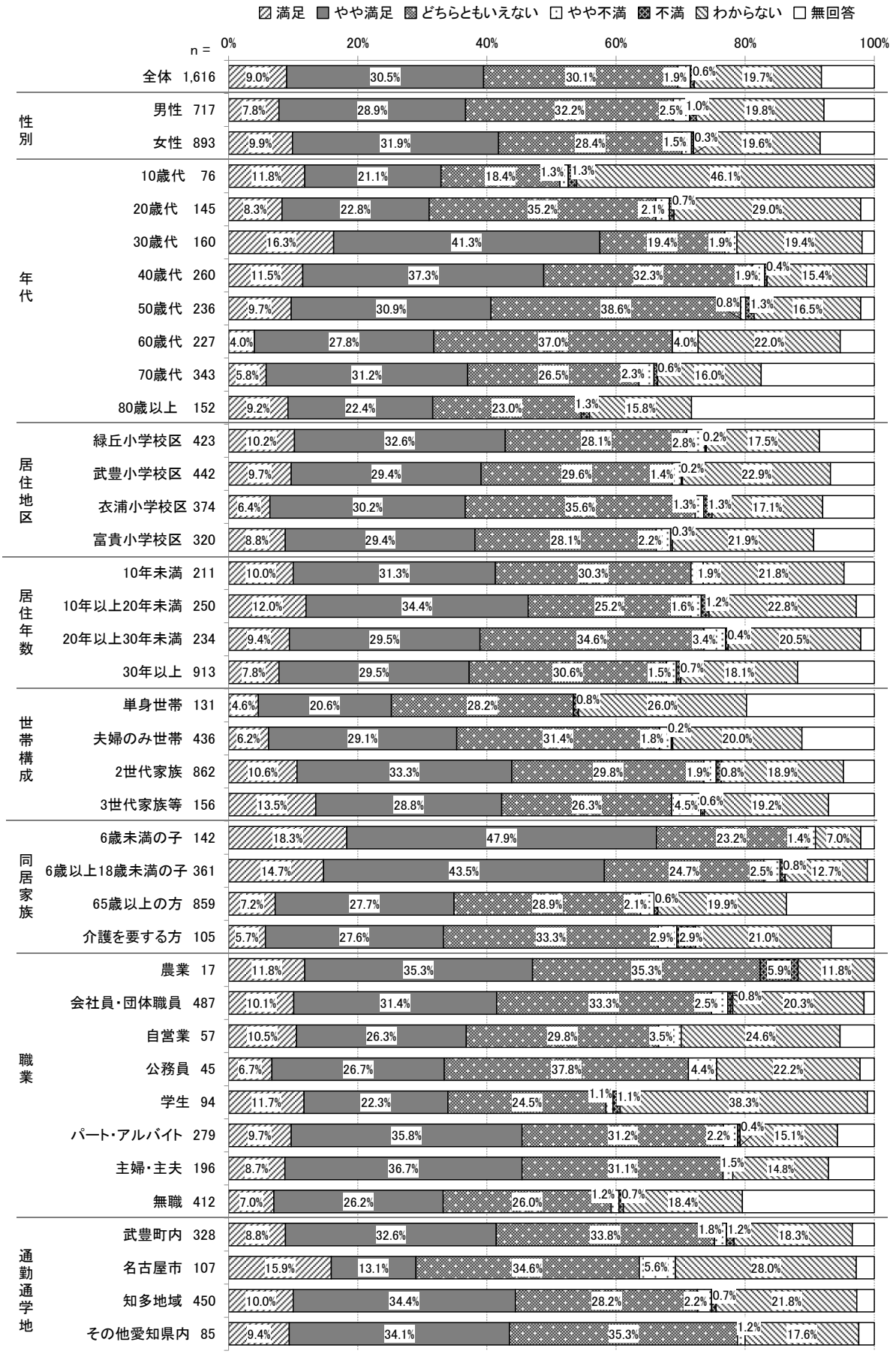
分野１　都市環境　　5.安全で安定した上下水道が利用できる



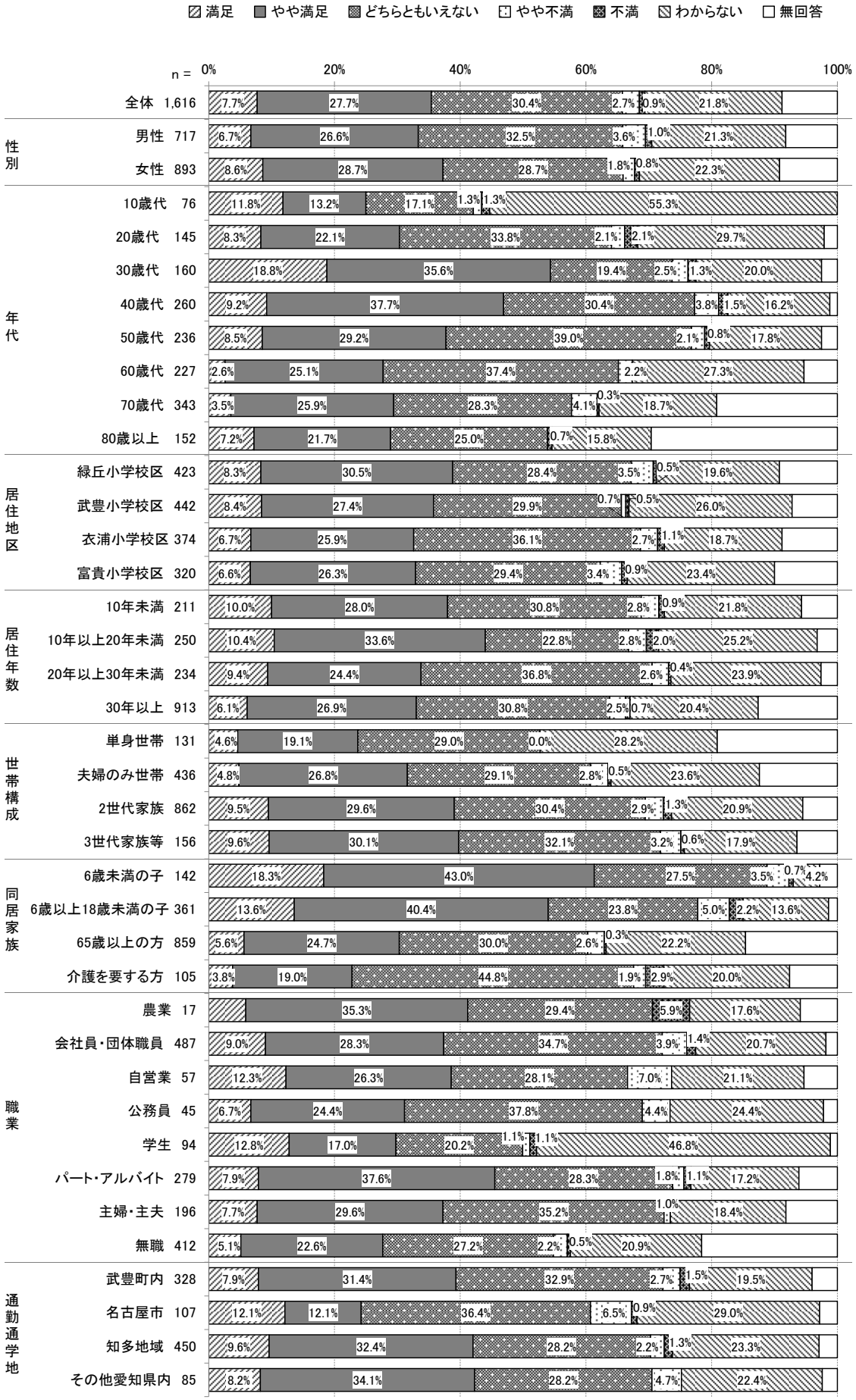
図表 1-5-11　属性別、満足度
分野２　子ども　　6.子育てがしやすい



図表 1-5-12　属性別、満足度
分野２　子ども　　7.地域の子どもたちが健やかに育っている

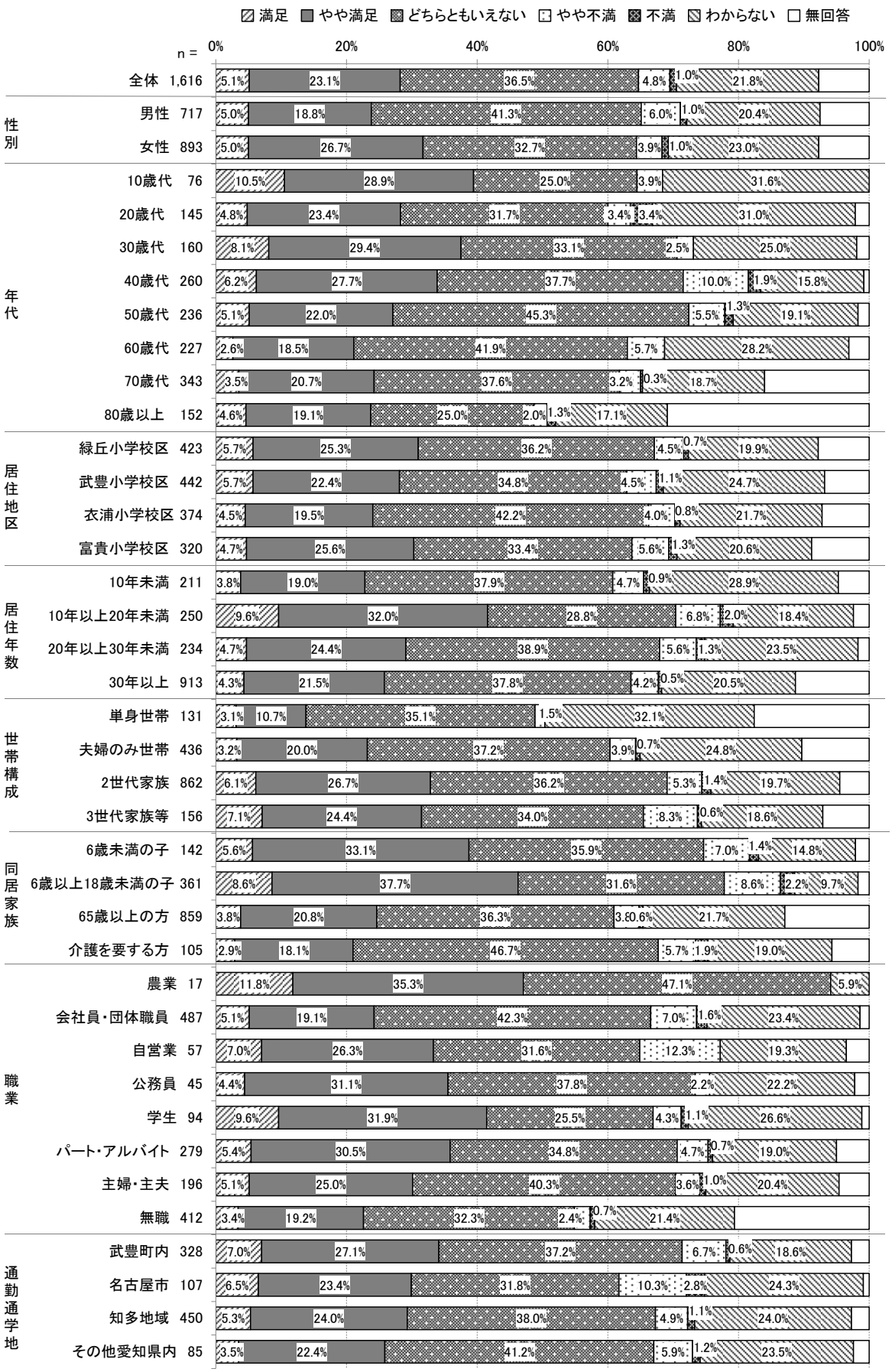


図表 1-5-13　属性別、満足度
分野２　子ども　　8.子育て世帯が安心して生活している



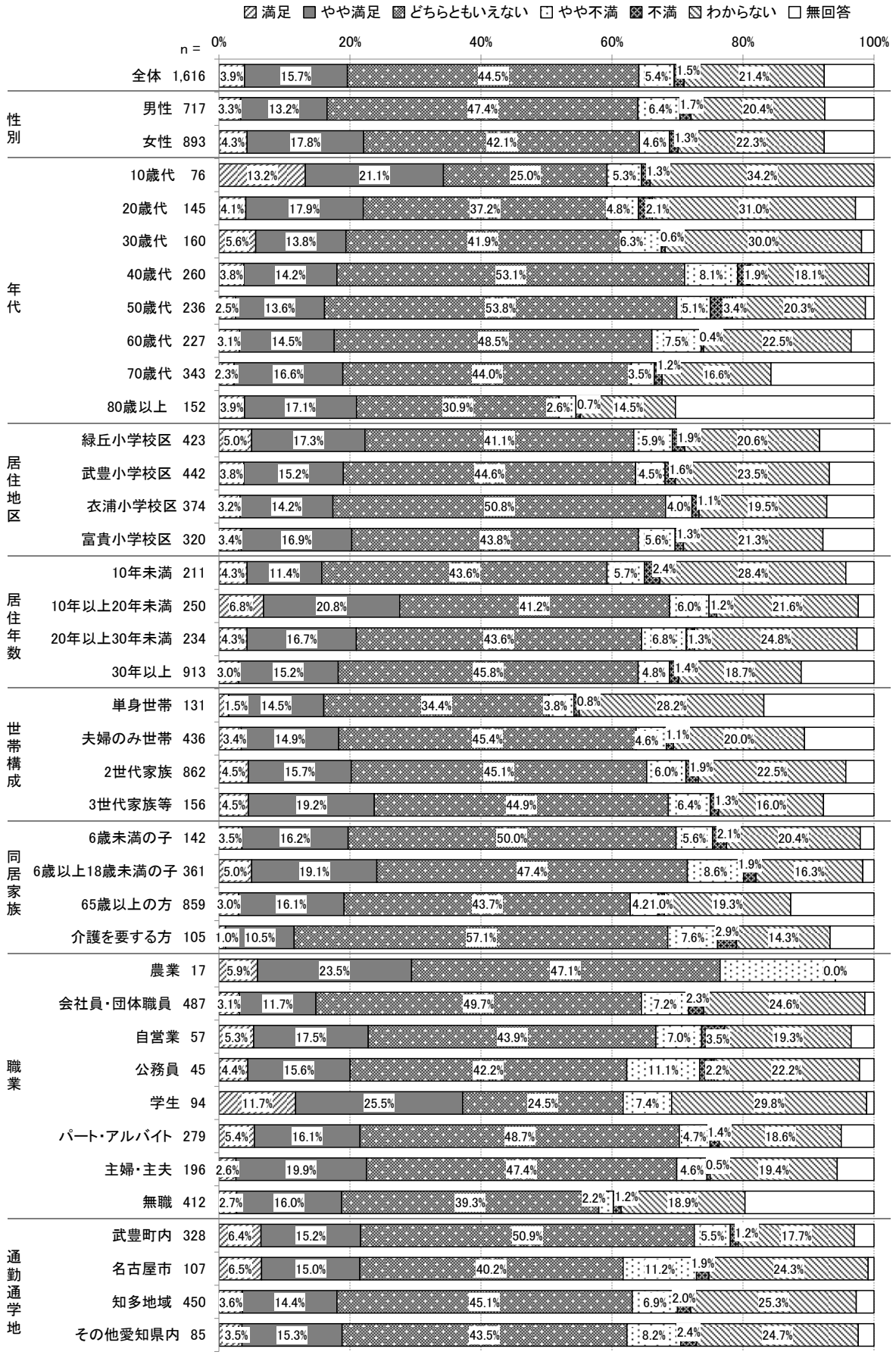
図表 1-5-14　属性別、満足度

分野３　学び　　9.学校･家庭･地域･行政が連携して子どもの成長を支えている



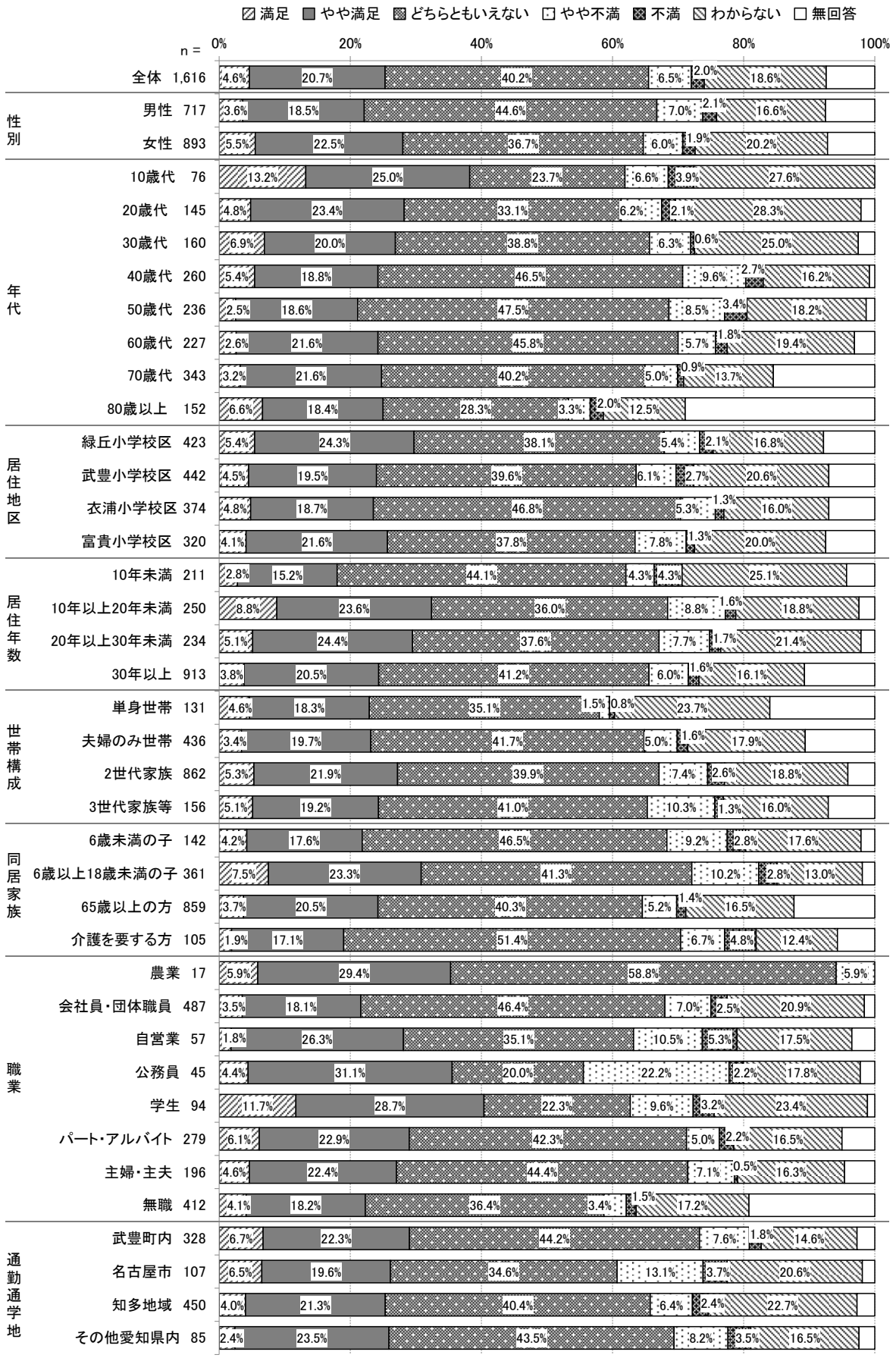
図表 1-5-15　属性別、満足度

分野３　学び　　10.誰もが気軽に生涯学習に取り組み、交流できる



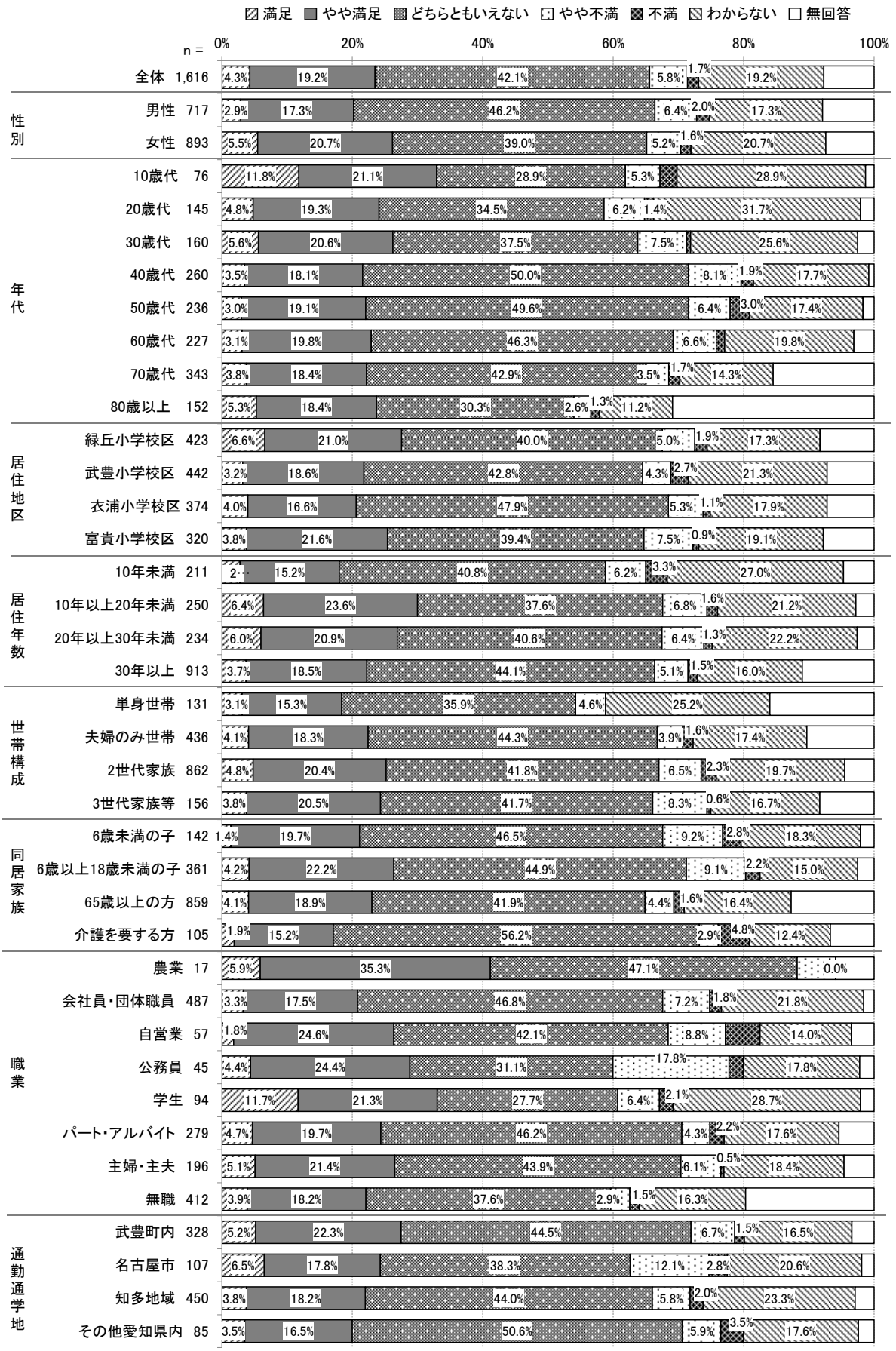
図表 1-5-16　属性別、満足度

分野３　学び　　11.誰もが気軽にスポーツ活動に参加できる



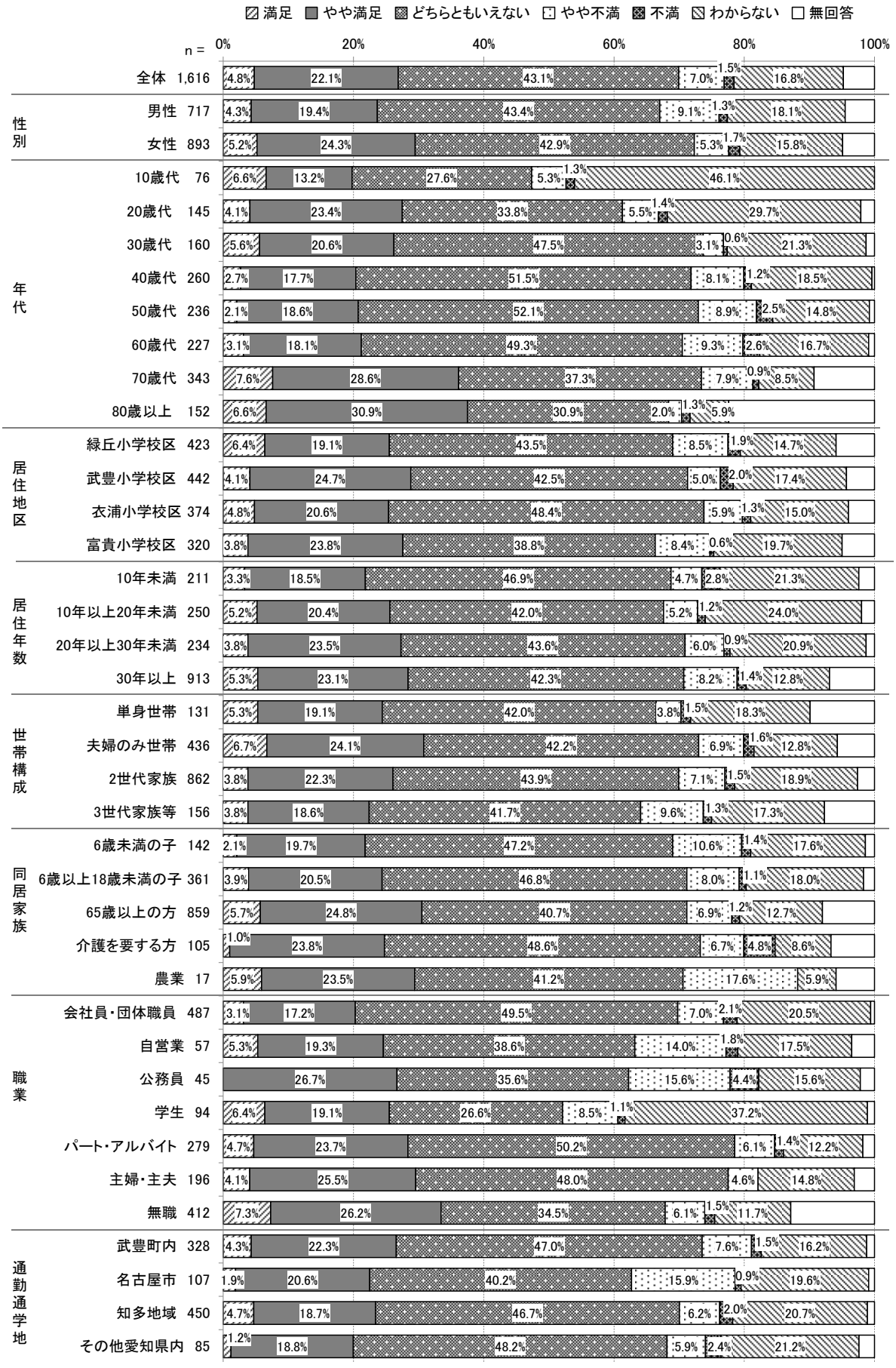
図表 1-5-17　属性別、満足度

分野３　学び　　12.誰もが気軽に文化芸術活動に触れあえる



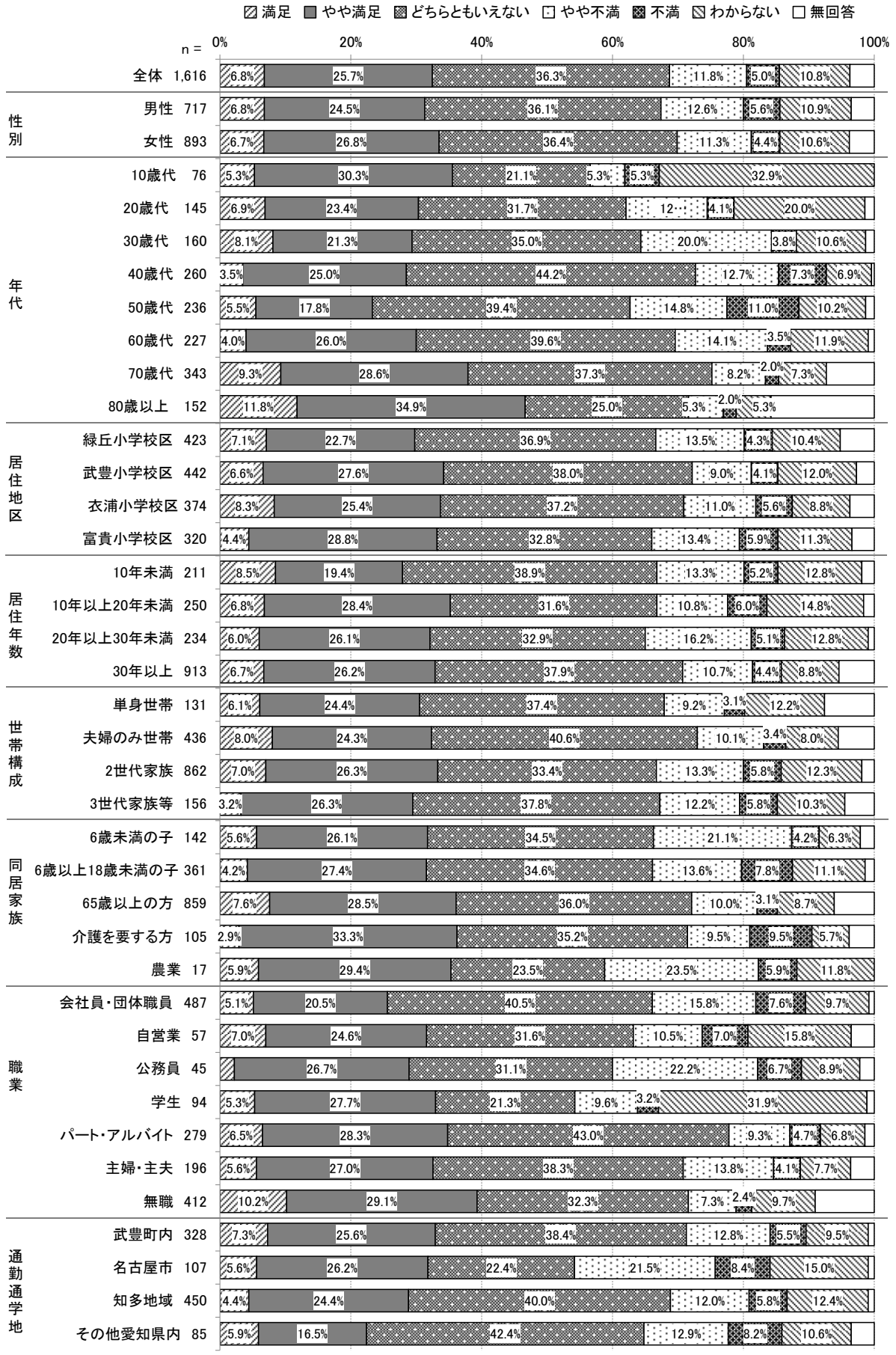
図表 1-5-18　属性別、満足度

分野４　健康・福祉　　13.健康づくりの機会や対応が充実している



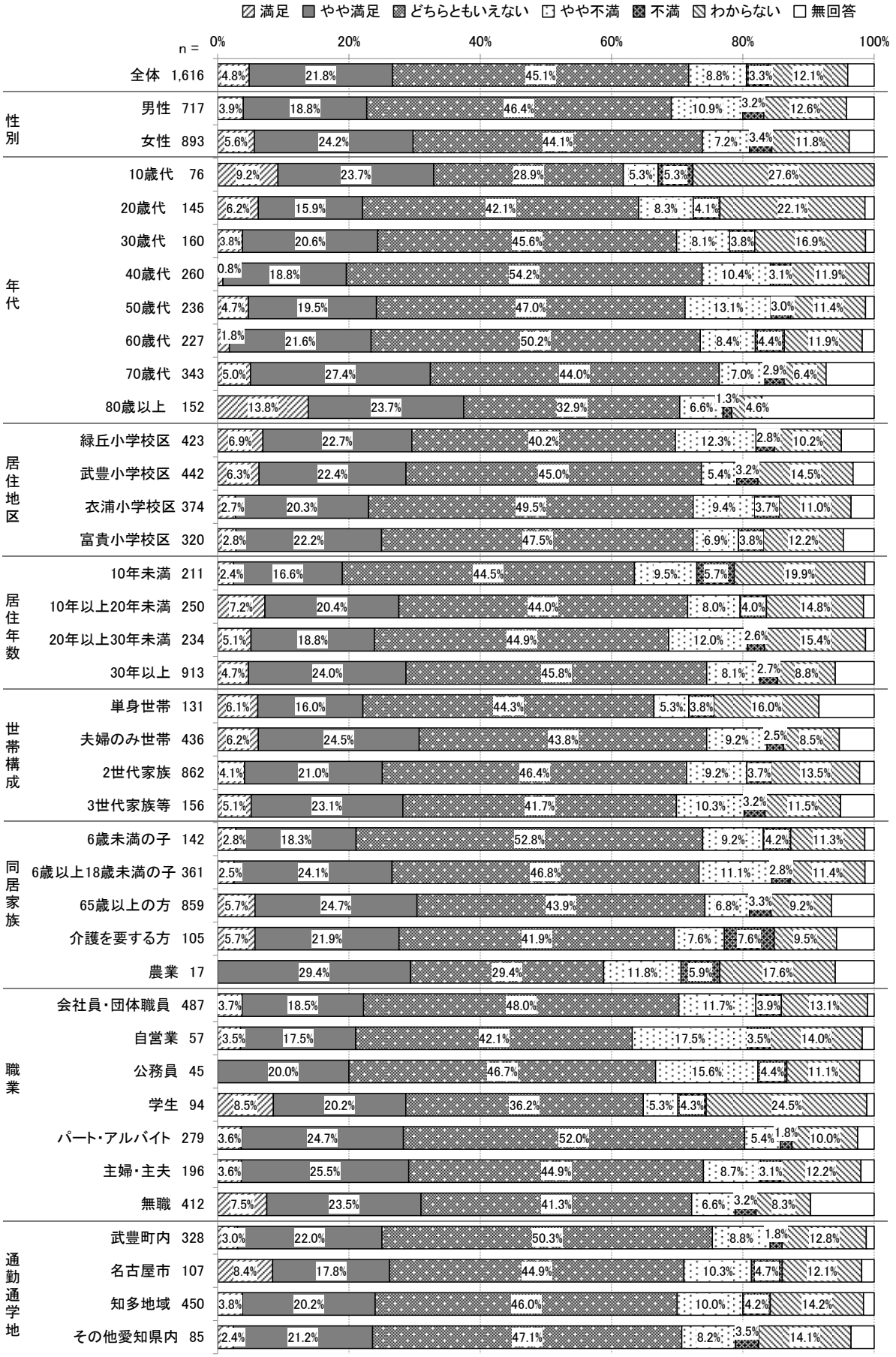
図表 1-5-19　属性別、満足度

分野４　健康・福祉　　14.病院や休日診療などを受診しやすい



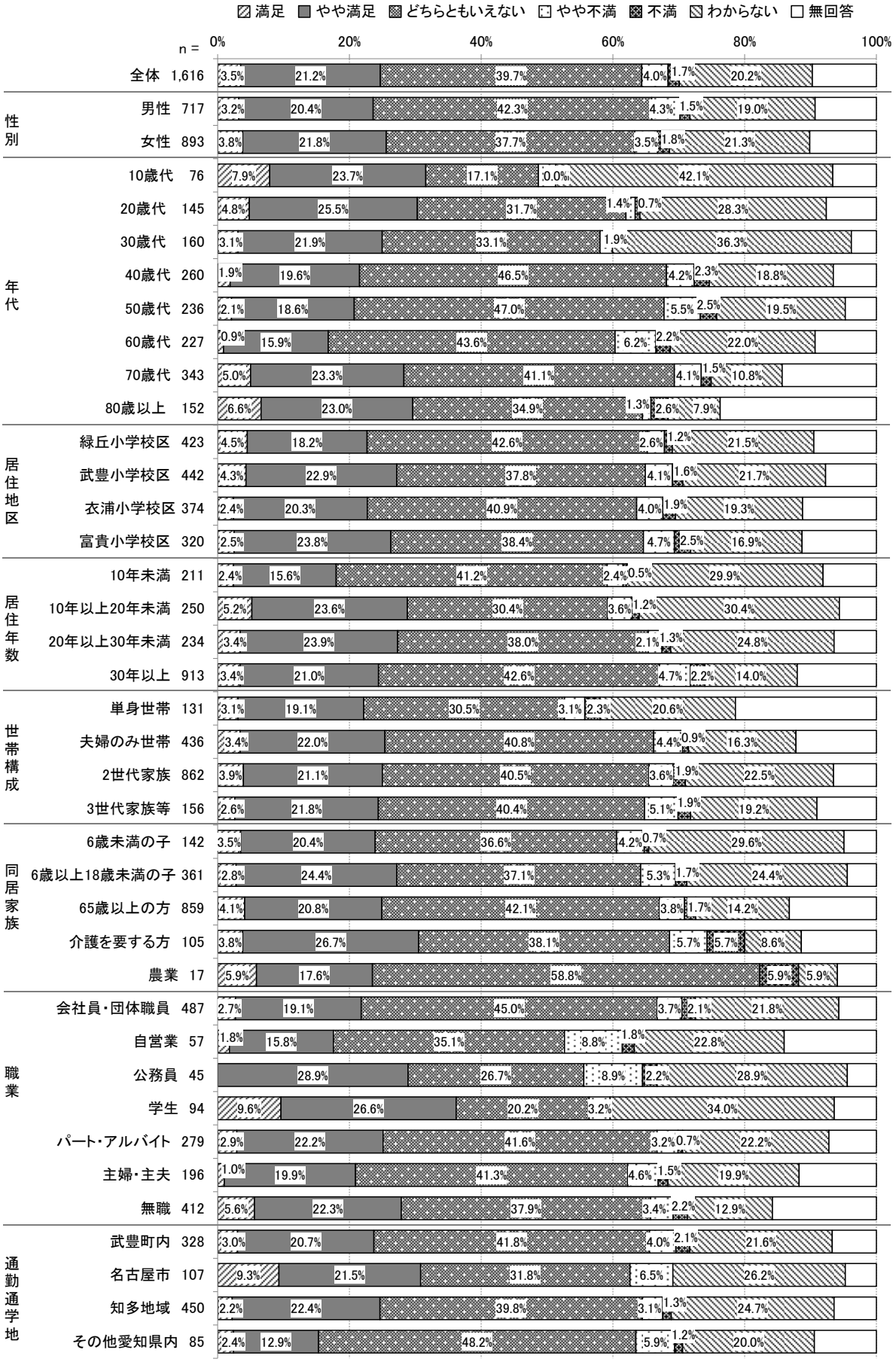
図表 1-5-20　属性別、満足度

分野４　健康・福祉　　15.近所で共に助け合い、支え合う関わりがある



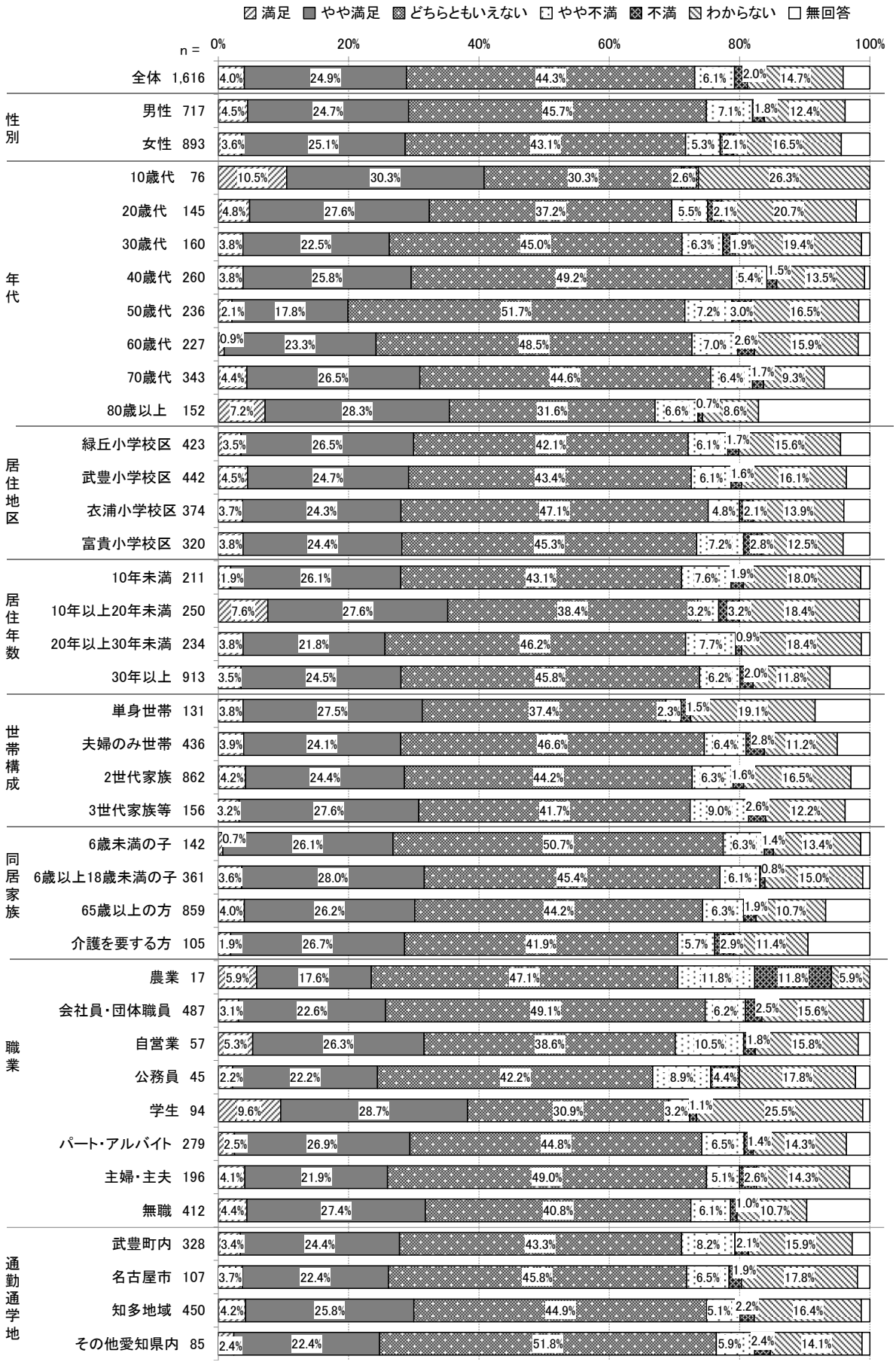
図表 1-5-21　属性別、満足度

分野４　健康・福祉　　16.高齢者や障がい者がいきいきと暮らしている



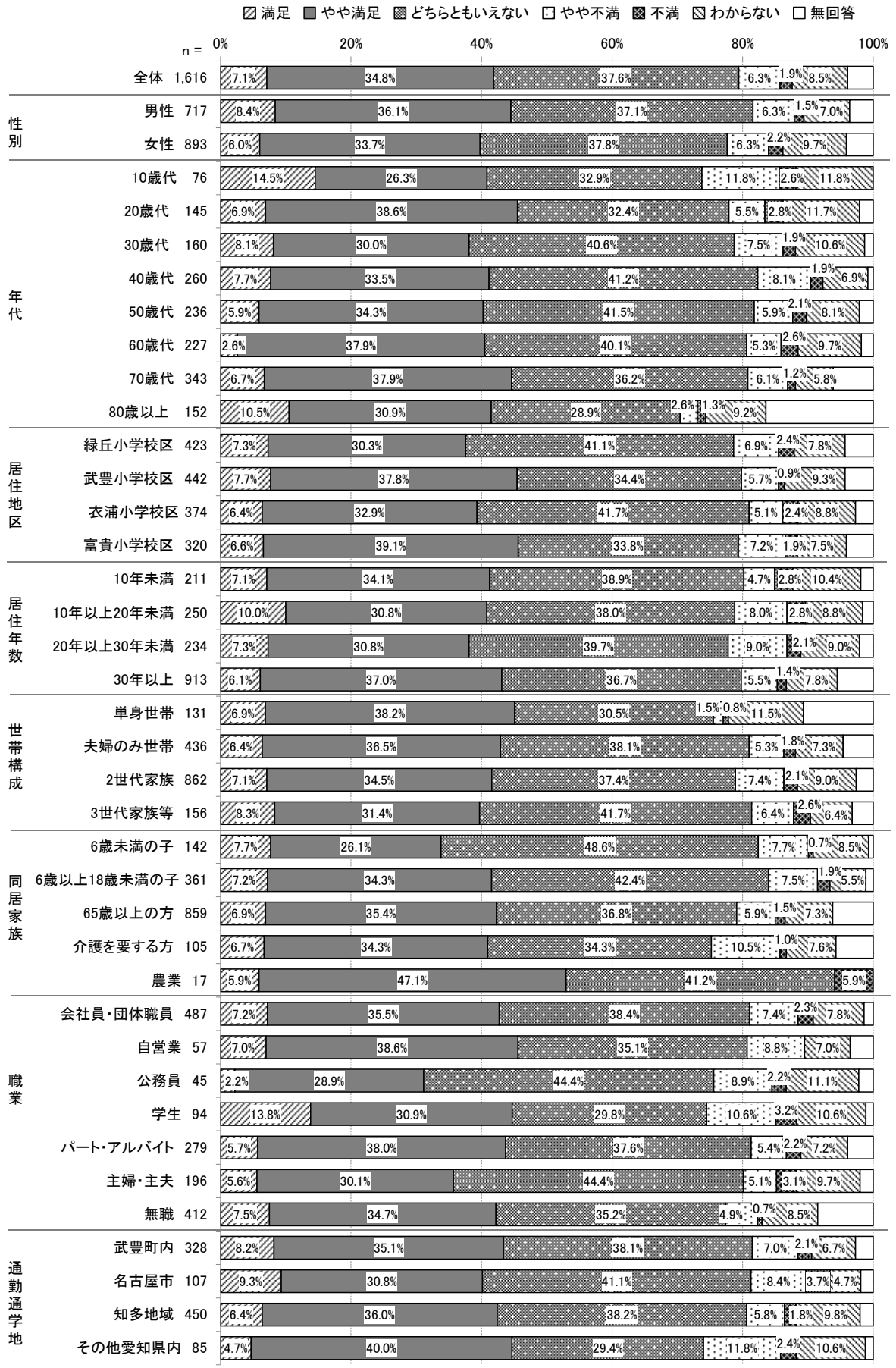
図表 1-5-22　属性別、満足度

分野５　安全・安心　　17.災害への備えや安全性が確保されている



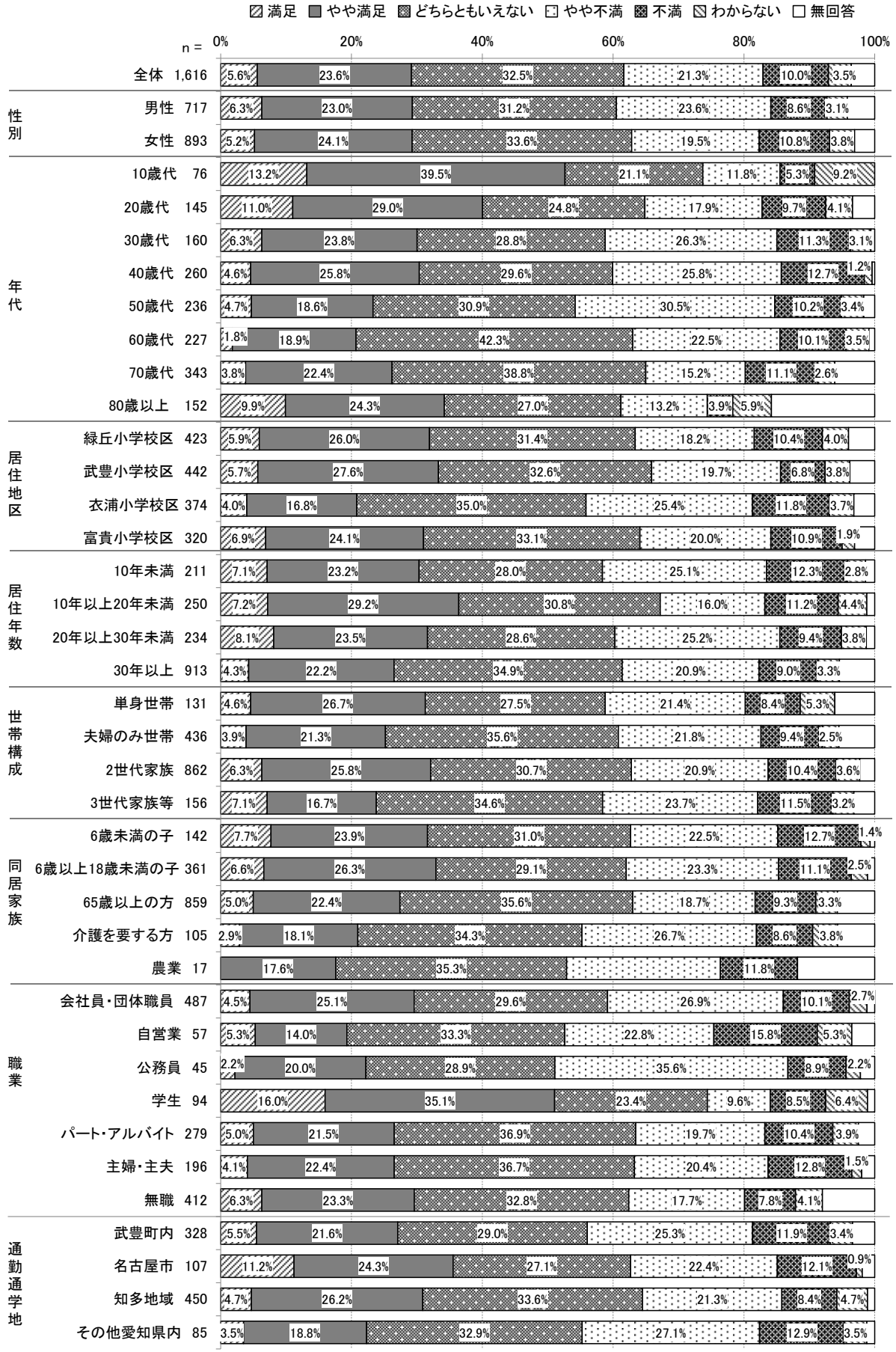
図表 1-5-23　属性別、満足度

分野５　安全・安心　　18.犯罪がなく、安全・安心が確保されている



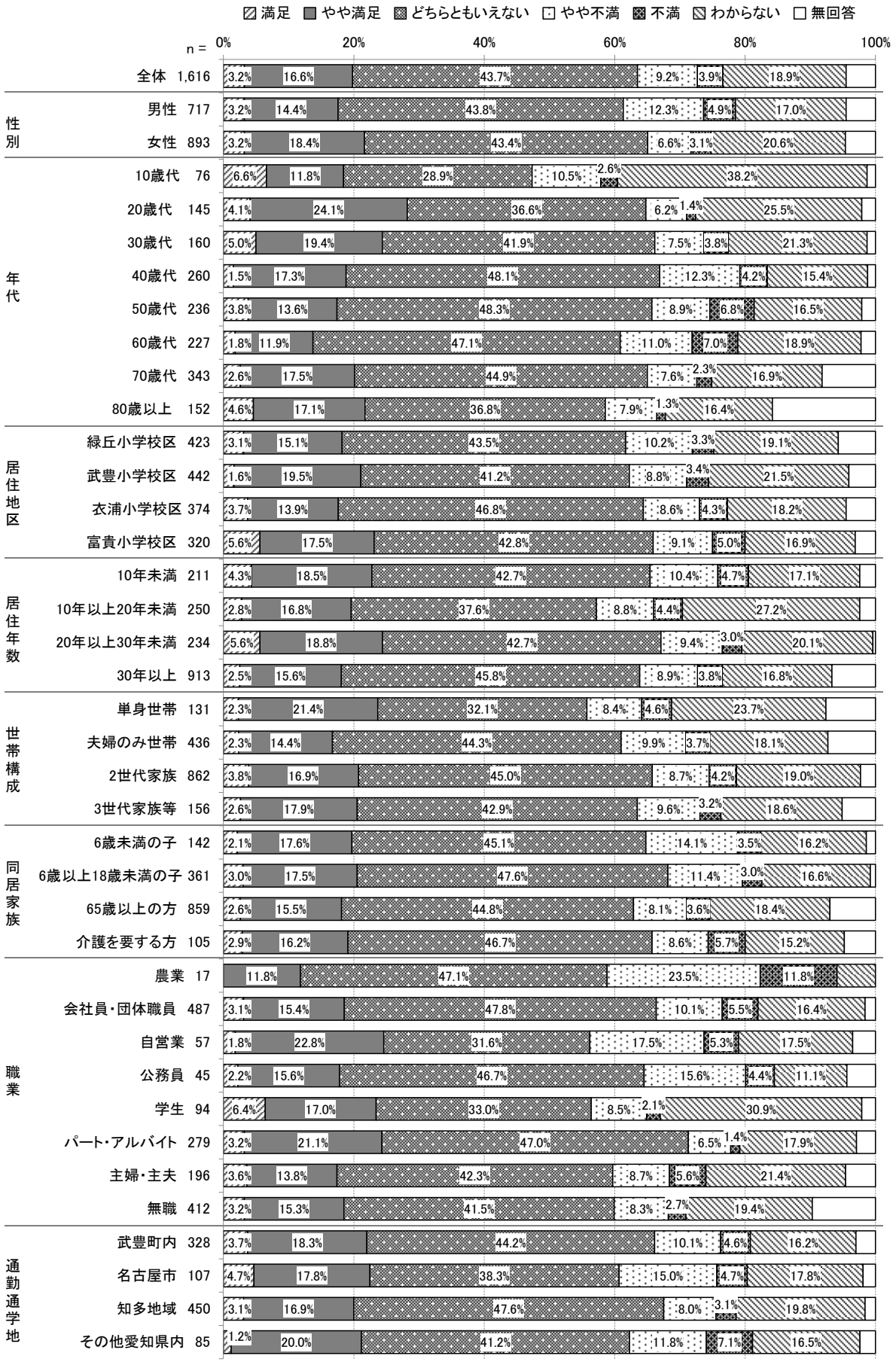
図表 1-5-24　属性別、満足度

分野５　安全・安心　　19.徒歩や自転車で安全に道路を通行できる



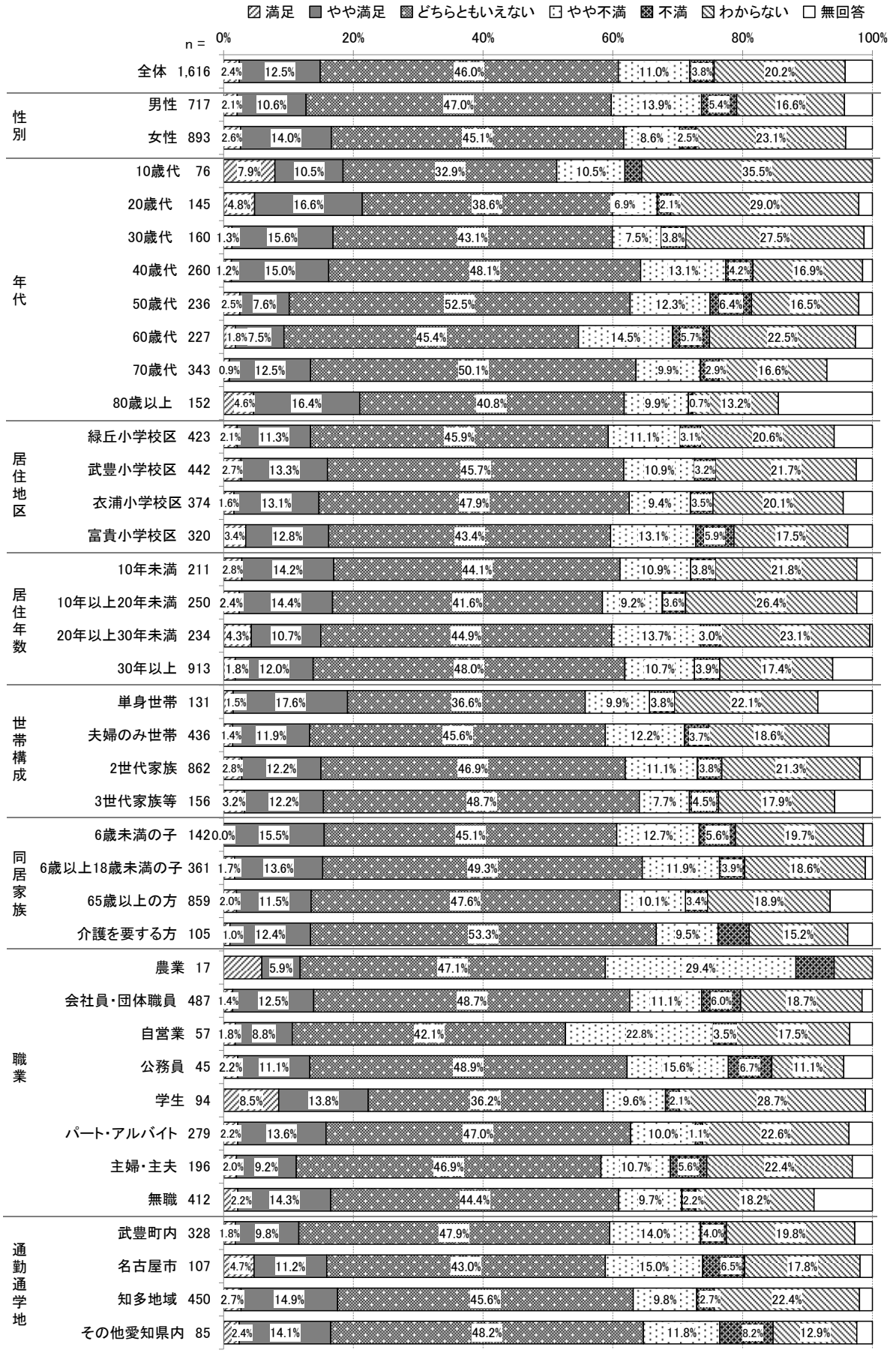
図表 1-5-25　属性別、満足度

分野６　産業・交流　　20.地元産業（農業、商工業）が活性化している



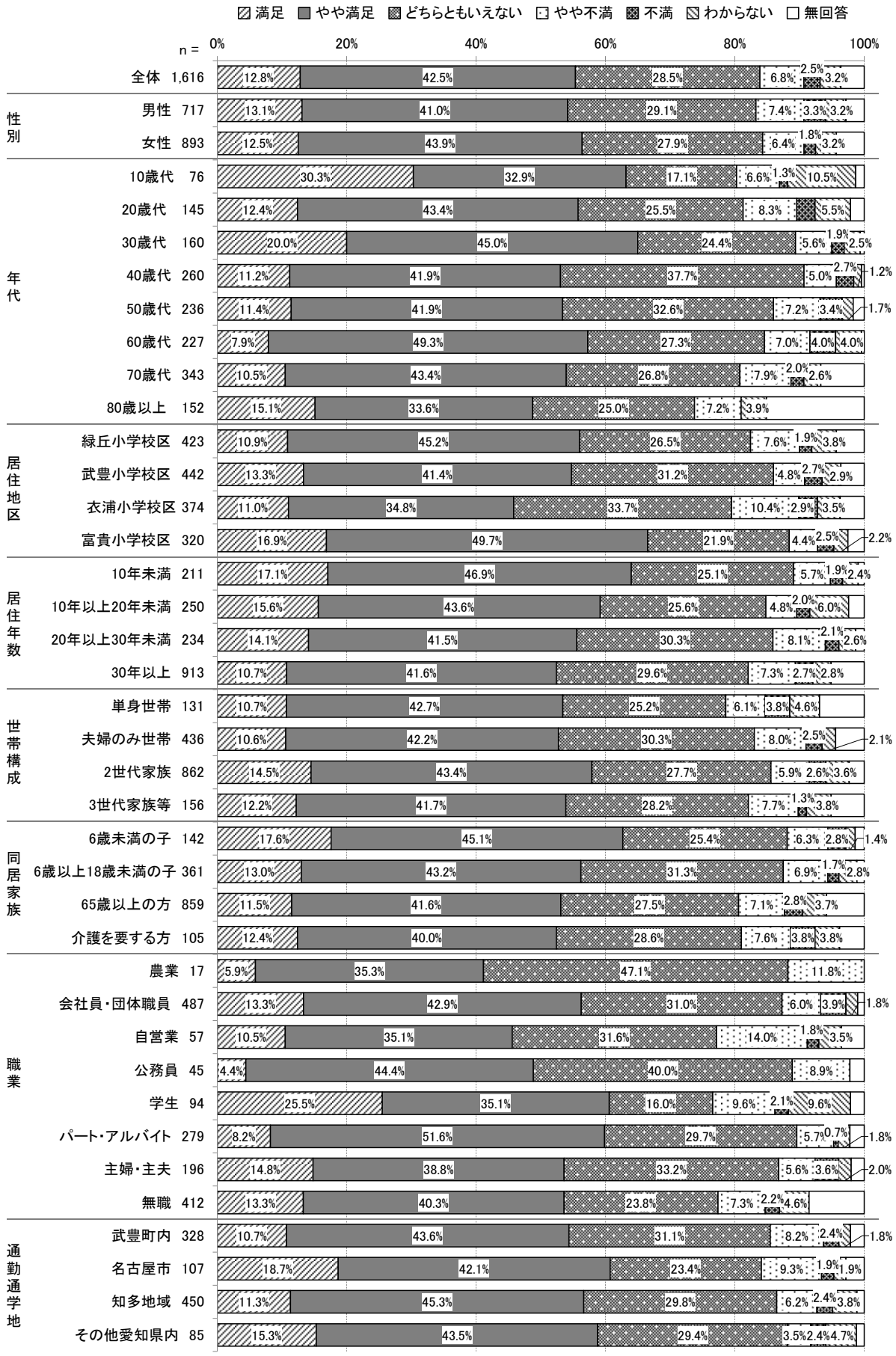
図表 1-5-26　属性別、満足度

分野６　産業・交流　　21.地域資源が活かされ町が活気づいている



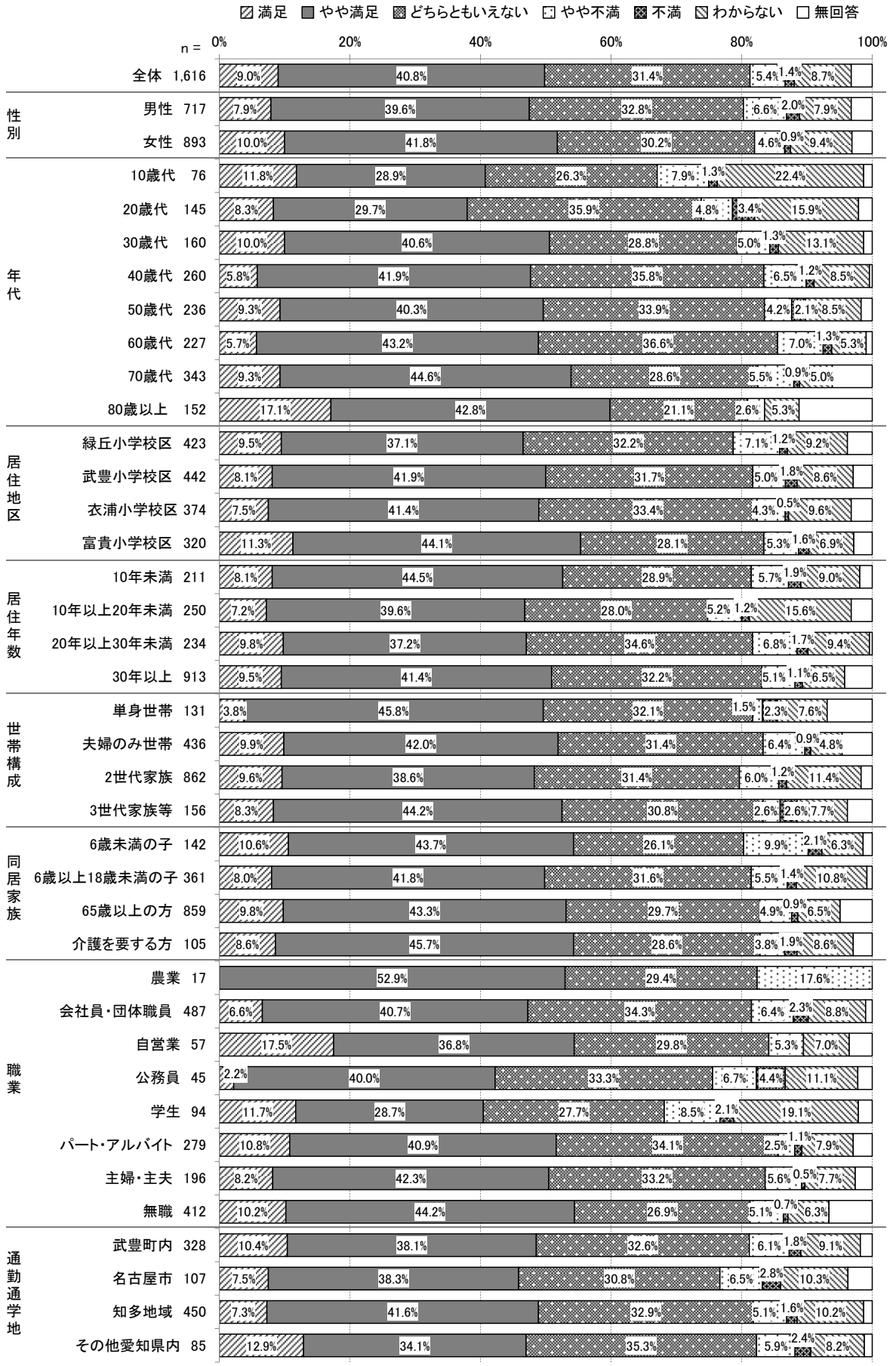
図表 1-5-27　属性別、満足度

分野７　環境　　22.水や緑などの自然を身近に感じられる



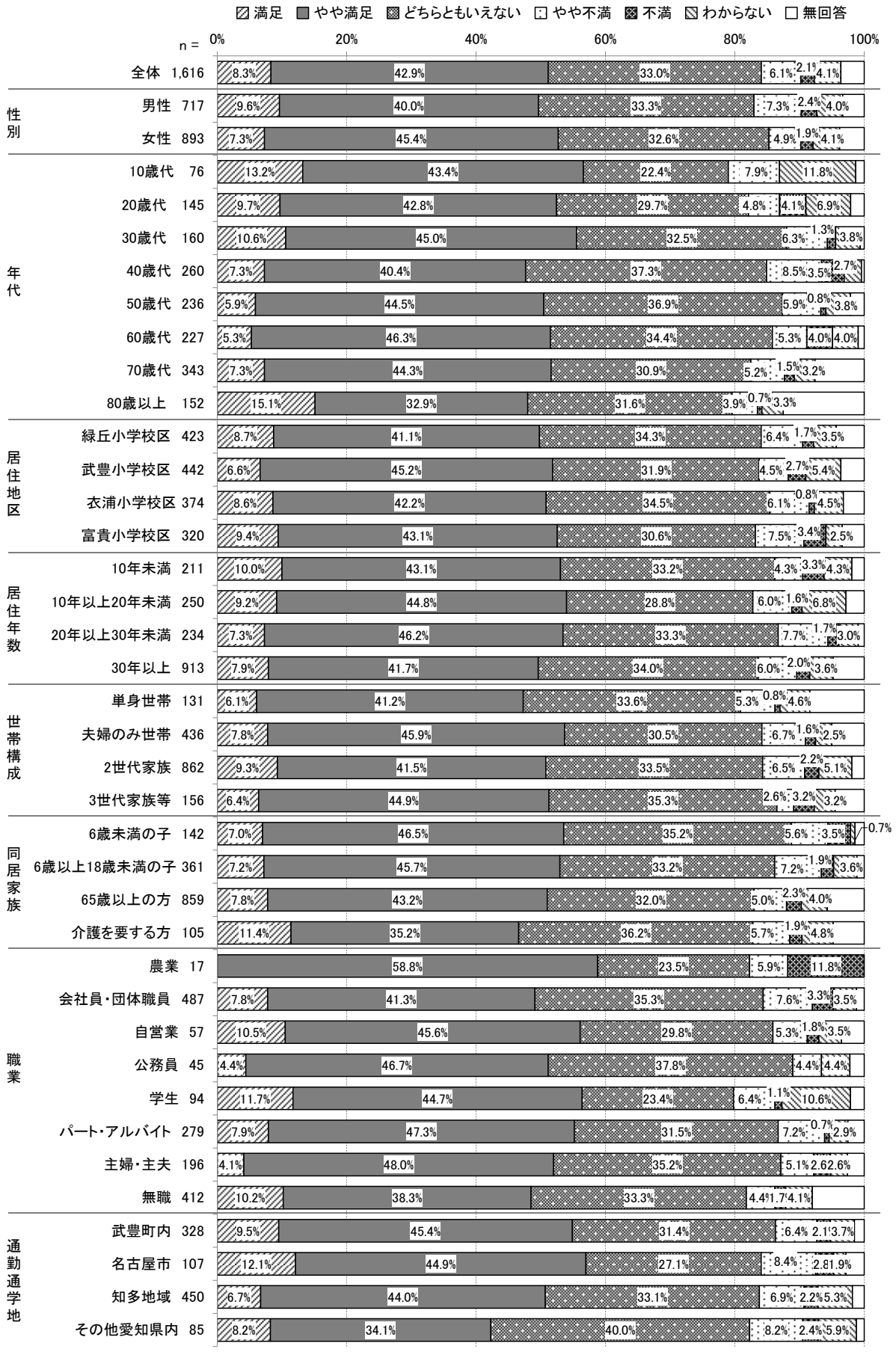
図表 1-5-28　属性別、満足度

分野７　環境　　23.ごみの減量化・資源化が進められ、循環型社会が定着している



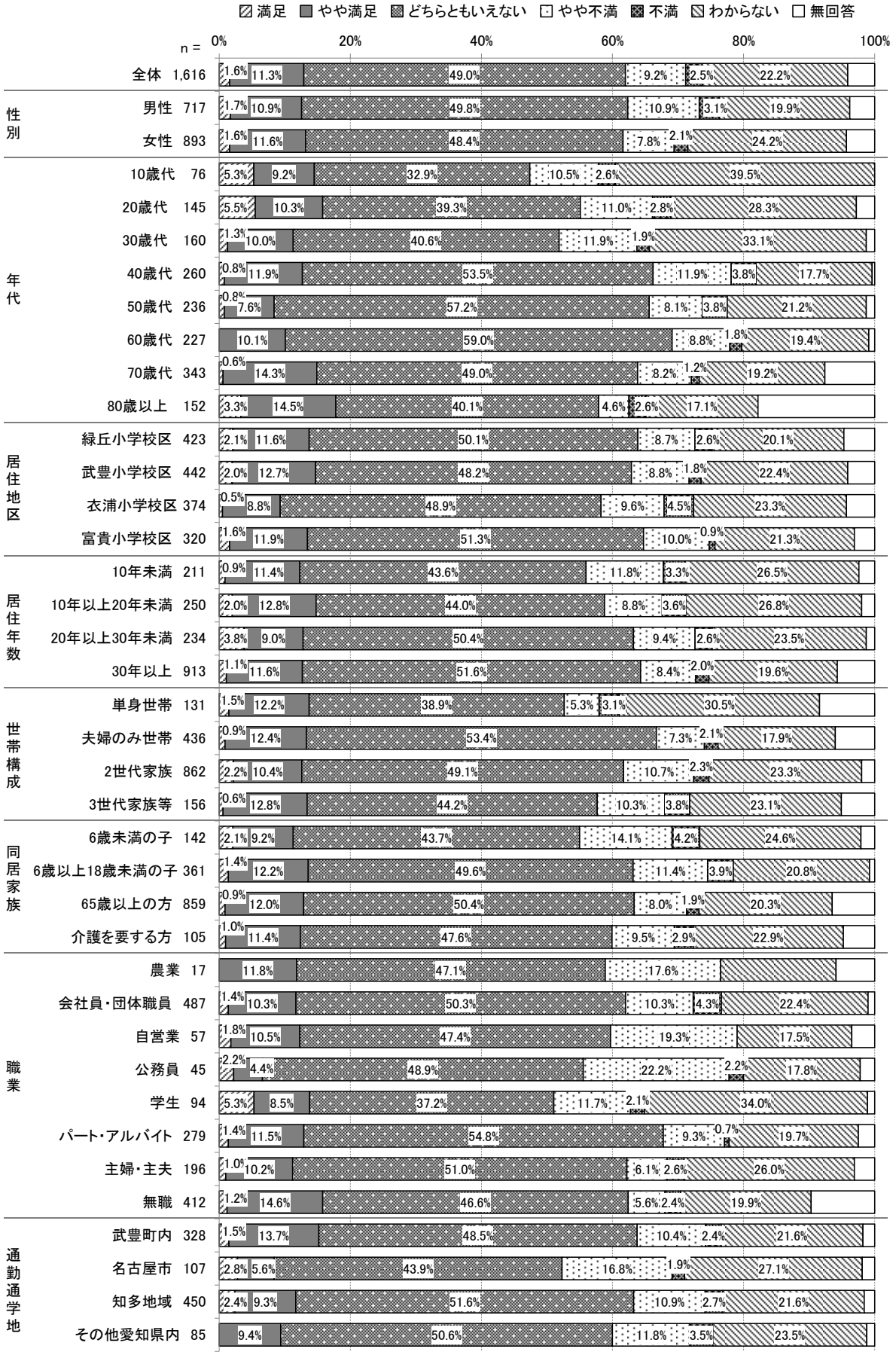
図表 1-5-29　属性別、満足度

分野７　環境　　24.きれいで衛生的な環境が保たれている



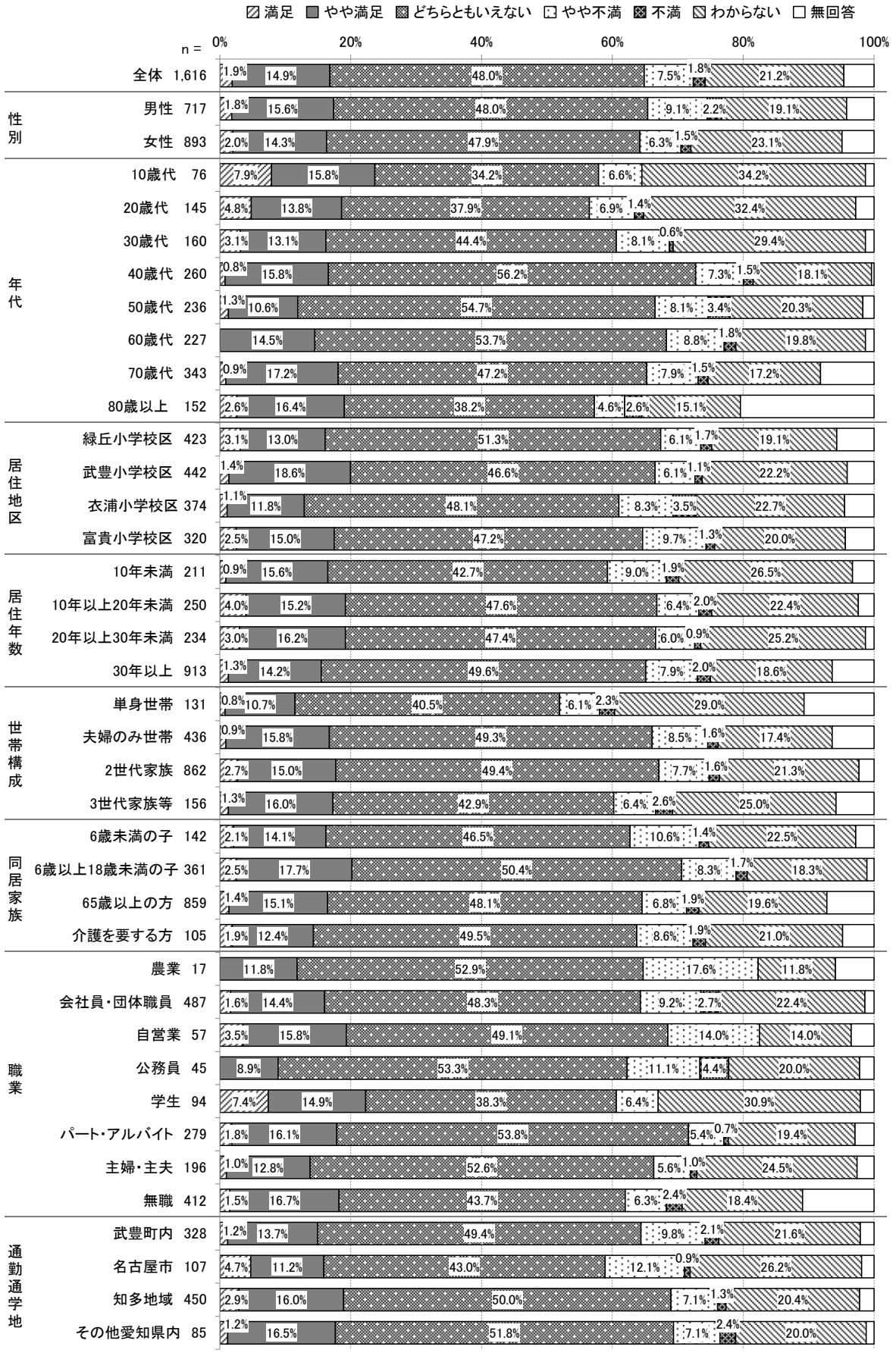
図表 1-5-30　属性別、満足度

分野８　まちづくり・地域経営　　25.住民がまちづくりに参画しやすい



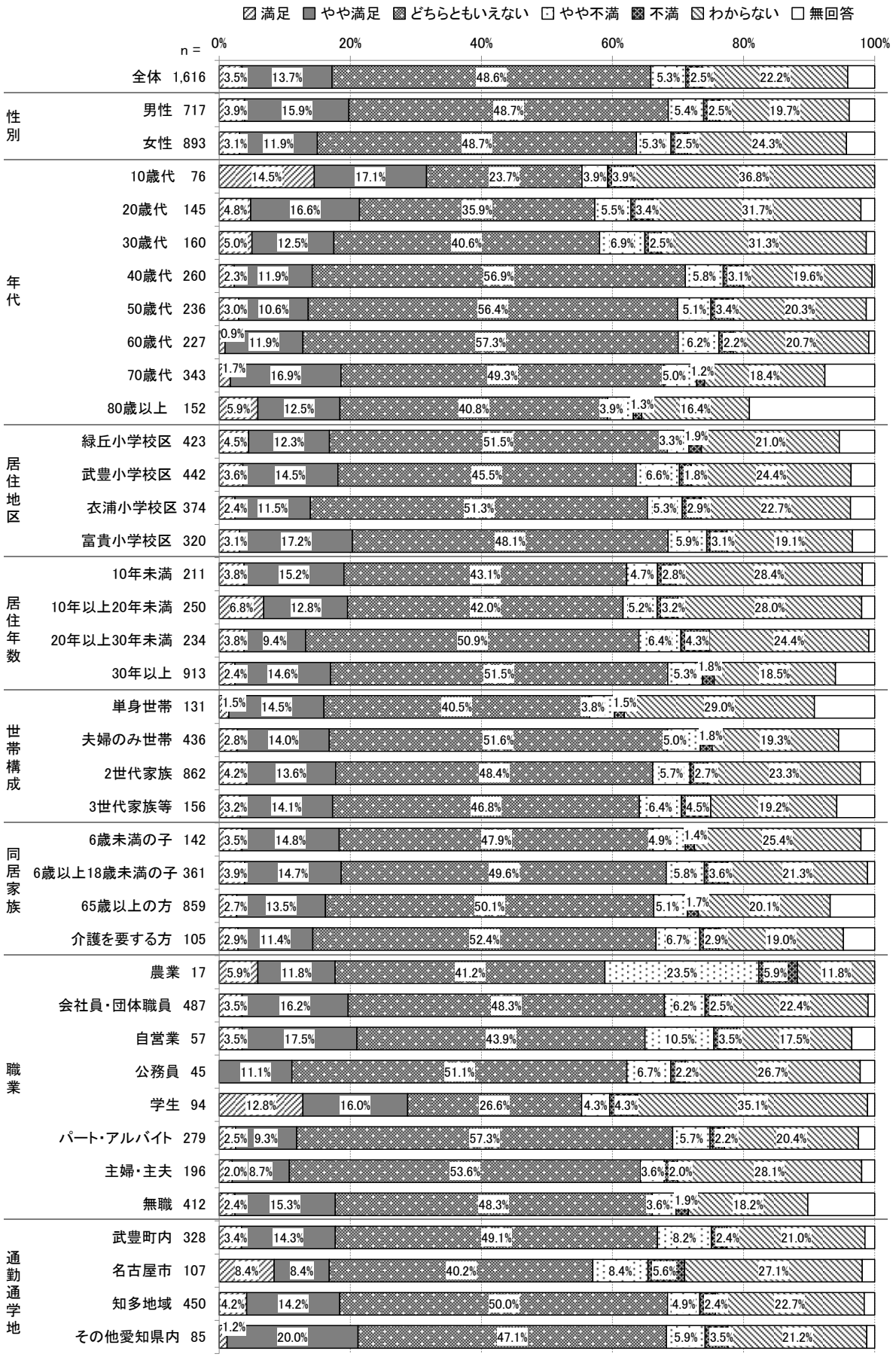
図表 1-5-31　属性別、満足度

分野８　まちづくり・地域経営　　26.地域活動が活発に行われている



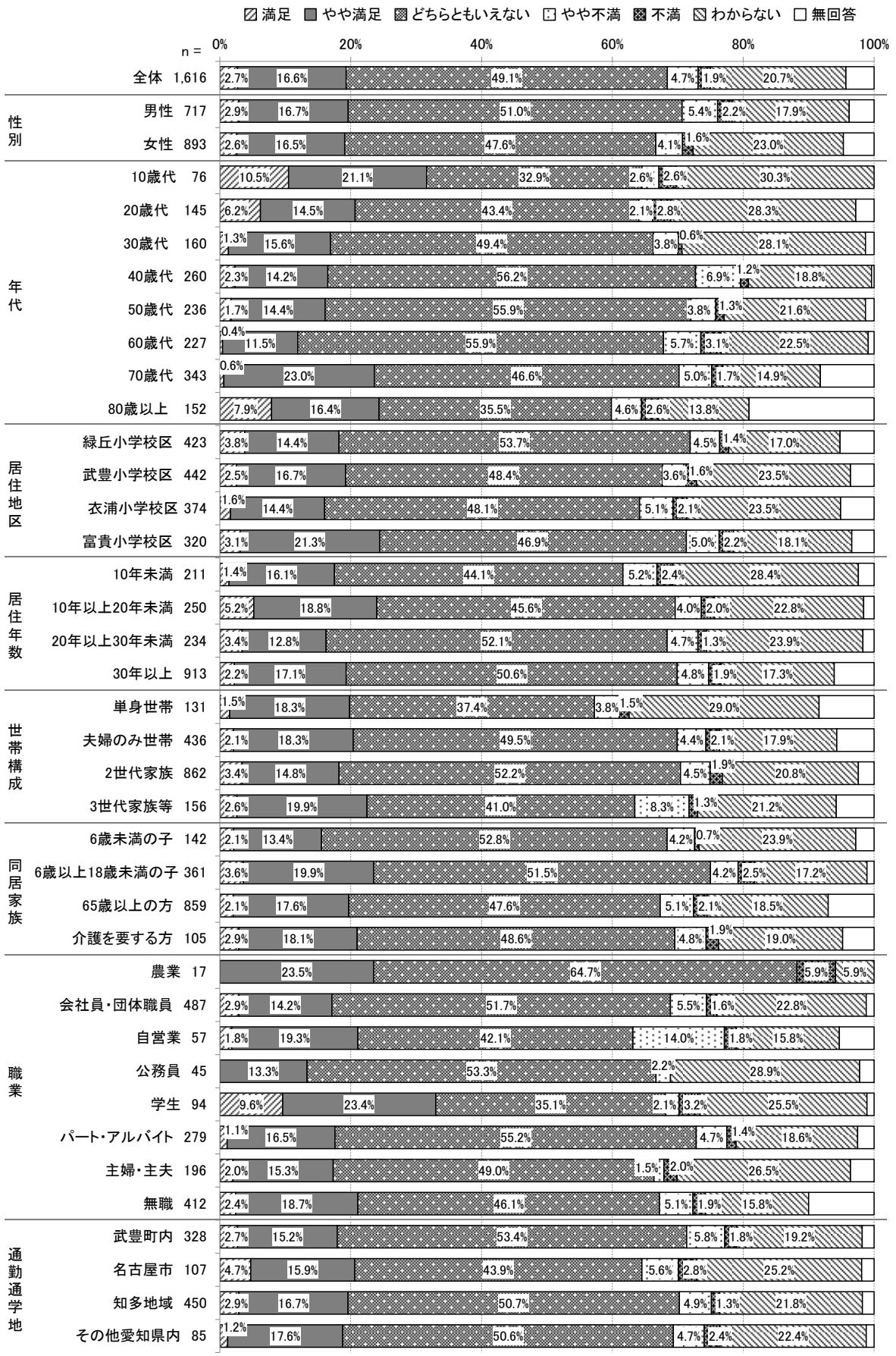
図表 1-5-32　属性別、満足度

分野８　まちづくり・地域経営　　27.男女が差別なく参画できる社会となっている



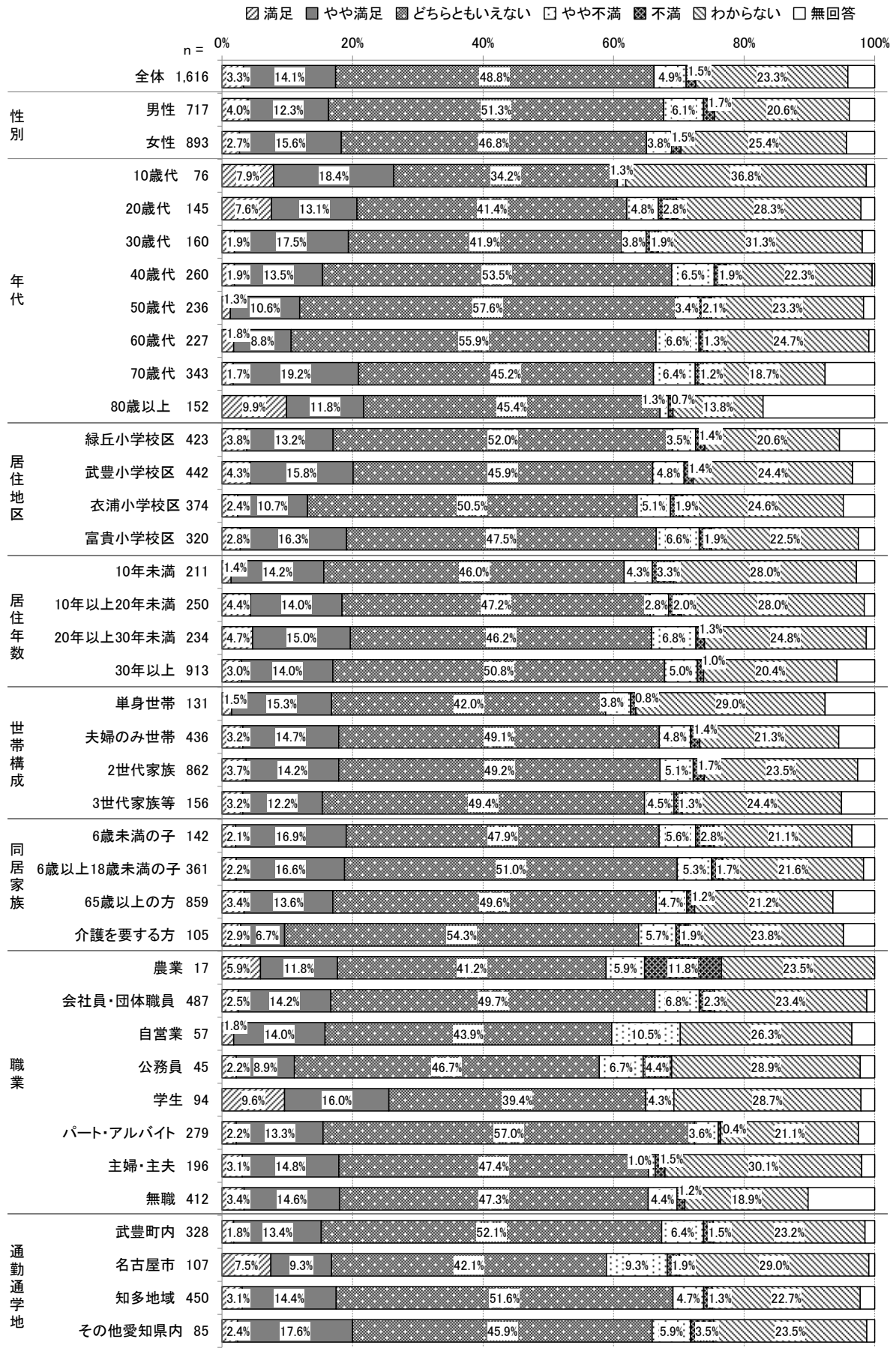
図表 1-5-33　属性別、満足度

分野８　まちづくり・地域経営　　28.互いを尊重しあい協力しあえる



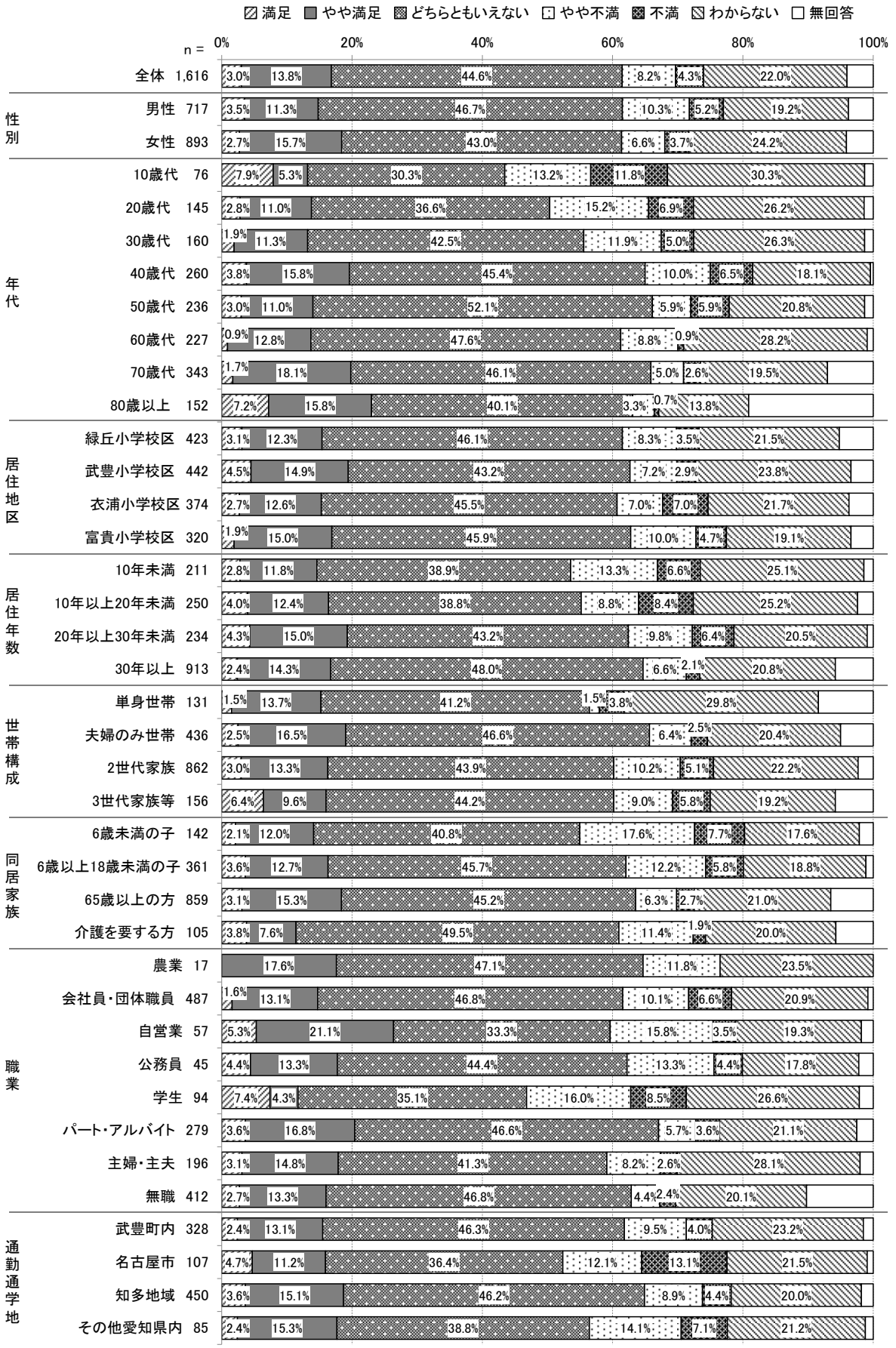
図表 1-5-34　属性別、満足度

分野８　まちづくり・地域経営　　29.住民が誇りを持って生活している



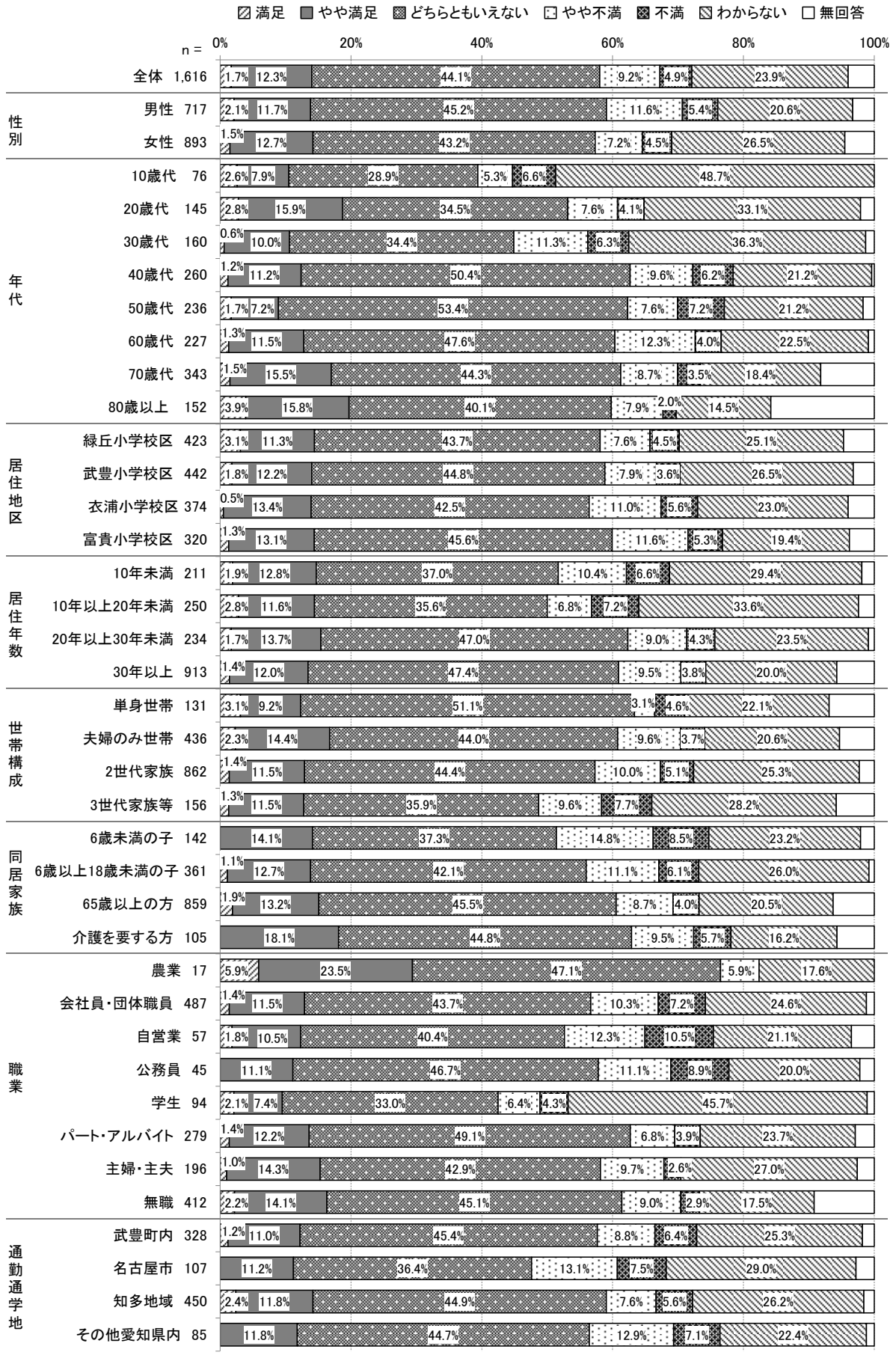
図表 1-5-35　属性別、満足度

分野８　まちづくり・地域経営　　30.町外に住む人たちから魅力的に思われている



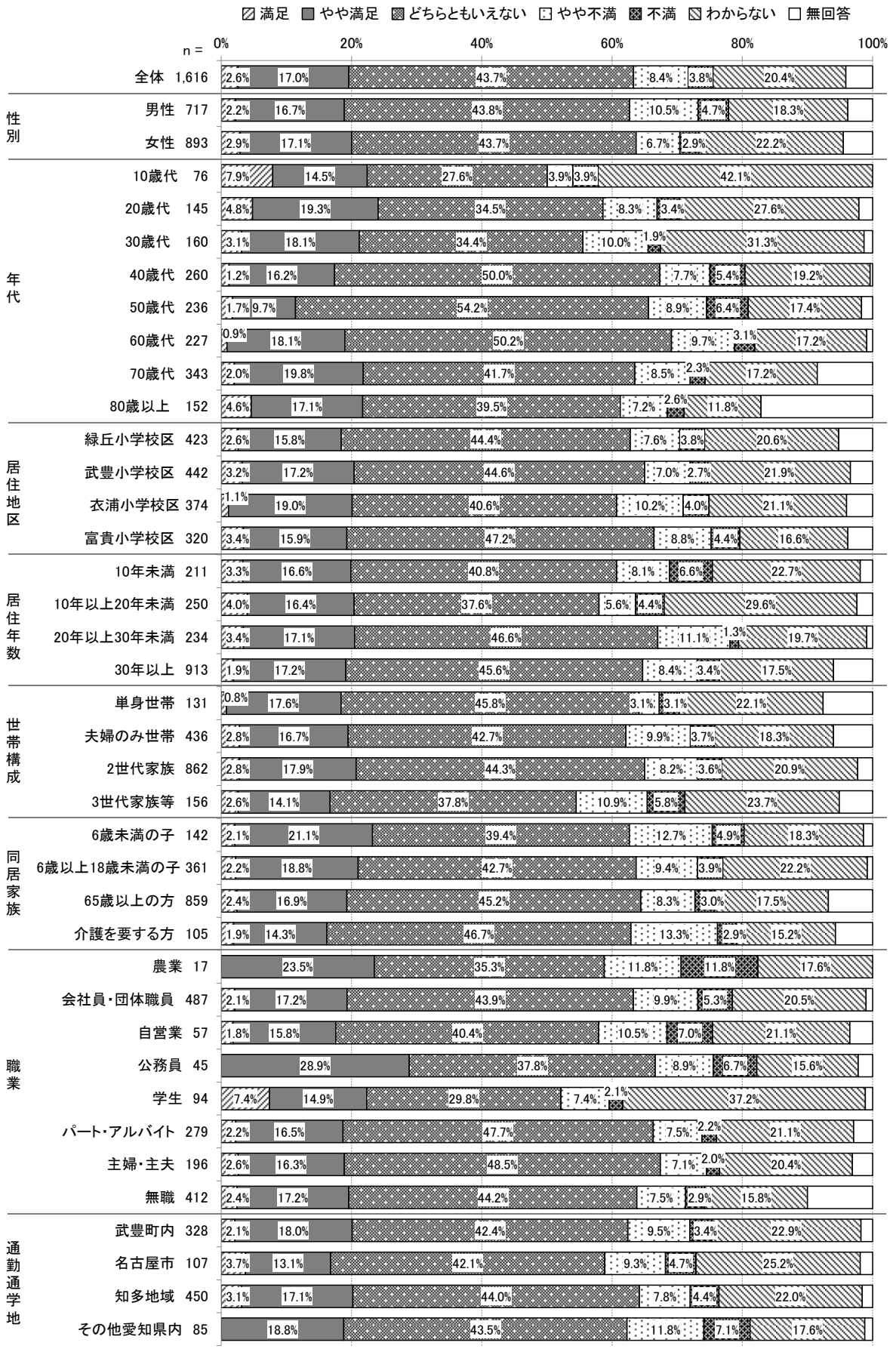
図表 1-5-36　属性別、満足度

分野９　行財政　　31.行政に町民の意向が反映されている



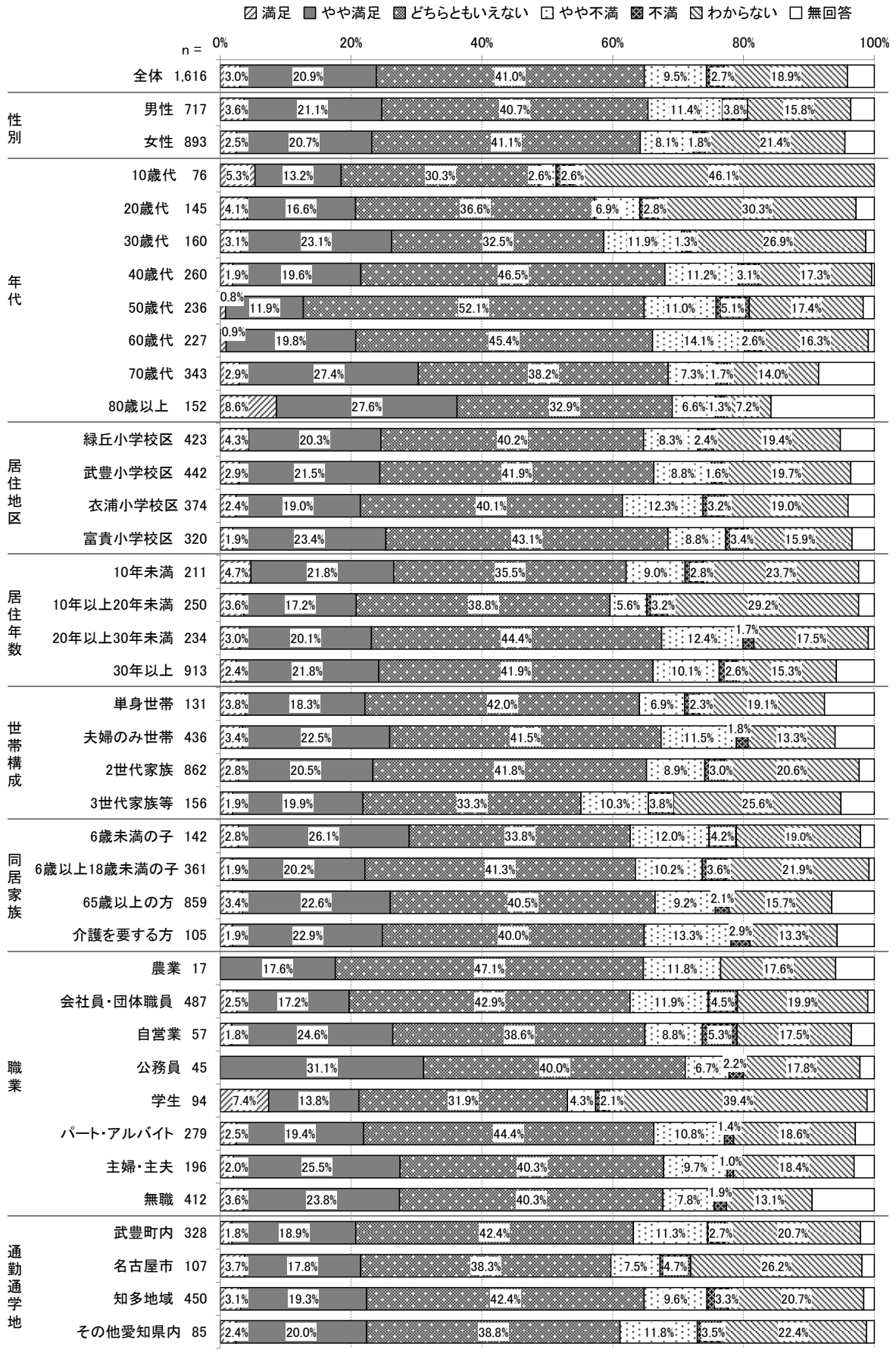
図表 1-5-37　属性別、満足度

分野９　行財政　　32.まちの情報が住民と行政で共有されている



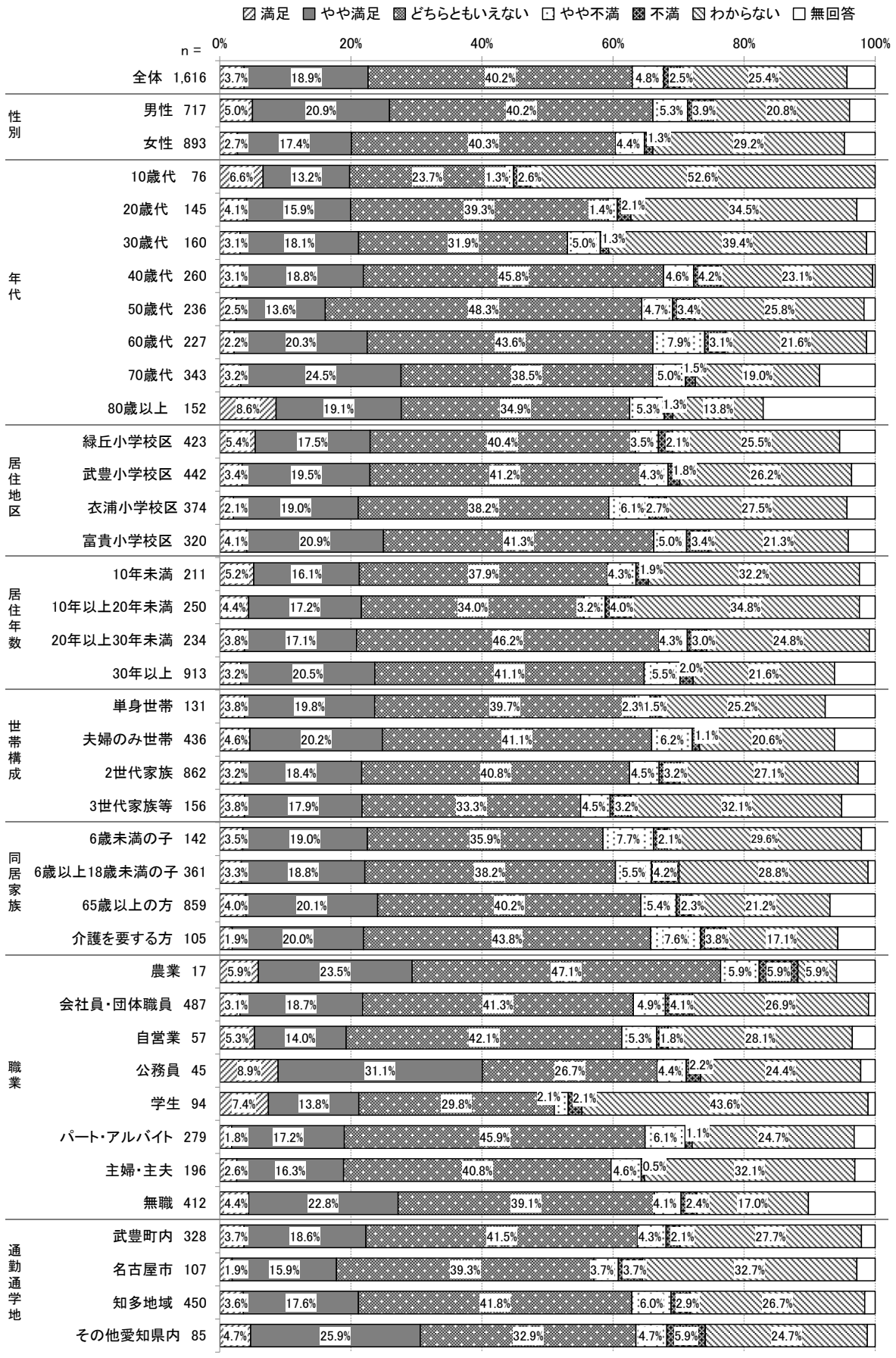
図表 1-5-38　属性別、満足度

分野９　行財政　　33.行政サービスが充実している



図表 1-5-39　属性別、満足度

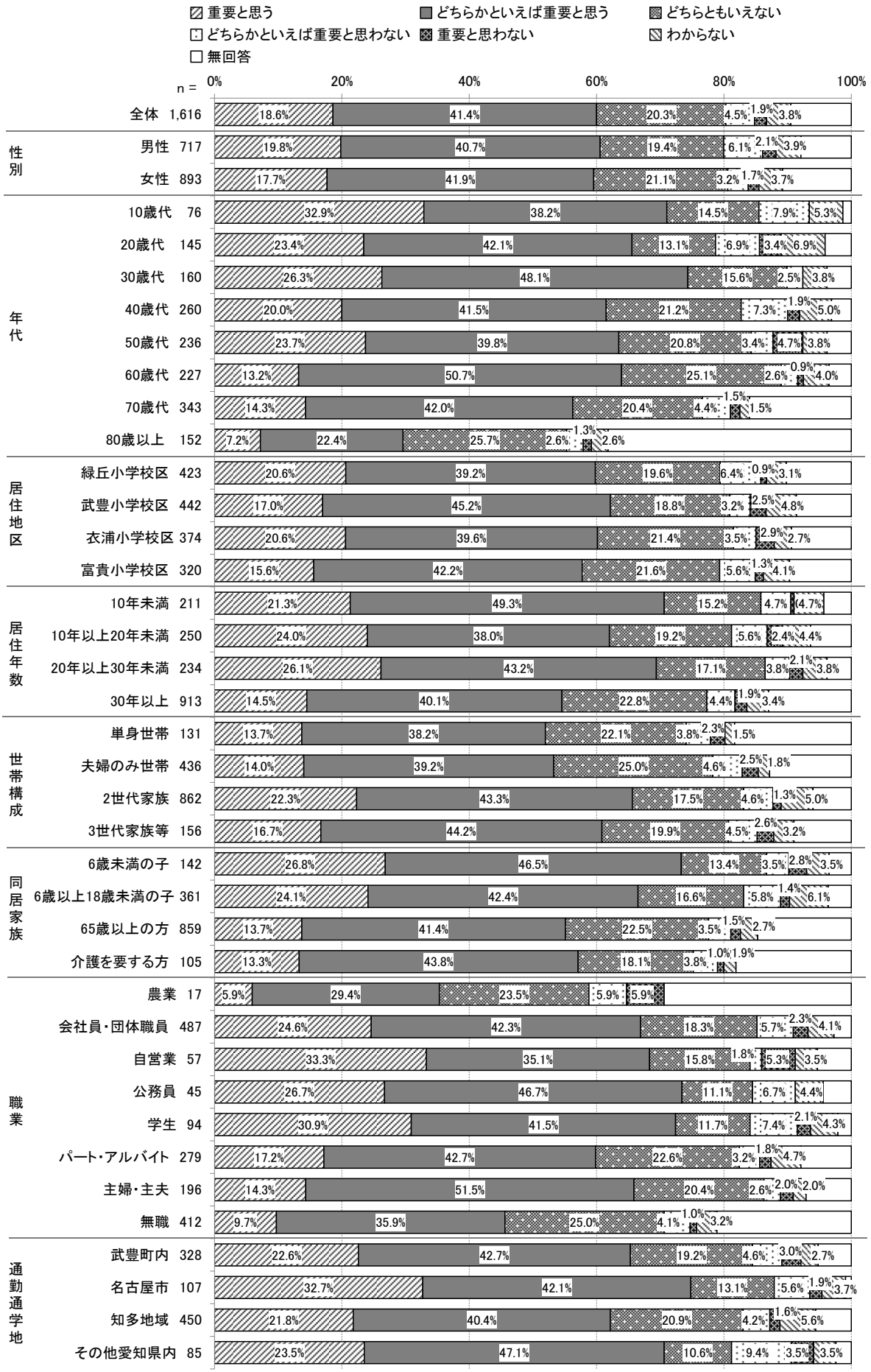
分野９　行財政　　34.健全に行財政が運営されている



【重要度】

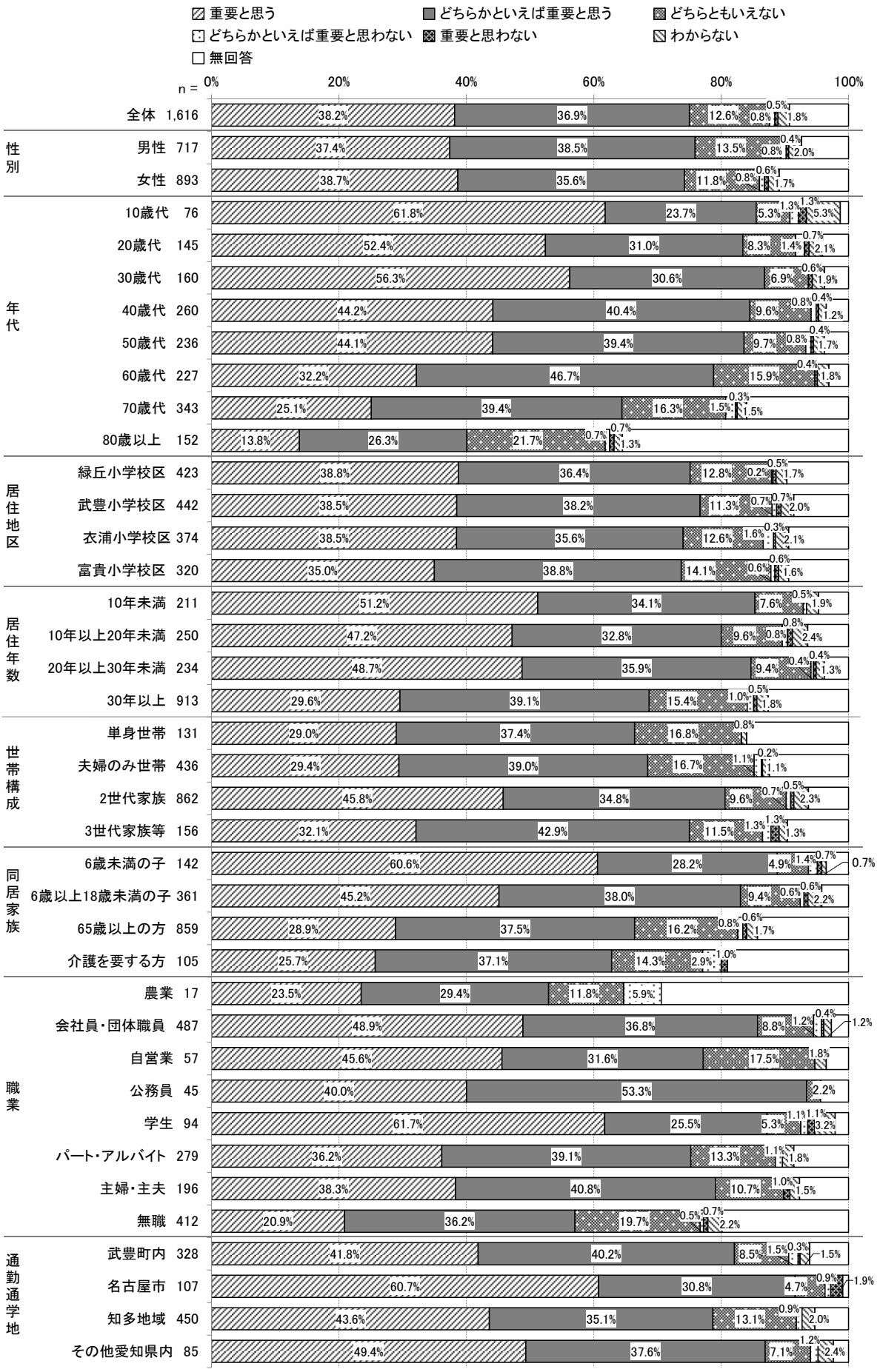
図表 1-5-40　属性別、重要度

分野１　都市環境　　1.中心市街地がにぎやかに活気づいている



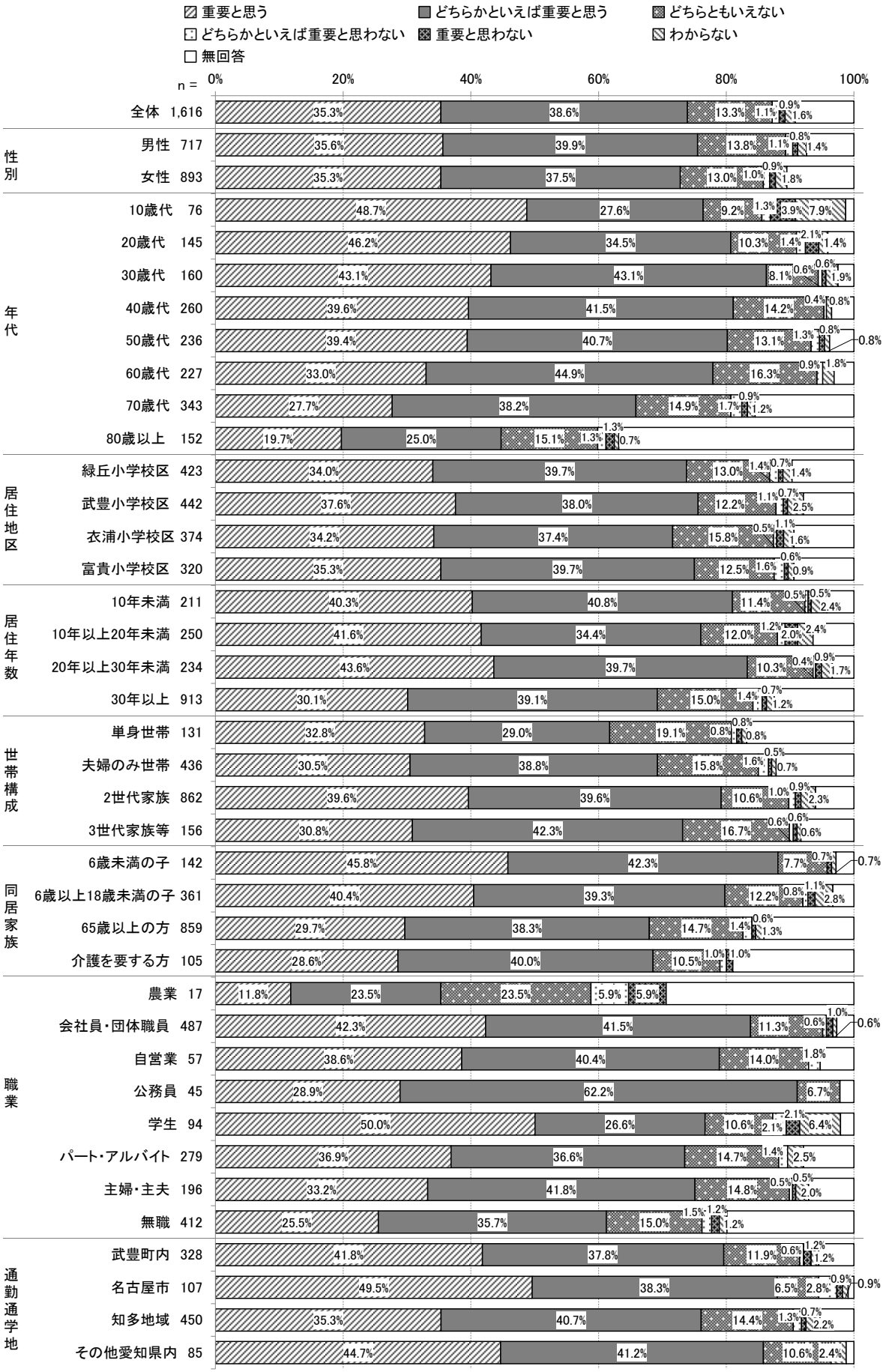
図表 1-5-41　属性別、重要度

分野１　都市環境　　2.暮らしやすい住環境が整っている



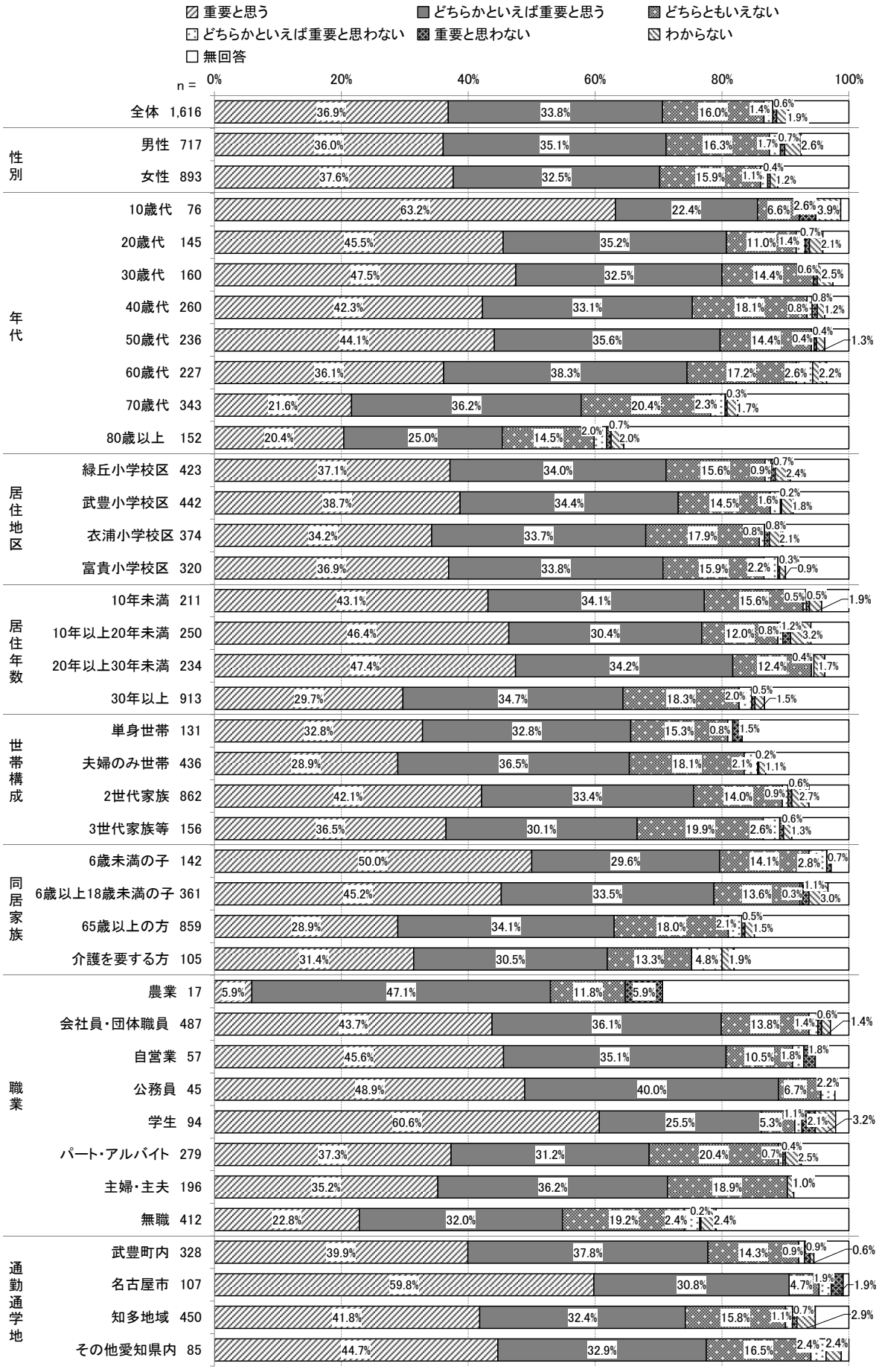
図表 1-5-42　属性別、重要度

分野１　都市環境　　3.幹線道路が整備され車で移動しやすい



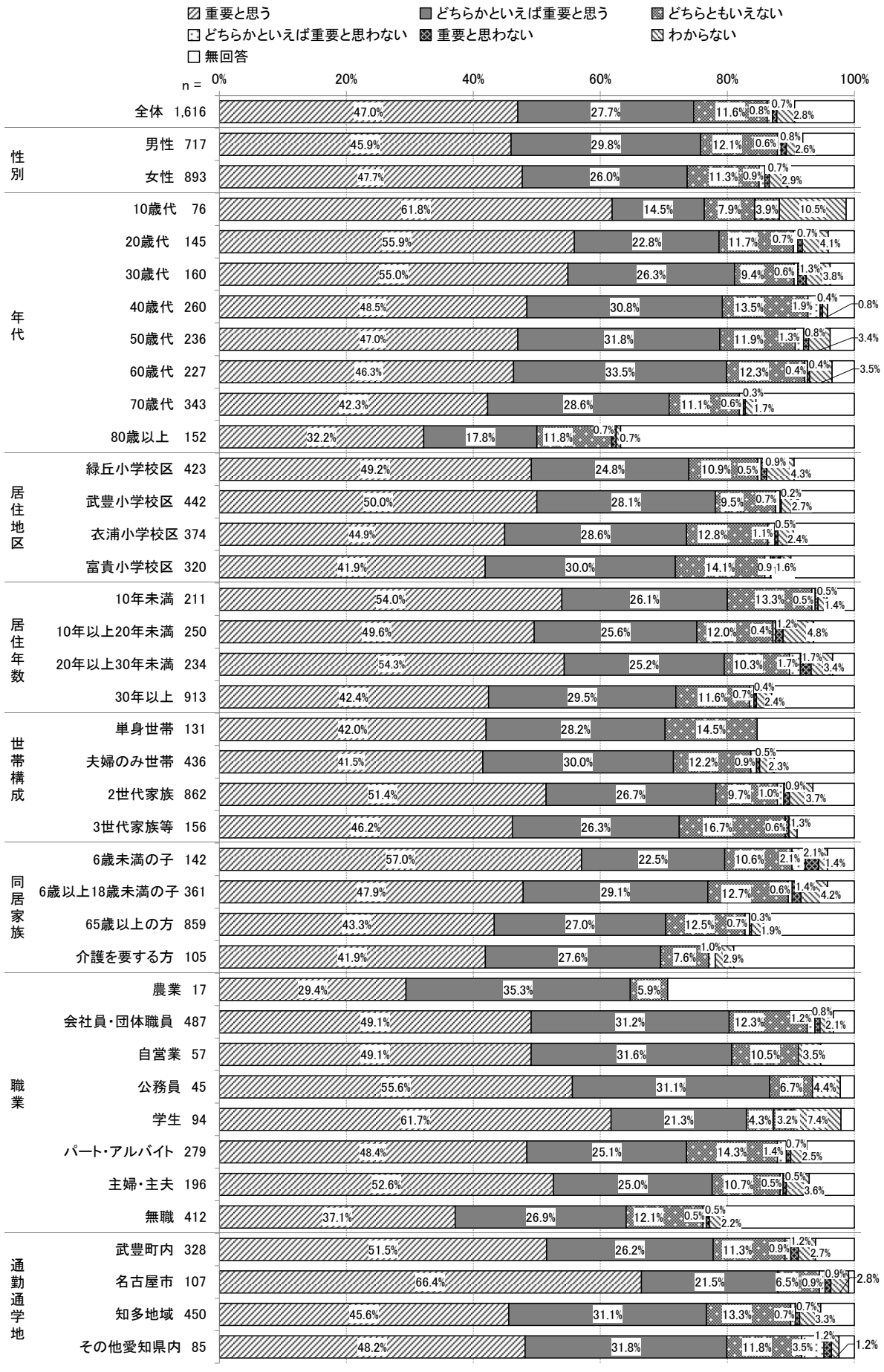
図表 1-5-43　属性別、重要度

分野１　都市環境　　4.公共交通機関が利用しやすく便利である



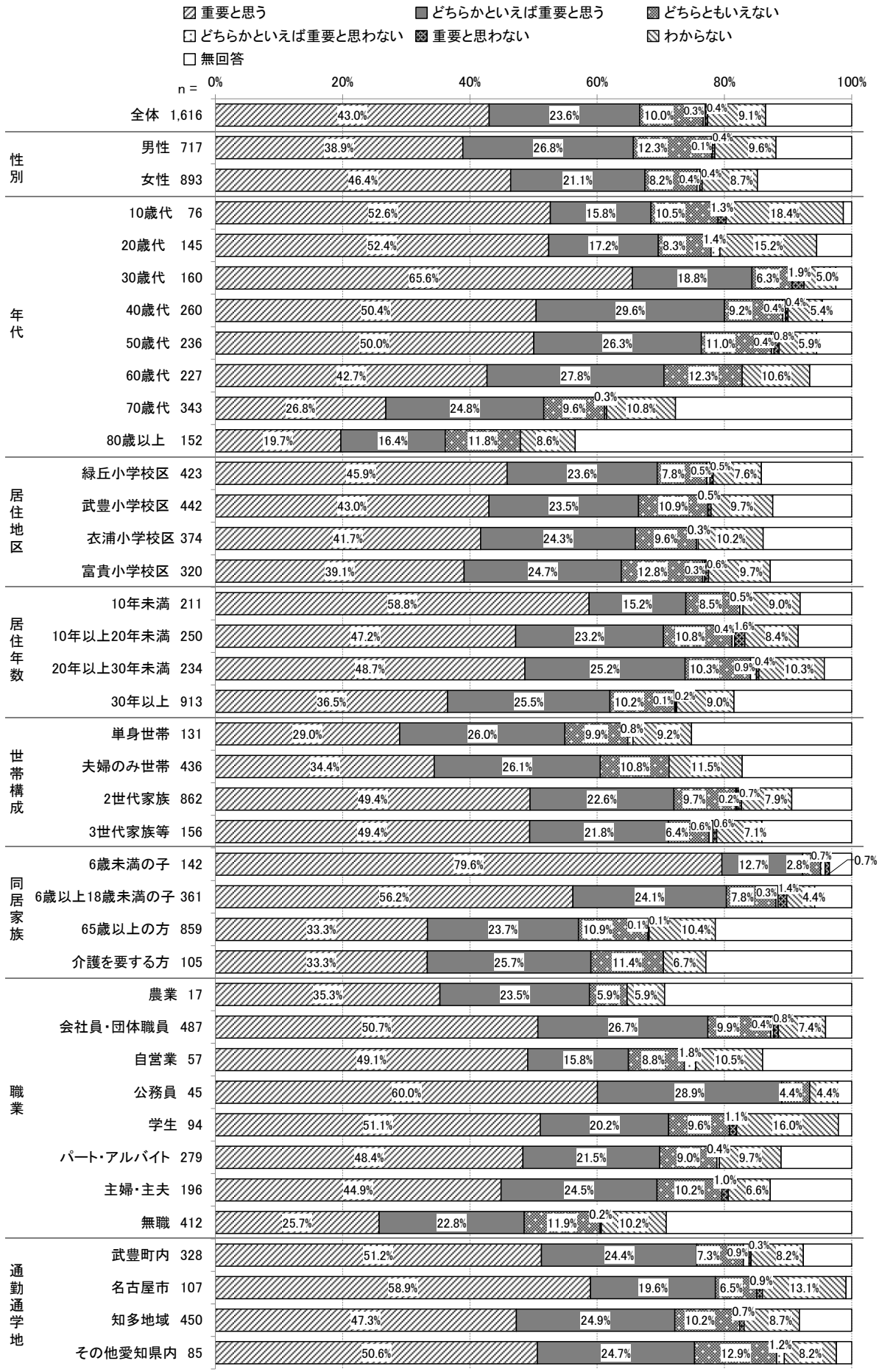
図表 1-5-44　属性別、重要度

分野１　都市環境　　5.安全で安定した上下水道が利用できる



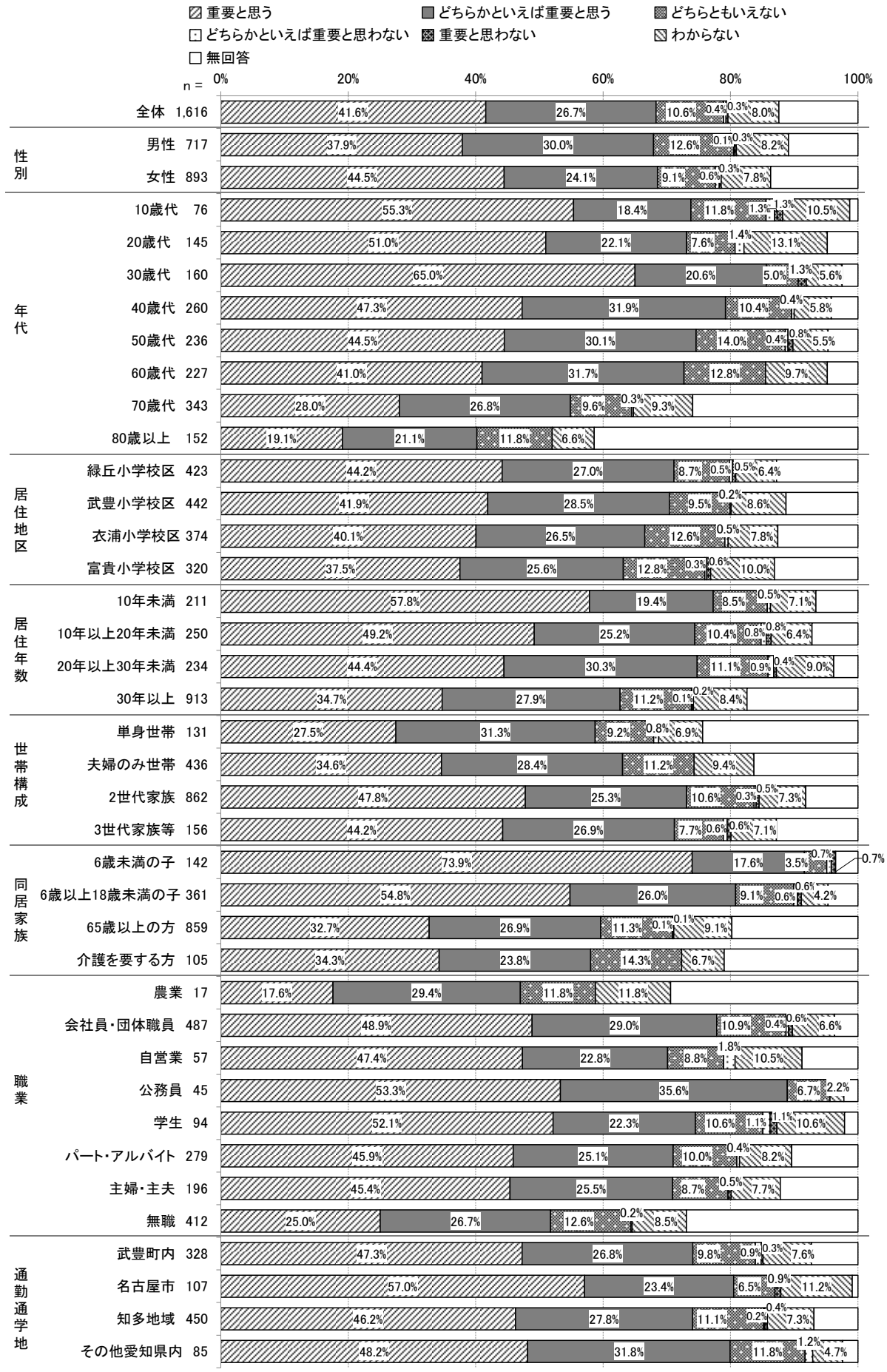
図表 1-5-45　属性別、重要度

分野２　子ども　　6.子育てがしやすい



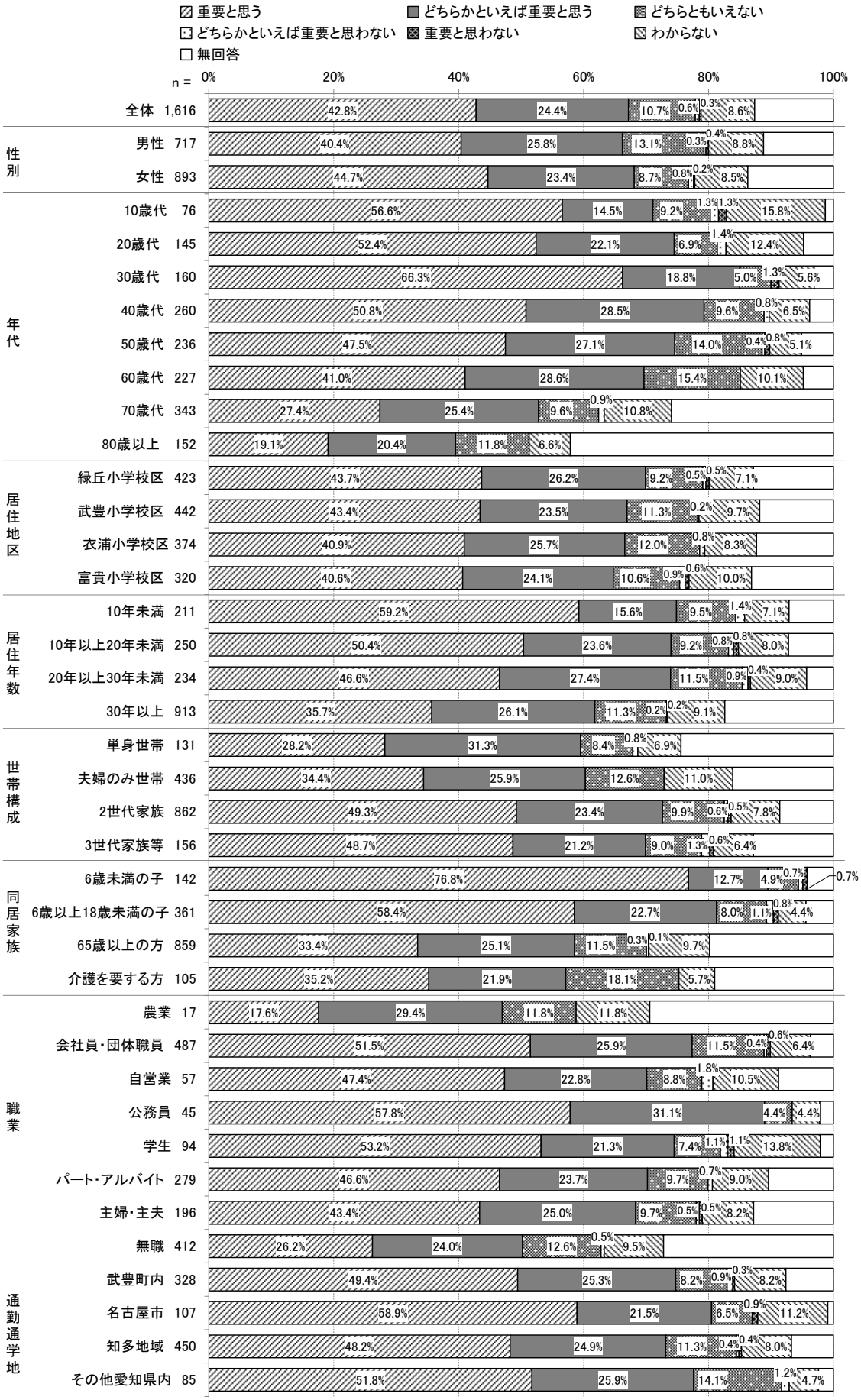
図表 1-5-46　属性別、重要度

分野２　子ども　　7.地域の子どもたちが健やかに育っている



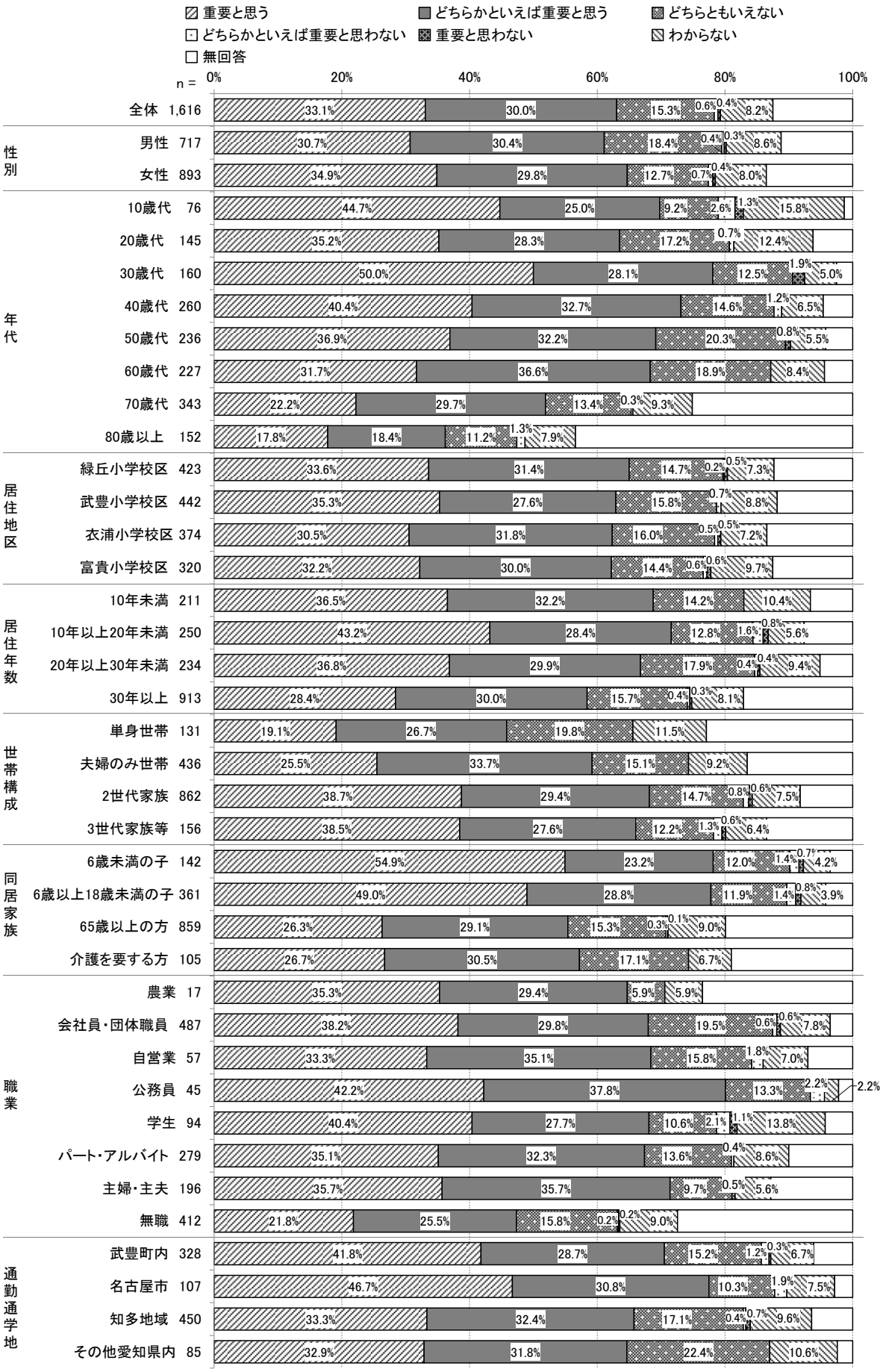
図表 1-5-47　属性別、重要度

分野２　子ども　　8.子育て世帯が安心して生活している



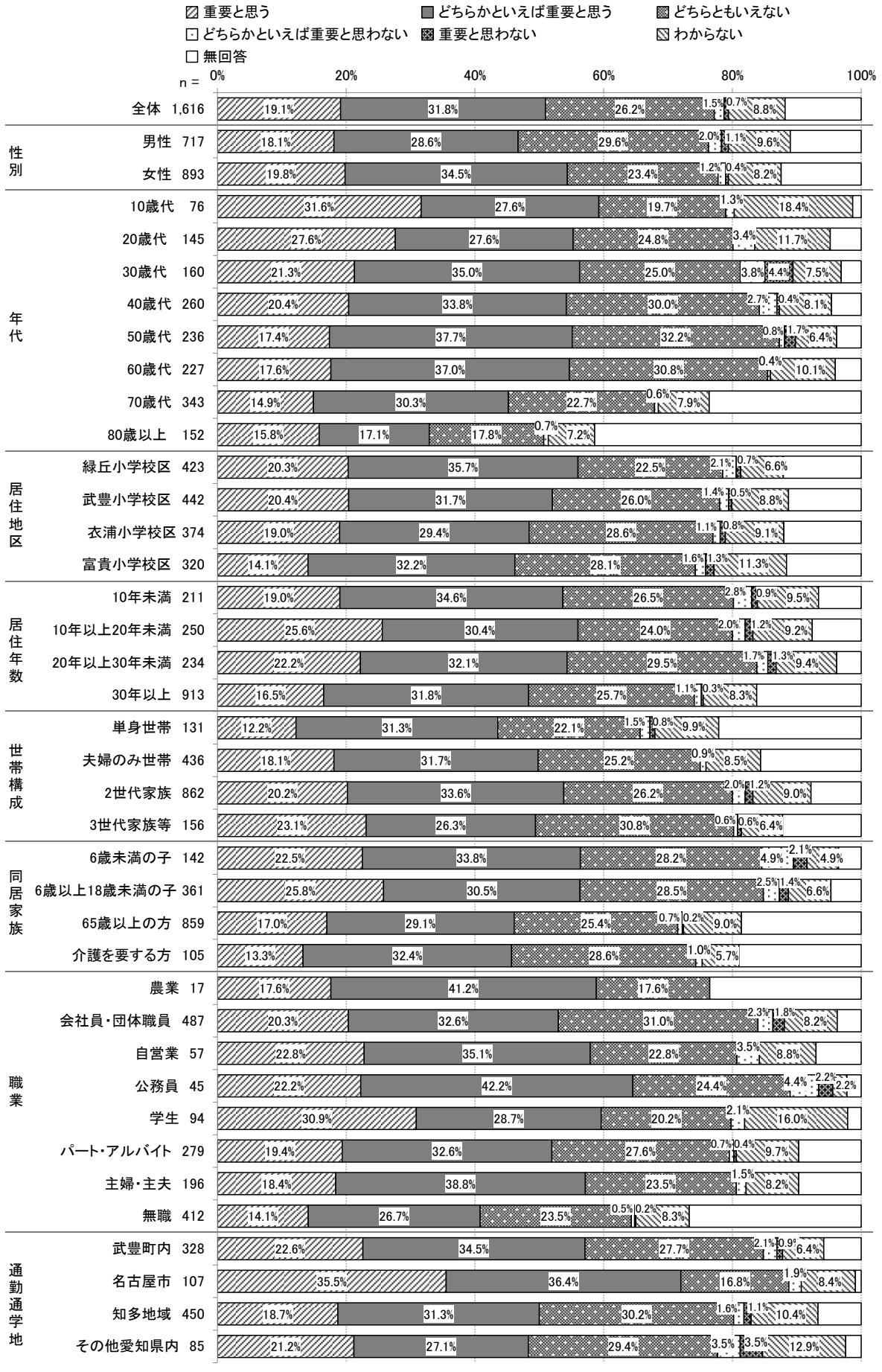
図表 1-5-48　属性別、重要度

分野３　学び　　9.学校･家庭･地域･行政が連携して子どもの成長を支えている



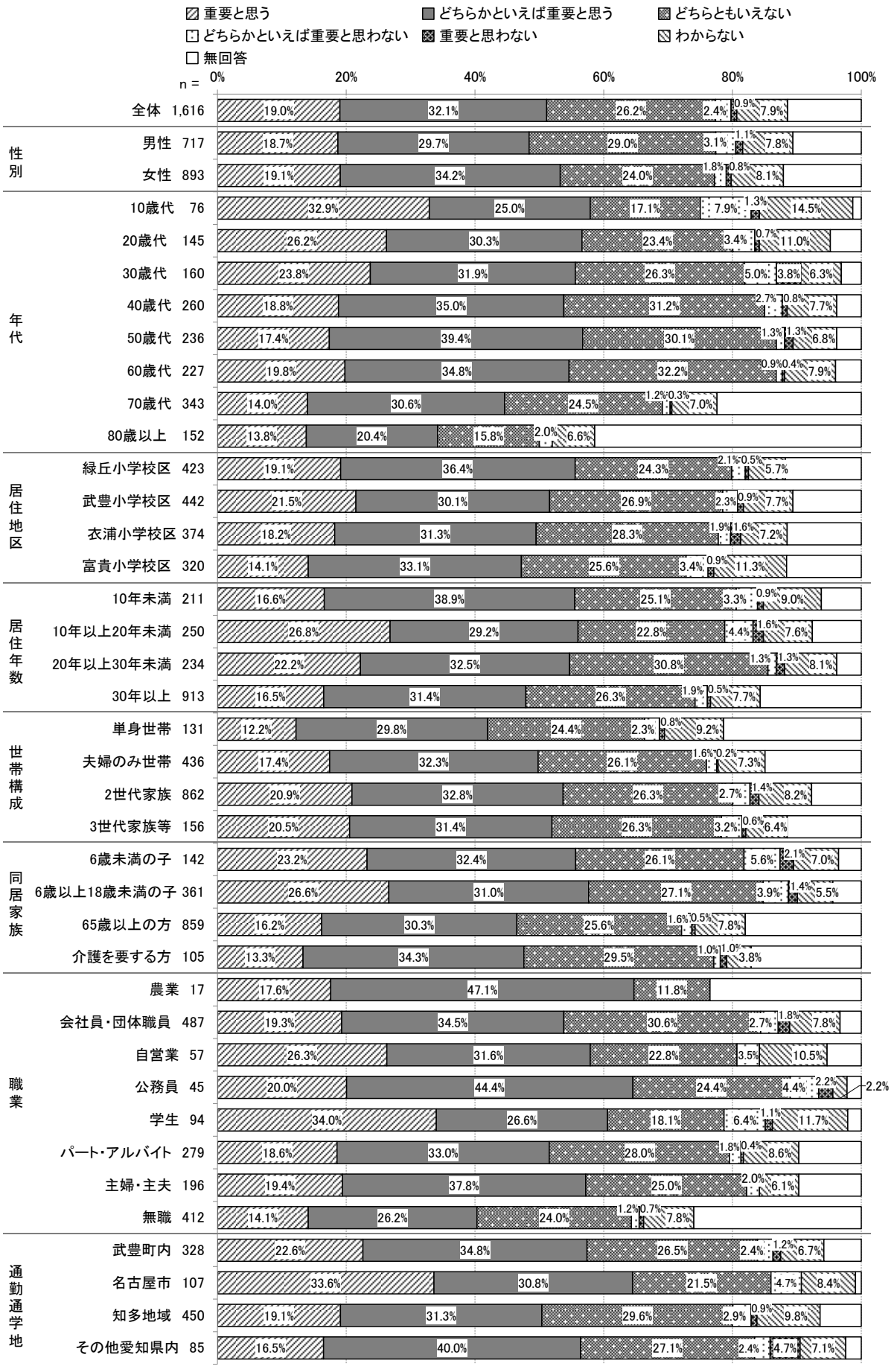
図表 1-5-49　属性別、重要度

分野３　学び　　10.誰もが気軽に生涯学習に取り組み、交流できる



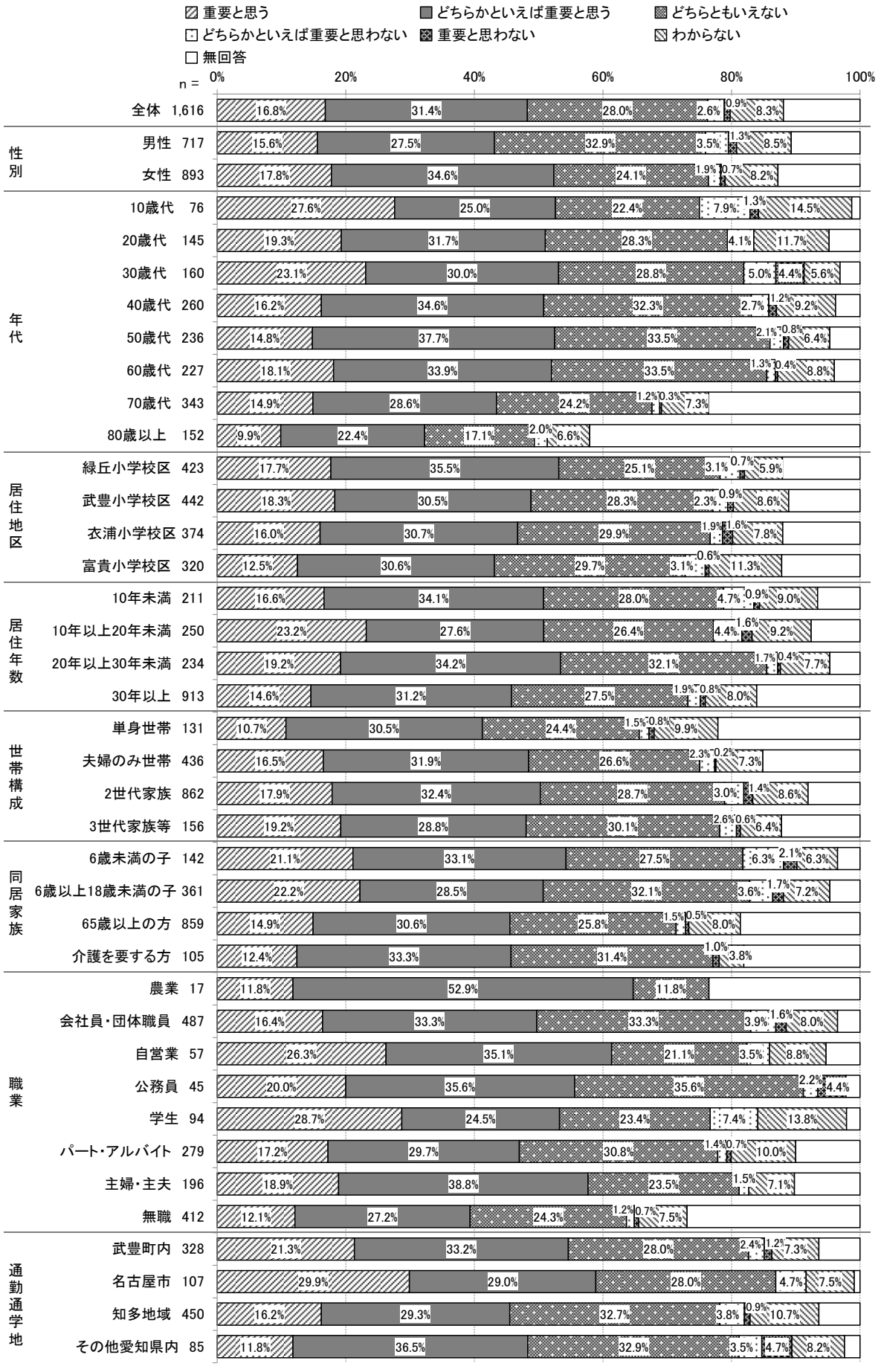
図表 1-5-50　属性別、重要度

分野３　学び　　11.誰もが気軽にスポーツ活動に参加できる



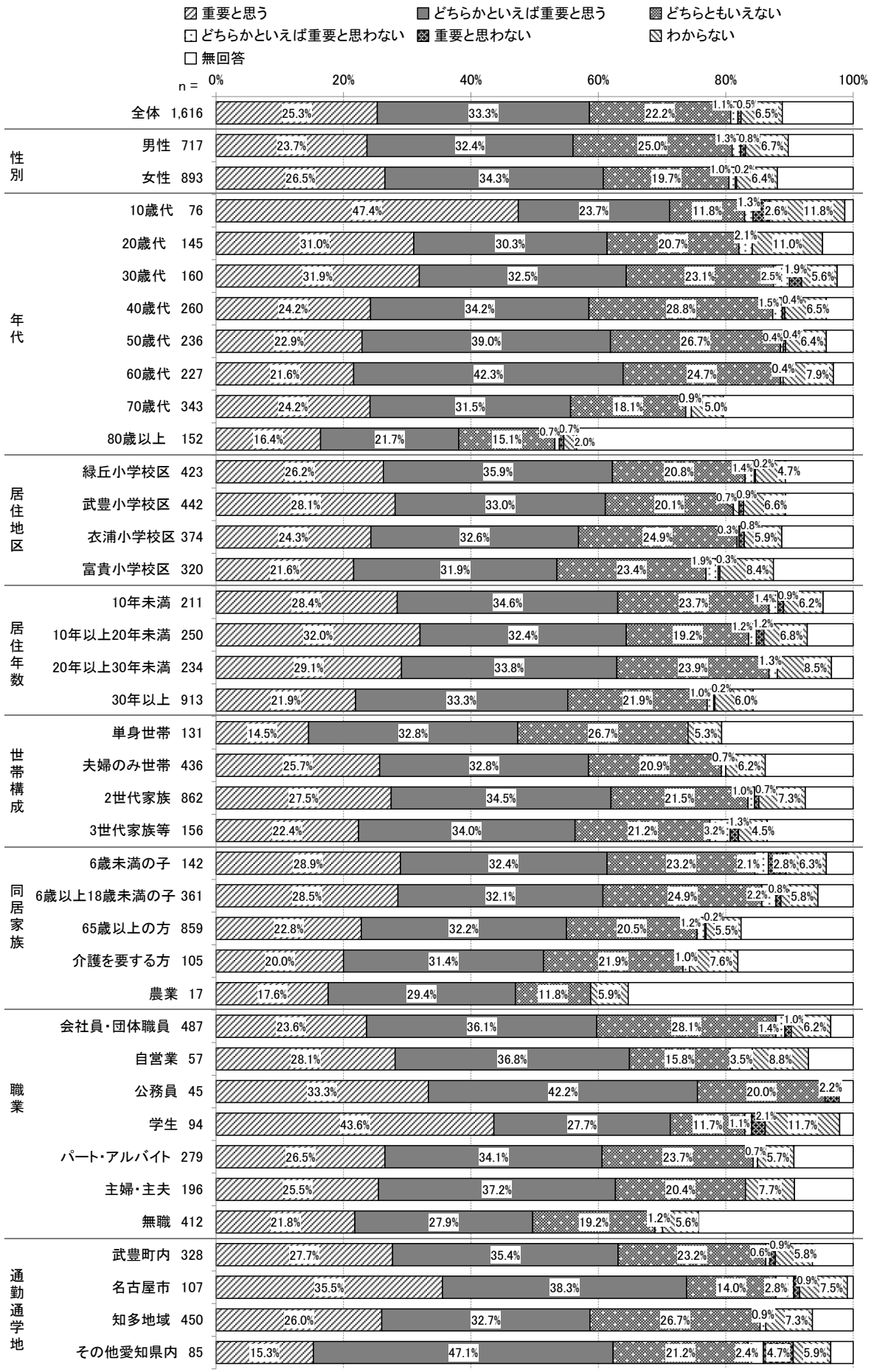
図表 1-5-51　属性別、重要度

分野３　学び　　12.誰もが気軽に文化芸術活動に触れあえる



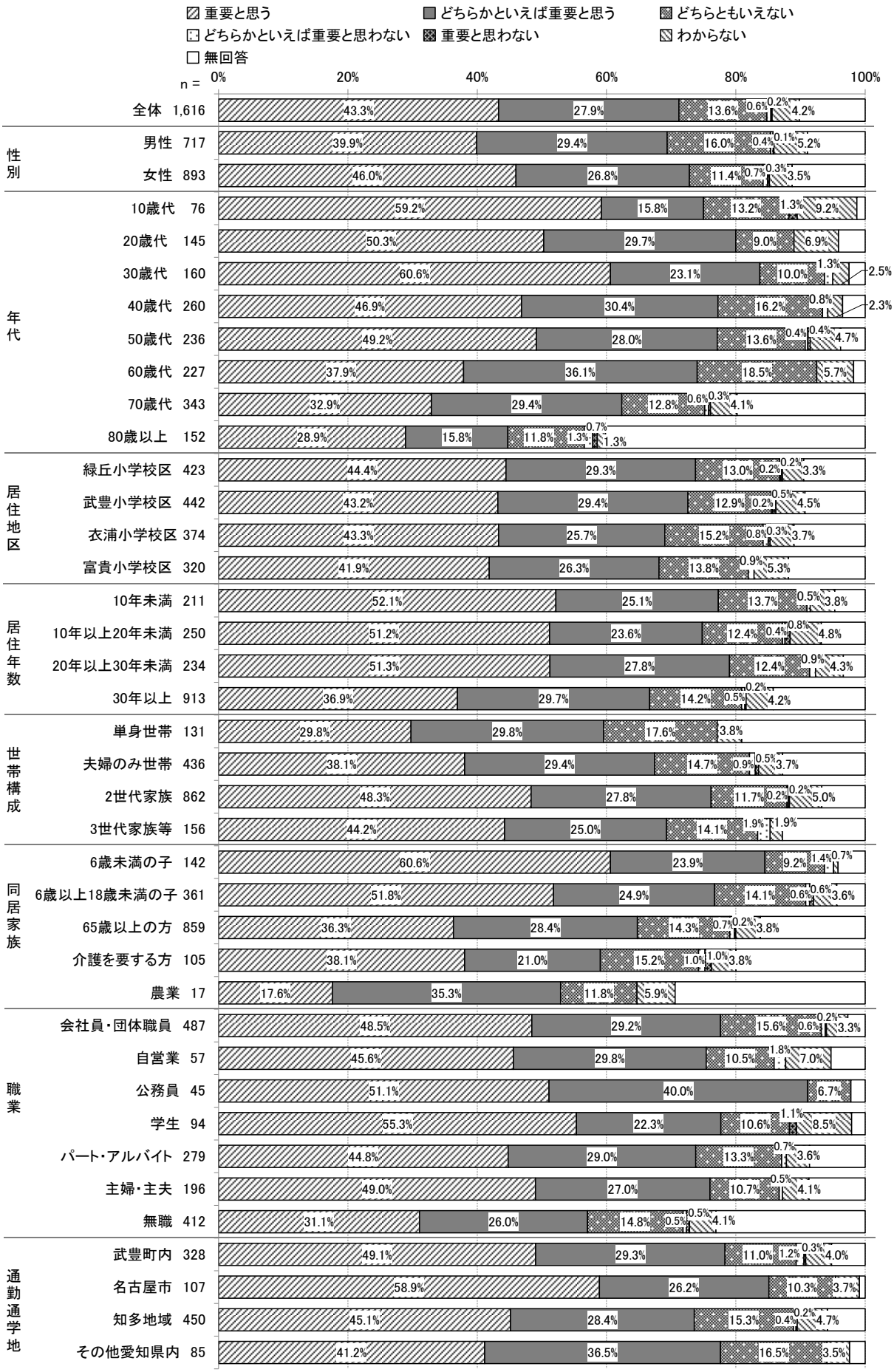
図表 1-5-52　属性別、重要度

分野４　健康・福祉　　13.健康づくりの機会や対応が充実している



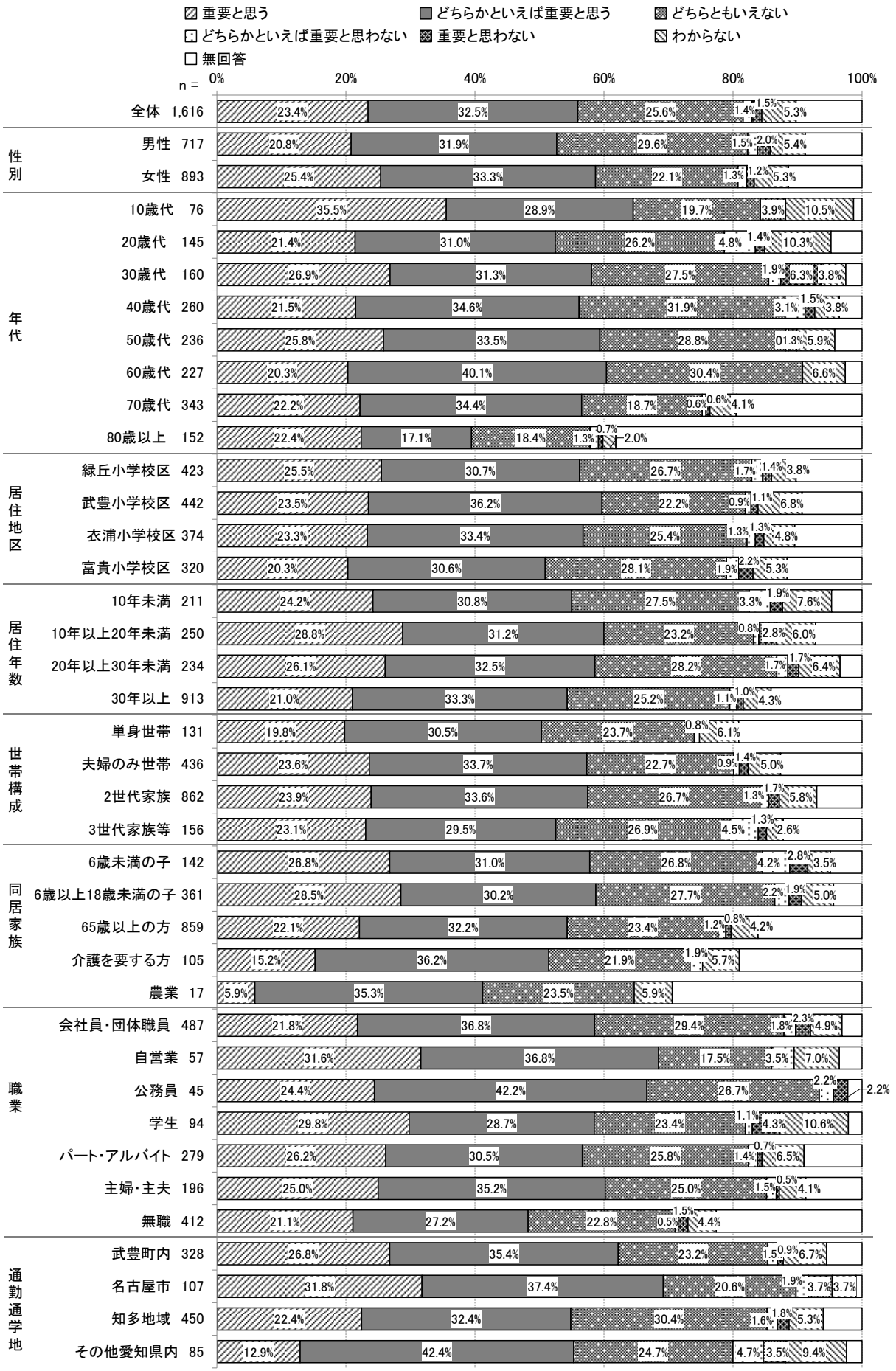
図表 1-5-53　属性別、重要度

分野４　健康・福祉　　14.病院や休日診療などを受診しやすい



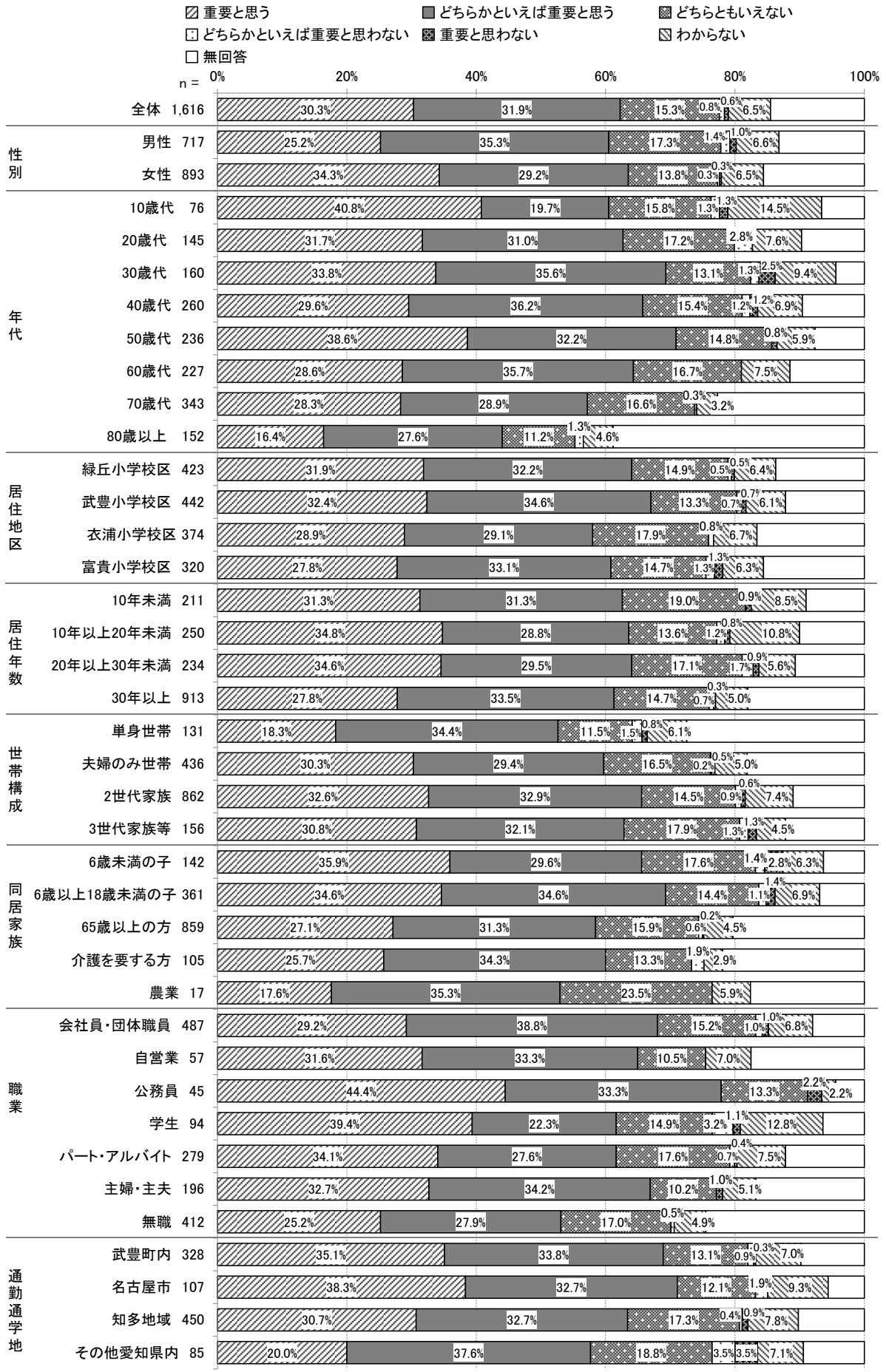
図表 1-5-54　属性別、重要度

分野４　健康・福祉　　15.近所で共に助け合い、支え合う関わりがある



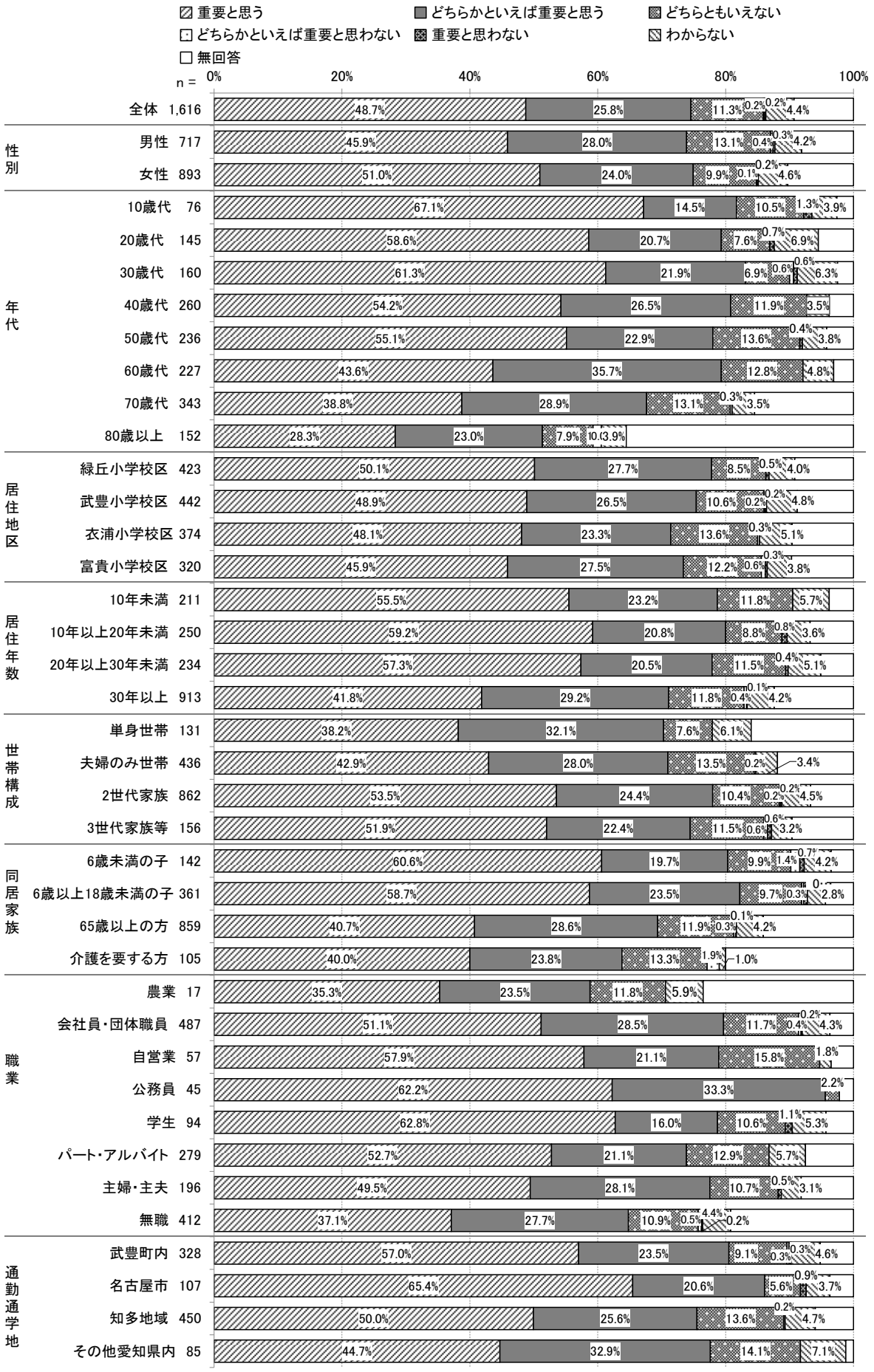
図表 1-5-55　属性別、重要度

分野４　健康・福祉　　16.高齢者や障がい者がいきいきと暮らしている



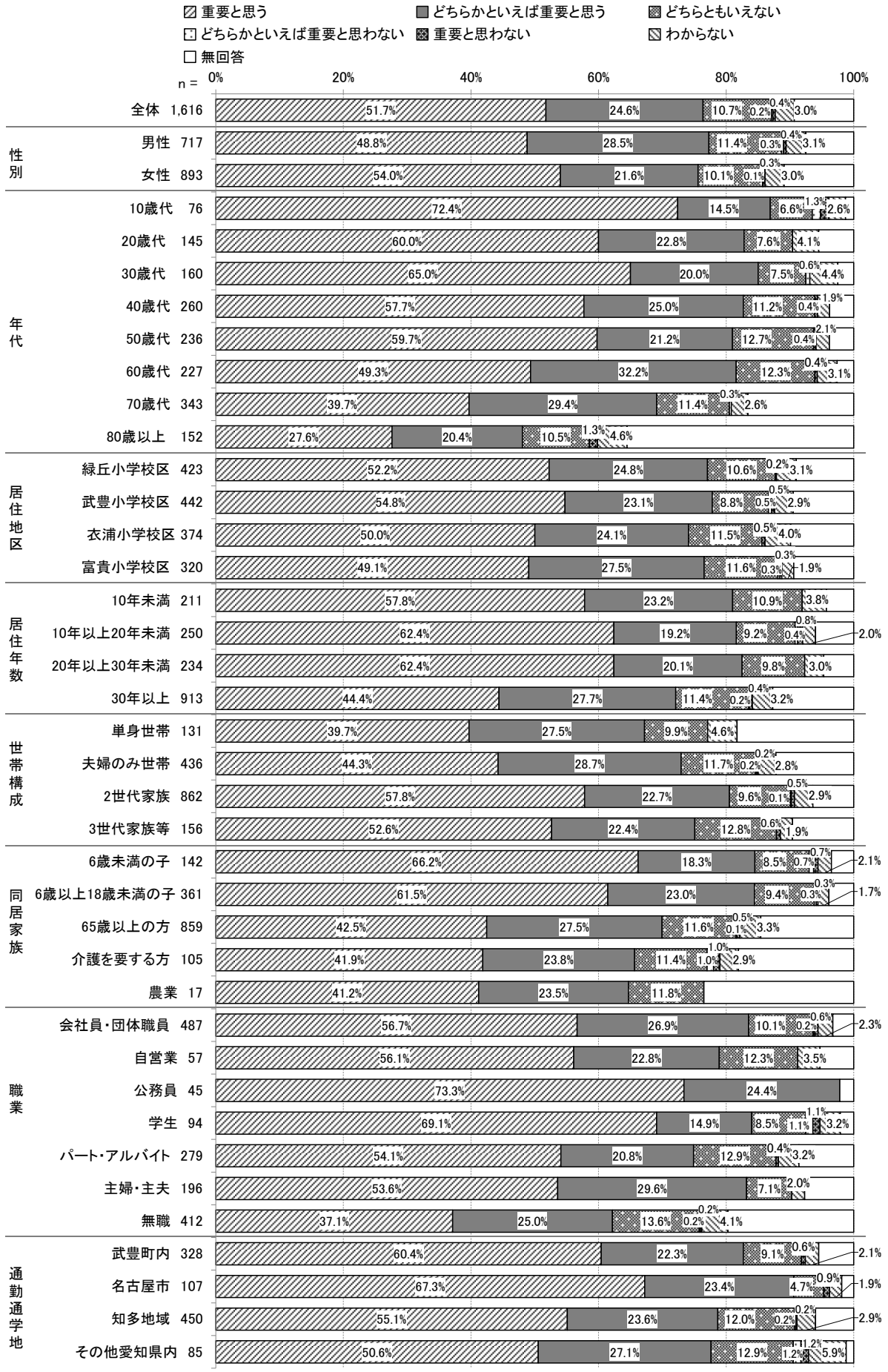
図表 1-5-56　属性別、重要度

分野５　安全・安心　　17.災害への備えや安全性が確保されている



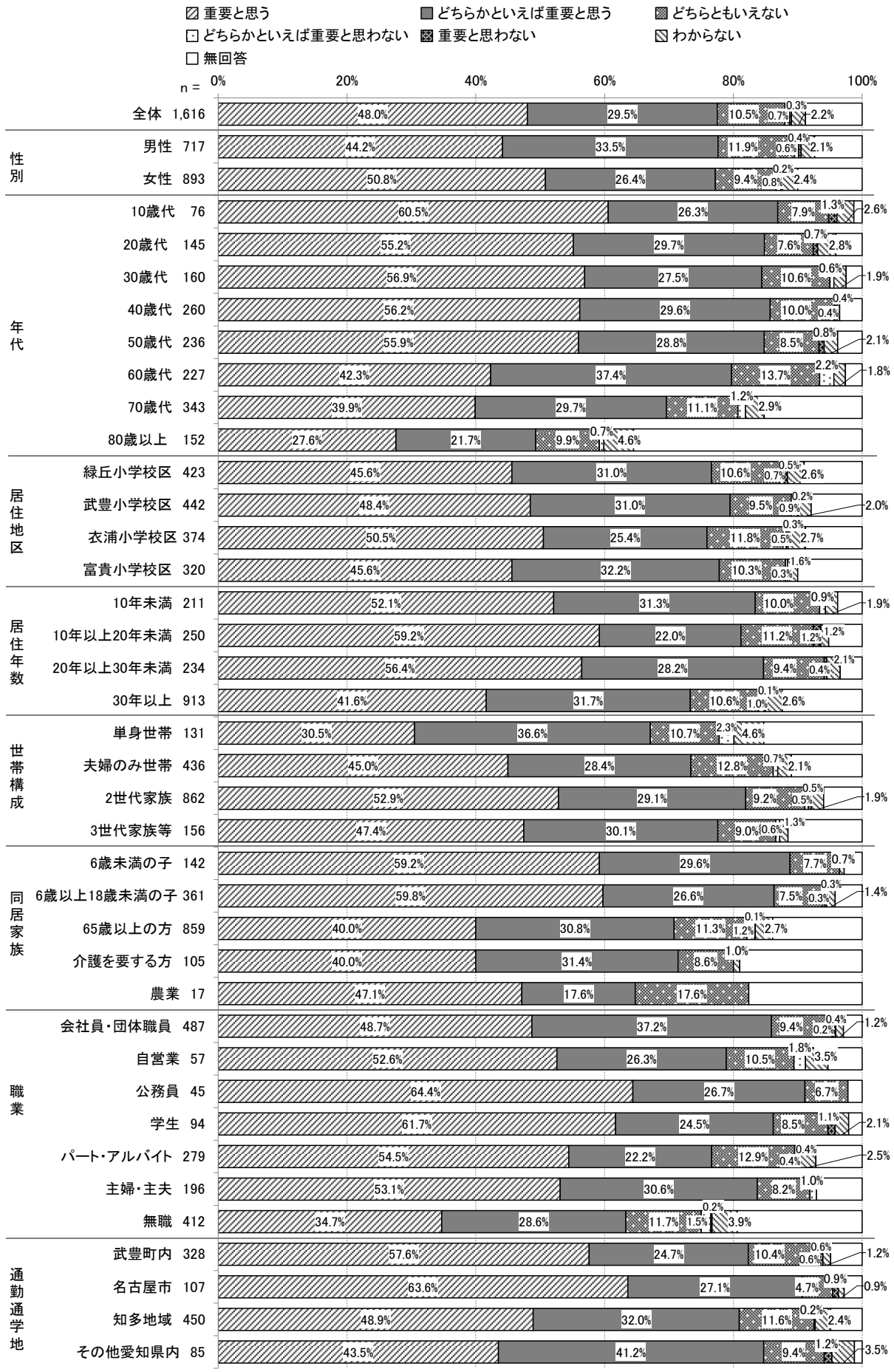
図表 1-5-57　属性別、重要度

分野５　安全・安心　　18.犯罪がなく、安全・安心が確保されている



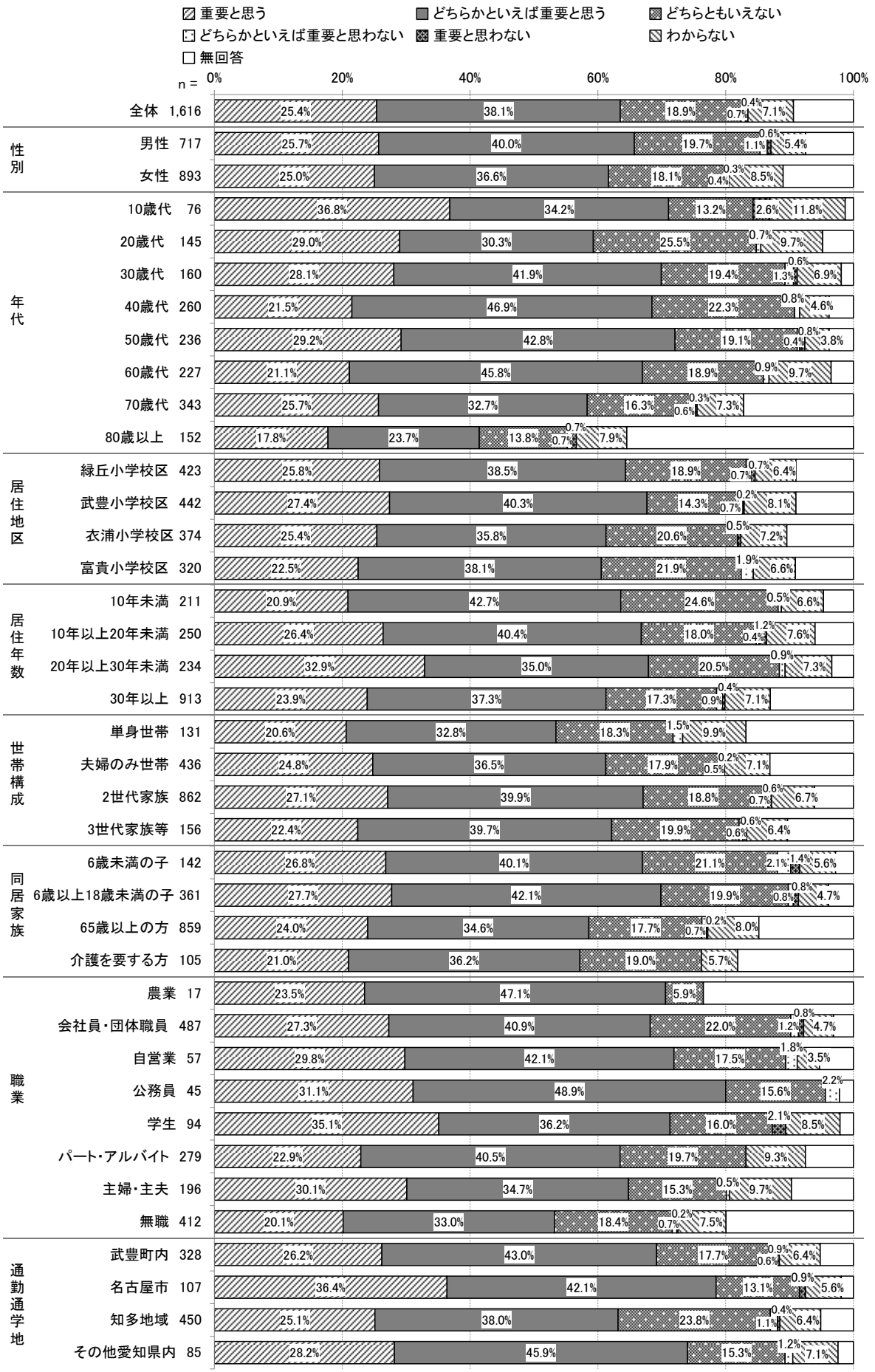
図表 1-5-58　属性別、重要度

分野５　安全・安心　　19.徒歩や自転車で安全に道路を通行できる



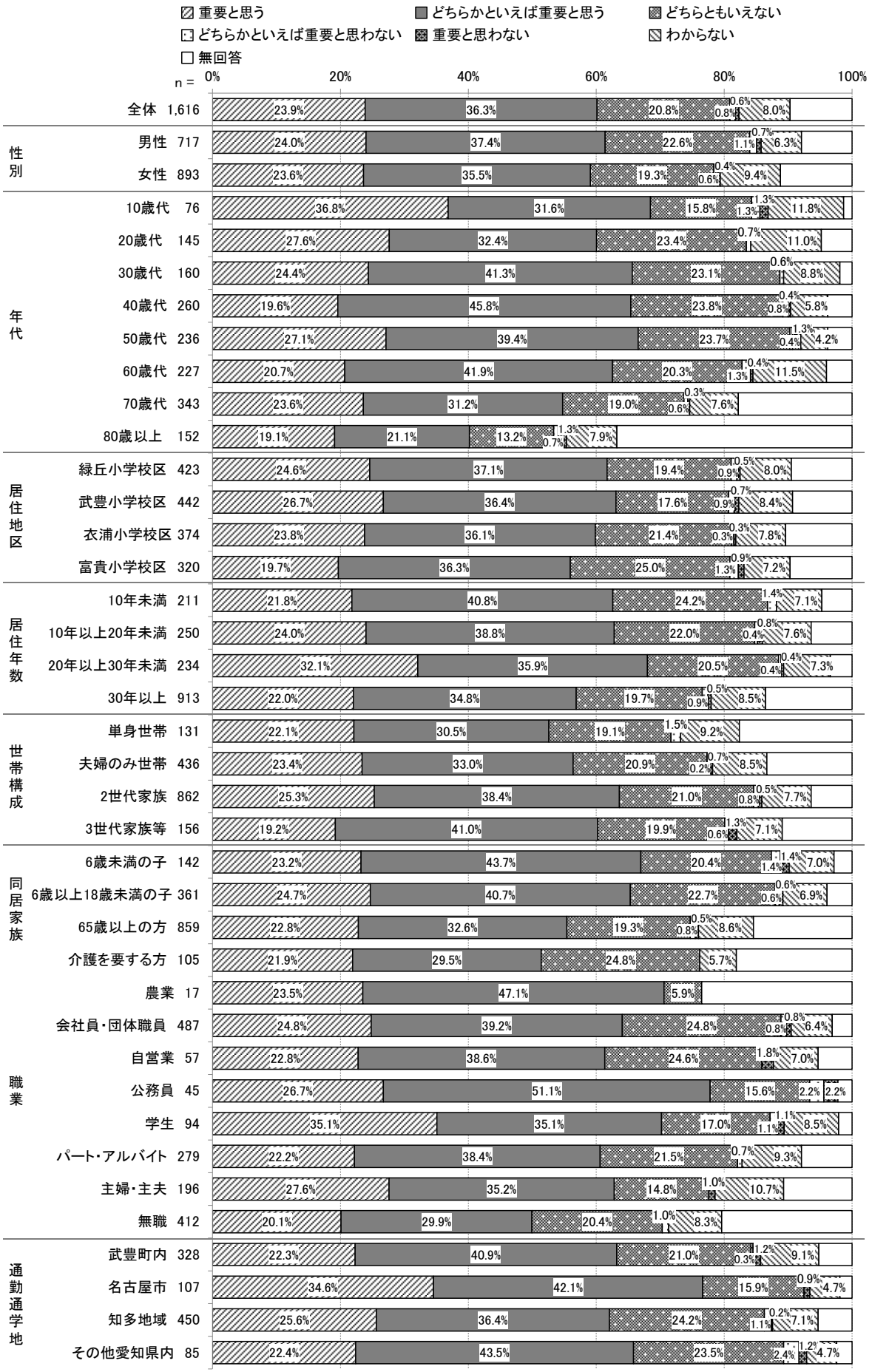
図表 1-5-59　属性別、重要度

分野６　産業・交流　　20.地元産業（農業、商工業）が活性化している



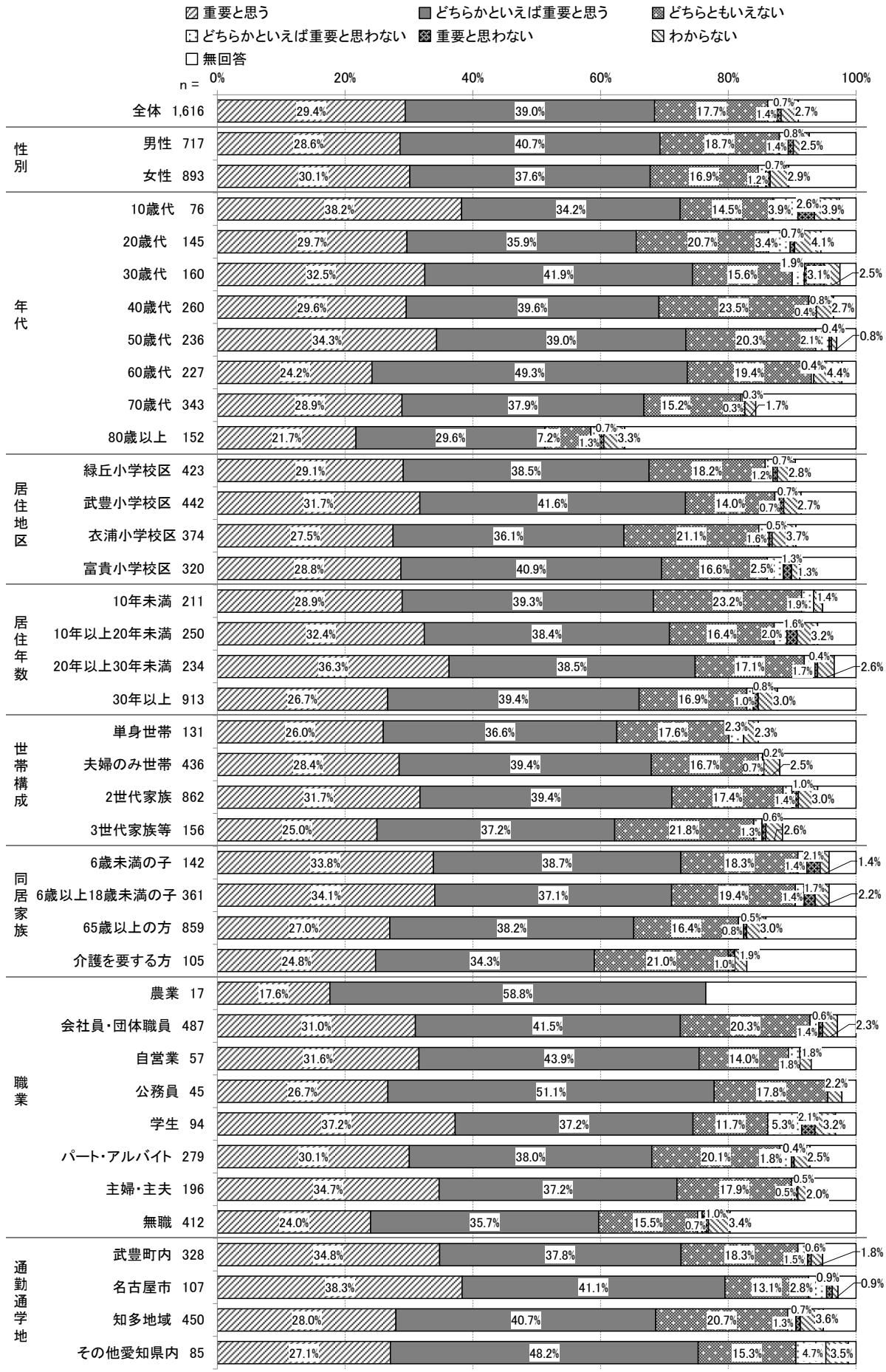
図表 1-5-60　属性別、重要度

分野６　産業・交流　　21.地域資源が活かされ町が活気づいている



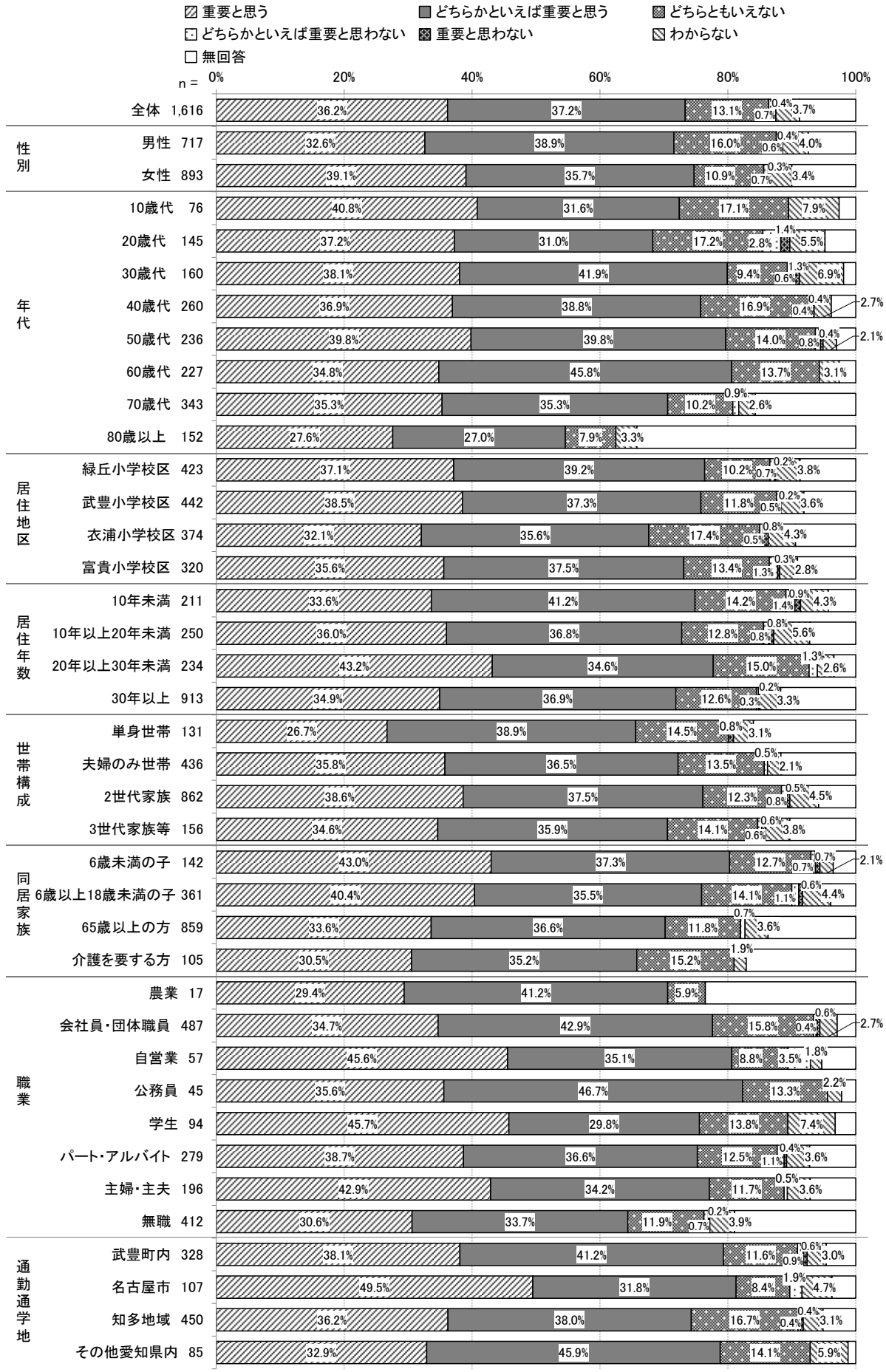
図表 1-5-61　属性、重要度

分野７　環境　　22.水や緑などの自然を身近に感じられる



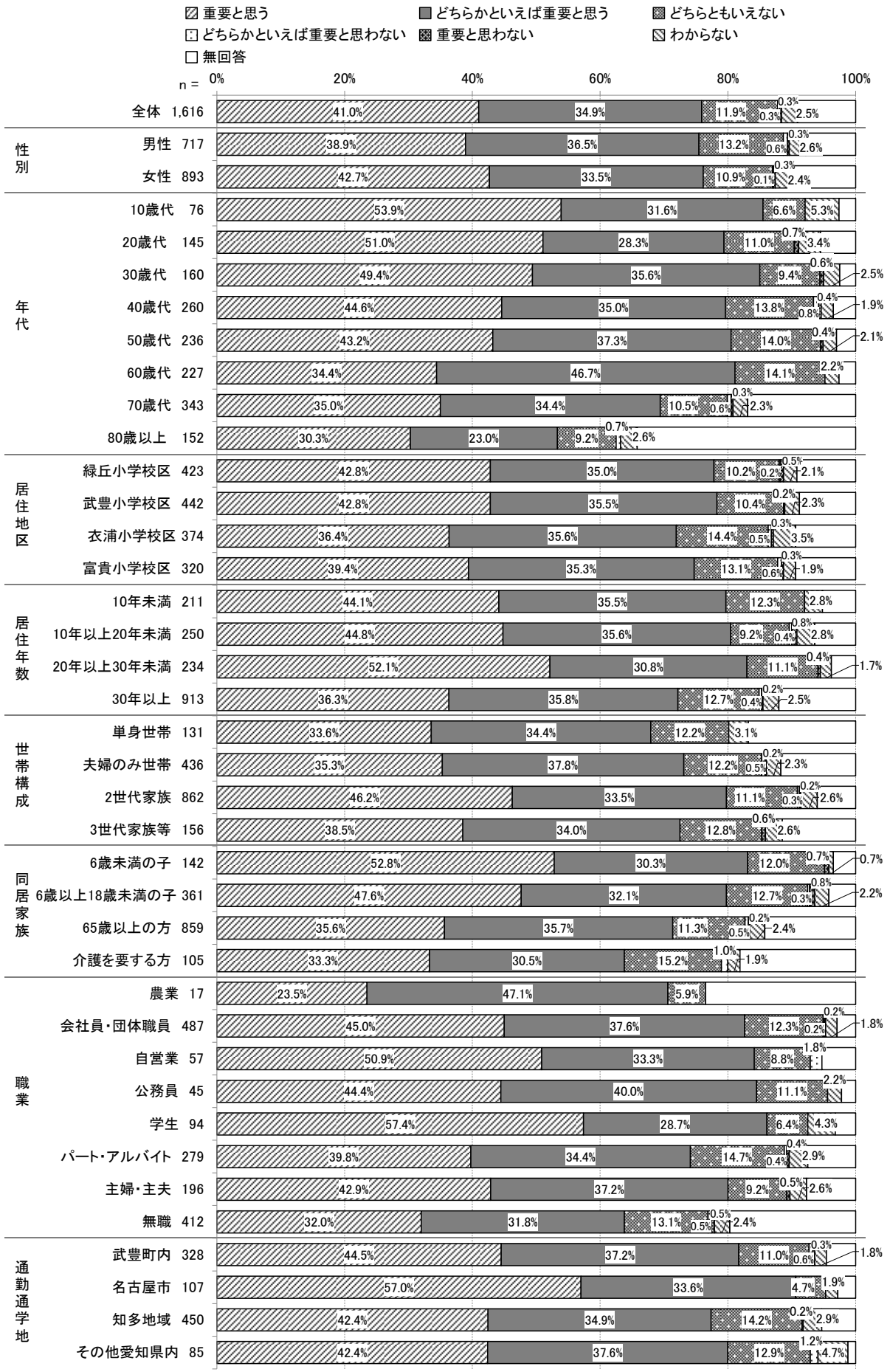
図表 1-5-62　属性別、重要度

分野7　環境　　23.ごみの減量化・資源化が進められ、循環型社会が定着している



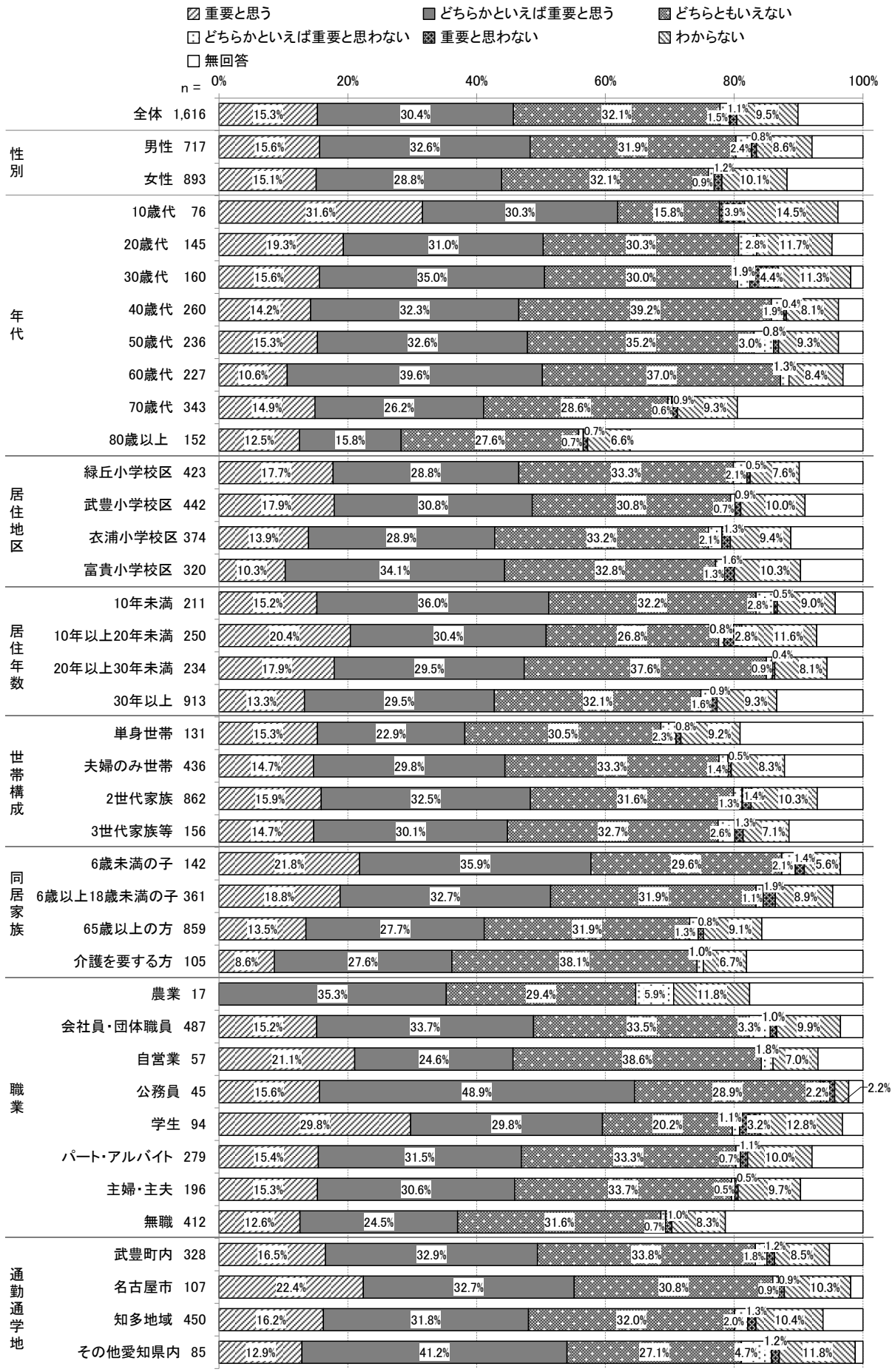
図表 1-5-63　属性別、重要度

分野７　環境　　24.きれいで衛生的な環境が保たれている



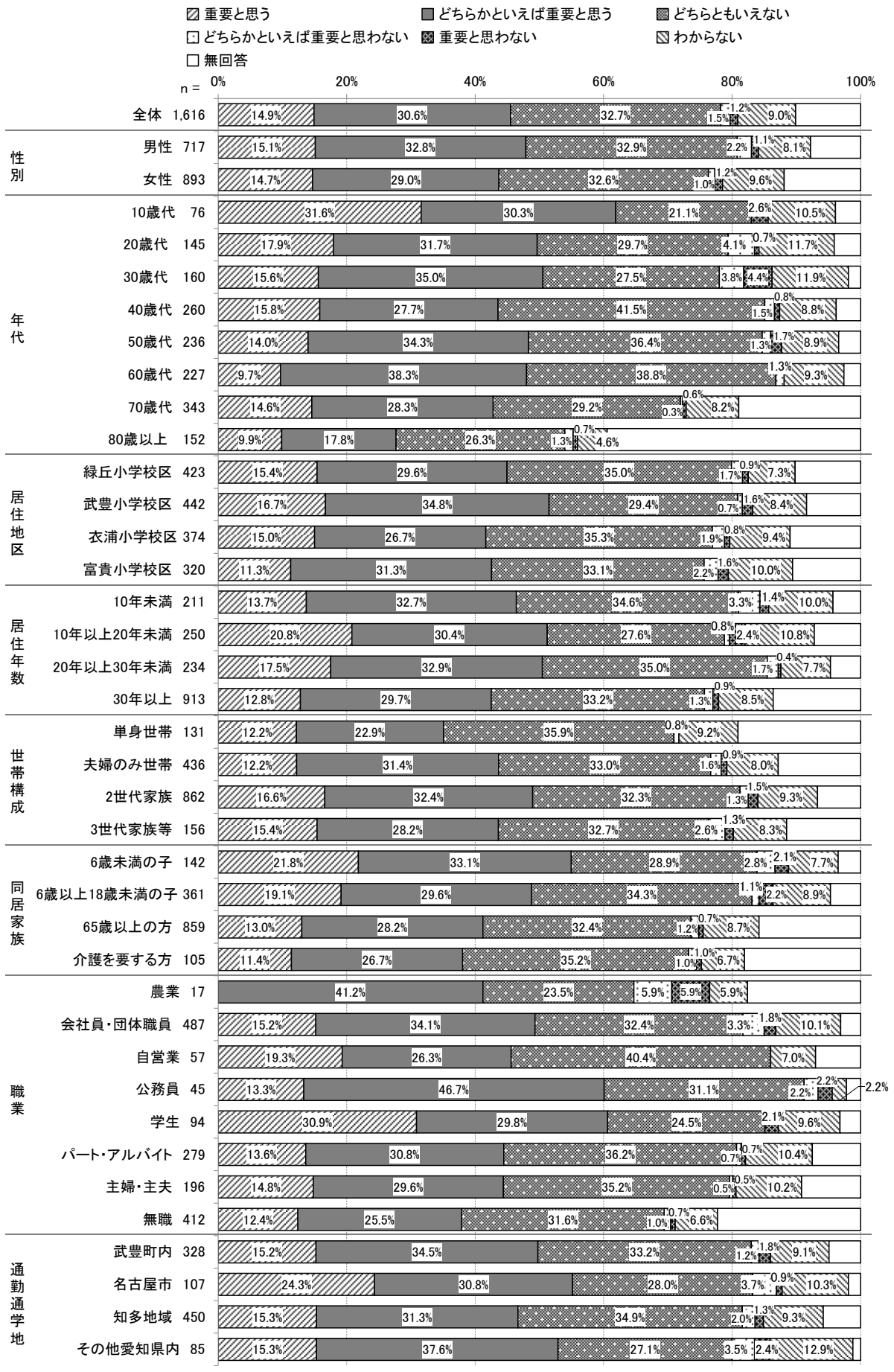
図表 1-5-64　属性別、重要度

分野８　まちづくり・地域経営　　25.住民がまちづくりに参画しやすい



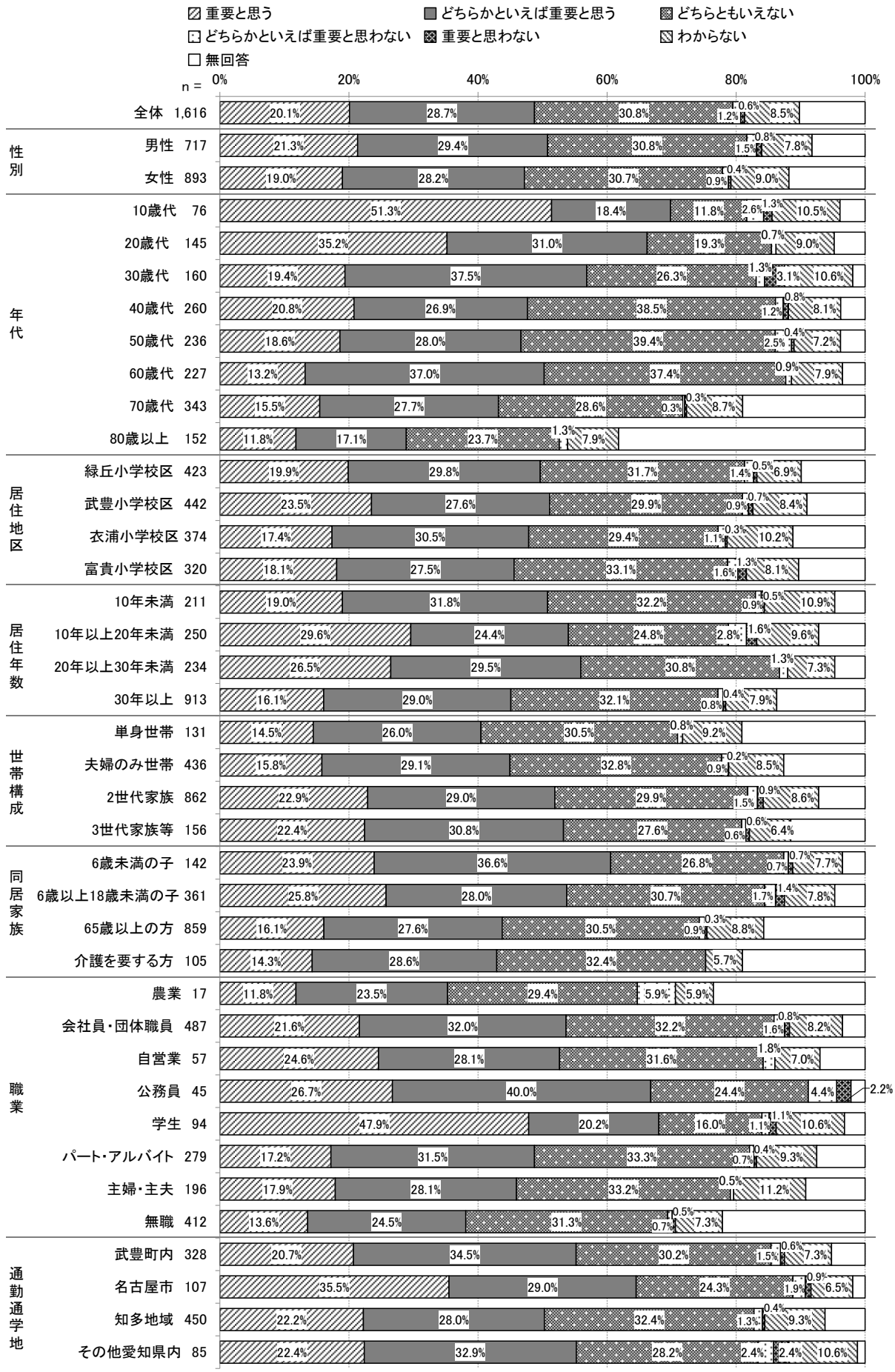
図表 1-5-65　属性別、重要度

分野８　まちづくり・地域経営　　26.地域活動が活発に行われている



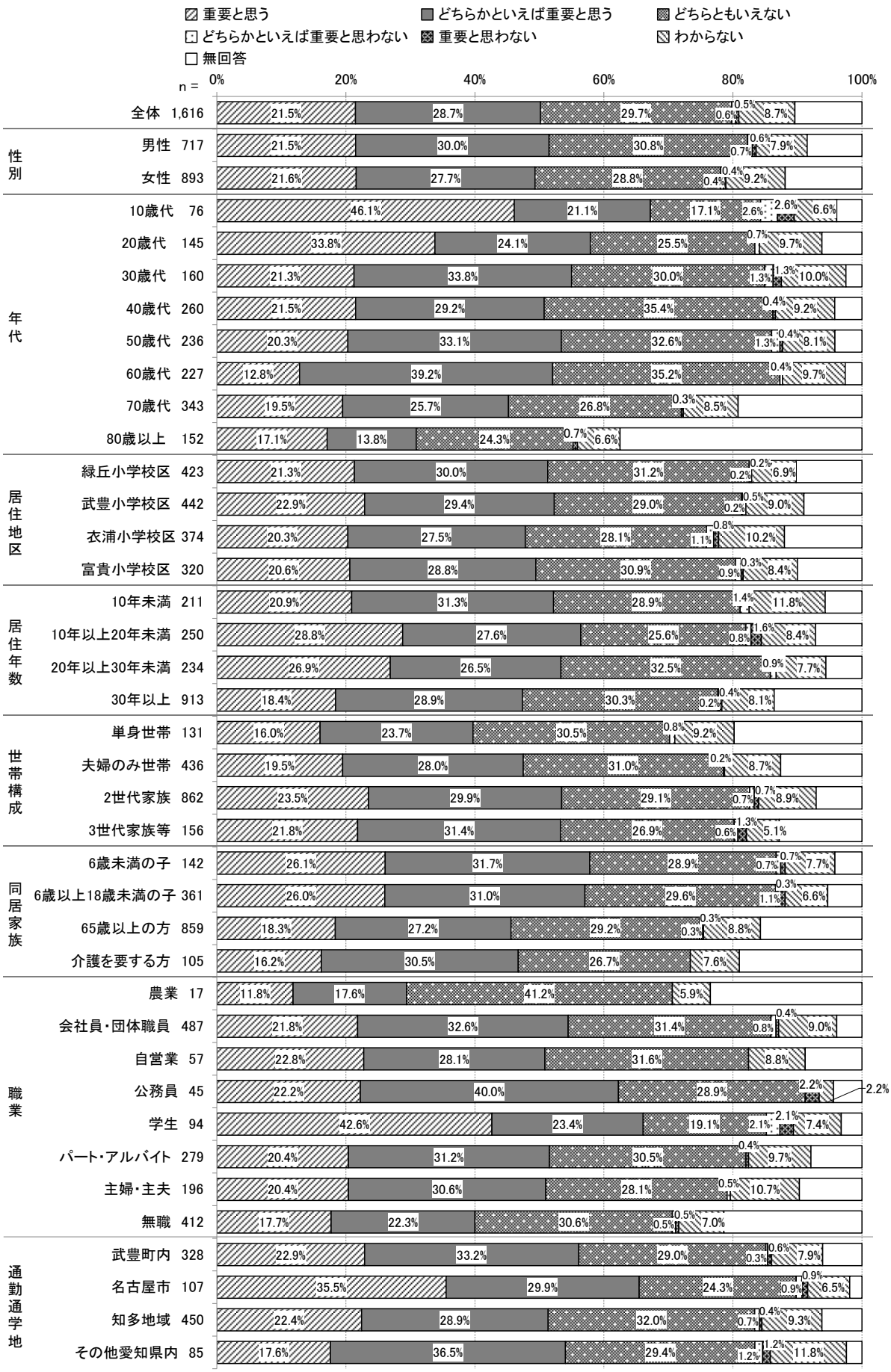
図表 1-5-66　属性別、重要度

分野８　まちづくり・地域経営　　27.男女が差別なく参画できる社会となっている



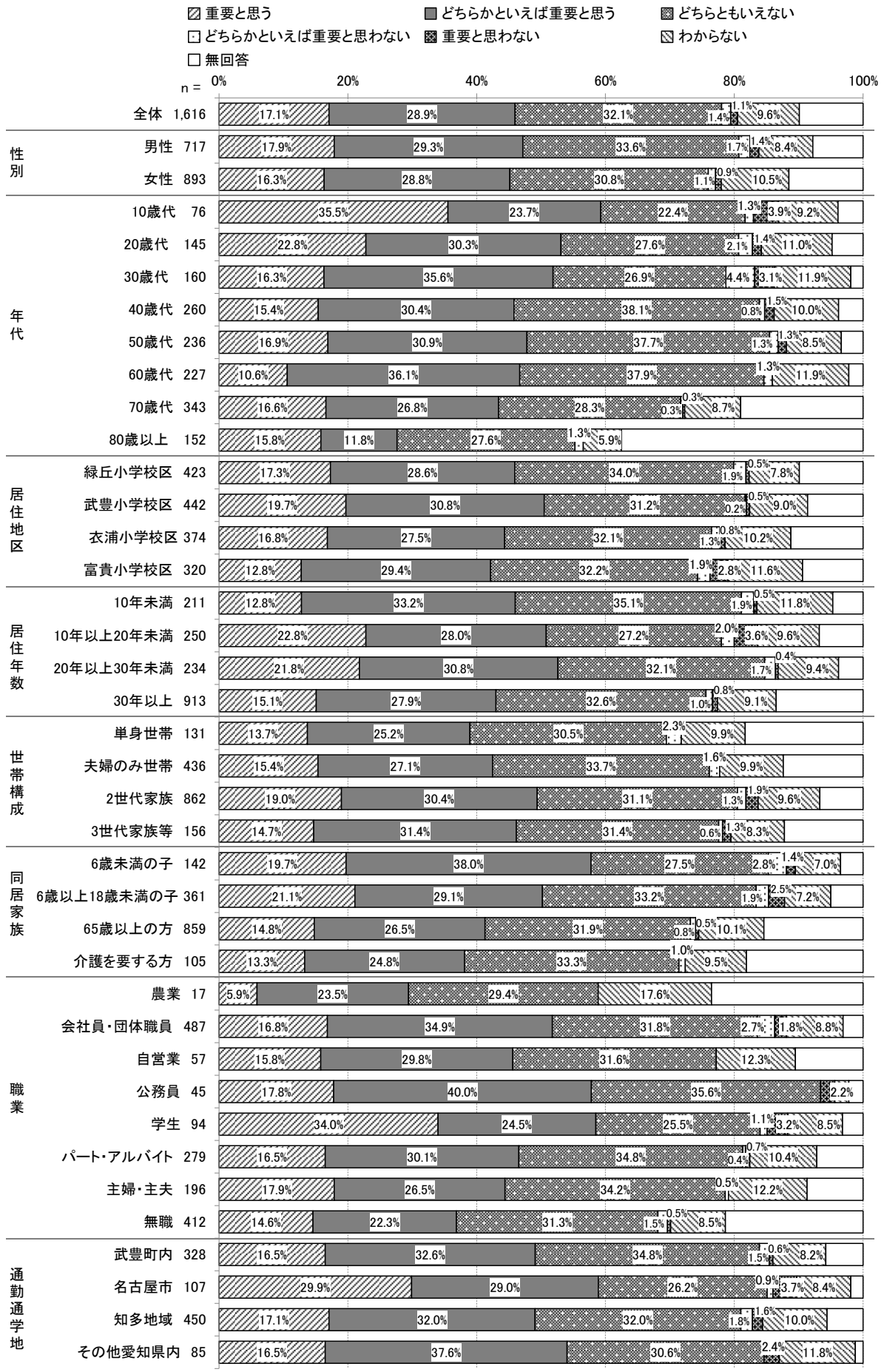
図表 1-5-67　属性別、重要度

分野８　まちづくり・地域経営　　28.互いを尊重しあい協力しあえる



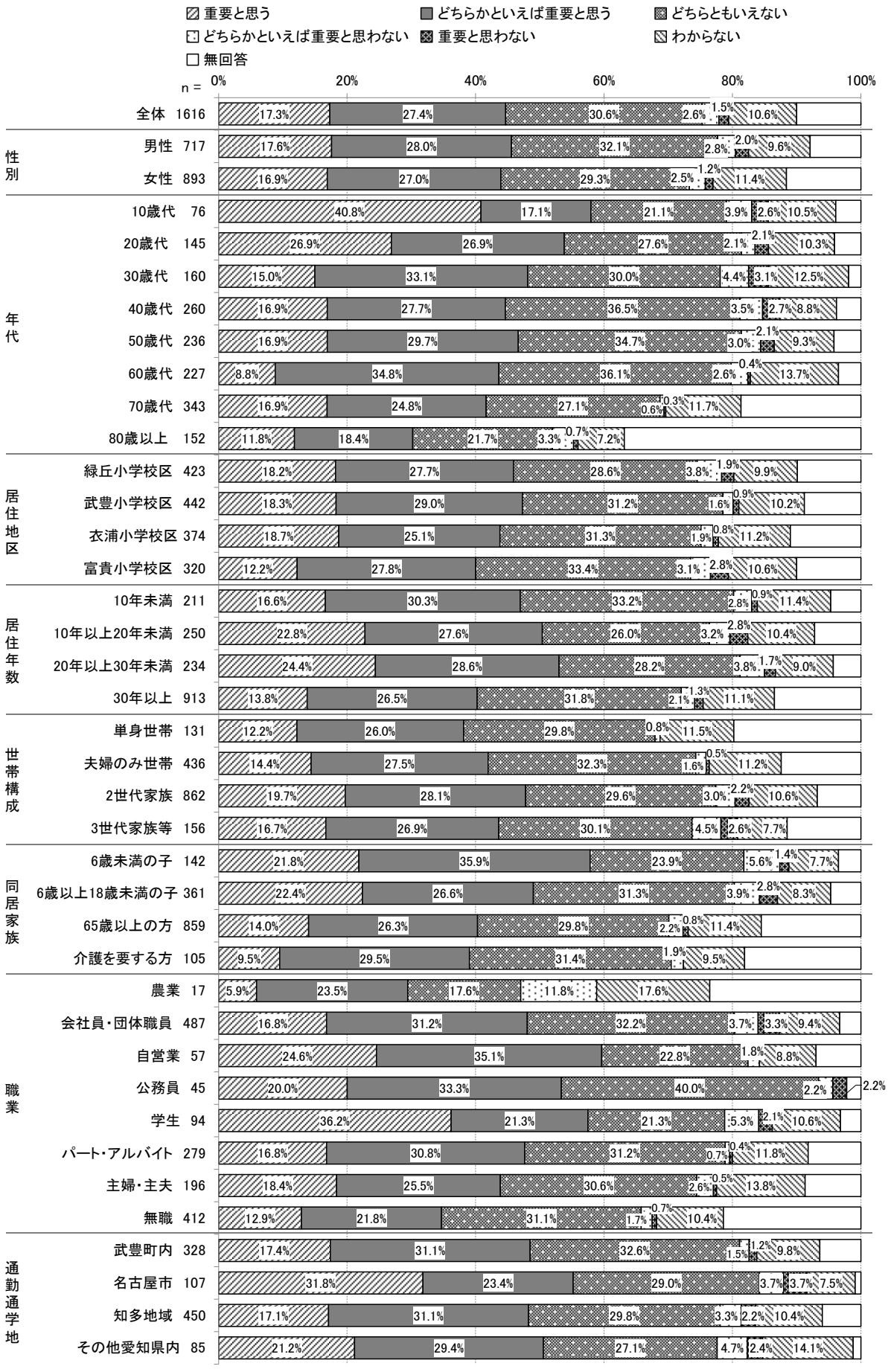
図表 1-5-68　属性別、重要度

分野８　まちづくり・地域経営　　29.住民が誇りを持って生活している



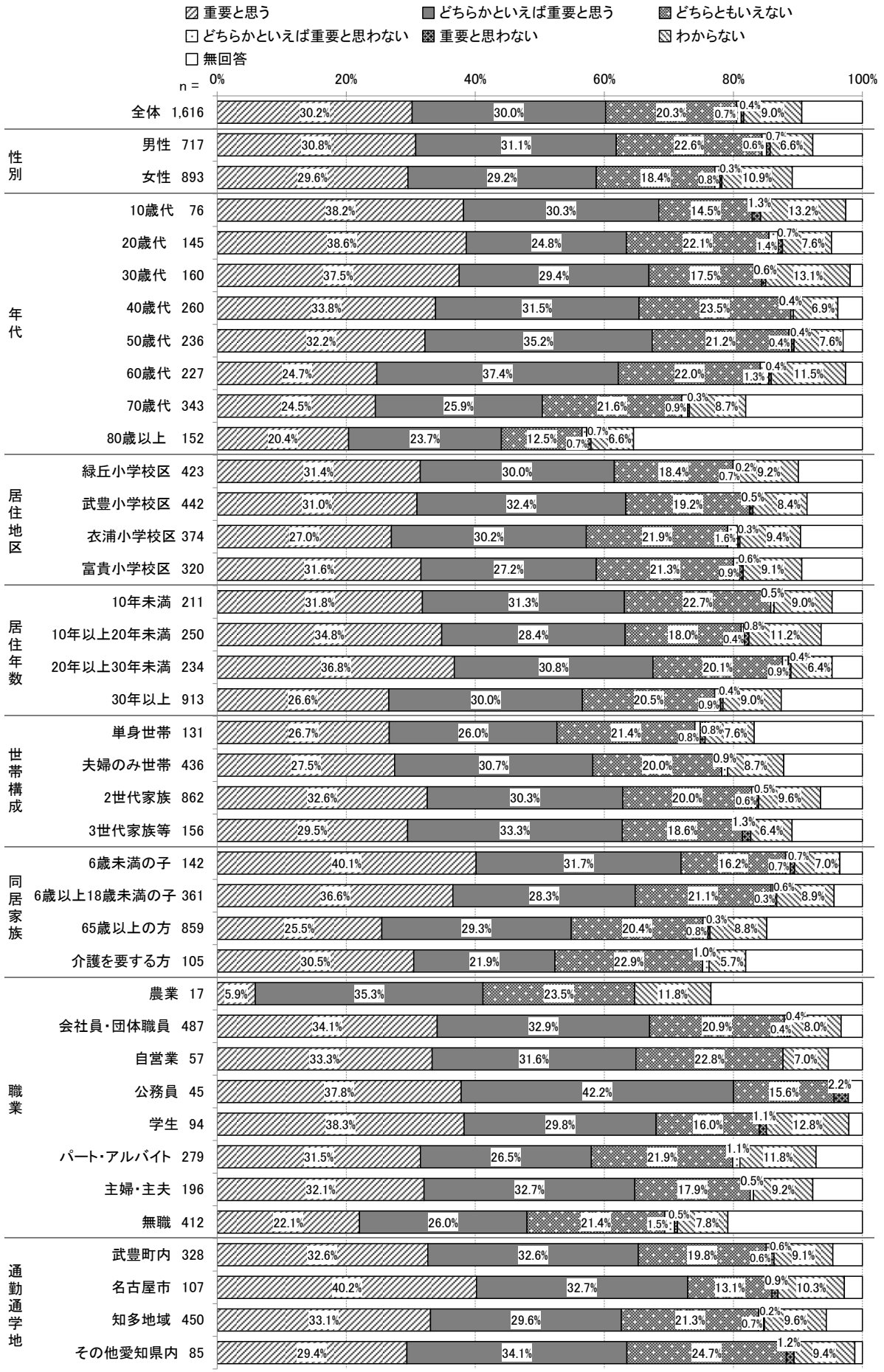
図表 1-5-69　属性別、重要度

分野８　まちづくり・地域経営　　30.町外に住む人たちから魅力的に思われている



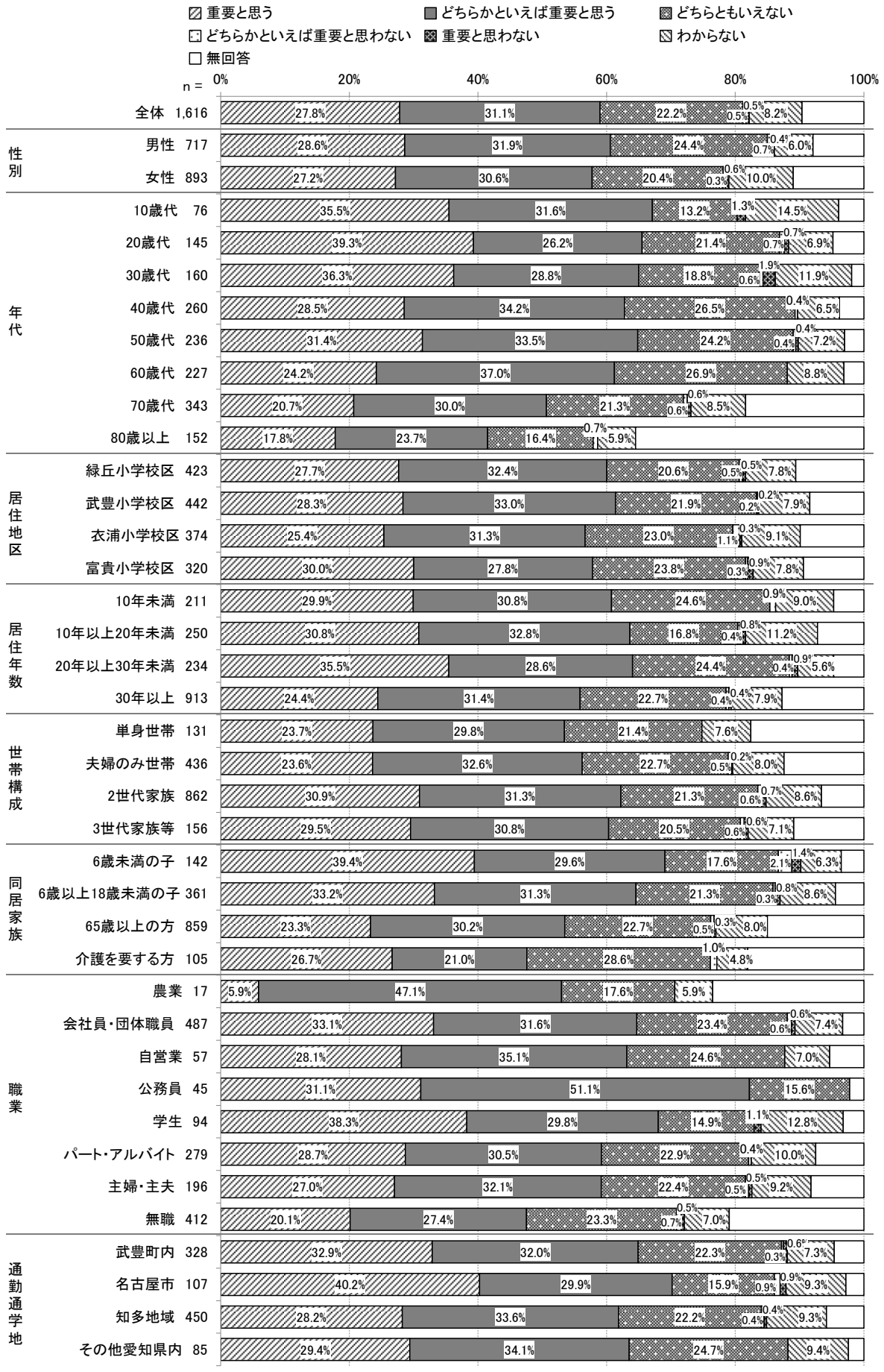
図表 1-5-70　属性別、重要度

分野９　行財政　　31.行政に町民の意向が反映されている



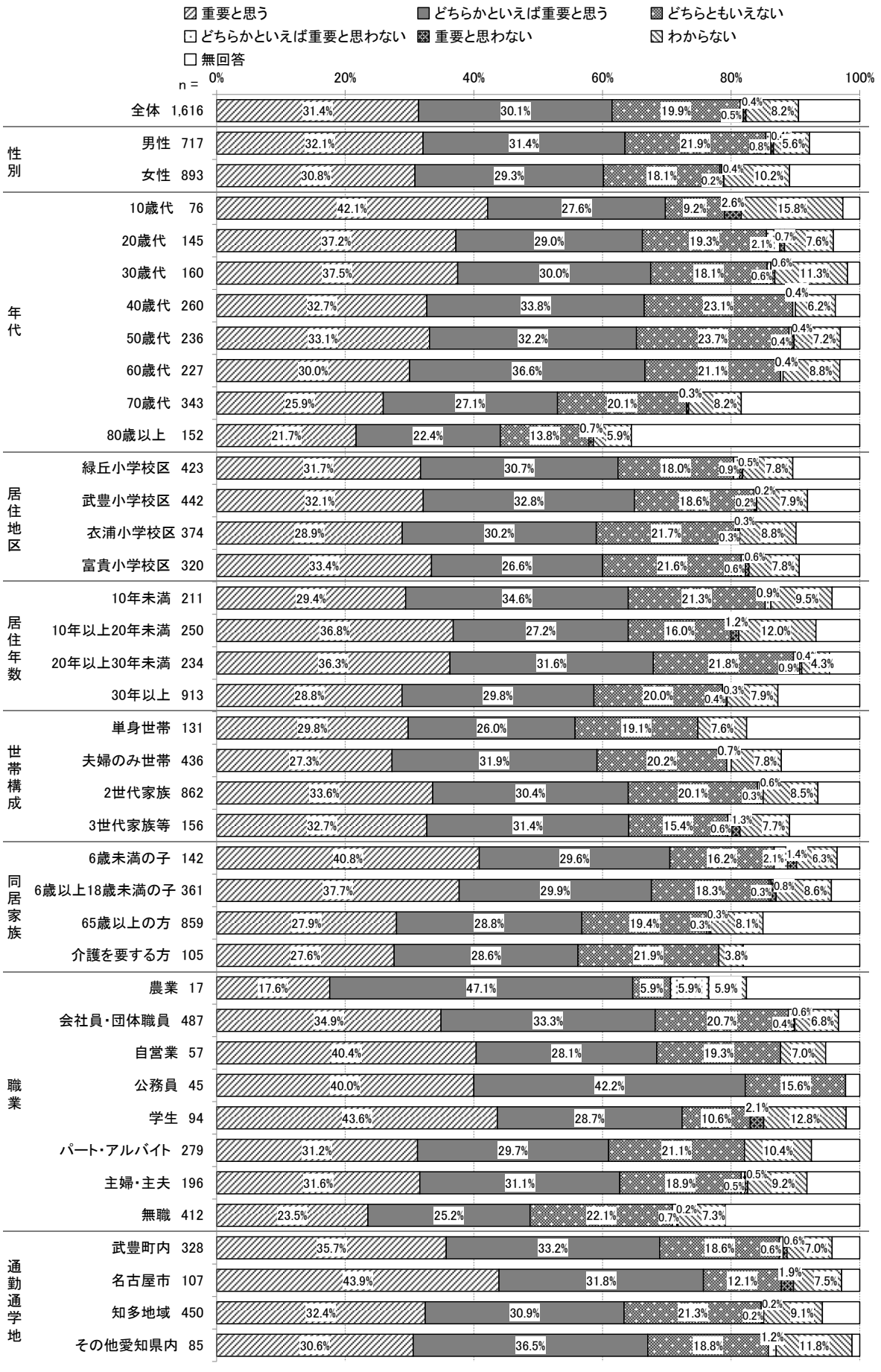
図表 1-5-71　属性別、重要度

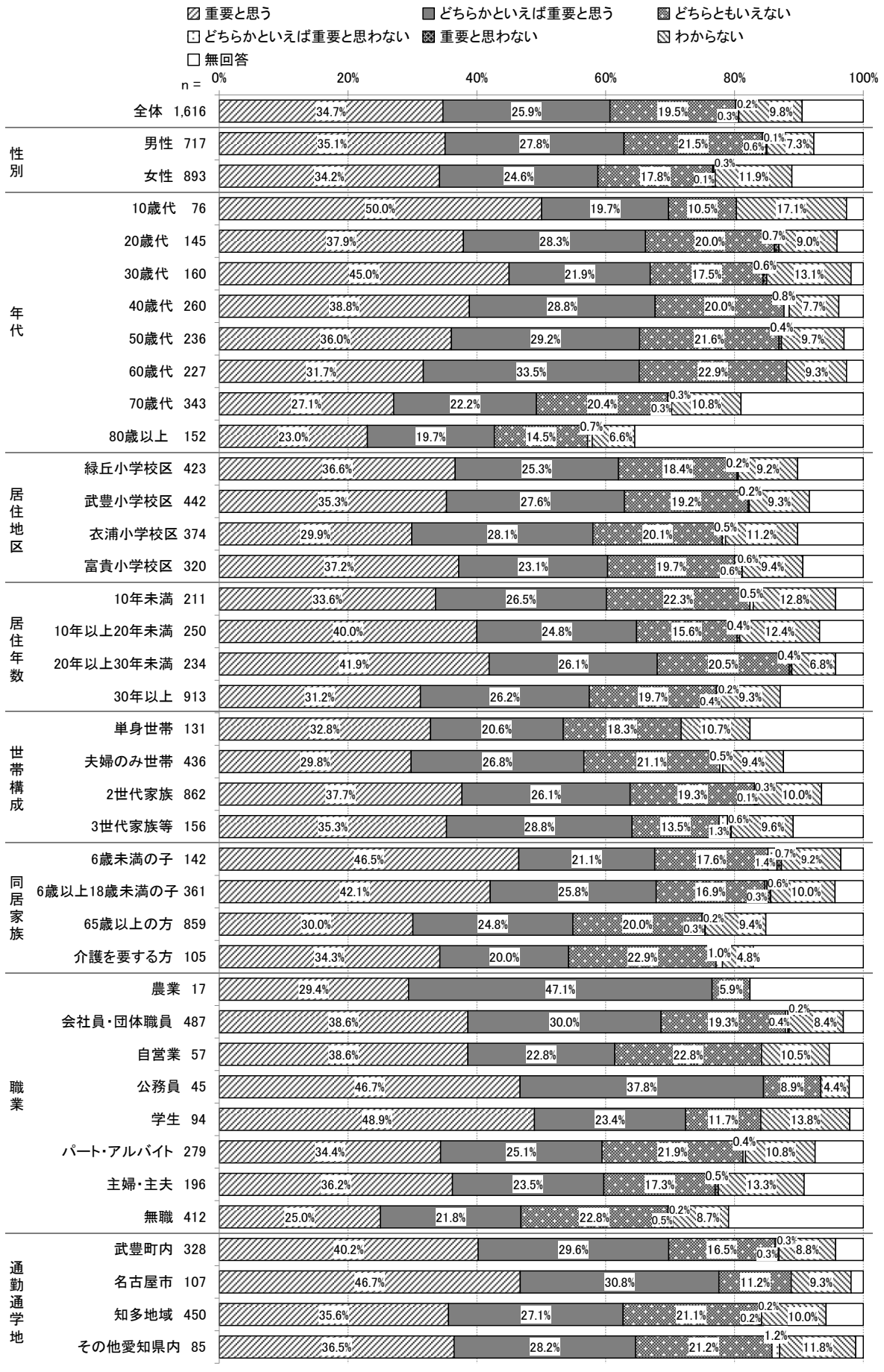
分野９　行財政　　32.まちの情報が住民と行政で共有されている



図表 1-5-72　属性別、重要度

分野９　行財政　　33.行政サービスが充実している



図表 1-5-73　属性別、重要度

分野９　行財政　　34.健全に行財政が運営されている